須賀小学校地域拠点施設建設
第3・第4校舎等解体及び建築工事

令和8年3月

株式会社 東畑建築事務所

建築（校舎棟・屋内体育館棟）		建築（校舎棟・屋内体育館棟）		建築（校舎棟・屋内体育館棟）		建築（校舎棟・屋内体育館棟）		建築（校舎棟・屋内体育館棟）	
図面番号	図　面　名　称	図面番号	図　面　名　称	図面番号	図　面　名　称	図面番号	図　面　名　称	図面番号	図　面　名　称
A001-a	目　次	A067	階段2詳細図　その１（校舎棟）	A134	（トイレE2、多目的トイレE2）　平面詳細図・展開図	A201	家具詳細図　その２６	A401	サイン計画_数量表
A001-b	目　次	A068	階段2詳細図　その２	A135	（トイレN1）　平面詳細図・展開図	A202	家具詳細図　その２７	A402	サイン計画_配置図（１）
A002	設計概要・外部仕上表	A069	階段3詳細図　（屋内体育館棟）	A136	（トイレN2）　平面詳細図・展開図	A203	家具詳細図　その２８	A403	サイン計画_配置図（２）
A003	特記仕様書　その１	A070	標準詳細図　その１	A137	（学童用トイレ）　平面詳細図・展開図	A204	メディアセンター家具仕様書	A404	サイン計画_意匠図（１）
A004	特記仕様書　その２	A071	標準詳細図　その２	A138	体育館平面詳細図　その１　（体育室）	A205	メディアセンター家具詳細図　その１	A405	サイン計画_意匠図（２）
A005	特記仕様書　その３	A072	標準詳細図　その３	A139	体育館平面詳細図　その２　（ステージ、器具庫1-2）	A206	メディアセンター家具詳細図　その２	A406	サイン計画_意匠図（３）
A006	特記仕様書　その４	A073	標準詳細図　その４	A140	体育館平面詳細図　その３　（器具庫3、体育館トイレほか）	A207	メディアセンター家具詳細図　その３	A407	サイン計画_意匠図（４）
A007	特記仕様書　その５	A074	標準詳細図　その５	A141	体育館平面詳細図　その４　（屋外設備スペース、体育倉庫）	A208	メディアセンター家具詳細図　その４	A408	サイン計画_意匠図（５）
A008	特記仕様書　その６	A075	標準詳細図　その６	A142	体育館展開図　その１（体育室ほか）	A209	メディアセンター家具詳細図　その５	A409	サイン計画_意匠図（６）
A009	特記仕様書　その７	A076	標準詳細図　その７	A143	体育館展開図　その２（児童用昇降口、体育倉庫ほか）	A210	メディアセンター家具詳細図　その６		
A010	特記仕様書　その８	A077	標準詳細図　その８	A144	体育館展開図　その３（体育館トイレほか）	A211	プレハブゴミ庫詳細図		
A011	特記仕様書　その９	A078	部分詳細図　その１	A145	（校舎棟）　廊下展開図	A212	ボンベ庫詳細図	A501	舗装施設計画平面図
A012	解体特記仕様書　その１	A079	部分詳細図　その２	A146	廊下展開図			A502	雨水排水計画平面図
A013	解体特記仕様書　その２	A080	部分詳細図　その３	A147	廊下展開図			A503	植栽計画平面図
A014	45分準耐火各部納まり参考図1	A081	部分詳細図　その４	A148	廊下展開図	A301	（参考図）屋根廻り詳細図　その１	A504	外構詳細図　その１
A015	45分準耐火各部納まり参考図2	A082	部分詳細図　その５	A149	建具特記仕様書　その１	A302	（参考図）屋根廻り詳細図　その２	A505	外構詳細図　その２
A016	45分準耐火各部納まり参考図3	A083	部分詳細図　その６	A150	建具特記仕様書　その２	A303	（参考図）屋根廻り詳細図　その３	A506	外構詳細図　その３
A017	45分準耐火各部納まり参考図4	A084	部分詳細図　その７	A151	１階建具伏図	A304	（参考図）屋根廻り詳細図　その４	A507	外構詳細図　その４
A018	工事区分表	A085	部分詳細図　その８	A152	２階建具伏図	A305	（参考図）屋根廻り詳細図　その５		
A019	敷地求積図	A086	部分詳細図　その９	A153	R階建具伏図	A306	（参考図）屋根廻り詳細図　その６		
A020	建物面積求積図	A087	部分詳細図　その８（屋内体育館棟）	A154	（校舎棟）　建具表　その１	A307	（参考図）EXP.Jカバー詳細図　その１	A601	法規チェック図（1階平面図）
A021	各室面積求積図	A088	部分詳細図　その９	A155	建具表　その２	A308	（参考図）EXP.Jカバー詳細図　その２	A602	法規チェック図（2階平面図）
A022	内部仕上表　その１	A089	部分詳細図　その１０	A156	建具表　その３	A309	（参考図）EXP.Jカバー詳細図　その３		
A023	内部仕上表　その２	A090	部分詳細図　その１１	A157	建具表　その４	A310	（参考図）EXP.Jカバー詳細図　その４		
A024	内部仕上表　その３	A091	（職員室ほか）　平面詳細図　その１	A158	建具表　その５	A311	（参考図）アルミ製建具詳細図　その１	A701	配置図（解体）
A025	内部仕上表　その４	A092	平面詳細図　その２	A159	建具表　その６	A312	（参考図）アルミ製建具詳細図　その２	A702	第３・第４校舎　平面図　その１
A026	内部仕上表　その５	A093	展開図　その１	A160	建具表　その７	A313	（参考図）アルミ製建具詳細図　その３	A703	第３・第４校舎　平面図　その２
A027	敷地現況図	A094	展開図　その２	A161	建具表　その８	A314	（参考図）アルミ製建具詳細図　その４	A704	第３・第４校舎　平面図　その３
A028	附近見取図・配置図	A095	展開図　その３	A162	建具表　その９	A315	（参考図）アルミ製建具詳細図　その５	A705	第３・第４校舎　平面図　その４
A029	ピット伏図	A096	（会議室、会議収納、配膳室1）　平面詳細図、展開図	A163	建具表　その１０	A316	（参考図）鋼製防火シャッター詳細図　その１	A706	第３校舎　立面図
A030	１階平面図	A097	（メディアセンターほか）　平面詳細図　その１	A164	建具表　その１１	A317	（参考図）鋼製防火シャッター詳細図　その２	A707	第３校舎　断面図
A031	２階平面図	A098	平面詳細図　その２	A165	建具表　その１２	A318	（参考図）鋼製防火シャッター詳細図　その３	A708	第４校舎　立面図・断面図
A032	屋根伏図	A099	展開図　その１	A166	建具表　その１３	A319	（参考図）鋼製防火シャッター詳細図　その４	A709	第４校舎トイレ棟　立面図・断面図
A033	１階天井伏図	A100	展開図　その２	A167	建具表　その１４	A320	（参考図）鋼製防火シャッター詳細図　その５	A710	配膳室棟１・配膳室棟２　立面図
A034	２階天井伏図	A101	展開図　その３	A168	建具表　その１５	A321	（参考図）壁等特定防火戸詳細図　その１	A711	配膳室棟１・配膳室棟２　断面図
A035	立面図　その１	A102	（音楽室）　平面詳細図・展開図	A169	建具表　その１６	A322	（参考図）壁等特定防火戸詳細図　その２	A712	渡り廊下棟　平面図・立面図・断面図
A036	立面図　その２	A103	（図工室）　平面詳細図・展開図	A170	（屋内体育館棟）　建具表　その１	A323	（参考図）壁等特定防火戸詳細図　その３	A713	職員用玄関　平面図・立面図・断面図
A037	立面図　その３	A104	（家庭科室）　平面詳細図・展開図	A171	建具表　その２	A324	（参考図）壁等特定防火戸詳細図　その４	A714	屋外プール棟　平面図
A038	立面図　その４	A105	（理科室）　平面詳細図・展開図	A172	建具表　その３	A325	（参考図）壁等特定防火戸詳細図　その５	A715	屋外プール付属棟　平面図
A039	断面図	A106	（活動室1-2）　平面詳細図・展開図	A173	家具特記仕様書	A326	（参考図）壁等特定防火戸詳細図　その６	A716	屋外プール付属棟　立面図・断面図
A040	（校舎棟）　矩計図　その１	A107	（メディアセンター4、器具庫）　平面詳細図・展開図	A174	１階家具配置図	A327	（参考図）壁等特定防火戸詳細図　その７	A717	体育倉庫１東側　平面図・立面図・断面図
A041	矩計図　その２	A108	（多目的ホール、ホール倉庫）　平面詳細図	A175	２階家具配置図	A328	（参考図）壁等特定防火戸詳細図　その８	A718	体育倉庫２西側　平面図・立面図・断面図
A042	矩計図　その３	A109	展開図　その１	A176	家具詳細図　その１	A329	（参考図）移動間仕切詳細図　その１	A719	ゴミ庫　平面図・立面図・断面図
A043	矩計図　その４	A110	展開図　その２	A177	家具詳細図　その２	A330	（参考図）移動間仕切詳細図　その２		
A044	矩計図　その５	A111	（学童倉庫、授乳室ほか）　平面詳細図・展開図	A178	家具詳細図　その３	A331	（参考図）スチールパーティション詳細図		
A045	矩計図　その６	A112	（保育室1-2）　平面詳細図・展開図	A179	家具詳細図　その４	A332	（参考図）人荷用エレベーター詳細図　その１	A801	工事手順図・仮設計画図
A046	矩計図　その７	A113	（学童事務室）　平面詳細図・展開図	A180	家具詳細図　その５	A333	（参考図）人荷用エレベーター詳細図　その２	A802	（参考）工事工程表
A047	矩計図　その８	A114	（保育室3、学童玄関）　平面詳細図・展開図	A181	家具詳細図　その６	A334	（参考図）人荷用エレベーター詳細図　その３		
A048	矩計図　その９	A115	（普通教室1-2ほか）　平面詳細図・展開図	A182	家具詳細図　その７	A335	（参考図）人荷用エレベーター詳細図　その４		
A049	矩計図　その１０	A116	展開図	A183	家具詳細図　その８	A336	（参考図）人荷用エレベーター詳細図　その５		
A050	矩計図　その１１	A117	（教員コーナー1、廊下E3）　平面詳細図・展開図	A184	家具詳細図　その９	A337	（参考図）舞台機構詳細図　その１		
A051	矩計図　その１２	A118	（普通教室11-12）　平面詳細図・展開図	A185	家具詳細図　その１０	A338	（参考図）舞台機構詳細図　その２		
A052	矩計図　その１３	A119	展開図	A186	家具詳細図　その１１	A339	（参考図）舞台機構詳細図　その３		
A053	矩計図　その１４	A120	（児童用昇降口2、普通教室3-4ほか）　平面詳細図	A187	家具詳細図　その１２	A340	（参考図）舞台機構詳細図　その４		
A054	矩計図　その１５	A121	展開図　その１	A188	家具詳細図　その１３	A341	（参考図）舞台機構詳細図　その５		
A055	矩計図　その１６	A122	展開図　その２	A189	家具詳細図　その１４	A342	（参考図）体育器具詳細図　その１		
A056	矩計図　その１７	A123	（廊下E4、E5）　平面詳細図・展開図	A190	家具詳細図　その１５	A343	（参考図）体育器具詳細図　その２		
A057	矩計図　その１８	A124	（普通教室7-8）　平面詳細図・展開図	A191	家具詳細図　その１６	A344	（参考図）体育器具詳細図　その３		
A058	矩計図　その１９	A125	展開図	A192	家具詳細図　その１７	A345	（参考図）体育器具詳細図　その４		
A059	（屋内体育館棟）　矩計図　その１	A126	（特別支援教室、多目的教室1ほか）　平面詳細図	A193	家具詳細図　その１８				
A060	矩計図　その２	A127	展開図　その１	A194	家具詳細図　その１９				
A061	矩計図　その３	A128	展開図　その２	A195	家具詳細図　その２０				
A062	矩計図　その４	A129	（多目的教室2、教材室2）　平面詳細図・展開図	A196	家具詳細図　その２１				
A063	矩計図　その５	A130	（備品倉庫、教員コーナーほか）　平面詳細図・展開図	A197	家具詳細図　その２２				
A064	矩計図　その６	A131	（職員用トイレ）　平面詳細図・展開図	A198	家具詳細図　その２３				
A065	階段1詳細図　その１（校舎棟）	A132	（トイレS1）　平面詳細図・展開図	A199	家具詳細図　その２４				
A066	階段1詳細図　その２	A133	（トイレE1、多目的トイレE1）　平面詳細図・展開図	A200	家具詳細図　その２５				

株式会社東畑建築事務所
TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

設計番号	作成日	種別/備考		工事名称
20250043	2026.3			須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 目　次 縮尺 A1: A3:

図面番号 A001-a

構造（校舎棟・屋内体育館棟）		構造（校舎棟・屋内体育館棟）		構造（校舎棟・屋内体育館棟）				機械設備（第3・第4校舎解体）	
図面番号	図　面　名　称	図面番号	図　面　名　称	図面番号	図　面　名　称	図面番号	図　面　名　称	図面番号	図　面　名　称
S001	構造特記仕様書　その1	S-E015	（校舎棟東）軸組図(7)	S-A016	（屋内体育館棟）屋根詳細図(3)			M001	ステップ図
S002	構造特記仕様書　その2	S-E016	（校舎棟東）軸組図(8)	S-A017	（屋内体育館棟）屋根詳細図(4)			M002	空調設備　第３・第４校舎　１階平面図
S003	鉄筋コンクリート標準図　その1	S-E017	（校舎棟東）軸組図(9)	S-A018	（屋内体育館棟）屋根詳細図(5)			M003	空調設備　第３・第４校舎　２・３階平面図
S004	鉄筋コンクリート標準図　その2	S-E018	（校舎棟東）軸組図(10)					M004	衛生設備　第３・第４校舎　外構図
S005	鉄筋コンクリート標準図　その3	S-E019	（校舎棟東）軸組図(11)					M005	衛生設備　第３・第４校舎　R階平面図
S006	鉄筋コンクリート標準図　その4	S-E020	（校舎棟東）軸組図(12)					M006	ろ過設備　屋外プール付属棟　機器表・平面図
S007	鉄骨標準図	S-E021	（校舎棟東）断面リスト						
S008	溶接標準図	S-E022	（校舎棟東）1F柱頭柱脚金物						
S009	木造特記仕様書	S-E023	（校舎棟東）2F柱頭柱脚金物						
S010	木造標準図　その1	S-E024	（校舎棟東）鉄骨階段群図						
S011	木造標準図　その2	S-E025	（校舎棟東）雑詳細(1)						
S012	木造標準図　その3	S-E026	（校舎棟東）雑詳細(1)						
S013	木造標準図　その4		【校舎棟南】						
S014	木造標準図　その5	S-S001	（校舎棟南）地盤改良伏図						
S015	木造標準図　その6	S-S002	（校舎棟南）基礎伏図（1）						
S016	木造標準図　その7	S-S003	（校舎棟南）基礎伏図（2）						
S017	木造標準図　その8	S-S004	（校舎棟南）1階伏図						
S018	木造標準図　その9	S-S005	（校舎棟南）2階伏図						
S019	木造標準図　その10	S-S006	（校舎棟南）小屋伏図(1)						
S020	木造標準図　その11	S-S007	（校舎棟南）小屋伏図(2)						
S021	木造標準図　その12	S-S008	（校舎棟南）屋根伏						
S022	深層混合処理工法 特記仕様書	S-S009	（校舎棟南）軸組図(1)						
S023	深層混合処理工法　配筋要領図	S-S010	（校舎棟南）軸組図(2)						
S024	ボーリング柱状図　その1	S-S011	（校舎棟南）軸組図(3)						
S025	ボーリング柱状図　その2	S-S012	（校舎棟南）軸組図(4)						
S026	ボーリング柱状図　その3	S-S013	（校舎棟南）軸組図(5)						
		S-S014	（校舎棟南）軸組図(6)						
		S-S015	（校舎棟南）軸組図(7)						
	【校舎棟北】	S-S016	（校舎棟南）軸組図(8)						
S-N001	（校舎棟北）地盤改良伏図	S-S017	（校舎棟南）軸組図(9)						
S-N002	（校舎棟北）基礎伏図（1）	S-S018	（校舎棟南）軸組図(10)						
S-N003	（校舎棟北）基礎伏図（2）	S-S021	（校舎棟南）断面リスト						
S-N004	（校舎棟北）1階伏図	S-S022	（校舎棟南）1F柱頭柱脚金物						
S-N005	（校舎棟北）2階伏図	S-S023	（校舎棟南）2F柱頭柱脚金物						
S-N006	（校舎棟北）小屋伏図(1)	S-S024	（校舎棟南）鉄骨階段群図(1)						
S-N007	（校舎棟北）小屋伏図(2)	S-S025	（校舎棟南）鉄骨階段群図(2)						
S-N008	（校舎棟北）屋根伏	S-S026	（校舎棟南）雑詳細(1)						
S-N009	（校舎棟北）軸組図(1)	S-S027	（校舎棟南）ELV鉄骨構造図						
S-N010	（校舎棟北）軸組図(2)		【校舎棟共通】						
S-N011	（校舎棟北）軸組図(3)	S-030	（校舎棟共通）耐力壁詳細						
S-N012	（校舎棟北）軸組図(4)	S-031	（校舎棟共通）屋根架構詳細(1)						
S-N013	（校舎棟北）軸組図(5)	S-032	（校舎棟共通）屋根架構詳細(2)						
S-N014	（校舎棟北）軸組図(6)	S-033	（校舎棟共通）屋根架構詳細(3)						
S-N015	（校舎棟北）軸組図(7)	S-034	（校舎棟共通）雑詳細(1)						
S-N016	（校舎棟北）軸組図(8)	S-035	（校舎棟共通）雑詳細(2)						
S-N017	（校舎棟北）軸組図(9)	S-036	（校舎棟共通）雑詳細(3)						
S-N018	（校舎棟北）軸組図(10)	S-037	（校舎棟共通）木ラーメン接合詳細(1)						
S-N019	（校舎棟北）軸組図(11)	S-038	（校舎棟共通）木ラーメン接合詳細(2)						
S-N021	（校舎棟北）断面リスト	S-039	（校舎棟共通）木ラーメン接合詳細(3)						
S-N022	（校舎棟北）1F柱頭柱脚金物	S-040	（校舎棟共通）木ラーメン接合詳細(4)						
S-N023	（校舎棟北）2F柱頭柱脚金物	S-041	（校舎棟共通）木ラーメン接合詳細(5)						
S-N024	（校舎棟北）鉄骨階段群図	S-042	（校舎棟共通）柱頭柱脚金詳細(1)						
S-N025	（校舎棟北）雑詳細(1)		【屋内運動場棟】						
	【校舎棟東】	S-A001	（屋内体育館棟）杭伏図						
S-E001	（校舎棟東）地盤改良伏図	S-A002	（屋内体育館棟）基礎伏図・1階伏図						
S-E002	（校舎棟東）基礎伏図（1）	S-A003	（屋内体育館棟）2階伏図・軒桁伏図						
S-E003	（校舎棟東）基礎伏図（2）	S-A004	（屋内体育館棟）ステージ屋根伏図・屋根伏図						
S-E004	（校舎棟東）1階伏図	S-A005	（屋内体育館棟）軸組図(1)						
S-E005	（校舎棟東）2階伏図	S-A006	（屋内体育館棟）軸組図(2)						
S-E006	（校舎棟東）小屋伏図(1)	S-A007	（屋内体育館棟）軸組図(3)						
S-E007	（校舎棟東）小屋伏図(2)	S-A008	（屋内体育館棟）基礎リスト						
S-E008	（校舎棟東）屋根伏	S-A009	（屋内体育館棟）地中梁リスト						
S-E009	（校舎棟東）軸組図(1)	S-A010	（屋内体育館棟）柱・壁断面リスト						
S-E010	（校舎棟東）軸組図(2)	S-A011	（屋内体育館棟）大梁断面リスト						
S-E011	（校舎棟東）軸組図(3)	S-A012	（屋内体育館棟）小梁・床版・階段リスト						
S-E012	（校舎棟東）軸組図(4)	S-A013	（屋内体育館棟）鉄骨リスト・詳細図						
S-E013	（校舎棟東）軸組図(5)	S-A014	（屋内体育館棟）屋根詳細図(1)						
S-E014	（校舎棟東）軸組図(6)	S-A015	（屋内体育館棟）屋根詳細図(2)						

株式会社東畑建築事務所
TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

設計番号	作成日	種別/備考		工事名称	図面番号
20250043	2026.3			須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	A001-b
一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 目　次 縮尺　A1: A3:	

設　計　概　要

1. 工事名称　須賀小学校地域拠点施設建設　第3・第4校舎等解体及び建築工事

2. 主要用途

用途	建築基準法_別表第1	消防法_令別表第1	
須賀小学校	小学校_(3)項	小学校_(7)項	複合用途
地域コミュニティ施設	集会場_(1)項	集会場_(1)項ロ	防火対象物
かえで学童クラブ	児童福祉施設_(2)項（放課後児童クラブ）	学童保育所_(15)項	(16)項イ

3. 敷地位置　埼玉県南埼玉郡宮代町大字須賀字砂河原1425番1

4. 工事種別　新築

5. 区域の指定　都市計画区域内、市街化調整区域

6. 用途地域の指定　指定なし
　許容建ぺい率　：　60%
　許容容積率　：　200%

7. 防火地域の指定　指定なし（法22条区域外）

8. その他の地区、地域の指定　ー

9. その他の規制　斜線制限　道路斜線　適用距離20m/勾配1.5
　隣地斜線　立上り　31m/勾配2.5
　日影規制　高さ10m超の建物、平均地盤面からの高さ4m
　日影規制時間　4ー5時間（5<L<10m）、2.5ー3時間（10m<L）

10. 敷地
　イ.敷地面積　12,863.23㎡
　ロ.前面道路巾員　・南東側：　町道　７．３０ｍ　（74号線）
　・南西側：　町道　１２．１０ｍ　（67号線）
　・北西側：　町道　４．８０ｍ　（527号線）

11. 構造・規模

	校舎棟	屋内体育館棟	体育倉庫	ゴミ庫	ポンベ庫
※イ.構造	木造	RC造、木造	プレハブ（既製品）	プレハブ（既製品）	プレハブ（既製品）
ロ.地業	直接基礎+地盤改良	杭基礎	直接基礎	直接基礎	直接基礎
ハ.階数	地上2階	地上2階	平屋建て	平屋建て	平屋建て
※ニ.増築予定考慮	なし	なし	なしなし	なし	なし

12. 各部の高さ
　イ.設計ＧＬの指定　TP＋8.35
　ロ.標準地盤面の設定　設計ＧＬ±　０
　ハ.建築物の高さ　平均地盤面+　10,390　14,440　2,535　2,408　2,310
　〈令２条の六〉
　ニ.軒高　平均地盤面+　7,500　8,350　2,535　2,408　2,310
　ホ.基礎深さ　構造図による

13. 面積
　イ.建築面積　本工事部分　4,191.69　㎡
　本工事以外の部分　－　㎡
　（合計）　4,191.69　㎡　建ぺい率　32.58 %
　ロ.延べ面積　本工事部分　6,309.72　㎡
　本工事以外の部分　－
　（合計）　6,309.72　㎡
　ハ.駐車場床面積　－　㎡
　ニ.エレベーター床面積　32.80　㎡
　ホ.自転車置場床面積　－　㎡
　ヘ.容積対象延べ面積　6,276.92　㎡　容積率　48.79 %

14. 建築面積表

校舎棟・屋内体育館棟	体育倉庫	ゴミ庫	ポンベ庫	合計
4,119.13 ㎡	63.50 ㎡	7.96 ㎡	1.10 ㎡	4,191.69 ㎡

15. 延べ面積表

	校舎棟南	南壁棟	校舎棟東	北壁等	校舎棟北	屋内体育館棟	体育倉庫	ゴミ庫	ポンベ庫	合計
2階	625.38㎡	82.26㎡	1,048.04㎡	54.27㎡	476.96㎡	39.82㎡	ー㎡	ー㎡	ー㎡	2,326.73㎡
1階	665.60㎡	82.26㎡	1,159.78㎡	55.69㎡	854.59㎡	1,092.51㎡	63.50㎡	7.96㎡	1.10㎡	3,982.99㎡
小計	1290.98㎡	164.52㎡	2,207.82㎡	109.96㎡	1,331.55㎡	1,132.33㎡	63.50㎡	7.96㎡	1.10㎡	6,309.72㎡

16. 工事範囲
　○　建築工事
　　Ａ．校舎建設工事
　　Ｂ．屋内体育館棟工事
　　Ｃ．外構工事
　　Ｄ．校舎先行解体工事

○　別途工事
・須賀小学校地域拠点施設建設　電気設備工事
・須賀小学校地域拠点施設建設　機械設備工事
・須賀小学校既存校舎解体　第1・第2校舎解体工事
・須賀小学校地域拠点施設建設　外構工事
・須賀小学校既存体育館改修　体育館解体及び改修工事

・　消防関係概要
用途　：　(16)項イ　複合用途防火対象物(特定防火対象物)　((7)項 小学校、(1)項ロ 集会場、(15)項 学童保育所)
収容人員　：　(7)項　396人　(児童29人×12クラス＋特支児童7人×2クラス ＋ 教職員34人)　棟収容人数　983人
(1)項ロ　573人　(学童保育所の重複を除く)
(15)項　84人　棟収容人数　983人（学童保育所の重複を除く）
階収容人数　1階　1053人、2階　378人
消防設備等　：　消火器、屋内消火栓（7項、1項ロ部分）、屋外消火栓、自動火災報知設備、自動火災報知設備、
消防機関へ通報する火災報知設備（電話）、非常警報設備（放送）、避難器具、誘導灯、防災物品（1項ロ部分）

棟別概要
【新築】　・校舎棟、屋内体育館棟　：準耐火建築物（（イ準耐））
・体育倉庫、ゴミ庫、ポンベ庫　：その他建築物

15. 外部仕上表

■　校舎棟南・東・北、南壁等、北壁等

○　屋根　勾配屋根-A　(一般部)：木母屋 + 合板t12 + 垂木 + 合板t12 + ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞt1.0 + 断熱-B + カラーガルバリウム鋼板t0.4
縦葺き（立馳タイプH=20）　(室内側)　鋼製下地 + GB-Ft12.5 + 仕上
勾配屋根-B1(火熱遮断壁等部)：木母屋 + 合板t12 + 垂木 + 合板t12 + ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞt1.0 + 断熱-C + カラーガルバリウム鋼板t0.4
完全嵌合式平滑葺き　(室内側)　鋼製下地 + GB-Ft21（3枚張り） + 仕上　[国交省告示第227号]
勾配屋根-B2　(延焼配部)：木母屋 + 合板t12 + 垂木 + 合板t12 + ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞt1.0 + 断熱-C + カラーガルバリウム鋼板t0.4
完全嵌合式平滑葺き　(室内側)　鋼製下地 + GB-Ft12.5 + 仕上
勾配屋根-C(テラス、ポーチ部)：木下地 + 構造用合板t12（2枚張り） + 発砲ﾎﾘｽﾁﾚﾝｼｰﾄt2 + 金属防水【不燃NM-1981】

○　外壁　外壁-A-1　：木下地 + 構造用合板t12 + 硬質木片セメント板t18 + 断熱-A + 透湿防水シート + 胴縁t18
+ 軽量セメントモルタルt20（ラス下地） + 外装薄塗材E
外壁-A-2　：木下地 + 構造用合板t12 + 硬質木片セメント板t18 + 断熱-A + 透湿防水シート + 胴縁t18
+ 軽量セメントモルタルt20（ラス下地） + 外装薄塗材E　（色分け）
外壁-B　(火熱遮断壁等部)：木下地 + GB-Ft21（3枚張り） + 断熱-A + 透湿防水シート + 胴縁t18
+ サイディング（フラットウォール）t16 + DP　[国交省告示第227号]
外壁-C　：木下地 + 構造用合板t12 + 硬質木片セメント板t18 + 断熱-A + 透湿防水シート + 胴縁t18
+ ガルバリウム角スパンドレルt0.5
外壁-D　：木下地 + 構造用合板t12 + 硬質木片セメント板t18 + 断熱-A + 透湿防水シート + 胴縁t18
+ 杉羽目板張りt15 + WP塗装

○　軒天　軒天-A　(一般部)：LGS + 硬質木片セメント板t18 + 耐水ラワン板（1類）t9 WP塗装
軒天-B　(耐火コア部)：LGS + GB-Ft21（3枚張り） + 耐水ラワン板（1類）t9 WP塗装　[国交省告示第227号]
軒天-C　(ポーチ部)：LGS + 桧羽目板張りt15 + WP塗装

○　柱　見え掛かり鉄部(ポーチ部、下屋)：溶融亜鉛めっき + 耐火塗料塗（FP060CN-9472）
見え掛かり木部　(ポーチ部)：WP塗装

○　巾木　巾木-A　：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放しの上、撥水材　誘発目地切@2,000以下、ｼｰﾘﾝｸﾞ

■　屋内体育館棟

○　屋根　勾配屋根-A'　：木母屋 + 合板t12 + 垂木 + 耐水合板t12 + ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞt1.0 + 断熱-C
+ カラーガルバリウム鋼板t0.4 + 完全嵌合式平滑葺き
勾配屋根-B'　：木下地 + 構造用合板t24 + 垂木45×90@455 + 耐水合板t12
+ ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞt1.0 +ビーズ発泡ポリスチレン板t60 + カラーガルバリウム鋼板t0.4　定尺横葺き
勾配屋根-C'　：LGS + 耐水合板t12 + ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞt1.0 + カラーガルバリウム鋼板t0.4 完全嵌合式平滑葺き

○　外壁　外壁-A'-1　：コンクリート打放し + A種ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板4号t50 + ガラスメッシュ
+ アクリルシリコン樹脂系塗装
外壁-A'-2　：コンクリート打放し + 断熱-A + 透湿防水シート + 胴縁 + 窯業系サイディング + 外装薄塗材E
（鉄骨下地）
外壁-A'-3　：コンクリート打放し + 断熱-A + 透湿防水シート + 胴縁t18 + 窯業系サイディング + 外装薄塗材E
（木下地）

○　軒天　軒天-A'　(一般部)：軒樋（屋根詳細図参照）
軒天-B'　(下屋)：LGS + 桧羽目板張りt15 + WP塗装

○　柱　見え掛かり鉄部(ポーチ部、下屋)：溶融亜鉛めっき + 耐火塗料塗（FP060CN-9472）

○　巾木　巾木-B　：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放しの上、外装薄塗材Si　誘発目地切@2,000以下、ｼｰﾘﾝｸﾞ

株式会社 東畑建築事務所
TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

設計番号	作成日	種別/備考		工事名称	図面番号
20250043	2026.3			須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	A002
一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 設計概要・外部仕上表 縮尺 A1: A3:	

1 一般共通事項

① 適用

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和７年版」(以下、「標仕」という)による。 及び、「公共建築木造工事標準仕様書(令和７年版)」(以下、「木標仕」という。)による

(2) 項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。

(3) 特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。

(4) 特記事項に記載の( )内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(5) 製造所名は、順不同とし「株式会社」等の記載は省略する。
また「 」内は製品名を示す。

(6) 特記仕様書に記載の「監督職員」とは、工事契約書に基づき、官公庁発注工事においては監督職員、監督員又は監督官をいい、民間発注工事においては監理者をいう。

② 優先順位

設計図書の優先順位は下記による。 (1.1.1)

(1) 質疑回答書((2)～(5)までに対するもの)
(2) 現場説明書
(3) 特記仕様書
(4) 図面
(5) 標準仕様書
(6) **上記いずれも記載なき場合、不明の場合は監督職員の指示による。**

③ 適用図書等

・営繕工事写真撮影要領 令和５年版 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課
・公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和７年版 第９編 昇降機設備工事
⊙建築工事標準詳細図 (国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修 令和４年版)
⊙日本建築学会発行「建築工事標準仕様書・同解説」 (第4～7章に限る)

④ 工事実績情報システム(コリンズ)への登録

工事実績情報(受注時・変更及び完成時)は、あらかじめ監督職員の確認 (1.1.4)を受け、登録機関へ登録する。
(財)日本建設情報総合センター(JACIC)より発行された登録内容確認書を監督員に提出する。

⑤ 書面の書式及び取扱い

(1.1.5)

(1) 書面を提出する場合の書式(工事記録等を含む)は、発注者の指定する書式とする。
発注者の指定がない場合は、東畑建築事務所「監理書類作成要領」による。

(2) 書面により行うこととされる監督職員の「承諾」、「指示」、監督職員との「協議」、監督職員への「報告」及び「提出」については、電子メールや情報共有システム等の情報通信技術を利用する方法を用いて行うことができる。
情報共有システムを運用する場合の機能要件
※ 協議による ・

⑥ 設計図書等の取扱い

本工事設計CADデータの貸与 (1.1.6)
貸与したCADデータは、本工事に必要な施工図作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。
当該CADデータは完成時に全て返却することとし工事受注者において工事期間中に複製または再配布している場合はすべて削除すること。
貸与するＣＡＤデータは設計業務の成果品であり、著作物に該当する場合、著作権法に規定する著作者の権利は設計者に帰属する。

⑦ 遠隔臨場の実施

(1.1.14)
Web会議システムを導入し、発注者や監督職員、設計者等との協議に活用する。
(具体的な実施内容は協議による)

⑧ 品質計画

⊙風圧力及び積雪荷重に対応した品質計画の策定 (1.2.2)
施工計画書の作成に際しては、以下の項目について指定された条件により建築基準法に基づき定まる風圧力(割増の特記がある場合は割増後の風圧力)積雪荷重に対応した品質及び工法を品質計画で定めること。
(但し、外部に用いる場合に限る)

適用項目	ALCパネル・押出成形セメント板工事、石工事(外壁乾式工法)	
	合成高分子系ルーフィング防水工事(機械的固定工法)	
	屋根葺き材及びとい工事	
	アルミニウム製笠木(固定金具)	
	建具工事(鋼製建具、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、ガラスブロック積み、ガラス)	
	カーテンウォール工事	
	金属板帳壁、軒天井、庇、屋根・帳壁下地	
	外壁目隠し壁・手すり	
	その他( )	
風圧力の条件	風速(Vo)	３２ (m/s)
	地表面粗度区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ⊙Ⅲ ・Ⅳ	
積雪の条件	積雪区分	平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域
		埼玉県建築基準法施行令第86条第3項による多雪地域の指定 (別表 30cm) ・あり ⊙なし

⑨ 電気保安技術者

工事現場におく電気保安技術者は、必要な資格又は同等の知識及び経験を証明する資料により、監督職員の承諾を受け、電気工作物の保安業務を行うものとする。 (1.3.3)

⑩ 施工条件明示項目

⊙施工時間 (8 : 00 ～ 18 : 00) ※関係者と協議の上決定 (1.3.5)
⊙その他の条件(別途発注工事との調整を図ること)
工事に先立ち、現況の敷地境界線、地盤レベルを測定し、調整を行うこと
下請け業者の選定に当たっては、可能な限り地元業者とすること。また、元請業者が責任を持って保証できる優良な業者を選定すること
資材は極力、地元にて調達すること
仮囲いの範囲及び作業ｽﾍﾟｰｽ、駐車場所については事前に監督職員と協議決定し、仮囲い周辺、工事車両の出入りについて十分な安全対策を見込むこと。

⑪ 施工中の安全確保

建築基準法、労働安全衛生法、その他関係法令等に定めるところによる (1.3.7)
他「建設工事公衆災害防止対策要綱」に従うとともに「建築工事安全施工技術指針」を参考に常に工事の安全に留意して現場管理を行い、施工に伴う災害及び事故の防止に努める。

⑫ 発生材の処理等

1) 発注者に引き渡しを要するもの (1.3.11)
・ 金属類 ・
2) 特別管理産業廃棄物
種類 処理方法
・ ・
3) 工事現場において再利用及び再生資源化を図るもの
・ ・
4) 1)から 3)以外のものは、全て工事現場外に搬出し、建設リサイクル法、資源有効利用促進法、廃棄物処理法、宅地造成及び特定盛土等規制法その他関係法令等に基づくほか、建設副産物適正処理推進要綱を踏まえ、適切に処理のうえ発注者に報告する。

⑬ 材料の品質等

材料、機器材等の品質及び性能 (1.4.2)
1) 本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合監督職員の承諾を受ける。
3)「国等による環境物品等の調達に関する法律 平成12年 法律第100号(グリーン購入法)」に基づき、環境負荷を低減できる材料の選定に務めること
4) 本工事に使用する材料のうち、5) に指定する材料の製造業者等は、次の①～⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料(外部機関が発行する証明書の写し等)を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。
①品質及び性能に関する試験データを整備していること。
②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③安定的な供給が可能であること。
④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤製造または施工の実績あり、その信頼性があること。
⑥販売、保守等の営業体制が整えていること。
5) 製造業者等に関する資料の提出を定める材料

床型枠用鋼製デッキプレート	鋼製建具	移動間仕切(スライディングドア)
鉄骨柱下無収縮モルタル	鋼製軽量建具	トイレブース
無収縮グラウト材	ステンレス製建具	煙突用成形ライニング材
押出成形セメント板	錠前類	天井点検口
成形伸縮目地材	クローザー類	床点検口
乾式保護材(防水保護材)	自動ドア機構	グレーチング
セラミックタイル	自閉式上吊り引戸機構	屋上緑化システム
既調合モルタル(タイル工事用)	重量シャッター	トップライト
既調合目地材	軽量シャッター	エポキシ樹脂
ルーフドレン	オーバーヘッドドア	外装タイル張り用有機系接着剤
吸水調整剤(モルタル用)	ガラス	ポリマーセメントモルタル
防水材	現場発泡断熱材	ポリマーセメントスラリー
アルミニュウム製建具	フリーアクセスフロア	鋳鉄製ふた/マンホールふた
樹脂製建具	可動間仕切	

(一社)公共建築協会「建築材料・設備機材等品質評価事業」において評価書が発行されている材料

⑭ 化学物質を放散する建築材料等

(1) 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。
1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙はホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
3) 接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
5) 1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。

15 特別な材料の工法

標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
下記の材料・工法ついては品質・性能保証書を提出すること。
・ ・ ・

⑯ 技能士

(1.5.2)

工事種目	技能検定の職種	技能検定作業
仮設工事	とび	⊙とび作業
鉄筋工事	鉄筋施工	⊙鉄筋組立て作業
コンクリート工事	型枠施工	⊙型枠工事作業
	コンクリート圧送施工	⊙コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	鉄工	・構造物鉄工作業
ブロック及び(ALC)	ブロック建築	・CB工事作業
エーエルシーパネル工事	エーエルシーパネル施工	・エーエルシーパネル工事作業
防水工事	防水施工	⊙アスファルト防水工事作業
		⊙ウレタンゴム塗膜防水工事作業
		・アクリルゴム塗膜防水工事作業
		・合成ゴム系シート防水工事作業
		⊙塩化ビニール系シート防水工事作業
		・セメント系防水工事作業
		・シーリング系防水工事作業
		・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業
		・改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業
		・ＦＲＰ防水工事作業
石工事	石材施工	・石張り作業
タイル工事	タイル張り	⊙タイル張り作業
木工事	建築大工	⊙大工工事作業
屋根及びとい工事	建築板金	⊙内外装板金作業
金属工事	内装仕上げ施工	⊙鋼製下地工事作業
	建築板金	⊙内外装板金作業
左官工事	左官	⊙左官作業
建具工事	サッシ施工	⊙サッシ施工
	ガラス施工	⊙ガラス施工
	自動ドア施工	⊙自動ドア施工
	ガラス用フイルム施工	・建築フイルム作業
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	⊙金属製カーテンウォール工事作業
		⊙ビル用サッシ施工作業
		⊙ガラス工事作業
塗装工事	塗装	⊙建築塗装作業
内装工事	内装仕上げ施工	⊙プラスチック系床仕上げ工事作業
		⊙カーペット系床仕上げ工事作業
		⊙木質系床仕上げ工事作業
		⊙ボード仕上げ工事作業
	表装	⊙壁装作業
	熱絶縁施工	⊙吹付け硬質ウレタンフォーム断熱工事作業
排水工事	配管	⊙建築配管作業
舗装工事	路面表示施工	⊙溶融ペイントマーカー工事作業
		⊙加熱ペイントマーカー工事作業
植栽工事	造園	⊙造園工事作業

17 見本施工

・行う(適用箇所) (1.5.5)

⑱ 総合試運転調整

防火設備等について関連する機器と連動させ、設計図書の意図した機能を満たすことを確認する。その他の事項については、監督職員と協議する。 (1.5.7)

⑲ 化学物質の濃度測定

工事の施工完了後、引渡しをするまでの間に、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを報告すること。また報告書の様式等は監督職員との協議による。 (1.5.10)

⑳ 完成図等

(1) 測定時期
※完成時(家具搬入前) ・引渡前(家具搬入後)
(2) 測定対象化学物質
※ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン、
その他(⊙パラジクロロベンゼン)
(3) 測定方法
※パッシブ法(拡散方式) ・アクティブ法(吸引方式)
(4) 測定対象室及び測定箇所数
※図示(内部仕上表) ・

着工時設計図の白焼き製本 A1版×2部 A3版×10部 (1.7.1～2)(表1.7.1)
完成時の提出書類 ※東畑建築事務所「監理書類作成要領」による
・発注者の指定による
完成図の作成方法 ※CAD(CADデータの提出 ※要 ・不要)
・発注者の指定による

㉑ 保全に関する資料

提出部数 ※１部 ⊙(２)部 (1.7.3)

㉒ 工事写真等

下記により工事写真・竣工写真を撮影し、提出する。 (1.2.4)

撮影時期	撮影箇所	提出形式
工事着手前	敷地の状況 (適宜)	Ａ４印刷ファイル綴じ又は電子データ
	周囲建物等の状況 (適宜)	
	監督職員の指示する箇所	2部
工事中	各部配筋や一工程の完了の確認時、及び工事の進捗により、隠ぺい状態となる箇所等、監督職員との協議による	Ａ４印刷ファイル綴じ又は電子データ 2部
竣工時(竣工写真)	⊙内 部 監督職員の指示(120)箇所	アルバム 4部
	⊙外 部 監督職員の指示(80)箇所	バラ 1部
	・上空(ドローン)監督職員の指示( )箇所	
	⊙航 空 監督職員の指示(30)箇所	DVD-ROM 4部

※竣工写真の撮影は、デジタルカメラ2000万画素以上とし、撮影アングルは監督職員の指示による。また、指定の定点写真を撮影すること。
航空写真については、ドローンによる撮影アングルも含むこと。
広報用の工事中写真や工事現場の動画についても適宜記録に残すこと。
※プロジェクトPR用の動画についても作成し、納品すること。
※竣工アルバムは印画紙を使用し、出力解像度は原寸の300dpi以上とする。
製本方法は、印画紙の裏面どうしを貼り付けた中折れ包み製本、又はフォトブックアルバムとする。
※竣工写真の電子データ(DVD-ROM)の提出形式
撮影する写真の内、監督職員の指示する主要なカットは、Ａ３サイズ(長辺4960pixel)のJPEG形式(圧縮最高画質)とし、その他のカットは、キャビネサイズ(長辺2880pixel)のJPEG形式(圧縮最高画質)とする。
※竣工写真として不要なものは電子データの消去、修正を行う。
竣工写真の著作権の権利等について、工事受注者は撮影者との契約にあたって以下の事項を条件とすること。
1.その成果物が「写真の著作物」に該当するかの有無にかかわらず、発注者、設計者、施工者が社内広報誌、業界誌への掲載及び関係取引先への頒布、広報など社内外へ公表することに対してその利用を無償許諾すること。
2.設計者の承諾を得た場合以外は以下の行為をしてはならない。
写真の著作物に該当した場合でも、著作者人格権を行使しないこと。
3.竣工写真を第三者に閲覧させ、複写させ、又は譲渡してはならない。
竣工写真撮影業者 ※建築写真専門の撮影業者で監督職員の承諾を受けた者
(トロロスタジオ・ヘリコ・SS、または同等業者)

㉓ 施工図及び施工計画書

提出した施工図及び施工計画書の著作に係る当該建物に限る利用を無償許諾すること。 (1.2.2～3)

㉔ 設備工事との取合い(総合図の作成)

1) 工事着手に先立ち、又は工事着手と並行して速やかに総合図を作成し、工事に支障のないよう努めること。(平面詳細図・展開図・天井伏図等) (1.2.3)
2) 総合図は、請負者が建築・設備関連工事の全体を把握し、施工図作成の円滑化のために活用することを目的とし、施工図・工作図・製作図などの作成前に完成させる。
3) 総合図の作成要領は以下の通りとする。
a. 総合図原図として建築詳細図(縮尺1/50、平面詳細図、展開図、天井伏図)を作成し、監督職員の承認を受ける。
b. 上記の総合図原図に別途工事の機器等を含む設備機器配置図を記入し、監督職員の承認を受ける。
c. 設備機器配置図の作成にあたっては、事前に各請負者間で位置調整を行うこと。設計変更が必要な場合は、監督職員の指示を受けること。
e. 各請負者間及び別途関連工との調整の結果、総合図の修正が必要な場合は、速やかに訂正を行い、監督職員の承認を得ること。
4) 総合図・施工図等を提出するにあたっては、予めそれらの内容が設計図書と整合しているかの確認を請負者の責任にて行う。
免震構造の場合はクリアランスを考慮し、取り合いを調整して監督職員の承諾を受けること。

株式会社東畑建築事務所
TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

設計番号	作成日	種別/備考		工事名称
20250043	2026.3			須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 特記仕様書 その１ 縮尺 A1: A3:

図面番号 A003

Ver.T0標準-251201

2 仮設工事

①監督職員事務所（設計監理事務所） (2.3.1)

※要（ 30 ㎡ 程度） ・不要

監督職員事務所の仕上げは以下を標準とする。

部位等	仕上
床	タイルカーペット(事務室)及びビニル床シート(水廻り)程度
内壁・天井	石こうボードの上EP塗装程度
屋根	塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り(断熱材付き)程度

必要設備：冷暖房、便所、湯沸室、洗面台、冷蔵庫等、及び女性専用更衣室･便所

監督職員事務所の備品

※ Wi-Fi ルーター（Wi-Fi環境）	⊙ 複合機（LAN対応）（プリンター、コピー、スキャナー）
※ 打合せ机、椅子 （ 10 ）人用	⊙ 事務机、椅子、更衣ロッカー 机・椅子は6ｾｯﾄ （ 10 ）人用
※ 書類棚、図面棚、行事予定表 ファイル・文房具等の必要備品類	※ 堅落制止用器具
※ 長靴、雨合羽 （ 10 ）セット	※ 検査器具等（巻き尺、懐中電灯、他必要器具一式）
⊙ パソコン タブレット型 （ 2 ）台	⊙洗面化粧台、指時計、移動白板、冷蔵庫

⊙公共建築工事標準仕様書（令和7年版）建築・電気設備・機械設備工事編

⊙公共建築木造工事標準仕様書（令和7年版）

各機器の仕様については監督職員と協議の上、最終決定すること。

②工事用水 構内既存の施設 ※利用できない ⊙利用できる（ ※有償 ・無償）

③工事用電力 構内既存の施設 ※利用できない ⊙利用できる（ ※有償 ・無償）

④仮囲い等

・仮囲い 設置個所 （※図示 ・敷地四周） ※ H = 1800・H= 3000・

仕様(※図示 ⊙万能板（フラットパネル）)

・ シートゲート （ H= W= ） × 箇所

⊙ パネルゲート （ H＝1,800 W＝6,000 ） × 2 箇所

⊙ 交通誘導員（必要延べ人数）※ 延べ 880 人・日 ・

第三者に対して、安全かつ工事の進捗が確認できる開口部を設けること

イメージアップ景観対策

仮囲い壁面にインクジェット印刷シートを貼り付け（A3サイズ500枚程度）

工事開始前に仮囲いWS（別途）にてデザインしたものをプリントする

⑤工事表示板 標示事項 工事名称、建築主名、受注者名、設計監理事務所名等を明記する。

表示板の大きさ取付位置は監督職員の指示による。

完成予想図 ⊙要(1200×900 程度、 6 ヶ処) ・不要

3 土工事

①埋戻し及び盛土 (3.2.3)(表3.2.1)

・材料（ 根切り土の中の良質土 ） （工法 機器による締固め ）

※標仕 表 3.2.1による

種別

・A種 適用箇所（ ）

⊙B種 適用箇所（ 全て ）

・C種 適用箇所（ ）土質（ ）受渡場所（ ）

・D種 適用箇所（ ）

②建設発生土の処理 (3.2.5)

・構外搬出適切処理 （処分先：○○○ ）

・構内指示の場所にたい積 ・構内指示の場所に敷き均し

3 山留めの撤去 (3.3.3)

※撤去する

・存置する （範囲： ）

④根切り底 支持地盤の確認（直接基礎の場合） (3.2.1)

地盤をかく乱した場合の処置

※監督職員の承諾を受け以下のいずれかの処置を適切に行うこと

⊙地盤改良 ・コンクリート打設 ⊙砂質土と置き換え締め固め

4 地業工事 5 鉄筋工事 6 コンクリート工事 7 鉄骨工事

構造特記仕様書による。

8 コンクリートブロック工事・ALCパネル・押出成形セメント板工事

4 押出成形セメント板（ＥＣＰ） (8.5.1～5)(表8.5.1～2)

種類	表面形状	厚さ(mm)	幅(mm)	構造種別
・外壁パネル	※フラットパネル	・50 ・60 ・	※600 ・	・A種
	・デザインパネル	・50 ・60	※600 ・	・B種
	・タイル下地パネル	・62 ・	※600 ・	
・間仕切壁パネル	※フラットパネル	・50 ・60	※600 ・	・B種
	・デザインパネル	・50 ・60	※600 ・	・C種
	・タイル下地パネル	・62 ・	※600 ・	

パネル幅の最小限度 ※300mm ・（ ）mm

耐火構造は建築基準法に基づき国土交通大臣の認定を受けたものとする。

耐火構造以外の目地及び隙間の処理

※パネルの製造所の仕様による ・

役物の有無 ・有り（ ） ・無し

パネル相互の目地幅

パネル幅900mm以下の場合 長辺の目地幅 ・10mm以上 ・図示

短辺の目地幅 ・15mm以上 ・図示

パネル幅900mmを超える場合 長辺の目地幅 ・15mm以上 ・図示

短辺の目地幅 ・15mm以上 ・図示

耐火構造の目地幅は、建築基準法に基づき国土交通大臣の認定を受けたものとする。

出隅及び入隅のパネル接合部の伸縮目地幅

※15mm程度（シーリング材充填）・図示

外壁パネル工法の2次防水仕様 ※適用する ・適用しない

外壁パネル構法の耐風圧性能

※建築基準法により定まる風圧力の（※1.0 ・ ）倍の風圧力に対応した工法

外壁パネル構法の耐震性能

設計用震度 水平方向（KH） ※1.0 ・（ ）

鉛直方向（KV） ※0.5 ・（ ）

間仕切パネル構法の耐震性能

設計用震度 水平方向（KH） ※1.0 ・（ ）

鉛直方向（KV） ※0.5 ・（ ）

取付け金物の耐火被覆・行う（適用箇所： ）・行わない

パネルの欠き込み パネルにやむを得ず欠き込みを行う場合は、欠損部を考慮して強度計算を行い、安全を確認すること。

ドレンパイプ ※SUS304 径8mm 逆流防止弁付

高さ60mを超える建物の外壁に使用する工法 ※材料製造所の指定工法による

製造所：

9 防水工事

①アスファルト防水 (9.2.2～5)(表9.2.3～10)

⊙屋根保護防水

防水層種別	施工箇所	断熱材の種類及び厚さ(mm)	絶縁用シート
・Ａｉ－１		※押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA（スキン層付） 厚さ ・35 ・40 ※50 ・60 ・	※フラットヤーンクロス70g/㎡程度 ・
⊙Ａｉ－２			
・Ａｉ－３			
・Ｂｉ－１			
・Ｂｉ－２			
・Ａ－１			※ポリエチレンフィルム厚0.15mm以上又はフラットヤーンクロス70ｇ/㎡程度
・Ａ－２			
・Ａ－３			
・Ｂ－１			
・Ｂ－２			

体育館機械置き場→

立上り部の保護方法 (9.2.5)

・乾式保護材（・押出成形セメント板（厚さ15mm）・ ）

※図示

⊙屋根露出防水

防水層種別	施工箇所	断熱材の種類及び厚さ(mm)	仕上塗料
・Ｄｉ－１		※硬質ウレタンフォーム断熱材2種 ・1号 ※2号 厚さ ・25 ・35 ※50 ・ 厚さ ・	※アクリル樹脂エマルション系塗料 ・ （使用量は製造所の仕様による）
※Ｄｉ－２			
・Ｄ－１			
・Ｄ－２			

体育館上記以外→

高日射反射率防水の適用 （屋根露出防水の場合）

・有（施工箇所 ） ・無

・屋内防水

防水層種別	施工箇所	保護層
・Ｅ－１		・ 設ける（図示） ・ 設けない
・Ｅ－２		・ 設ける（図示） ・ 設けない

アスファルト防水の保証年限 ※10年間 ・

2 改質アスファルトシート防水 (9.3.2～4)(表9.3.1～3)

防水層種別	施工箇所	断熱材の種類及び厚さ(mm)	防湿シート	仕上塗料
・ ASI-T1		※硬質ウレタンフォーム 断熱材2種 ・1号 ※2号 厚さ ・25 ・35 ※50 ・ 厚さ ・	・設ける（製造所の仕様による） ・設けない	※アクリル樹脂エマルション系塗料 ・ （使用量は製造所の仕様による）
・ ASI-J1				
・ AS-T1				
・ AS-T2				
・ AS-T3				
・ AS-T4				
・ AS-J1				

高日射反射率防水の適用

・有（施工箇所 ） ・無

脱気装置の種類及び設置数量は改質アスファルトシートの製造所の仕様による。

改質アスファルトシート防水の保証年限 ※10年間 ・

3 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2～4)(表9.4.1～3)

防水層種別	施工箇所	断熱材の種類及び厚さ(mm)	歩行仕様	仕上塗料
・ S-F1			※非歩行 ・軽歩行	※製造所の仕様による
・ S-F2				
・ S-M1				
・ S-M2				
・ SI-F1		※硬質ウレタンフォーム 断熱材2種 ・1号 ※2号 厚さ ・25 ・35 ※50 ・ 厚さ ・		
・ SI-F2				
・ SI-M1				
・ SI-M2				

高日射反射率防水の適用

・有（施工箇所 ） ・無

・屋内防水

防水層種別	施工箇所	保護層	立上り部の保護モルタル塗厚
・S-C1		・ 図示 ・	※図示 ・

接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量

※ルーフィングシートの製造所の仕様による ・図示

機械的固定方法の場合の耐風圧性能

※建築基準法により定まる風圧力の（※1.0 ・ ）倍の風圧力に対応した工法

合成高分子系ルーフィングシート防水の保証年限 ※10年間 ・

④塗膜防水 (9.5.2～4)(表9.5.1～2)

防水層種別	施工個所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	保護層
・X-1	・	・高反射塗料 ⊙高耐候性 ・	※主材料の製造所の仕様による ・	
⊙X-2	⊙庇			
・Y-1	・地下外壁防水 ・			
・Y-2	・屋内防水 （ ）			※図示 ・

脱気装置(種別がX-1工法の場合) (9.3.2)

脱気装置の種類及び設置数量は塗膜防水材料の製造所の仕様による。

高日射反射率防水の適用（種別がX工法の場合）

・有（施工箇所 ） ・無

塗膜防水の保証年限（地下外壁防水を除く） ※10年間 ・

参考：ｱｰｷﾔﾏﾃﾞ「ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水 ｱｸｼｽｺｰﾄ(密着工法)AXﾄｯﾌﾟｼﾘｺﾝN」、又は同等品

⑤ケイ酸質系塗布防水 (9.6.2～4)(表9.6.1)

種別	施工個所
標仕表9.6.1の ※C-SUI	ピット内防水
・C-SUP	

防水の下地（壁及び天井） ※コンクリート打放仕上げB種 ・

コンクリート打継箇所の処理 ※標仕 9.6.4(2)(ア)による ・

ケイ酸質系塗布防水の保証年限 ⊙ 10 年間

参考：保土谷ﾊﾞﾝﾃﾞｯｸｽ建材「ﾊﾞﾝﾃﾞｯｸｽS＋P」、又は同等品

⑥その他の防水（標仕以外の工法）

種別	施工箇所	製造所・型式等
⊙金属防水	1/20以下の緩勾配屋根部分	
・		

製品仕様や設計施工基準等は防水製造所の仕様による

使用量等は防水製造所の仕様による。

保証年限

種別（ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ(亜鉛ﾒｯｷ鋼板) ） ⊙ 10年間

種別（ ） ・ 年間

参考：栄住産業「ｽｶｲﾌﾟﾛﾑﾅｰﾄﾞ(ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ)」、又は同等品

⑦シーリング 種類及び施工箇所：下表以外は、標仕表9.7.1による。 (9.7.2～5)(表9.7.1)

施工箇所	シーリング材の種類(記号)
ガラス取合	シリコーン系 (SR-1)
金物	変成シリコーン系 (MS-2)
タイル+タイル	ポリサルファイド系 (PS-2)
ｺﾝｸﾘｰﾄ+ｺﾝｸﾘｰﾄ(仕上なし)	ポリサルファイド系 (PS-2)
ｺﾝｸﾘｰﾄ+ｺﾝｸﾘｰﾄ(仕上あり)	ポリウレタン系 (PU-2)

シーリング材の目地寸法： 図示以外は標仕9.7.3(1)による。

接着性試験

※簡易接着性試験 ・引張接着性試験

（部位 ）

シーリング材の保証年限 ※5年間

（但し外部に施工するシーリング材で防水性能を維持する部分）

⑧水張り試験 試験箇所 （⊙テラス・バルコニー部分 ）

試験方法 ドレン廻りをルーフィング類やウェス類で仮の蓋をし、防水層の立上がり端部を越えないように水を張り、24時間以上そのままにしておいた後、周辺や下階への漏れの有無を確認する。

10 石工事

1 石材の創付け 石材の創付 ※図示 (10.1.3)（表10.1.1）

水平打継ぎ部、異種下地の取り合い部等は、原則として１枚の石材をまたいで取り付けてはならない。

止むを得ず取り付ける場合は、工法を監督職員と協議し、承諾を得ること。

2 石材等 ・天然石 (10.2.1)(表10.2.1～2)

施工箇所等	石の種類	産地・名称	厚さ(mm)	仕上げの種類

石材は上記により見本品提出の上決定する。

・

3 外壁湿式工法 (10.3.1～3) (10.2.2) (表10.2.3)

外壁の湿式工法（石厚70mm以下の石材を１階の腰壁または根石部分に取付ける工事）に適用する。

受金物 材質 ※ 図示 ・ステンレス(SUS304)製

形状・寸法 ※ 図示 ・

アンカーの材質・寸法

材質： SS400 寸法： ※ 図示 ・

あと施工アンカーの種類、材質及び寸法

種類： 材質： 寸法：

上記以外の金物の材質、形状・寸法

石材の厚さ(mm) ・ ・

石裏面処理 ※適用する（小口共） ・適用しない

裏打ち処理 ・適用する

浸透性吸水防止剤 ・適用する

浸透性吸水防止剤を適用する箇所は、裏面処理は行わない。

下地ごしらえ ※あと施工アンカー 横筋流し工法

・あと施工アンカー工法

目地 一般目地 目地幅 ※図示（ 6mm以上）

シーリング材 ・適用する ・適用しない

伸縮調整目地 位置 ※ 6m程度ごと

シーリング材の目地寸法

※ 図示（幅・深さとも10mm以上）

・

4 内壁空積工法 (10.4.1～3) (10.2.2)(表10.2.3)

内壁の空積工法(石厚70mm以下の石材を高さ4m以下の内壁に取り付ける工事)に適用する。

受金物 材質 ※ 図示 ・ステンレス(SUS304)製

形状・寸法 ※ 図示 ・

アンカーの材質・寸法

材質： SS400 寸法： ※ 図示 ・

あと施工アンカーの種類、材質及び寸法

種類： 材質： 寸法：

上記以外の金物の材質、形状・寸法

石材の厚さ(mm) ・ ・

株式会社東畑建築事務所
TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

設計番号	作成日	種別/備考		工事名称
20250043	2026.3			須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 特記仕様書 その２ 縮尺 A1: A3:

図面番号 A004

石裏面処理　※適用する（小口共）　・適用しない
裏打ち処理　・適用する
浸透性吸水防止剤　・適用する
浸透性吸水防止剤を適用する箇所は、裏面処理は行わない。
下地ごしらえ　※あと施工アンカー 横筋流し工法
・あと施工アンカー工法
目地　一般目地　目地幅　※図示（ 6mm以上）
シーリング材　・適用する　・適用しない
伸縮調整目地　位置　※ 6m程度ごと
シーリング材の目地寸法
※ 図示（幅・深さとも10mm以上）
・

5 外壁乾式工法

（10.5.1～3）（10.2.2）（表10.2.4）
外壁の乾式工法（石厚70mm以下の石材を高さ31m以下の建物の外壁に取付ける工事）に適用する。
乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等
※標仕 表10.2.4による
方式　・スライド方式　・ロッキング方式　・図示による
アンカーの材質・寸法
材質：　ステンレス（SUS304）製　寸法：※ 図示　・
あと施工アンカーの種類、材質及び寸法
種類：　材質：　寸法：
上記以外の金物の材質、形状・寸法
・図示による　・
石材の厚さ(mm)　・　・
だぼ用の穴の位置　※ 標仕10.5.2(2)(ｱ)による　・図示
幅木の取付　※ 標仕10.3.3(3)(ｱ)による　・図示
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
浸透性吸水防止剤　・適用する
目地　※ シーリング　・ 空目地　・図示
目地幅　※ 図示（8mm以上）　・
シーリング材　※適用する（ 標仕9.7による）　・適用しない
外壁の耐風圧性能
※ 建築基準法により定まる風圧力の(※1.0 ・)倍の風圧力に対応した工法

6 内壁乾式工法

内壁の乾式工法（高さ31m以下の建物の内壁）に適用する。
特記以外は、標仕10.5.1～3 外壁乾式工法を適用する。

7 床及び階段の石張り

（10.6.2～3）
床石張り
石裏面処理(小口共)　※適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する
浸透性吸水防止剤　・適用する
浸透性吸水防止剤を適用する箇所は、裏面処理は行わない。
目地
一般目地　・セメントモルタル　・ シーリング
目地幅　※ 屋外 4mm以上、屋内 3～6mm　・図示
伸縮調整目地
位置　※ 床面積30㎡程度ごと、細長い通路の場合6m程度ごと及び他の部材と取合う箇所
・ 図示
シーリング材の目地寸法
※ 幅・深さとも10mm以上　・図示
階段張り
石裏面処理(小口共)　※適用する　・適用しない
浸透性吸水防止剤　・適用する
浸透性吸水防止剤を適用する箇所は、裏面処理は行わない。
表面仕上がりの確認
磨き仕上げの場合、耐滑り性試験値(JIS A 1509 :CSR値に準ずる)等データを監督職員に提出し、承諾を得ること。

8 特殊部位の石張り

（10.7.2～3）
笠木、甲板等の石張り
施工箇所　※ 図示　・
取付け工法　・ 湿式工法　・ 乾式工法
取付け金物　標仕10.2.2による
アンカーの材質・寸法
材質：　ステンレス（SUS304）製　寸法：※ 図示　・
上記以外の金物の材質、形状・寸法
・図示による　・
乾式工法の場合の取付代　※70mm程度　・
石裏面処理(小口共)　・適用する
浸透性吸水防止剤　・適用する
浸透性吸水防止剤を適用する箇所は、裏面処理は行わない。
乾式工法の場合の裏面の補強用モルタル　・適用する

11 タイル工事

①伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

（11.1.3）(表11.1.1)
位置　※ 図示及び標仕表11.1.1による　・図示
目地寸法　※ 図示

②タイルの品質・種類

（11.2.2）(11.3.2)

施工箇所・名称	形状・寸法(mm)（品名・品番）	吸水率による区分	釉薬	色	役物の有無	耐凍害性の有無
床ﾀｲﾙA	300□	⊙Ⅰ類・Ⅱ類・Ⅲ類	⊙施釉・無釉	⊙標準・特注	・有 ○無	○有 ・無
床ﾀｲﾙB	150□	⊙Ⅰ類・Ⅱ類・Ⅲ類	⊙施釉・無釉	⊙標準・特注	・有 ○無	○有 ・無
抗菌床ﾀｲﾙ	600×850	⊙Ⅰ類・Ⅱ類・⊙Ⅲ類	・施釉 ⊙無釉	⊙標準・特注	・有 ○無	・有 ○無
壁ﾀｲﾙA	10□ネット張	⊙Ⅰ類・Ⅱ類・Ⅲ類	⊙施釉・無釉	⊙標準・特注	・有 ○無	・有 ○無
壁ﾀｲﾙB	100□	・Ⅰ類・Ⅱ類・⊙Ⅲ類	⊙施釉・無釉	⊙標準・特注	・有 ○無	・有 ○無
壁ﾀｲﾙC（学童のみ）	295×70	⊙Ⅰ類・Ⅱ類・Ⅲ類	⊙施釉・無釉	⊙標準・特注	・有 ○無	○有 ・無
壁ﾀｲﾙD（ﾄｲﾚ廻、流し台前）	227×60	⊙Ⅰ類・Ⅱ類・Ⅲ類	⊙施釉・無釉	⊙標準・特注	・有 ○無	○有 ・無
壁ﾀｲﾙE	50□	・Ⅰ類・Ⅱ類・⊙Ⅲ類	⊙施釉・無釉	⊙標準・特注	・有 ○無	・有 ○無

役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う(種類　)
タイルの試験張り　※行わない　・行う
床用タイルの防滑性
耐滑り性試験値(JIS A 1509 :CSR値)等のデータを監督職員に提出し、承諾を得ること。
参考：
床ﾀｲﾙA 名古屋ﾓｻﾞｲｸ「ﾐｽﾄﾗｰﾆｭ」、
床ﾀｲﾙB 名古屋ﾓｻﾞｲｸ「ｼﾞｬﾝﾌﾟﾌﾛｱｰ」、
抗菌床ﾀｲﾙ TOTO「ﾊｲﾄﾞﾛｾﾗ・ﾌﾛｱPU」、名古屋ﾓｻﾞｲｸ「ﾚｽﾄｰﾙｾﾗﾐｯｸ」　又は同等品
壁ﾀｲﾙA LIXIL「ｼﾞｭｴﾘｰﾓｻﾞｲｸ」、名古屋ﾓｻﾞｲｸ「ｱｰﾄﾓｻﾞｲｸ施ゆう10角」　又は同等品
壁ﾀｲﾙB LIXIL「ﾐｽﾃｨﾊﾞﾚｯﾄ」、名古屋ﾓｻﾞｲｸ「ﾌﾟﾗｲﾑﾊﾟﾌﾟﾘｶ」　又は同等品
壁ﾀｲﾙC 名古屋ﾓｻﾞｲｸ「ｱｲｽﾗﾝﾄﾞ」、　又は同等品
壁ﾀｲﾙD 名古屋ﾓｻﾞｲｸ「ﾐｽﾃｰﾙ」、　又は同等品
壁ﾀｲﾙE LIXIL「ｱｺﾙﾃﾞｨﾑ」、名古屋ﾓｻﾞｲｸ「ﾌﾟﾗｲﾑﾊﾟﾌﾟﾘｶ」　又は同等品

④有機系接着剤によるタイル張り

（11.3.1～6）(表11.3.1～2)
施工箇所
⊙内装壁タイル
・外装壁タイル
外装壁タイルの工法
※タイル製造所による標準工法（有機系下地調整材による下地調整）
下地コンクリート素地面の処理方法
コンクリート打放し仕上げB種、コンクリートの仕上がり平坦さはａ種とし高圧水洗工法（～50Mpa程度）を行い、表面の付着物や脆弱部を除去する。
・標準仕様書に基づく工法（セメント系下地調整塗材による下地調整）
セメント系下地調整塗材塗りは、標仕15.3.5(4)(ｲ)による。
コンクリート素地面の処理方法
※ 目荒し工法　（超高圧水洗（150MPa程度））　（15.3.4.(4)）
コンクリート打放し仕上げはB種、コンクリートの仕上がり平坦さはａ種とし表面の目荒しを行う。
・MCR工法　(6.8.2(5))
外装壁タイルの目地詰め　※行う　・ 行わない
外装タイル施工記録の提出
工事完成時には定期報告用の下記各施工記録を提出する。
施工記録一覧、仕上表、下地補修範囲図、下地確認、タイル割りプロセス検査引張検査記録図、工事写真、外観目視・打診検査及び張替え範囲図

5 その他のタイル張り工法

（標仕以外の工法）
・ 外装タイル乾式工法
タイル製造所及び製造所の仕様の種別等
・

12 木工事

①一般

ホルムアルデヒド放散量　(12.2.1)
※標仕12.2.1(1)(ｳ)のいずれかとする。

②製材

(12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)
⊙下地用製材　JAS 1083-5 に基づく「下地用製材」

施工箇所	等級	寸法(mm)	含水率	保存処理	備考
外部に面する部分→ 桧	※2級 ・	図示	※A種・B種	K2	
上記以外→ 杉	※2級 ・	図示	※A種・B種	K3	

⊙造作用製材　JAS 1083-2 に基づく「造作用製材」

施工箇所	等級	寸法(mm)	含水率	保存処理	備考
見え掛り面	※上小節	図示	※A種・B種	K2	
見え掛かり面以外	※小節以上	図示	※A種・B種	K1	
不透明塗料の塗装面	・小節	図示	※A種・B種	－	

・広葉樹製材　JAS 1083-6 に基づく「広葉樹製材」

施工箇所	等級	寸法(mm)	含水率	保存処理	備考
	※１等・	図示	※10%以下・		
	※１等・	図示	※10%以下・		

・JAS 1083以外の製材

施工箇所	材面の品質	寸法(mm)	含水率	防虫処理	備考
	造作材の場合 ※A種 ・B種	図示	※A種 ・適用する ・B種 ・適用しない		

外壁-E　杉下見板張り 厚15　芯材 本実糸面取り 節有　巾120程度
参考 ： ﾁｬﾈﾙｵﾘｼﾞﾅﾙ「T&G Panel（屋久杉地杉）」、又は同等品

③樹種

樹種は、特記なき限り標仕12.4.1、12.5.1,12.6.1、12.7.1による。
⊙代用樹種の適用
※ 下地材　米つが、北洋えぞ松、ひのき、米松、米ひば、米ひ
・ 造作材　米つが、スプルース、米ひば、米松、米ひ、台ひ

④造作用集成材

⊙造作用集成材　JAS 1152（集成材）に基づく「造作用集成材」　(12.2.1(3))

施工箇所	樹種名	仕上げ	見付け材面	寸法(mm)	見付け材面の品質
図示	杉、桧 ﾀﾓ	※仕上材（塗装）・未仕上材	※図示	※図示	※1等 ・2等

・化粧ばり造作用集成材　JAS 1152（集成材）に基づく「化粧ばり造作用集成材」

施工箇所	樹種名	仕上げ	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面	寸法(mm)	見付け材面の品質
	化粧薄板 芯材	※仕上材（塗装）・未仕上材		※図示	※図示	※1等 ・2等
	化粧薄板 芯材	※仕上材（塗装）・未仕上材		※図示	※図示	※1等 ・2等

・JAS 1152（集成材）以外の「造作用集成材」

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率
		※図示		※15%以下・
		※図示		※15%以下・

・JAS 1152（集成材）以外の「化粧ばり造作用集成材」

施工箇所	樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率
	化粧薄板： 芯材：		※図示	※図示	※15%以下・

5 造作用単板積層材

(12.2.1(4))
・造作用単板積層材　JAS 0701（単板積層材）に規定する「造作用単板積層材」

施工箇所	寸法(mm)	表面の品質（表面の化粧加工）	防虫処理の適用
	※図示	・有(加工：・天然木化粧加工・塗装加工) ・無(等級：・1等・2等・3等)	・有 ・無

・上記以外の造作用単板積層材（「単板積層材の日本農林規格」以外）

施工箇所	寸法(mm)	表面の品質（表面の化粧加工）	含水率	防虫処理の適用
	※図示	・有(加工：・天然木化粧加工 ・塗装加工) ・無(等級：・1等・2等・3等)	※14%以下 ・	・有 ・無

6 直交集成板(CLT)

(12.2.1(5))
・直交集成板　JAS 3079（直交集成材）に基づく「直交集成板（CLT）」
品名、強度等級、種別、接着性能、樹種名及び寸法等は図示による。
施工箇所：

12 木工事

⑦合板等

⊙下地用普通合板　JAS 0233（合板）に規定する「普通合板」　(12.2.1(6))

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	板面の品質	単板の樹種名	防虫処理の適用
図示	※5.5 ⊙図示	※1類・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	杉	⊙有 ・無

⊙下地用構造用合板　JAS 0233（合板）に規定する「構造用合板」

施工箇所	厚さ(mm)	等級	板面の品質	単板の樹種名	保存処理の適用	防虫処理の適用	強度等級の適用
図示	※12 ・	・1級 ※2級以上	※C-D以上 ・	杉	⊙有 ・無	⊙有 ・無	・有 ※無

接着の程度　常温湿潤状態となる場所での使用　※特類　・
その他の場合　※Ⅰ類以上　・
・化粧ばり構造用合板　JAS 0233（合板）に規定する「化粧ばり構造用合板」

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	防虫処理の適用	備考
	・		・有 ・無	

接着の程度　常温湿潤状態となる場所での使用　※特類　・
その他の場合　※Ⅰ類以上　・
・天然木化粧合板　JAS 0233（合板）に規定する「天然木化粧合板」

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理の適用	化粧板に使用する単板の樹種名	備考
	・	・1類 ・2類	・有 ・無		

・特殊加工化粧合板　JAS 0233（合板）に規定する「特殊加工化粧合板」

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用
	・	・1類 ・2類		・オーバーレイ ・プリント ・塗装	・有 ・無

・パーティクルボード　JIS A 5908（パーティクルボード）による

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ(mm)
	※素地(研磨品)・	※13タイプ・	※MR1(M)又はMR2(P)・	※15 ・

・構造用パネル　JAS 0360（構造用パネル）による

施工箇所	厚さ(mm)

・ミディアムデンシティファイバーボード（MDF） JAS A 5905（繊維板）による

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分
		・DV ・DO ・DC	※25 ・	・MR1(M)・MR2(P)

⑧接合具等

(12.2.2)(表12.2.3～5)
造作材の化粧面の釘打ち
※隠し釘打ち　・釘頭埋め木　・つぶし頭釘打ち　・釘頭現し
諸金物の形状、寸法及び材質
※標仕 12.2.2(2)(ｱ)による　・

⑨防腐・防蟻処理等

・工場における薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理　(12.3.1～2)

適用部材	保存処理性能区分
	・K2 ・K3 ・K4
	・K2 ・K3 ・K4

⊙薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
FL＋1000までの範囲	※薬剤の製造所の仕様	※JIS K 1571に適合又は同等の性能
(柱、土台、合板)	※薬剤の製造所の仕様	・

薬剤　ﾎｳ酸防腐防蟻剤：日本ﾎﾞﾚｲﾄ「ﾎﾞﾛﾝdeﾎﾞｰﾄﾞ」、又は同等品
・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理
適用部位：（　）
・合板等の加圧注入による防腐・防蟻処理
適用部位：（　）
・防虫処理
適用部位：（　）
ラワン材及びひならを使用する場合は、JAS1083-6に基づく保存処理の性能区分K-１の防虫処理を行う。

株式会社東畑建築事務所
TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

設計番号	作成日	種別/備考		工事名称	図面番号
20250043	2026.3			須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	A005
一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 特記仕様書　その３ 縮尺　A1: A3:	

Ver.TO標準-251201

10 不燃処理木材等

・不燃材料　適用部位：（　　）(12.3.3)
・準不燃材料　適用部位：（　　）
・難燃材料　適用部位：（　　）
製造所：
不燃処理木材等に発華防止の為ウレタンクリア塗装を行う場合は塗装共で認定を取得したものとする。

11 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造等の内部間仕切軸組及び床組

木材（製材を用いる場合）(12.4.1～2)(表12.4.1)
間仕切軸組の木材　※杉又は松　・
床組（一般部）　※杉又は松　・
床組（土間スラブ類の場合の土台等）※ひのき又は保存処理木材
縁甲板及び上がりがまち　※ひのき　・
窓、出入口その他(12.5.1～2)(表12.5.1)
※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は杉又は松
床板張り　※ひのき(12.6.1～2)(表12.6.1)
壁及び天井下地　※杉又は松(12.7.1～2)(表12.7.1)

13 屋根及びとい工事

①長尺金属板葺　(13.2.2～3)(表13.2.1～2)

屋根葺形式	長尺金属板の種類	板厚(mm)
⊙嵌合式立ﾊｾﾞ葺 ⊙嵌合式平滑葺 ⊙定尺横葺 ・ ・ ・	※塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3322) ・塗装ステンレス鋼板(及び鋼帯JIS G 3320) ・	⊙0.4 ・

塗装の種別　・ふっ素樹脂塗装　⊙ カラーガルバリウム鋼板
下葺材料　⊙製造所指定材料
・アスファルトルーフィング940
・ 改質アスファルトルーフィング下葺材
（・一般タイプ　・粘着層付タイプ）
耐風圧性能
※ 建築基準法により定まる風圧力の(※1.0 ・　)倍の風圧力に対応した工法
断熱材　⊙製造所指定材料　・発泡ポリエチレンシート
屋根耐火性能：　３０分準耐火（一部90分耐火）
熱膨張対策　⊙行う(製造所指定工法)　・行わない
雪止め対策　⊙設置する（図示）　・設置しない
屋根防水性能保証(製造所･施工者連名保障)：　⊙10年間　・
参考：勾配屋根_元旦ﾋﾞｭｰﾃｨｰ工業「TRX-4、MA-7、ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞﾙｰﾌ800D」、三晃金属「立馳SX-40」又は同等品

③とい　材種(13.5.1～3)(表13.5.1～4)
たてどい及び横走り管の材質
・配管用鋼管(白管)⊙硬質ポリ塩化ビニル管(VP)　・ステンレス管
・耐火二層管　⊙アルミニウム合金押出型材　・
⊙ 表面処理鋼板（ ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板　）
とい受金物及び足金物　※溶融亜鉛めっきを行ったもの
多雪地域の場合の軒樋の取付間隔　・ 0.5m以下　・図示
鋼管製といの防露巻　※標仕表13.5.4による。
掃除口　横走り管が長い、曲がりが多いなどで詰まりやすい箇所は掃除口を設ける。
軒どい　・硬質塩化ビニル ⊙表面処理鋼板（ ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板　）
硬質ポリ塩化ビニル管(VP)製といの下がり止めは、といの製造所の仕様により固定する。
TA(ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ製)→　参考：ﾀﾆﾀﾊｳｼﾞﾝｸﾞ「ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ丸たてとい・角たてとい」、又は同等品
TB(ｱﾙﾐﾆｳﾑ製)→　参考：井上商事「ｱﾙたてとい 140φ」、又は同等品

④ルーフドレン　(13.5.2)
⊙ろく屋根用 ⊙たて形　⊙横形)　材種：※ 鋳鉄製　・ステンレス製
⊙バルコニー用　材種：※ 鋳鉄製　・ステンレス製
⊙バルコニー中継用　材種：※ 鋳鉄製　・ステンレス製

⑤オーバーフロー管　ステンレス製既製品 φ75 ごみ防止ﾒｯｼｭ付露出防水用
参考：　ｶﾈｿｳ「ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ管 OS-1」、又は同等品
設置場所：　各棟バルコニー・テラス部分　各2ヶ所

14 金属工事

①一般事項　ステンレス鋼板は、図中特記以外はSUS304とする。(14.1.3)
⊙金属板の曲げ加工端部処理
※原則として四周とも折り曲げ(小口部蓋付)とする
・
⊙外装金属板の裏面結露防止措置
※行う　(仕様：ｸﾞﾗｲﾄ 厚3 吹付　)
⊙金属板の継目処理
屋内
⊗目地棒(材質※ステンレス　・　)
⊙空目地　・シーリング　・
屋外
※シーリング　・
・見本の製作
※行う(適用箇所：　)
あと施工アンカーの引張試験
※行う(適用箇所：　)

②ステンレスの表面仕上げ

種　類	施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)
⊗Ｈ Ｌ程度	下記以外の見え掛かり全て
⊙No.２Ｂ程度	床見切
・鏡面仕上げ	
・	

③アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理　(14.2.1)(表14.2.1)

種　別	色合い等	施工箇所（成形板、笠木建具、CW以外）	JISの種類 皮膜の種類
・BA－1種	無着色		JIS H 8602
・BA－2種	・標準色　・特注色		A2(過酷な環境)
・BB－1種	無着色		JIS H 8602
⊙BB－2種	⊙標準色　・特注色	図示	B(外部一般)
・	・		
・BC－1種	無着色		JIS H 8602
・BC－2種	・標準色　・特注色		C(屋内)
・C種	化成皮膜の上に塗装 (　　)樹脂系塗装 ・メタリック色・ソリッド色		JIS H 4001による焼付塗装板(カラーアルミ)
・着色塗膜	(　　)樹脂系焼付塗装 ・メタリック色・ソリッド色		(軽金属製品協会規格)

陽極酸化被膜の着色方法　※二次電解着色　・

④鉄鋼の亜鉛めっき　(14.2.2)(表14.2.2)

表面処理方法	種　別	施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)
溶融亜鉛めっき	⊙A種	室外機置場、ﾋﾞﾛﾃｨ柱、屋外渡り廊下 等
	⊙B種	渡り廊下屋根受材、庇受材
	※C種	
電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

鉄骨工事の部材の溶融亜鉛めっきは、別図（構造特記仕様書 第7章.鉄骨工事 16.溶融亜鉛めっき工法）の記載による。

⑤軽量鉄骨天井下地
野縁などの種類　(14.4.2～4)(表14.4.1～2)
屋内　※19型　・25型
屋外　・19型　※25型(耐風圧型)
屋外の場合の形式及び寸法
野縁受け、つりボルト、インサートの間隔及び周辺部端からの距離
・ 図示　⊙ﾒｰｶｰ標準仕様による
野縁の間隔　・図示　⊙ﾒｰｶｰ標準仕様による
天井下地材
※JIS A 6517（建築用鋼製下地材（壁・天井））
・ステンレス製（SUS304）（適用箇所：　）
・高耐食溶融めっき鋼板(亜鉛-ｱﾙﾐﾆｳﾑ-ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ)（適用箇所：　）
天井下地材脱落防止処置（特定天井以外の一般部）
⊙ビス止めハンガー、ビス止めクリップ(適用箇所：　)
天井のふところが3mを超える場合の補強
・図示　(適用箇所：　)
天井下地材の耐震性を考慮した補強
⊙一区画の面積が大きいまたは不整形な天井
⊙水平でない天井
⊙質量が20Kg/㎡を超える天井(天井下地材を含む)
(適用箇所：　校舎棟_階段1,2 天井部分　)
(仕様　※図示　⊙ 野縁受け:CC-25※600、野縁：CW-25※303 ハンガー：C38用、クリップ：C38用耐風圧Wクリップ)

耐震性能
設計用地震力　KH=1.0　KV=0.5
天井及び取付機器類に落下、脱落を生じさせないこと。
屋外の軒天井、ピロティ天井等の耐風圧性を考慮した補強
⊙行う　(適用箇所：　)
(仕様　※図示　⊙メーカー仕様による　)
耐風圧性能（屋外の軒天井、ピロティ天井等）
建築基準法により定まる風圧力の(※1.0　・　)倍の風圧力に対応した工法
但し、最小風圧力は ±2000Paとする。
特定天井　(国土交通省告示第771号に基づく)
・行う　(適用箇所：　)
(仕様　※図示　・　)

⑥軽量鉄骨壁下地　スタッド、ランナー材(14.5.1～4)(表14.5.1)
※JISA6517（建築用鋼製下地材（壁・天井））
・ステンレス製（SUS304）（適用箇所：　）
・高耐食溶融めっき鋼板(亜鉛-ｱﾙﾐﾆｳﾑ-ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ)（適用箇所：　）
スタッド、ランナーなどの種類
※標仕表14.5.1による　・
スタッドの高さが5mを超える場合　※図示　・
出入口及びこれに準ずる開口部の補強　※標仕14.5.4(5)による　・図示

⑦金属成形板張り　(14.6.1～3)(表14.2.1)

	形　状	製　法	材　種	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面処理
外壁-C→	⊙スパンドレル形	・押出し ⊙ロール	※アルミニウム製 ⊙鋼製	細リブ 5×14×150	0.5	・BB-1種 ⊙BB-2種(　ﾌｯ素　) ・BC-1種 ・BC-2種(　　) ・C種(　　樹脂系塗装) ・着色塗膜 (　　)樹脂系焼付塗装
	・パネル形	※プレス ・				

伸縮調整継手　※設けない　・設ける(施工箇所 ※図示　・　)
外壁-C→　参考　：ｱﾙﾋﾞ金属「ﾛｰﾙﾌｫｰﾐﾝｸﾞ11k型 鋼板ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ」、又は同等品

⑧アルミニウム製笠木　(14.7.1～3)(表14.2.1)(表14.7.1)

種　類	呼称肉厚(mm)	表面処理	材質その他
・250形	1.6以上	・BB-1種	固定金具・ジョイント金具等の付属部品、隅角部及び突当り部等の役物は、笠木本体製造所の仕様による。
⊙300形	1.8以上	⊙BB-2種	
・350形	2.0以上		
⊙450形			
(板材折曲げ形)	・2.0	・着色塗膜	(板材折曲げ形は図示による)
・	・	(　　)樹脂系焼付塗装	

笠木の固定金具の工法等
建築基準法により定まる風圧力の(※1.0　・　)倍の風圧力に対応した工法
但し、最小風圧力は ±2000Paとする。

15 左官工事

①下地
⊙ ラス系下地（木下地の内外壁を対象としたラス系下地）(15.2.4～5)
⊙通気工法（外壁通気構法下地）
・二層下地　⊙単層下地
・直張り工法
・ラスモルタル下地　・ラスシートモルタル下地
・その他
・図示による
ラス下地板、下地用合板、面材等の下地の仕様
建築基準法に基づく耐力壁、防火構造、準耐火構造等の指定
・有（図示による）　・無
⊙せっこうボード、その他ボード下地
材料の種類及び厚さ
⊙ 塗り壁用下地せっこうボード 厚7　・

2 モルタル塗り　モルタル塗り材料(15.3.2)
※現場調合材料　・既調合材料
防水モルタル
防水材
品質を証明する資料を提出し、監督職員の承諾を受けること。
（特記仕様書I.11 材料の品質等、5)による）
既製目地材
・設ける　施工箇所（　　）　形状（・図示　・　　）
・設けない
床の目地
※設ける　目地割　※ 2㎡程度（最大目地間隔 3m程度）・
種類　※ 押し目地　・
・設けない

外装タイル張り下地等のモルタル塗り及び下地調整材塗り
硬化後、全面打診を行い、浮き及び精度について確認し、結果を監督職員に報告すること。
外装タイル張り下地等のモルタル塗り及び下地調整材塗りの接着力試験 (15.3.5)
※行う　・行わない

③床コンクリートの直均し仕上げ　コンクリートの仕上がり平たんさの標準値　(表6.2.5)

施工箇所	平たんさ(mm)	備　考
コンクリートが見え掛りとなる場合又は仕上げ厚さが極めて薄い場合その他良好な表面状態が必要な場合	3mにつき 7mm以下	合成樹脂塗床、ビニール系床材張り床コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロアー（置敷式）
仕上げ厚さ7mm未満の場合その他かなり良好平たんさが必要な場合	3mにつき 10mm以下	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り
仕上げ厚さ7mm以上の場合又は下地の影響を受けない仕上げの場合	1mにつき 10mm以下	タイル下地、モルタル塗り、二重床

床のひび割れ誘発目地
◯ 設ける(工法：目地ｶｯﾀｰ　適用箇所：見え掛かり部全て　)

④セルフレベリング材塗り　(15.5.1～5)(表15.5.1)
材料　※標仕表15.5.1により施工箇所に適したものとする
・セメント系 高強度品（・40N/mm2程度　・　）
適用箇所（　　）
標準塗厚　※10mm程度
参考　：宇部興産「SGﾌﾛｰG」、又は同等品

⑤仕上塗材仕上げ　仕上塗材の種類(15.6.2)(表15.6.1)

名　称	呼び名	仕上げの形状	工法	防火材料
⊙薄付け仕上塗材	⊙外装薄塗材E	⊙鎧波仕上げ	⊙こて塗り	・
・ﾓﾙﾀﾙ調左官仕上げ	・ｾﾒﾝﾄ系仕上げ材	・凹凸状	・こて塗り	・
・複層仕上塗材	・	・	・	・
⊙土壁調塗壁材	⊙内装薄塗材E	⊙鎧波仕上げ	・	・
・	・	・	・	・

屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。
複層仕上塗材の上塗材の種類
溶媒　※水系　・溶剤系　・弱溶剤系
樹脂　・アクリル系　・シリカ系　・ポリウレタン系
・アクリルシリコン系　・フッ素系
外観　※つやあり　・つやなし　・メタリック
外装薄塗材E→　参考　：ｱｲｶ工業「ｼﾞｮｲﾙﾊﾟｯﾄ材 JQ-650 校倉仕上げ 」、又は同等品
内装薄塗材E→　ｱｲｶ工業「ｼﾞｮｲﾙﾊﾟｯﾄ 爽土 天然土混合ﾀｲﾌﾟ 」、又は同等品

⑥ロックウール吹付　鉄骨工事の耐火被覆は構造特記仕様書による。(15.12.1～4)(表15.2.1)
仕上吹付け厚さ(mm)　※図示　・

16 建具工事

1 共通事項　建具特記仕様書による。

17 カーテンウォール工事

1 共通事項
耐風圧性能(17.1.1～3)(17.2.2)(17.3.2)
※建築基準法により定まる風圧力の(※1.0　・　)倍の風圧力に対応した工法

主要部材のたわみ（ガラスを除く）

支点間距離(h)	たわみ量	状態
※4m以下	※±(1/150)ｘh かつ絶対量20mm以下	※各部の破損、残留変形有害な変形が起こらないこと
※4mを超える	・	・

耐震性能
設計用震度　水平方向(KH)　※1.0　・
鉛直方向(KV)　※0.5　・
層間変位追従性

建築物の構造種別	層間変位量(h＝支点間距離)	変位後の状態
鉄骨造	※±(1/100)×h以上 ・±(1/　)×h以上	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと。シーリングは補修程度の損傷であること。
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※±(1/200)×h以上 ・±(1/　)×h以上	

水密性　Fix部　・W-5　・
可動部　・W-5　・
気密性　・A-4　・
耐火性能　・ 有り （　時間、施工場所：図示）　・ 無し
耐温度差性(℃)　・80　・70　・60
遮音性　・T-4　・T-3
断熱性　・H-6　・H-5　・H-4　・H-3　・H-2　H-1
・

株式会社東畑建築事務所
TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

設計番号	作成日	種別/備考		工事名称	図面番号
20250043	2026.3			須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	A006
一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 特記仕様書　その４ 縮尺 A1: A3:	

その他　設計図書に記載のない事項は(社)日本建築学会JASS14の規定による。

性能の確認方法及び判定方法

※性能の確認及び判定方法が確認できる適切な資料

2 メタルカーテンウォール

適用は以下によるほか、カーテンウォール図による。(17.2.1～8)(表17.2.1～3)

金属系材料の種類

種　類	規　格　等
※アルミニウム製	※標仕16.2.3アルミ建具の材料による ・ ・

シーリング材（ガラスの取付は除く）　下記以外は標仕表9.7.1による。

施工箇所（被着体の組合せ）	シーリング材の種類	
	記　号	主成分による区分

ガラスの取付け材料　(標仕16-14-2(2))

・ シーリング　(種類：標仕9-7-2　表9.7.1による)

・ 構造ガスケット　(材質、形状、施工箇所は図示による)

断熱材

※材質、形状、施工箇所は図示による

・適用しない

製品の寸法許容差

※標仕表17.2.1による

・製作所標準製作規定寸法許容差による

・図示による

躯体付け金物の寸法許容差

※標仕表17.2.2による

・製作所標準製作規定寸法許容差による

カーテンウォール部材の取付位置の寸法許容差

※標仕表17.2.3による

・製作所標準製作規定寸法許容差による

アルミニウムの表面処理　(表14.2.1)

種　別	表面処理	JIS規格	
		規格番号	皮膜の種類
・BA-1種 ・BA-2種	無着色陽極酸化塗装複合被膜 着色陽極酸化塗装複合被膜 ・標準色　・特注職	JIS H 8602	A2 (過酷な環境)
・BB-1種 ・BB-2種	無着色陽極酸化塗装複合被膜 着色陽極酸化塗装複合被膜 ・標準色　・特注職	JIS H 8602	B (外部一般)
・			
・着色塗膜	(　　)樹脂系塗装 ・メタリック色　・ソリッド色	(軽金属製品協会規格)	-

映像調整

※行わない　　・行う

③錆止め塗料塗り　(18.3.1～3)(表18.3.1～4)

下地面等			塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	見え掛り部分	SOP	※As種	※A種 ・B種
		DP	1回目：Cs種　2、3回目：Ds種	標仕 表18.3.4
		EP-G	・As種 ※Bs種	※A種 ・B種
			錆止め塗装のままとする場合：As種	※A種 ・B種
	見え隠れ部分	SOP	※As種	・A種 ※B種
		DP	1回目：Cs種　2、3回目：Ds種	標仕 表18.3.4
		EP-G	・As種 ※Bs種	・A種 ※B種
			錆止め塗装のままとする場合：As種	※B種
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等	SOP	※Az種 ・Bz種	※A種 ・B種
		DP	Bz種	標仕 表18.3.6
		EP-G	Cz種	※A種 ・B種
	鋼製建具以外	SOP	・Az種 ※Bz種	・A種 ※B種
		DP	Bz種	標仕 表18.3.6
		EP-G	Cz種	・A種 ※B種

鉄骨等の鉄鋼面の錆止め塗料塗工法は「構造特記仕様書　7 鉄骨工事 15 錆止め塗装」及び標仕18.3.3 (2) による。

④塗装　(18.13.2～4)(表18.4.1～18.13.1)

塗　装		工程の種別	塗料の種類等
⊙合成樹脂調合ペイント塗り	木部屋外	※A種 ・B種	1種
	木部屋内	・A種 ※B種	1種
	鉄鋼面	・A種 ※B種	1種
	亜鉛めっき鋼面	標仕 表18.4.3	1種
・クリヤラッカー塗り(CL)		・A種 ※B種	―
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		・A種 ※B種	―
⊙耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	標仕 表18.7.1	上塗り等級(1 級ﾌｯ素)
	亜鉛めっき鋼面	標仕 表18.7.2	上塗り等級(1 級ﾌｯ素)
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	⊙A種	上塗り等級1級
		・B種	上塗り等級2級
		・C種	上塗り等級3級
⊙つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	コンクリート面	・A種 ※B種	―
	屋内の木部	標仕 表18.8.2	―
	屋内の鉄鋼面	・A種 ※B種	―
	屋内の亜鉛めっき鋼面	標仕 表18.8.4	―
⊙合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		・A種 ※B種	―
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		・A種 ※B種	工程1の着色・適用
⊙ウレタン樹脂ワニス塗り(水性)(UC)		⊙A種 ※B種	―
⊙ウレタン樹脂ワニス塗り(UC(難燃・不燃))		⊙A種 ※B種	白華抑制
・ステイン塗り	・ピグメントステイン屋内木部	標仕 表18.11.1	JASS18 M-306
⊙木材保護塗料塗り(WP)		⊙A種 ※B種	JASS18 M-307
⊙半透明着色撥水剤		―	―
⊙岩綿天井用ﾊﾞｳﾀﾞｰ塗装		―	不燃　NM-0540

参考 ： ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾝﾙ「ﾚｲﾊﾞｽ」、大阪ｶｽﾐﾗﾙ「ｷｼﾗﾃﾞｺｰﾙ(特注色)」、又は同等品

水性浸透性吸水防止剤→ ｴｽｹｰ化研「SKﾏｲﾙﾄﾞﾎﾞｰｾｲ」、又は同等品

WP→ ｷｬﾋﾞﾀﾙﾍﾟｲﾝﾄ「ﾌﾚｯｼｭﾌｧｲﾝFF」、又は同等品

水性UC→ ｷｬﾋﾞﾀﾙﾍﾟｲﾝﾄ「NA-6 ｵﾘｵ2」、又は同等品

UC_床→ ｷｬﾋﾞﾀﾙﾍﾟｲﾝﾄ「ﾓｰｴﾝ3」、又は同等品

UC_内装壁(難燃～不燃)→ 大日技研工業「ﾗﾝﾃﾞｯｸｽｺｰﾄ FCｺｰﾄ」、又は同等品

半透明着色撥水剤→

水性浸透性吸水防止剤→

18 塗装工事

①材料

防火材料　(18.1.3)

※屋内の柱、壁、天井仕上げは防火材料とする

・ 右記の箇所を除き防火材料とする（箇所：　　）

②素地ごしらえ　(18.2.2～7)(表18.2.1～7)

下地面等		種　別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種 ・B種
	透明塗料塗りの場合	・A種 ※B種
鉄鋼面	DP塗以外	・A種 ・B種 ※C種
	DP塗の場合	・A種 ※B種 ・C種
亜鉛めっき鋼面		⊙A種 ・B種
モルタル面及びプラスター面		・A種 ※B種
コンクリート面（DP塗り以外）及びALCパネル面）		・A種 ※B種
コンクリート面（DP塗の場合）		※A種 ・B種
押出成形セメント板面		・A種 ※B種
せっこうボード面及びその他面	目地：継目処理工法	・A種 ※B種
	目地：継目処理工法以外	・A種 ※B種

19 内装工事

1 ビニル床シート張り　(19.2.2)

種類の記号	色　柄	厚さ(mm)	備　考
FS-A	・無地 ⊙マーブル ・柄物	※2.0 ・	ﾜｯｸｽﾌﾘｰ
FS-B	・無地 ⊙マーブル ・柄物	※2.0 ・	消臭、ﾜｯｸｽﾌﾘｰ
FS-C	・無地 ⊙マーブル ・柄物	※2.0 ・	耐薬品性、ﾜｯｸｽﾌﾘｰ 耐動荷重性
FS-D	・無地 ⊙マーブル ・柄物	※2.0 ⊙2.5	防滑性
FS-E	・無地 ⊙マーブル ・柄物	※2.0 ⊙2.5	防滑性、抗菌性 耐摩耗性
FS-F	・無地 ⊙マーブル ・柄物	※2.0 ⊙2.5	耐薬品性、帯電防止性 耐動荷重性

工　法　※ 熱溶接工法　・突付け(施工箇所：　　)　(19.2.3)

・ 継ぎ目接着工法・（施工箇所：　　）

製造所 FS-A_東リ「ﾌﾛｱﾘｭｰﾑﾏｰﾌﾞ NWW」、又は同等品　ｻﾝｹﾞﾂ、ﾛﾝｼｰﾙ又は同等業者

FS-B_東リ「消臭ﾄﾜﾚNW」、又は同等品

FS-C_東リ「ﾌﾛｱﾘｭｰﾑﾜｲﾙﾄﾞ NW」、又は同等品

FS-D_東リ「NSｼｰﾄNS800」、又は同等品

FS-E_東リ「NSﾏｸｱﾄﾚｯﾄﾞ」、又は同等品

FS-F_東リ「耐薬ｽｰﾊﾟｰKｼｰﾄｴｸｾﾗNW」、又は同等品

2 ビニル床タイル張り　(19.2.2)

種類の記号	色　柄	寸法(mm)	厚さ(mm)	備　考
※KT(ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	※300×300	※2.0 ・	
・TT (単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・	※300×300	・	
・FT (複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・	※300×300	・	
・FOA (置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・	※500×500	※4.0以上	
・FOB (薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・	※500×500	・	

製造所：

3 ゴム床タイル張り　(19.2.2)

名　称	種　類	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)	備　考

製造所：

④特殊機能床材　(19.2.2)

種　類	寸法(mm)	厚さ(mm)	形状	性　能
・帯電防止床シート	―	※2 ・		帯電防止数値(JIS A 1455による)評価ｸﾞﾚｰﾄﾞⅡ以上
⊙静電防止床タイル		※4 ⊙5		
・視覚障害者用床タイル		※2(全厚7) ・3(全厚8)	・点状 ・線状	JIS T 9251適合品
・耐動荷重性床シート	―	※2 ・		JIS A 1454キャスターしごき試験による膨れを生じるまでの時間が3時間以上
・耐動荷重性床タイル		※4 ・5		
・防滑性床シート	―	※2.5・2		JIS A 1454滑り性試験によるGSR値が0.55以上
・防滑性床タイル		※3 ・		

工　法　※熱溶接工法　・突付け(施工箇所：　　)　(19.2.3)

参考：ｻﾝﾀﾞﾂ「OT」、東リ「ﾙｰｽﾚｲﾀｲﾙLフリー50NW-EX」、ﾛﾝｼｰﾙ「ﾛﾝﾀｲﾙOA」又は同等品

⑤ビニル巾木　(19.2.2)

材質　※軟質　・硬質

高さ(mm)　※60　・75　⊙100

厚さ(mm)　※1.5以上　・

⑥カーペット敷き　(19.3.2～3)(表19.3.1～2)

種　別	パイル形状	織り方	色柄等	帯電性	備考
・A種 ・B種 ・C種 ・その他	・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループパイル併用 ・	・ウィルトンカーペット ・ダブルフェイスカーペット ・アキスミンカーペット	※無地 ・柄物(標準品) ・	・適用する 性能： ※人体帯電圧3kV以下 ・適用しない	

下敷き材　※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ8mm

製造所：

・タフテッドカーペット　(19.3.2～3)(表19.3.2)

パイル形状	パイル長(mm)	工　法	帯電性	備考
・カットパイル ・ループパイル ・レベルループパイル ・カット、ループ併用 ・	※5～7 ・ ※4～6 ・ ※4 ・ ・ ・	※全面接着工法 ・グリッパー工法	・適用する 性能： ※人体帯電圧3kV以下 ・ ・適用しない	

下敷き材（グリッパー工法の場合）

※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号呼び厚さ8mm

製造所：

⊙タイルカーペット　(19.3.2～3)(表19.3.2)

パイル形状	種　類	寸法(mm)	総厚さ(mm)	備　考
⊙ループパイル	※第一種 ・第二種	※500×500	※6.5 ・	
・カットパイル	・第一種 ・第二種	※500×500	※6.5 ・	
・カット、ループ併用	・第一種 ・第二種	※500×500	※6.5 ・	

ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄA,B,C→

タイルカーペットの敷き方　平　場　※市松敷き　・模様流し　・

階段部分　※模様流し　・市松敷き　・

見切り、押え金物　・適用する（材質、形状等　※図示　・　　）

※適用しない

参考：ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄA_ｻﾝｹﾞﾂ「NT-350 LINE」、又は同等品

ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB_ｻﾝｹﾞﾂ「NTH-840 ｼｬﾝﾌﾞﾚｰ」、又は同等品

ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄC_ｻﾝｹﾞﾂ「NTH-820 F-eco ｸﾞﾛｰﾗｽ」、又は同等品

東リ、住江織物又は同等業者

⑦塗　床　(19.4.2～4)(表19.4.1～8)

種　別		工　法	仕上げの種類
⊙厚膜型塗床材	⊙弾性ウレタン樹脂系 ・硬質ウレタン樹脂系 ・ビニルエステル樹脂系		※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
	エポキシ樹脂系	・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材(床用防塵塗料)	・エポキシ樹脂系		※平滑仕上げ・防滑仕上げ
	・ウレタン樹脂系		※平滑仕上げ・防滑仕上げ
	・水性アクリル樹脂系		※平滑仕上げ・

参考：ABC商会「ｶﾗｰﾄｯﾌﾟDL」、又は同等品

・コンクリート床用表面強化剤

製造所：

⑧フローリング張り

単層フローリング　(19.5.2～7)（表 19.5.1～6）

種類	工法	樹種	厚さ、幅、長さ(mm)	仕上げ
⊙フローリングボード１等	⊙釘留め工法(根太張り) ⊙パターン	⊙なら ⊙ﾎﾜｲﾄｵｰｸ	※標仕 表19.5.1による ⊙10	※塗装品 ・無塗装品
	・釘留め工法(直張り)	・なら ・	※標仕 表19.5.3による	※塗装品 ・無塗装品
	⊙接着工法	⊙なら ・	※標仕 表19.5.5による ⊙12以上、ｸｯｼｮﾝ付	※塗装品 ・無塗装品
・ フローリングブロック１等	・接着工法	・なら ・	・15　303x303	※塗装品 ・無塗装品

参考： ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA 天龍ﾌﾟﾚﾊﾟｰｸ「ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ ﾅﾗ」、又は同等品

天龍ﾌﾟﾚﾊﾟｰｸ「ﾀﾞｲﾚｸﾄﾎﾞｰﾄﾞ ﾅﾗ(直貼り用)」、又は同等品

ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞB 天龍ﾌﾟﾚﾊﾟｰｸ「ﾋﾞｭｱ15 ｸﾘ」、又は同等品

ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞC昭和洋櫛「無垢ﾊﾟﾀｰﾝﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ：ﾊﾟﾗﾚﾙ」、又は同等品

複合フローリング　(19.5.2～7)（表 19.5.1～6）

種類	工法	樹種	厚さ、幅、長さ(mm)	仕上げ
⊙天然木化粧複合フローリング	⊙釘留め工法(根太張り)	⊙なら ・	※標仕 表19.5.2による ・A種 ・B種 ⊙C種	※塗装品 ・無塗装品
	・釘留め工法(直張り)	・なら ・	※標仕 表19.5.4による ・A種 ・B種 ・C種	※塗装品 ・無塗装品
	・接着工法	・なら ・	※標仕 表19.5.6による ・A種 ・B種 ・C種	※塗装品 ・無塗装品

製造所：

接着工法の場合の不陸緩和材　※合成樹脂発泡シート　・

参考： ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞD 天龍ﾌﾟﾚﾊﾟｰｸ「ｽｰﾊﾟｰﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ15(軽運動用) ﾅﾗ」、又は同等品

ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞE 天龍ﾌﾟﾚﾊﾟｰｸ「ｽｰﾊﾟｰﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ18(軽運動用) ｶﾊﾞ」、又は同等品

⑨畳敷き　(19.6.1～3)(表19.6.1)

畳の種別

・Ａ種(畳表：　・JS　　・Ｊ1）　・　Ｂ種

※C種(畳床　※PS-C20　　・PS-C25　　・PS-C30)

・Ｄ種(畳床　・KT－Ⅰ　・KT-Ⅱ　・KT－Ⅲ　・KT-K　・KT-N)

・衝撃緩和型畳

畳表（JIS A 5902）　　・C1　　・C2

株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考	工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
	一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 特記仕様書　その５ 縮尺　A1: A3:	図面番号 A007

Ver.T0標準-251201

⑩せっこうボード その他のボード張り

(19.7.2～3)(表19.7.1)

種　類	JISの記号	厚さ(mm)、規格等
⊙硬質木毛セメント板	HW	・15　・20　・25
・普通木毛セメント板	NW	・15　・20　・25
⊙硬質木片セメント板	HF	・12　・15　⊙18　・21
・普通木片セメント板	NF	・30　・
⊙けい酸カルシウム板（タイプ2FK）	※0.8FK ・1.0FK	⊙6　・8　・
・吸音用孔あきけい酸カルシウム板（タイプ2FK）	※0.8FK-P ・1.0FK-P	・6　・8　・
⊙ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ / 表記：DR ⊙9 ・12（※不燃 ・準不燃） ・凹凸タイプ / 表記：DR(凹凸) ・12 ・15 ・19 （※不燃 ・準不燃）
・ロックウール化粧吸音板（軒天井用）	DR	※フラットタイプ / 表記：DR(軒天) ・9 ・12 （※不燃 ・準不燃） ・凹凸タイプ / 表記：DR(軒天凹凸) ・12 ・15 ・19 （※不燃 ・準不燃）
⊙せっこうボード	GB-R	⊗12.5(不燃)　⊙9.5(準不燃) ⊙15(不燃)
・吸音用孔あきせっこうボード	(GB-P)	・12.5(不燃)　・9.5(準不燃)
・硬質せっこうボード	GB-R-H	※12.5(不燃)・9.5(不燃)・15.0(不燃)
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5(不燃)　化粧無(下地張り用)
・不燃積層せっこうボード（トラバーチン模様）	GB-NC (GB-NCT)	・9.5(不燃)
⊙シージングせっこうボード	GB-S	⊗12.5(不燃)⊙9.5(準不燃)
⊙強化せっこうボード	GB-F	⊗12.5(不燃)⊙15.0(不燃) ⊙21.0(不燃)
⊙せっこうラスボード	GB-L	9.5
⊙化粧せっこうボード（トラバーチン模様）	GB-D (GB-DT)	※9.5(準不燃)・ ・12.5(不燃)　幅440mm程度
・化粧せっこうボード(木目)	GB-D (GB-DW)	※12.5(不燃)　幅440mm程度 模様（ ※柾目 ・板目）専用下地材付き
⊙普通合板		接着の程度 ・特類 ・1類 ※2類 厚み ※図示 塗装仕上げ ※図示 樹種 ※図示 ・防虫処理
⊙天然木化粧合板(難燃) WV-RM	—	接着の程度 ・特類 ・1類 ※2類 化粧板の樹種： 化粧板の厚み： ・防虫処理
⊙天然木化粧合板(不燃) WV-NM	—	接着の程度 ・特類 ・1類 ※2類 基材 ※A1(火山性ガラス質複層板) ・けい酸カルシウム板 0.8FK ・ 化粧板の樹種： 化粧板の厚み： ・防虫処理
・特殊加工化粧合板 SPV	—	接着の程度 ・特類 ・1類 ※2類 ・ポリエステル化粧合板 ・2.5 ・3.8 ・ジアリルフタレート化粧合板 （ＤＡＰ化粧合板） ・2.5 ・3.8 ・プリント合板 ※2.5 ・カラー塗装合板 ※2.5 ・オレフィンシート化粧合板 ※2.7 ・防虫処理
⊙ミディアムデンシティファイバーボード	MDF	・3 ・7 ・9 ・12 ・
・インシュレーションボード	IB	A級(・天井仕上 ・内装仕上 ・) ・9 ・12 ・15 ・18 ・
・単板張りパーティクルボード	VN VS	・無研磨板 ・研磨板 ・10 ・12 ・15 ・18 ・
⊙メラミン化粧不燃板		※3
⊙機維混入せっこう板 FRG	—	・5 ⊙6 ・8 ・
⊙オリエンテッドストランドボード	OSB	・8(ｻﾝﾀﾞｰ仕上) ・9(ｻﾝﾀﾞｰ無) ・17.5
外壁側に使用→ ⊙強化せっこうボード(防水・防ｶﾋﾞ)	GB-F-WR	**※12.5(不燃) ・15.0(不燃)** ⊙21.0(不燃)
・		

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
※適用する　※アクリル系またはポリウレタン系シーリング材
・ジョイントコンパウンド(JIS A6914)
・適用しない
耐火遮音壁の遮音シール材は耐火認定仕様とする。
天井のボードの重ね張りの貼り付け方法（ロックウール吸音板を除く）
・
天井にロックウール吸音板直貼り工法を行う場合、設備器具等の開口箇所には製造所の仕様により、必要箇所にボード裏面の補強を行う。
せっこうボードの目地工法
⊙継目処理工法（⊙テーパーエッジ　・ベベルエッジ）
・突付け工法　（ ・ベベルエッジ　・スクェアエッジ）
・目透し工法　（ ・ベベルエッジ　・スクェアエッジ）
吹付硬質ウレタンフォーム下地に直張り用接着材を施工する場合は、施工に先立ち、吹付硬質ウレタンフォーム下地とプライマーの接着力を確認すること。

合板の張り付け　・A種　※B種　(19.7.3)(表19.7.3)
参考：強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(防水・防ｶﾋﾞ) 吉野石膏「ﾀｲｶﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ・ﾀｲﾌﾟZ-MR」、又は同等品
ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板 吉野石膏「ｿｰﾗﾄﾝﾌｨｯｼｬｰ」、又は同等品
化粧けい酸ｶﾙｼｳﾑ板 ｱｲｶ工業「ｱｲｶﾊｲﾎﾞｰﾄﾞ不燃」、又は同等品
ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板 ｱｲｶ工業「ｶﾗｰｼｽﾃﾑﾒﾗﾐﾝ」、又は同等品
ﾒﾗﾐﾝ化粧不燃板 ｱｲｶ工業「ｾﾗｰﾙ」、又は同等品
高圧木毛ｾﾒﾝﾄ板 竹村工業「TSﾎﾞｰﾄﾞ」、又は同等品
多機能けい酸ｶﾙｼｳﾑ板 ｱｲｶ工業「ﾓｲｽ」、又は同等品

⑪吸音材

(表19.7.1)

種　類	JISの記号	厚さ(mm)	仕　様
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	※25 ・	厚手ガラスクロス貼
※グラスウール吸音ボード32K	GW-B	※25 ○50	厚手ガラスクロス額縁貼張り

吸音ﾏｯﾄ→12 壁紙張り
参考：ﾏｸﾞ・ｲﾝﾍﾞｰﾙ「MGﾎﾞｰﾄﾞ 厚手ｶﾞﾗｽｸﾛｽ額貼り(白・黒)」、又は同等品
(19.8.2～3)

名　称	壁紙の種類 紙	繊維系	プラスチック	無機質	塩化ビニル	その他	防火性能	備考
ｽｸﾘｰﾝｸﾛｽ	・	・	・	⊙	・	・	・不燃 ⊙準不燃 ⊙難燃	
掲示ｸﾛｽ	・	・	・	⊙	・	・	・不燃 ⊙準不燃 ⊙難燃	
ﾍﾞﾝｷ下地ｸﾛｽ	・	・	⊙	・	・	・	・不燃 ⊙準不燃 ⊙難燃	
ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞｼｰﾄ	・	・	・	⊙	・	・	⊙不燃 ・準不燃 ・難燃	

素地ごしらえ　(表19.8.1～3)
モルタル、プラスター面　※B種　・A種(施工箇所：　)
コンクリート、ALCパネル面　※B種　・A種(施工箇所：　)
せっこうボード面、けい酸カルシウム板面　※ B種　・A種(施工箇所：　)
参考：ｽｸﾘｰﾝｸﾛｽ_ｻﾝｹﾞﾂ「ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ用壁紙」、又は同等品
掲示ｸﾛｽ　ｻﾝｹﾞﾂ「ｻﾝﾌｫｰﾑ ﾗｲﾝⅡ」又は、同等品
ﾍﾞﾝｷ下地ｸﾛｽ　ｻﾝｹﾞﾂ「ｻﾝｳｫｰﾙﾍｽ HS-14」又は、同等品
紙ｸﾛｽ　ｲｹｶﾞｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ「ｵｶﾞﾌｧｰｻﾞｰ ﾐｯｸｽ塗装有」又は、同等品
ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞｼｰﾄ　ｻﾝｹﾞﾂ「ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞｼｰﾄ TW-2000」又は、同等品

⑬断熱材

(19.9.2～3)

種　類		厚さ(mm)	施工箇所
⊙押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキン層なし）	※3種ｂA	・35 ※50 ・75 ・	・土に接する部分(コンクリート床下) ・外壁
	※2種ｂA ・	・25 ・30 ・40 ・50 ・	・外壁の内断熱 ・屋根の内断熱
⊙ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	⊙1号 ・	⊙ 60 ・	
⊙硬質ウレタンフォーム断熱材	※2種2号A ・	・20 ・25 ・30 ⊙ 50 ・	
⊙ポリイソシアヌレートフォーム断熱材	⊙ 1号 ・	⊙ 50 ・	

・断熱材現場発泡工法
断熱材の種類　建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム　※A種１ ・A種１H
吹付け厚さ(mm)　・25 ・30 ・
施工箇所　※図示による ・
上記のほか、断熱材打込み部の取合補修箇所
製品の品質
品質を証明する資料を提出し、監督職員の承諾を受けること。
（特記仕様書1.11 材料の品質等. 5)による）

⑮その他の材料

・塩ビフィルム　粘着材付塩化ビニル樹脂　厚0.2mm
製造所：

20 ユニット及びその他の工事

①フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所		
工法	・置敷式	⊙支柱調整式
所定荷重	※3.000Ｎ ・5.000Ｎ	※3.000Ｎ ・5.000Ｎ
耐震性能	・1.0G ・0.6G	⊙1.0G ・0.6G
パネル寸法(mm)	・500X500	・500X500
高さ（mm）	・	⊙600×600
表面仕上材	※タイルカーペット ・帯電防止床タイル ・図示（仕上表）	※タイルカーペット ⊙帯電防止床タイル ・図示（仕上表）

帯電防止性能　・ U ≧ 1.2(電算機室等)　・ U ≧ 0.6(一般事務室等)
漏えい抵抗　※ R ≧ $1\times10^6\Omega$ ・
耐荷重性能、耐衝撃性能、ローリングロード性能、耐燃焼性能の試験方法及び性能
※ 標準仕様書20.2.2(2)(ｲ)による
寸法精度
※ 標準仕様書20.2.2(2)(ｵ)による
表面仕上材の品質、性能　※特記仕様書19章による
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
配線取り出し機能
パネルは配線取り出し機能を有し、配線開口の増設ができるものとする。
空調用吹き出しパネル
※なし　・有り（ 型式、施工箇所： 図示）
製品の品質
品質を証明する資料を提出し、監督職員の承諾を受けること。
（特記仕様書1.11 材料の品質等. 5)による）
参考：共同ｶｲﾃｯｸ「ｸｳｯﾄﾞﾌｨｯｸｽ600」、
三洋工業「ｻﾝｱｸｾｽ」、ﾌｸﾋﾞ化学工業「FP3000」又は同等品

②可動間仕切（パーティション）

(20.2.3)

構造形式による種類	構成基材の種類 スタッド	パネル	パネル表面仕上	遮音性能(dB/500Hz)	防火性能
⊗スタッド式(内蔵式) ・スタッド式(露出式) ・スタッド式パネル式 ・パネル式	※鋼製 ・	※鋼製 ・	※メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り ⊙焼付塗装	・0 ・12 ・20 ・28 ⊙36	⊙不燃 ・

パネル内の取付ける建具　※ 図示　・
表面仕上材を壁紙張りとする場合の壁紙の品質は、標準仕様書19章による。
製品の品質
品質を証明する資料を提出し、監督職員の承諾を受けること。
（特記仕様書1.11 材料の品質等. 5)による）
参考：ｺﾏﾆｰ「ｼﾝｸﾛﾝ」、
小松ｳｫｰﾙ工業「ﾏｲﾃｨ70」、ｵｶﾑﾗ「ｾｰﾌｳｫｰﾙ60S」又は同等品

③移動間仕切（スライディングウォール）

(20.2.4)

遮音性能(dB/500Hz)	操作方式	圧接装置の操作方法	パネル表面材 材質	仕上げ
・一般タイプ(36db未満) ⊙遮音タイプ(※36db以上)(・ db以上)	⊙手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ⊙ハンドル式 ・製造所の仕様による	※鋼板 ・	⊙焼付け塗装 ・壁紙張り ・

表面仕上材を壁紙張りとする場合の壁紙の品質は、標準仕様書19章による。
製品の品質
品質を証明する資料を提出し、監督職員の承諾を受けること。
（特記仕様書1.11 材料の品質等. 5)による）
参考：ｺﾏﾆｰ「DP80」、又は同等品
小松ｳｫｰﾙ工業「ﾊﾌｺｰｳｫｰﾙ」、ｵｶﾑﾗ「ﾌｪﾛｰｳｫﾙ80」又は同等品

⊙ガラス用フィルム

名　称	種　類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ・外張り	飛散防止率 D1
・			

品質 JIS A 5759による。
参考 ：3M「スコッチティントウィンドウフィルム透明飛散防止シリーズ」又は同等品

⊙ポリスチレンフォーム床下地材

⊙畳下地用　厚さ(mm)　・40 ・65 ・80 ・
・フローリング下地用　厚さ(mm)　・80 ・95 ・ ・
製造所：

⊙乾式二重床下地材

樹脂製内装用支持脚 4.5個/㎡ 調整範囲_31～275mm 設計圧縮耐荷重_3.000N/個
床ﾊﾟﾈﾙ仕様_ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ20mm程度＋合板15mm程度(ﾒｰｶｰ仕様による)
参考 ： ﾌｸﾋﾞ「ﾌﾟﾗ木ﾚﾝ」、又は同等品

④トイレブース

表面仕上げ材　※メラミン樹脂系化粧板（標準色 アルミ製コーナーエッジ付き）(20.2.5)
・ポリエステル樹脂系化粧板
⊙ﾒﾗﾐﾝ系ﾌｪﾉｰﾙ樹脂板（積層板）
脚部形状　※幅木型(ステンレス製) ・足金物型(ステンレス製)
パネルの材質　※トイレブースの製作所の仕様による
色柄　・無地　・柄物
製品の品質
品質を証明する資料を提出し、監督職員の承諾を受けること。
（特記仕様書1.11 材料の品質等. 5)による）
指詰め防止対策を施すこと
参考：伊藤忠ｾﾗﾃｯｸ「ﾊﾟﾌﾞﾘｯｸﾄｲﾚﾌﾞｰｽ(16t合わせﾀｲﾌﾟ)」、
ｱｲｶ工業「ｺﾝﾊﾟｸﾄﾌﾞｰｽ」又は同等品

5 階段滑止め

材　種　※ステンレス製（SUS304) ・黄銅製押出形材 (20.2.7)
・アルミニウム製押出形材
滑り止め材　形状　※タイヤ型 ・ひも型
材質　※ゴム又は合成樹脂
両端フラットエンド　※有り ・無し
幅(mm)　約35
取付け工法　※接着工法 ・埋込み工法
製造所：

⑥手すり及びタラップ

材料及び表面処理　(20.2.6)(表14.2.2)

種　類	材料の種別	表面処理　(塗装仕上は図示による)
手すり	※図示	※図示 ・ ・
タラップ	※ステンレスSUS304	※研磨無し ・HL程度
	・鉄	・溶融亜鉛めっき 内外部 ※C種 ・

⑦黒板及びホワイトボード

(20.2.9)
⊙黒板
区分　※焼付 ・　種類 ⊙鋼製 ・ほうろう
その他は図示による
⊙ホワイトボード　白、ほうろう：既製品
・　⊙図示
枠・受け皿共ｱﾙ製 ﾁｮｰｸ(ﾏｰｶｰ)ﾎﾞｯｸｽ付、黒板・ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ共 暗線入り
普通教室・特別支援教室・多目的教室：
昇降式(上下移動量580mm以上)曲面黒板
音楽室、理科室、家庭科室、図工室：　2段上下式平面黒板
黒板・白板の罫線の内容については、監督職員と協議の上決定
参考：　青井黒板製作所「UDｽﾗｲﾀﾞｰ黒板等」、又は同等品
ﾗｲﾄ黒板製作所、馬印又は同等業者

⑧鏡

取付箇所 (⊙図示　) (20.2.10)
寸法(mm)　⊙図示 ・
厚さ(mm)　※5mm ・
防錆・耐食型　四周SUS枠（ 冂型）共
取付下地補強は耐水合板 厚12 とする。
製造所：

⑨表示標識（サイン）

誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他はサイン図による。(20.2.11)
製造所：稲菱テクニカ、キョーワナスタ、美和ロック、又は同等業者
衝突防止表示
※図示（ 既成品　※ステンレス製　径　mm　・　）
（⊙両面　・片面）
・無し
表示標識、案内用図記号についてはJIS Z 8210による。

⑪ブラインド

(20.2.14)

形　式	種　類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※横型	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式 ・電動	※アルミニウム合金製 ・	※25 ・
⊙縦型	・1本操作コード ⊙2本操作コード ⊙電動	・アルミスラット ⊙クロススラット	⊙80 ・100

取付箇所　※図示 ・
縦型ブラインドのクロススラットは、防炎性能を有するものであること。
参考：ﾆﾁﾍﾞｲ「ｱﾙﾍﾟｼﾞｵ ﾗﾌｨｰ遮光」、又は同等品

⑫ロールスクリーン

(20.2.15)

材　質	操作方式	品　質	幅、高さ	取付箇所
⊙ポリエステル ・ ・	・電動式 ・スプリング式 ⊙チェーン式	⊙	※図示 ・	※図示 ・

防炎性能の有無　※ あり
巻取りパイプ、ウエイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料
※製造所の仕様による
参考：ﾆﾁﾍﾞｲ「ｿﾌｨｰｺﾝﾄﾗｸﾄｭｰｽ ﾘｰﾁｪ遮熱」又は同等品

株式会社東畑建築事務所
TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

設計番号	作成日	種別/備考		工事名称	図面番号
20250043	2026.3			須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	A008
一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 特記仕様書　その６ 縮尺 A1: A3:	

⑬カーテン

(20.2.16)(表20.2.1)

形式		開閉操作方式	ひだの種類	生地の種別、品質特殊加工等	備考
⊙シングル ・ダブル	⊙片引 ・引分	⊙手引 ⊙ひも引 ⊙電動	・つまみひだ （三つ山ひだ、二つ山ひだ） ⊙箱ひだ、片ひだ ・プレーンひだ	防炎、防汚、ｳｫｯｼｭﾌﾞﾙ、消臭、遮熱、ﾐﾗｰﾚｽ、完全遮光、制菌	

取付箇所　※図示　・
暗幕用カーテンの両端・上部及び召合せの重なり　※300mm以上
防炎性能の有無　※あり
ｶｰﾃﾝ用ﾀｯｾﾙの製作、ﾀｯｾﾙ用ﾌｯｸ、及び取付も含む
暗幕操作については使用上支障ないよう滑車・ﾃﾝｼｮﾝﾌﾞｰﾘｰ等の検討も行うこと
参考：ﾄﾞﾚｰﾌﾟｶｰﾃﾝ　ｻﾝｹﾞﾂ「ﾛﾈﾋﾞｰ」、又は同等品
ﾚｰｽｶｰﾃﾝ　ｻﾝｹﾞﾂ「PK-1602」、又は同等品
暗幕　ｻﾝｹﾞﾂ「ﾓﾝﾙｰｼﾞｭ」、又は同等品
ﾍﾟｯﾄｶｰﾃﾝ　東リ「ｴｺﾌﾞﾘｴｯﾃ」、又は同等品
住江織物又は同等業者

⑭カーテンレール

材料等　(20.2.18)
材料による区分　※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材
・ステンレス製
強さによる区分　※　10-90　・
仕上げ　※アルマイト　・
形状　※角形　・
製造所：ﾄｰｿｰ、立川ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ、ｻﾝｹﾞﾂ、又は同等業者

⑮ブラインドボックス及びカーテンボックス

材質　⊙鋼製（仕上：※図示　・　）
・アルミニウム製　押出し型材　（市販品）
・標準色　・特注色
・
溝幅、深さ　※図示　・
製造所：

16 止水板

形状　⊙据置式　・壁張り式　・差込式
寸法及び施工箇所　⊙図示による
製造所：早川ｺﾞﾑ「ﾈｵｽﾊﾟﾝｼｰﾙ DSW-1020-T」、又は同等品

⑰天井点検口

材種	寸法(mm)	形式		外枠	内枠
⊙アルミニウム製 ・ ・	⊙450X450 ⊙600X600	⊙一般形	・屋内外用 ⊙屋内用	・額縁タイプ ⊙目地タイプ	・額縁タイプ ⊙目地タイプ
		・気密形 ⊙防火高気密形	・ ・	・	・

枠の色　※シルバー（素地）　・焼付塗装
鍵　※なし　・有り
取付箇所　※図示　・
製品の品質
品質を証明する資料を提出し、監督職員の承諾を受けること。
（特記仕様書1.11 材料の品質等，5)による）
防火被覆天井に使用する天井点検口については防火高気密形を使用すること
防火高気密形天井点検口→　参考　：城東ﾃｸﾉ「SPC-F4545-J45」、又は同等品

⑱床点検口

材種	寸法(mm)	形式		その他
⊙アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450X450 ⊙600X600	・一般形 ⊙気密形	・屋内外用 ⊙屋内用	⊙鍵付き ・

取付箇所　※図示　・
製品の品質
品質を証明する資料を提出し、監督職員の承諾を受けること。
（特記仕様書1.11 材料の品質等，5)による）

19 壁点検口

材質　・樹脂製（枠見付幅10mmタイプ）
・鋼製（つぶし枠）
寸法　※300角　・
仕上　※壁仕上材と同材
取付箇所　※図示　・
製造所：

⑳マンホールふた

材種　※鋳鉄製　・
耐荷重性　※図示　⊙歩行用　・T-2　・T-6　・T-14　・
寸法　※600φ　・
型式　・一般形　⊙密閉形　屋内は防臭型とする
製品の品質
品質を証明する資料を提出し、監督職員の承諾を受けること。
（特記仕様書1.11 材料の品質等，5)による）

㉑かぎ箱

建具工事特記仕様書による

㉒くつふきマット

市販品　※児童生徒が持ち上げることのできる大きさに分割すること
材質　※塩化ビニル製(コイル状　ステンレス製受枠)
・ビニル製(ステンレス製受枠)
・硬質アルミニウム製(受枠とも)

㉓流し台ユニット

※既製品
種類・形状　※ 図示
規格品質　※ 図示　・
付属品　※ 図示　・
・
製造所：

㉔洗面カウンター

材種　⊙メラミン樹脂化粧板張り(心材：集成材)　⊙人工大理石
・
形式　・図示
奥行き(mm)　・約450　⊙約600
製造所：ｱｲｶ工業、又は同等業者

25 防煙垂れ壁

・固定式

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
・網入り磨き板ガラス ・ 不燃ｼｰﾄ（透明ﾀｲﾌﾟ）	・6.8 ・0.23	※500 ・	耐震型仕様 ・ ﾃﾝｼｮﾝﾀｲﾌﾟ

参考　：帝人ﾌﾛﾝﾃｨｱ「かるかべ」、又は同等品
・可動式

種類	材質	高さ(mm)	備考
・垂直降下式 （巻取り型）	※不燃布 （不燃認定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型)
参考　：　文化シャッター「セレウォール不燃布製巻取式」又は同等品

㉖視覚障害者用床タイル（誘導用及び注意喚起用床材）

ブロックパターンはJIS T 9251による。　(19.2.2)
色彩は黄色を原則とする。
屋　内　※塩化ビニル製
・磁器又はせっ器質タイル(※300　・　)
・レジンコンクリート製
⊙点字鋲（ノンスリップ型）　材質：ステンレスタイプ（ドット）
屋　外　※レジンコンクリート製
・セラミックタイル(※300　・　)
⊙点字鋲（ノンスリップ型）　材質：ステンレススタイプ（ドットライン）
製造所：

27 旗竿

材質　※アルミニウム合金製
形式　※テーパー型　・同一断面型
地上高さ(m)　※図示　・6　⊙8　・10　・12　3本
操作方法　※ハンドル式　・ロープ式
固定方法　⊙埋込式　・ベース式　・バンド式
構造上必要な独立基礎も含むこと
参考：ｻﾝﾎﾟｰﾙ「FHH-8U」、昭和電工ｱﾙﾐ「EP-BCZ」又は同等品

28 フェンス

種類　・ビニル被覆エキスパンドフェンス　・鋼管フェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス　・アルミフェンス
高さ　・図示　・
製造所：

29 屋外掲示板

形状・寸法　※図示　・
製造所：

㉚収納家具

材質・形状・寸法　※図示　・
製造所：帝国器材、愛知、内田洋行、西尾家具工芸社、又は同等業者

㉛エキスパンション・ジョイント金物

材質　⊙アルミ製(仕上：ﾌｯ素焼付　)
・ステンレス製(仕上：　)
⊙樹脂製　⊙エラストーマー製
クリアランス　※図示　・50　・100　・150　・
耐火性能　⊙あり(　90　分)　・無し
外部は防水型とする。
参考　：ABC商会「アーキウェイブEシリーズ他」、又は同等業者

32 免震建物のエキスパンション・ジョイント金物

材質　・アルミ製(仕上：　)・ステンレス製(仕上：　)
形状、寸法、固定方法　※図示
を適用する
性能指標
・A　種（適用箇所：　）
・B　種（適用箇所：　）
・C　種（適用箇所：　）
床部の耐荷重
・歩行用　・T-2　・T-6
製造所(一社)日本免震構造協会「免震エキスパンションジョイントガイドライン」

㉝耐震スリット

構造特記仕様書による。

34 システム天井

材質・形状　・図示による　・
設計用震度　水平方向（KH）　※1.0　・(　)
鉛直方向（KV）　※0.5　・(　)
製造所：

㉟屋上丸環

材質　※ステンレス製（SUS304）　・

㊱雨水排水抑制施設

図示による

㊲アルミ製庇(既製品)

ｱﾙﾐ庇A：　D=1,000(mm)、L=3,800(mm)程度　取り付けに必要な下地も含む
ｱﾙﾐ庇B：　D=600(mm)、L=2,700(mm)程度　取り付けに必要な下地も含む
ｱﾙﾐ庇C：　D=1,000(mm)、L=2,700(mm)程度　取り付けに必要な下地も含む
製造所：ABC商会「ｲﾝﾀｰﾊﾞｲｻﾞｰCAHｼﾘｰｽﾞ・ﾗｲﾄﾀｲﾌﾟ」又は同等品

㊳乾式浮床工法

⊙日新工業「PFｼｽﾃﾑ」又は同等品

㊴物干金物

⊙ナスタ「KS900AF　M」又は同等品

㊵ｷｯﾁﾝﾊﾟﾈﾙ

⊙厚3mm　アイカ「ｾﾗｰﾙ」又は同等品

㊶消火器表示

⊙2か所（職員用玄関、ﾒﾃﾞｨｱｾﾝﾀｰ3）
詳細は図示による

㊷制気口防虫ﾈｯﾄ

⊙樹脂系材　10ﾒｯｼｭ程度

株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	図面番号 A009
	一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 特記仕様書　その7 縮尺　A1: A3:	

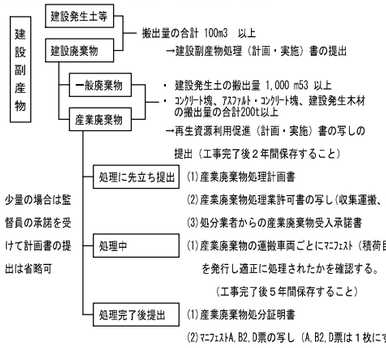
24 その他注記事項

①労災法定外保険等　労働災害被災者救済のために労働者災害補償保険法以外の法定外保険等（以下「労災法定外保険等」という。）に速やかに加入し、契約書の写し又は証明書を提出すること。保険内容等は次のとおりとする。
死亡ないし重度障害時（３級以上）における補償金額は1人につき、500万円以上とする
保険等の対象者は当該工事に従事するすべての労働者であること。
当該工事の着工から完了までの全期間が保険期間であること。

②火災保険等　工事期間及び完成引渡時期まで請負金額分の火災保険に加入し、契約書の写しを提出すること。

③建設業退職金共済制度　建設業退職金共済組合に加入し、その掛金収納書（発注者用）を速やかに提出する。
写しを提出すること。

④発生材等の処理　建設副産物の処理の方法・処分場所の選定には十分配慮し、関係法規等を遵守し適切な処分を行うこと。また、環境破壊、周辺からの苦情、事故等が発生しないよう充分注意すること。
発生材等の搬出処理にあたっては以下の事項を行うものとする。



少量の場合は監督員の承諾を受けて計画書の提出は省略可

中間処分場及び最終処分場の写真等を提出すること。
処理を委託した場合は契約書の写しを提出すること。

⑤施工条件等　本工事は以下の事項に留意し、工事を行うこと。
1．仮囲いの範囲及び作業スペース、駐車場所については事前に監督職員と協議決定すること。
2．仮囲い周辺、工事車両の出入りについて十分な安全対策を見込むこと。
3．工事に先立ち、現況の敷地境界線、地盤レベルを測定し、誤整を行うこと。
4．下請負業者の選定に当たっては、元請負業者が責任を持って保証できる優良な業者とすること。
5．資材購入に際しては、極力地元にて調達すること。

⑥軽微な変更等　納まり、取合い、取り付け方法等による軽微な変更については、監督職員の指示による。この場合、請負代金の増減は行わないものとする。
別途工事との取合いや図中に記載なき事項で、性質上当然必要な工事は施工する。この場合、請負代金の増減は行わないものとする。
発注者の要望等により軽微な変更以外の変更が生じた場合は、原則として、あらかじめ変更見積書と検討図を作成し、監督職員の承諾を受けてから実施する。
契約後明らかとなった見積項目の欠落に係る工事は請負業者の負担にて行うこと。

25 ユニット及びその他の工事（追加項目）

①ﾍﾟﾋﾞｰｼｰﾄ　樹脂製 収納式 W690×D265（使用時815）×H1400
設置場所：多目的トイレ
参考： TOTO「YKA24」、又は同等品、LIXIL、ナカ工業又は同等業者

②補 助 手 摺
補助手摺 A L形 （洋便器用手摺）
補助手摺 B 形 （小便器用手摺）
補助手摺 C 形 （フィッティングボード用手摺）
補助手摺 D L形 （多目的トイレ洋便器用手摺）
補助手摺 E 形 （多目的トイレ壁掛洗面器用手摺）
材種 塩ビライニング鋼管 座金等の附属金物はステンレス製
参考： ﾅｶ工業 「愛のﾃｵｰﾊﾞﾙ」、ﾕﾆｵﾝ「HB-2111-01」「HB-2118-01」「HB-2060-01」、杉田ｴｰｽ「愛ぼうくん」、又は同等品

③郵 便 受 け　ステンレス製(HL仕上) 壁面取付型 W75×D200×H300程度
設置場所：職員室外壁（監督職員との協議による）
参考： ACE「ｺﾝﾊﾟｸﾄﾎﾞｽﾄ箱B型」、ナスタ「KS-MB33S」、田島ﾒﾀﾙﾜｰｸ「MX-303B」又は同等品

④掃除具掛フック　ステンレス製 W15×D31×H37程度 厚3.0 耐荷重25kg程度
設置場所：各SKに3ヶ所ずつ
参考： 杉田ｴｰｽ「ﾎｰﾑﾌｯｸC型」、ｽｶﾞﾂﾈ「ﾊﾝﾄﾞﾙﾌｯｸ」、ｴｰｽ「ﾎｰﾑﾌｯｸ」、又は同等品

⑤簡易雑巾掛　ステンレス製シェルフ W350×D120
設置場所：各SKに1ヶ所ずつ
参考： 杉田ｴｰｽ「RVｼｪﾙﾌ RV-200-SP」、池永鉄工「折畳式収納棚」、又は同等品

⑥面 台　・面台A SUS304厚1.5加工 HL仕上 寸法図示 H20程度
・面台B ﾒﾗﾐﾝ化粧板 ﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑ加工（既製品） 寸法図示 H20程度

⑦ユニットシャワー　800×1350、排水トラップ・目皿付 樹脂製既製品
参考： TOTO JSV0808LW7 又は同等品
LIXIL、ﾀｶﾗｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ、又は同等業者

⑧ピクチャーレール　設置場所：図示による
ｱﾙﾐ製 電着塗装（ｵﾌｲﾄ） 先付天井埋込型見切線兼用額吊ﾚｰﾙ（安全荷重30kg以上）
ﾗﾝﾅｰﾌｯｸ・ﾜｲﾔｰﾊﾝｶﾞｰ(L=1.5m)共 1m当たり2ヶ所とする（安全荷重30kg以上）
参考： ﾀﾁｶﾜﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ「ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙVP-4」、ｷｭｰﾜﾅｽﾀ「KS-PCR40A」、杉田ｴｰｽ「ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙｷｬﾗﾘｰDA」又は同等品

⑨消火器ボックス　壁埋め込み型：スチール製焼付塗装品（指定色）、表示付
設置場所：図示
参考：ﾕﾆｵﾝ「UFB-1F-2300N-PWH」、又は同等品
ナカ工業、ナスタ又は同等業者

⑩易操作性1号消火栓用扉　スチール製塗装品 表示付、消火器BOX付
設置場所：
参考： ﾕﾆｵﾝ「UFB-1F-2060R-PWH」、立売堀製作所「埋め込み型」又は同等品

⑪消火器　ABC10型 ○○ヶ所
設置場所：法規チェック図 その1～3による

⑫衝突防止ガラス　ガラス製(工芸高温加熱溶着加工) 130ヶ所
(詳細はｻｲﾝ詳細図による、ﾃﾞｻﾞｲﾝについては監督職員と協議の上決定のこと)
ﾘｻｲｸﾙｶﾞﾗｽは既存校舎及び地域より収集しｻｲﾝ業者に提供する。ｻｲﾝ業者は工場にて焼成及びﾃﾞｻﾞｲﾝを彫刻した後、現場搬入し、施工WSを開催し、施工に協力すること
製造所 陶額堂 又は同等業者

⑬定礎板　SUS304製 t=3.0 400×300程度 バイブレーション仕上 エッチング文字共
1ヶ所 設置場所は監督職員と協議の上決定のこと

⑭ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱ　樹脂製 収納式
参考： TOTO「YKA15R」、又は同等品

⑮ﾌｨｯﾃｨﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ　樹脂製 収納式
設置場所：各トイレ、ブース1ヶ所
参考： TOTO「YKA41R」、又は同等品

⑯姿見鏡　ﾌﾚｰﾑ ｱﾙﾐ製 W450×H1450程度
設置場所：男子便所、女子便所、特別支援教室4・5
参考： TOTO「YMK50K」、又は同等品 LIXIL、又は同等業者

⑰多目的トイレパック　・コンパクトバリアフリートイレパック（車椅子・オストメイト対応）
ウォッシュレットアプリコットP付き
設置場所：多目的トイレE1、多目的トイレE2、屋内体育館棟トイレ
参考： TOTO「UADAK21R1A1ADD2BB」又は同等品
・コンパクトバリアフリートイレパック（乳幼児連れ配慮セット）
ウォッシュレットアプリコットP付き
設置場所：多目的トイレN1
参考： TOTO「UADBK61R1A1ADD2BB」又は同等品

⑱映写スクリーン　手動巻上スクリーン 100ｲﾝﾁ W2032×H1524程度、150ｲﾝﾁ W3231×H2019程度 既製品
設置場所：
参考： 青井黒板製作所「手動巻上スクリーン」、又は同等品

19 傘立　既製品 W750×D300×H495
設置場所：
参考： ﾅｶﾑﾗ「L948CB-SO1O」、ｺｸﾖ「IS-S」、ｲﾄｰｷ「LCA-145」又は同等品

⑳ウッドデッキ敷　鋼製根太組 ノンビス工法
桝・ドレイン部・排水構部には必要に応じて点検口を設けること
デッキ材 再生木材 厚30X130X2000～程度 帯電防止塗装・溝切り加工品
製造所：天龍ﾌﾟﾚﾊﾟｰｸ(株)「ｽｶｲﾃﾞｯｷ」
三洋工業(株)「ｻﾆｰﾃﾞｯｷ」
ABC商会「ｱｰｽﾃﾞｯｷEX」 又は同等品

21 車当り　配膳室プラットフォーム 合成ｺﾞﾑ製 100×100程度 D型 ｴﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ付き
参考： フタハシ技研「PCD-1010RD」、（ムクタイプ）
クマモト「CSD-0110」又は同等品

㉓目隠しフェンス　・本体 アルミニウム合金押出形材+陽極酸化塗装複合被膜
支柱H＝2.0m（1階）、0.75m(PH階) @2.0m
基礎：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 500mm角×H500,600mm（1階）
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 500mm角×H500mm（PH階）
製造所： LIXIL「ｱｰﾓﾗｲﾝｽｸﾘｰﾝﾌｪﾝｽ（縦格子ﾌﾘｰﾎﾞｰﾙﾀｲﾌﾟ ｼｬｲﾝｸﾞﾚｰ）」、又は同等品

㉒物干し竿金物　亜鉛ﾒｯｷｶｽﾄ製 L=1020～1200程度 着脱可能ﾀｲﾌﾟ 3段階昇降可能
製造所 ナスタ「屋外物干 KS-900AF-M」、又は同等品

㉘昇降式物干し　ｱﾙﾐ製 L寸法は図示 面付ﾀｲﾌﾟ 昇降幅1000mm程度(天井下地補強含む)
製造所 川口技研「室内用 ﾎｽｸﾘｰﾝ昇降式（操作棒ﾀｲﾌﾟ）URM-L」、ﾀｶﾗ産業「TG」、DAIKEN「ものほし上手」又は同等品

㉙洗濯機パン　FRP製 W900×D640×H80程度 排水トラップ・附属品共
製造所 LIXIL「PF-9064C」、
TOTO「PWP900N2W」、杉田ｴｰｽ「TPD700」又は同等品

㉚避難器具　垂直降下式救助袋
製造所 石川商工「セフティ救助袋垂直式 屋内垂直回転3段式」、
ｵﾘﾛｰ「ｵﾘﾛｰ垂直式救助袋WA型」、ﾀｶｵｶ「ﾍﾙﾊﾟｰII救助袋」又は同等品

㉛百葉箱　木製既製品（脚部_SUS製）、60型・準気象庁2号型、単葉式・片屋根
製造所 佐藤計量器製作所「No.7960-50」、
安藤計器製工所「AND-60-SU」、ﾏﾙﾁ計測器「CN5012B-2型」又は同等品

㉜外断熱システム　・RC造用_透湿型湿式外断熱システム 寸法等詳細は図示による
断熱材：ビーズ法ポリスチレンフォーム(EPS) JIS4号品相当
GL＋1.0m程度までのﾒｯｼｭについては耐衝撃強化仕様にすること
ー般部→ 参考：東邦レオ「エコサーム」、又は同等品
ﾀｲﾙ仕上部→ 参考：東邦レオ「レオTOP外断熱工法」、又は同等品

㉝左官塗り仕上　宮代町産土入り各種土壁仕上げ（指定左官工事）については、市民参加の施工ワークショップにて施工すること。その際、一般社団法人日本左官会議の監修を受けること。ただし、各種段取りについては監理者が行うこととし、施工業者は準備等協力すること。
（下地施工について、PBの小口面は木工用ﾎﾞﾝﾄﾞを用いて接着する等配慮すること）
協力業者 蒼築舎、又は同等業者

㉞ホーロー銅板（背面白板壁）　厚 1.3mm 四周見切(メーカー指定)
ﾀｶﾗｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ「ホーロー内装材 ｴﾏｳｫｰﾙ ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ」、又は同等品

35 ﾃﾚﾋﾞ天井吊具　ｼﾝｸﾞﾙﾀｲﾌﾟ（本体ｾｯﾄ、ﾃﾚﾋﾞ取付金具、吊り下げﾊﾟｲﾌ(1200～1500)共）
製造所 ﾊﾔﾐ工産「TH-B55＋TP-B120＋MZ521」、
杉田ｴｰｽ「CHU-40+CTP1250G」、ｴﾑｴﾙｹｰ「「OCR-75TM」又は同等品

㊱荷物掛け用ﾌｯｸ　SUS製W36×D33×H40(ﾌｯｸは@100で設置) 取付下地は桧25×60 OSCL
製造所 ﾏﾃﾘｵﾄﾞｯｸﾞﾘ「象ﾌｯｸa326」又は同等品

㊲内装仕上用単板積層材　施工箇所：図示、厚さ：15mm、樹種：ｽｷﾞ ｳﾚﾀﾝｸﾘｱ塗装

㊳誘導標識　蓄光硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ製 120×360mm(日本消防設備安全ｾﾝﾀｰ認定 NP-009号)
避難口：38ヶ所、通路：44カ所 設置位置は監督職員との協議による
日本緑十字社「壁面用避難設備(蓄光式誘導標識)」、又は同等品

㊴水性常温亜鉛めっき塗料塗り　材質：水性常温亜鉛めっき
仕上種別：ローラー塗布、塗布量：製造所の仕様による
参考：ローバル「水性ローバル」、又は同等品

㊵防塵塗床　材質：水性型ｱｸﾘﾙ樹脂系防塵塗床材
仕上種別：ローラー塗布、塗布量：製造所の仕様による
参考：ABC商会「OAｸﾘｱｺｰﾄ」、又は同等品

41 厨房塗膜防水　材質：水性硬質ウレタン系塗膜防水 厚6.0mm
仕上種別：ローラー塗布、塗布量：製造所の仕様による
参考：ABC商会「タフクリートMH(MH工法)」、又は同等品

㊷天井吊りフック　材質：ステンレス製 50×105（ｸﾞﾘｯﾌﾟｱﾝｶｰ W3/8用 ｽﾁｰﾙ製）
設置場所：理科室２及び理科室３に1ヵ所ずつ
参考：杉田エース「アイルトフック」、又は同等品

43 木材保護塗料塗り（WP）　(18.14.2)(表18.14.1)
木材保護塗装塗り ○A種 ※B種
参考：日本ﾎﾜｲﾄ（屋外）：「ｵｽﾓｶﾗｰｳｯﾄﾞｽﾃｲﾝﾌﾟﾛﾃｸﾀｰ」
（屋内）：「ｵｽﾓｶﾗｰ ｴｸｽﾄﾗｸﾘｱ ｳｯﾄﾞﾜｯｸｽ」
大阪ｶﾞｽｹﾐｶﾙ（屋外）「ｷｼﾗﾃﾞｺｰﾙ」、（屋内）「ｷｼﾗﾃﾞｺｰﾙｲﾝﾃﾘｱﾌｧｲﾝ」、
和信化学「ｶﾞｰﾄﾞﾗｯｸﾃｯｸｽ」、又は同等品

㊹ゴム製コーナーガード　軟質塩化ビニル樹脂（PVC）製 30角程度 H2000
製造所 王子ゴム化成「SCO-3021V」または同等品
設置場所：体育室1階柱の角部全て（計29箇所）

㊺窯業系サイディング　厚み16mm
製造所 ニチハ株式会社「モエンエクセラード16 フラットウォール」又は同等品

㊻既存樹活用　既存樹木：ヒマラヤスギ 1本
設置場所：メディアセンター3 給湯スペース カウンター 家具詳細図による

26 追記事項

9.防 水 工 事
①シーリング　シーリングの保証期間（追記）
1）ｼｰﾘﾝｸﾞ材の保証期間は下記による

シーリング材の種別		保証期間
SR-2	ｼﾘｺｰﾝ系	7年
MS-2	変性ｼﾘｺｰﾝ系	5年
SR-1	ｼﾘｺｰﾝ系	5年
PS-2	ﾎﾟﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系	3年
ｽﾄﾗﾀｸﾁｭｱﾙｸﾞﾚｰｼﾞﾝｸﾞｶﾞｽｹｯﾄ（強度保証共）		10年
ｸﾞﾚｰｼﾞﾝｸﾞﾁｬﾝﾈﾙﾋﾞｰﾄﾞ	CR	7年
	PVC	2年

2）上記保証期間内に漏水・破断などが認められた場合、請負者の責任において調査を行い、故障が認められた場合は無償補修を行う。

14.金 属 工 事
①軽量鉄骨天井下地（追記）
1）屋外の軒天井及びﾋﾟﾛﾃｨ天井については、強風対策として以下の天井補強を行う。但し、この仕様は天井面の風圧力が400kg/㎡迄で、且つ、天井ふところ寸法が1,500mm以内の場合とし、それ以上となる場合は計算により補強を追加する。
a.野縁受け、吊ﾎﾞﾙﾄ及びｲﾝｻｰﾄの間隔は600mm以下とし、周辺部からは端から100mm以内とする。
b.野縁の間隔は250mm以下とする。
c.野縁は耐風圧型（野縁、ｸﾘｯﾌﾟ、ｼﾞｮｲﾅｰ等）を使用する。
d.吹上げによる吊りﾎﾞﾙﾄの座屈防止対策として全数角ﾊﾟｲﾌﾟ（□-19×19×1.2）にて補強する。
e.天井ﾎﾞｰﾄﾞの下地材に対する留付け間隔は100mm程度とする。

②接触腐食防止処理　ｱﾙﾐﾆｳﾑがｺﾝｸﾘｰﾄ・ﾓﾙﾀﾙ・吹付けﾛｯｸｳｰﾙなどのｱﾙｶﾘ性材料に接触する場合、及び異種金属同士の接触防止処理は下記による。ﾎﾞﾙﾄ・小ﾈｼﾞ・釘・座金などの取付金物でｽﾃﾝﾚｽ・ｱﾙﾐ・鋼んどと接触するものは、ｽﾃﾝﾚｽ製とする。

条件		
アルミニウム ↑ ↓ アルカリ性材料	アルミニウム側	陽極酸化皮膜（9μ以上）+クリヤー処理（7μ以上）又は合成樹脂パッキング 又は塗装（養生用クリヤーなど20μ以上）塗装は耐アルカリ塗料とする
鉄 ↑ ↓ アルミニウム	鉄側	亜鉛めっき又は錆止め塗装2回塗（30μ以上）
	アルミニウム側	陽極酸化皮膜（9μ以上）+クリヤー処理（7μ以上）又は合成樹脂パッキング 又は塗装（養生用クリヤーなど20μ以上）
アルミニウム ↑ ↓ ステンレス	アルミニウム側	陽極酸化皮膜（9μ以上）+クリヤー処理（7μ以上）又は合成樹脂パッキング 又は塗装（養生用クリヤーなど20μ以上）
	ステンレス側	無処理
ステンレス ↑ ↓ 鋼	ステンレス側	無処理
	鋼側	無処理
ステンレス ↑ ↓ チタン	ステンレス側	無処理 恒し、海岸、工業地帯は塗装（養生用クリヤーなど20μ以上）又は合成樹脂パッキング
	チタン側	無処理
チタン ↑ ↓ 鉄・アルミニウム	チタン側	無処理 錆止め塗装2回塗（30μ以上）・陽極酸化皮膜（9μ以上）+クリヤー塗装（7μ以上）又は合成樹脂パッキング
	鉄・アルミニウム側	

株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.		設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	図面番号 A010
		ー級建築士 NO.273069 高木 耕ー	ー級建築士 NO.343695 久保 久志	ー級建築士 NO.345792 構造設計ー級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 特記仕様書 その８ 縮尺 A1: A3:	

21 排水工事

①屋外雨水排水
※詳細はA502による

排水管用材料 (21.2.1)(表21.2.1～2)

材　種	管の種類	形状	呼び径
⊙遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管（※1種）・	※B形管	※図示　・
⊙硬質ポリ塩化ビニル管	※VP　・		※図示　・
	⊙VU　・RS-VU		※図示　・

硬質ポリ塩化ビニル管の接手に用いる材料　※接着剤　・ゴム輪
基床の厚さ及び種類　※図示による　・
側塊の形状及び寸法　※図示による
排水桝の種類　※図示による　・
砂地業の材料　シルトや有機物の混入がない山砂、川砂又は砕砂　(4.6.2)
砂利地業に用いる材料　※再生クラッシャラン・切込砂利・切込砕石　(4.6.2)

②鋳鉄製ふた
※詳細はA507による

(21.2.1)

名　称	種　類	適用荷重	備　考
鋳鉄製	⊙水封形	※図示	鍵
マンホールふた	・簡易密閉形（パッキン式）	・T-2用	※図示
	・密閉形（テーパ・パッキン式）	・T-6用	化粧蓋の場合の目地
	・中ふた付密閉形	・T-14用	※SUS
（化粧蓋の適用は	（テーパ・パッキン式）	・T-20用	・鋳鉄
図示による）	・	・T-25用	化粧蓋の仕上げ材
		・	※周囲の仕上同材
			・

製造所：

③グレーチングふた
※詳細はA507による

(21.2.1)

名　称（適用箇所）	材　質	形　式	適用荷重	メインバーピッチ	上面形状
⊙溝ふた（図示）	⊙鋼製	※受枠付	⊙歩行用	⊙細目	※凹凸形
⊙桝ふた（図示）	⊙ｽﾃﾝﾚｽ製	ボルト固定		・	・
⊙U字溝（図示）	⊙鋳鉄製	・受枠付	※図示	※普通目	⊙平形
・		・	・T-	・細目	・凹凸形
・		・	・T-		
・	・鋼製	・	・	・	・
	・ｽﾃﾝﾚｽ製				

製造所：

④街きょ　縁石、側溝
※詳細はA507による

(22.3.1～2)(表21.3.1)

種　類	形状、寸法	備　考
・街きょ、縁石	⊙図示　・	
・L形側溝	⊙図示　・	
⊙U形側溝	⊙図示　・	
⊙U形側溝ふた	⊙図示　・	
・		
⊙図示	⊙図示　・	

砂地業の材料　シルトや有機物の混入しない⊙山砂、・川砂又は・砕砂
砂利地業に用いる材料　※再生クラッシャラン・切込砂利・切込砕石
砂利地業の厚さ(mm)　※100　・図示

5 凍上抑制層の材料
(21.2.1)

※再生クラッシャラン
・クラッシャラン　・切込砂利　・砂
厚さは図示
砂を用いる場合の粒度試験　・行う　※行わない

⑥現場打ちの場合のコンクリート材料
(21.2.1)

※普通コンクリート　・
設計基準強度　※18N/㎟　・
スランプ　※15cm又は18cm　・
鉄筋の種類　※SD295　・

⑦埋戻し土
(21.2.3)

・A種　※B種　・
（標仕 表3.2.1）

22 舗装工事

①路床

路床の材料 (22.2.2～5)(表22.2.1)

種　別	材　料	厚さ(mm)
⊙盛土	・A種　※B種　・C種　・D種（標仕 表3.2.1）・	※図示　・
・凍上抑制層	※再生クラッシャラン　・クラッシャラン　・切り込み砂利　・砂	※図示　・
⊙フィルター層	※砂　・	※図示　・

路床安定処理

安定処理の方法　⊙安定処理工法　・置換工法
安定処理工法の添加材料
⊙普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントB種
・高炉セメントB種
・生石灰（　）　・消石灰（　）
添加量を定めるために用いるCBR　⊙3以上　・5以上

試験
路床土の支持力比試験（CBR）試験　※行う　・行わない
路床締固め度の試験（現場密度）
・行う　※行わない（但し埋め戻し及び盛土部は行う）
現場CBR試験　・行う　※行わない

②路盤

路盤の厚さ　⊙図示による　(22.3.1～2)(表22.3.1)
路盤材料
・クラッシャラン　・粒度調整砕石
※再生クラッシャラン　・クラッシャラン鉄鋼スラグ
※再生粒度調整砕石　・粒度調整鉄鋼スラグ　・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ

③アスファルト舗装

(22.4.1～6)(表22.4.1～6)
アスファルト舗装の構成及び厚さ　※図示による
材料
アスファルト　※再生アスファルト（※60～80　・80～100（寒冷地域））
・ストレートアスファルト
加熱アスファルト混合物等の種類

区　分		種　類
表層	⊙一般地域	※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)
	・寒冷地域	※密粒度アスファルト混合物(13F)
基層（基層を設ける場合）		※粗粒度アスファルト混合物(20) ・

プライムコート用乳剤（JISK2208）種別　PK-3
タックコート用乳剤（JISK2208）種別　PK-4
試験
アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う

④半たわみ性舗装

半たわみ性舗装の構成及び厚さ　※図示による
表層：半たわみ性舗装用アスファルト混合物(13)　※全浸透　・半浸透型
基層：密粒度アスファルト混合物(13)
浸透用セメントミルク　※普通タイプ　・早強タイプ　・超早強タイプ

⑤コンクリート舗装

コンクリート舗装の構成及び厚さ　※図示　(22.5.1～6)(表22.5.1～3)
材料
コンクリート　※普通コンクリート（標仕表22.5.1による）
・図示による
早強ポルトランドセメント　・適用する　※適用しない
注入目地材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ
目地の種類、間隔、構造
※標仕表22.5.3及び図22.5.1による　・図示

6 カラー舗装

舗装の構成及び厚さ　※図示　(22.6.1～6)(表22.6.1～2)
※加熱系カラー舗装
加熱系混合物の結合材
・アスファルト混合物　・石油樹脂系混合物　顔料の添加量（　%）
加熱系混合物の材料
※着色骨材（　）　・自然石（　）
・常温系カラー舗装
・ニート工法　・塗布工法
着色部の下部　・アスファルト舗装　・コンクリート舗装

⑦透水性アスファルト舗装（歩行者用通路）

透水性アスファルト舗装の構成及び厚さ　※図示による　(22.7.1～6)
材料
アスファルト　※再生アスファルト　（※60～80　・80～100（寒冷地域））
・ストレートアスファルト
試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　※行わない

⑧ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装 (22.8.1～3)(表22.8.1)

種　類	寸法(mm)	厚さ(mm)	クッション材	目地材	表面仕上
・普通平板（N）	※300角	※60	※図示	※図示	※標準品
・透水性平板（P）			・砂	・砂	・
・保水性平板（M）			・空練りモルタル	・モルタル	

仕上がりの平坦性
※コンクリート平板間の段差3mm以内
製造所：

⊙インターロッキングブロック舗装

種　類	部位	形状 寸法(mm)	形状 厚さ(mm)	曲げ強度 (N/MM2)	色彩 表面加工等
※歩道ブロック（N）	車路	・図示	※80	※5.0	・標準品
⊙透水性ブロック（P）		・	・	・	⊙図示
・保水性ブロック（M）					
※歩道ブロック（N）	歩行者用	・図示	※60	※3.0	・標準品
⊙透水性ブロック（P）	通路	・	・	・	⊙図示
・保水性ブロック（M）					

仕上がりの平坦性
※インターロッキングブロック間の段差3mm以内
製造所：イワタ、又は同等業者

・舗石舗装

種　類	形状、寸法	厚さ(mm)	割付け	クッション材	基　層
※小舗石（花こう岩）	・図示	・80	・図示	※図示 ・砂 ・空練りモルタル	※コンクリート版（※ 70 ・ ） ・アスファルト混合物（※ 50 ・ ）
・	・	・	・		

仕上がりの平坦性
※舗石間の段差3mm以内
製造所：
ブロック系舗装の建物壁際の目地部は、硬化剤等により目地砂が流出しないよう措置を行うこと。

⑨砂利敷き

(22.9.1～3)(表22.9.1)

通路　※A種　・図示による
建物周囲その他　※B種　・図示による

⑩路面標示用塗料

路面標示用塗料は JIS K 5665 による

種　類		色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)	備　考
※3種1号	溶融	※白	⊙図示	※1.5程度	低揮発性有機溶剤型
・1種	常温	・	・150	・	路面標示用水性塗料
・2種	加熱				

23 植栽及び屋上緑化工事

①植栽地の確認等

土壌の水素イオン濃度指数（ｐＨ）試験　※行う　・行わない　(23.1.3)
電気伝導度（EC）試験　・行う　・行わない
土の硬さ及び透水試験　⊙行う　・行わない
土の硬さ及び透水性の試験は、植栽予定地100㎡内毎に1箇所とする

②植栽基盤整備

芝及び地被類 (23.2.1～4)(表23.2.1～2)

適　用	有効土層の厚さ(cm)	工　法	整備範囲(面積)
※行う　・行わない	※30　・	⊗B種 ⊙C種	※植栽範囲　・図示

樹木 (23.2.2～4)(表23.2.1～2)

樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工　法	整備範囲(面積)
・12以上	※100　・	※A種	・葉張りの範囲
・7以上～12未満	※80　・	・B種	ただし、低木は植栽範囲
○ 3以上～7未満	※60　・	⊙C種	⊙図示
○ 3未満	※50　・	・D種	

工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行うこと。

④植込み用土

※客土（※畑土　⊙黒土）　・現場発生土の良質土　(23.2.3)

4 土壌改良材

※適用する　(23.2.3～4)
施工箇所　※植栽範囲　・図示
種　類
・バークたい肥
・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）
土壌との適合性を確認し、品質を証明する資料を監督職員に提出して承諾を得ること。

⑤樹木

樹種、寸法、株立数　※ 図示による　・

⑥支柱材

種　別　※加圧式防腐処理丸太材　(23.3.2～3)
⊙杉の焼丸太(間伐材)　・真竹
形　状　⊙添え柱形　・鳥居形　⊙ハッ掛け形　⊙布掛け形
・ワイヤ掛け形　⊙地下埋設形
製造所：

⑦幹巻き用材料

※幹巻き用テープ　・わら及びこも　(23.3.2)

⑧芝張り

種　別　※コウライシバ　⊙ノシバ　・耐除性改良芝　(23.4.2)
工　法　・目地張り　⊙ベタ張り

⑨新植・移植樹木、芝等の枯補償

※引き渡しから１年　(23.3.4)(23.3.6)(23.4.7)
・

10 屋上緑化

(23.5.1～4)
植栽基盤
・屋上緑化システム
土壌層の厚さ：　※図示　・
排水層：　・軽量骨材　（層の厚さ：　※図示　・　）
・板状成形品（　）
土壌層：　※改良土　・人工軽量土
・屋上緑化軽量システム
製造所：

植栽の種類　※ 図示　・
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等
※ 図示　・
工　法
建築基準法により定まる風圧力の(※1.0　・　)倍の風圧力に対応した工法
その他、樹種等及び植栽基盤に応じた工法とする。

支柱　・設置する
設置箇所：（ ※ 図示　・　）
形式：　（ ※ 図示　・　）

かん水装置
・設ける(工事区分は図示)
種類：　（ ※ 図示　・　）

⑩植栽等検査

高木は栽培地にて検査を行い、検査記録を提出して監理者の検査を受けること
材料は原則関東地方平野部の圃場生産品とし、入手困難な樹種は協議を行うこと
高木類は、所定の規格・寸法等が満足されていても、監理者により、
使用目的・場所に適さないと判断された樹姿不良木は使用しないこと
中木・低木・地被類及び芝等は、見本を提出し、監理者の承認を受けること
低木の花色が指定されている場合は、花色の確認を行ったものを使用すること
樹木配植の際は、あらかじめ木杭等を所定の位置に立て、主要な見付方向や傾き具合等に留意して配植のバランスや取り合い調整を行い、監理者の承認を受けること
植栽土壌に対する条件 15㎜ 以上の、化学物質、モルタル、コンクリート、小石等、その他の植物の生育に有害な物質は取り除くこと
請負者の判断と責任により、樹木運搬直前に、葉をつけた植物材料すべてにそれぞれの材料に適した蒸散抑制剤の噴霧を行ってもよい
必要に応じて樹冠、枝及び葉の部分に、寒冷紗等による適切な覆いをかける
敷地内に運び込まれ仮置きされる樹木については、仮置きの時間は、24時間を超えないものとする

株式会社東畑建築事務所
TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

設計番号	作成日	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	図面番号
20250043	2026.3				
一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 特記仕様書　その９ 縮尺 A1: A3:	A011

Ⅰ.工　事　概　要

1　工 事 名　　須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
2　工事場所　　埼玉県南埼玉郡宮代町大字須賀字砂河原1425番1
3　敷地面積　　12,863.23　㎡
4　都市計画　　⊙都市計画区域内　・都市計画区域外
　　・市街化区域内　⊙市街化調整区域　・非線引き区域
5　用途地域　　・指定なし
6　防火地域　　・防火地域　・準防火地域　⊙指定なし
7　騒音規制法に基づく指定地域　・1種　⊙2種　・3種　・4種

8

解体建物	棟番号	建物名称	構造・規模	床面積（㎡）
A701_配置図による				

工事範囲

※ 図示の範囲全ての設備機器類、配管配線（地中埋設物とも）を含むすべての範囲
・ 電気設備の解体を除く範囲（電気設備の解体工事は別途工事）
・ 機械設備の解体を除く範囲（機械設備の解体工事は別途工事）

9　その他解体内容　　建物周囲の外構、植栽、構内舗装（範囲は図示による）

Ⅱ.解体工事特記仕様

章	項　目	特　記　事　項
1 各章共通事項	①適　用	(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築物解体工事共通仕様書（令和7 年版）」（以下「解共仕」という。）による。ただし「解共仕」に規定されている項目以外は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和7 年版）」（以下［改修標仕］という。）、「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和7年版）」（以下［改修標仕(電)］という。）、「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和7年版）」（以下[改修標仕(機)］という。）による。 (2) 項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。 (3) 特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。 ⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ⊙印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。 (4) 特記事項に記載の 「　　」 内表示番号は「解共仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (5) 特記事項に記載の［　　］ 内表示番号は［改修標仕］の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (6) 製造所名は、順不同とし「株式会社」等の記載は省略する また、「　　」 内は、製品名を示す (7) 特記仕様書に記載の「監督職員」とは、工事契約書に基づき、官公庁発注工事においては監督職員、監督員又は監督官をいい、民間発注工事においては監理者をいう (8) 書面を提出する場合の書式（工事記録等を含む）は、発注者の指定する書式とする 発注者の指定がない場合は、監理者が指示する書式とする
	②優先順位	設計図書の優先順位は下記による。「1.1.1」 (1) 質疑回答書（(2)～(5)までに対するもの） (2) 現場説明書 (3) 特記仕様書 (4) 図面 (5) 建築物解体工事共通仕様書（令和7年版） 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版） 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和7年版） 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和7年版）

③適用基準等　⊗営繕工事写真撮影要領（令和５年版）
・構内舗装・排水設計基準（令和4年版）
⊙既存建築物の吹付けアスベスト粉塵飛散防止処理技術指針・同解説 2018
（日本建築センター）

④損害賠償　解体工事により、請負者の責に帰すべき損害が生じた場合、請負者はその損害を賠償すること。

⑤工事実績情報サービスへの登録（コリンズ(CORINS)）　工事実績情報(受注時・変更及び完成時)は、あらかじめ監督職員の確認を受け、登録機関へ登録する。「1.1.4」
(財)日本建設情報総合センター(JACIC)より発行された登録内容確認書を監督職員に提出する。

⑥設計図書の取扱い　本工事設計CADデータの貸与
貸与したCADデータは、本工事に必要な施工図作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。
当該CADデータは完成時に全て返却することとし工事受注者において工事期間中に複製または再配布している場合はすべて削除すること。
貸与するＣＡＤデータは設計業務の成果品であり、著作物に該当する場合、著作権法に規定する著作者の権利は設計者に帰属する。

⑦工事の記録等　報告に用いる様式は1.1.(8)による「1.2.3」
下記により工事の記録写真を撮影し、提出する。

撮影時期	撮　影　箇　所	提　出　方　法
工事着手前	⊗ 解体前の状況　監督職員の指示 ⊙ 周囲建物の状況　監督職員の指示	プリンター用紙 A4ファイル 2 部
工事中	※ 解体工事状況、建設副産物の処理その他（解共仕1.2.3(4)による） ・	DVD-ROM　2 部
工事完了時	⊗ 完了状況　監督職員の指示 （ 協議 ） ⊙ 近隣状況　監督職員の指示 （ 協議 ） ・	
上記のほか、監督職員の指示により撮影する		

⑧電気保安技術者　工事現場におく電気保安技術者は、必要な資格又は同等の知識及び経験を証明する資料により、監督職員の承諾を受け、電気工作物の保安業務を行うものとする。「1.3.3」

⑨施工条件　⊙施工時間　（ 8：00 ～ 18：00 ）⊗ 関係者と協議の上決定「1.3.5」
⊙施工順序等　（ 着工後すぐに提案をおこなうこと　）
⊙その他の条件（監督職員の指示により、学校運営に支障がないようにすること ）
上記以外は現場説明書等の施工条件明示による

⑩施工中の安全確保及び環境保全等　解共仕1.3.6 「施工中の安全確保」及び、1.3.9「施工中の環境保全等」による措置を講ずるほか、近隣等からの要望や苦情等に対応する担当者を定め、現場に連絡先を掲示し、迅速で誠意ある処置を講ずること。「1.3.6」「1.3.9」

①近隣説明　工事着手前に、近隣住民に対し工事の概要等に関する説明を行うこと。「1.3.6」
解体工事施工計画書を速やかに監督職員に提出し、承諾を受けた後
近隣住民等に対し説明会の開催又は戸別に訪問し説明する。
説明に際しては、解体工法･公害防止対策･道路使用計画･安全対策･作業時間
万一の場合の補償等について行い、関係住民等から合意と協力が得られるよう努めること。

②道路復旧等　本工事の資材搬出入のために使用する道路において、工事中他の車両の通行あるいは歩行に支障のないよう常に留意すること。なお道路等に損害を与えた場合は､その都度直ちに監督職員と協議し、復旧するものとする。
それに要した費用はすべて請負者において負担するものとする。

③発生材の処理　解体工事に伴い発生する建設副産物の処理「1.3.10」
ｱ) 発注者に引渡しを要するもの
※PCB含有物　・金属類　・
ｲ) 工事現場において再利用及び再資源化を図るもの
⊙ 図中のコンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材、金属類、伐採樹木の一部
ｳ) 上記以外のものは、全て工事現場外に搬出し、建設リサイクル法、資源有効利用促進法、廃棄物処理法その他関係法令に基づき適切に処理のうえ発注者 に報告する。
また、4章［建設廃棄物の処理］、5章［特別産業廃棄物の処理］、6章［石綿含有建材の除去及び処理］及び［特殊な建設副産物の処理］により適切に処理する。

④石綿含有建材の調査　石綿含有建材の事前調査「1.5.1」
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う
⊗既存の設計図書、調査報告書等の書面調査及び現地での目視調査
⊙分析による石綿含有建材の調査を行う
分析方法（改修標仕1.5.1(4)による） サンプル数：1箇所あたり3サンプル

材　料　名	部　位	定性分析	定量分析
・	・	・ 箇所	・ 箇所
・	・	・ 箇所	・ 箇所
・	・	・ 箇所	・ 箇所
・	・	・ 箇所	・ 箇所

採取箇所は監督職員の指示による
調査範囲　⊗工事対象範囲　⊙ 事前調査済み以外の範囲　）
調査結果が設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する
調査結果は関係法令に基づき、官公署に報告する

⑤施工調査　施工数量調査「1.5.1～2」
⊗ 施工に先立ち監督職員と協議し、目視、打診、計測等により施工数量調査を行い、調査報告書を2部提出する。
調査範囲は、工事対象範囲とする。
調査結果が設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。

地中埋設物、建物躯体内埋設配管等の調査
⊗ 施工に先立ち事前調査を行う
既設埋設配管等の位置・経路等が不明の場合は、探査方法や試験堀方法を監督職員と協議する
調査範囲は、工事に伴い掘削や取り壊しを行う範囲とする

その他の調査
⊙敷地周辺の家屋調査
調査項目　：家屋等の現状立ち会い調査
調査範囲　：隣地境界線に接する範囲及び 監督職員の指示による
調査時期　：解体工事着工前 、解体完了時
工事着手前に隣接地及び必要と思われる周辺家屋等あるいは要求のあった周辺家屋等を専門家により目視、測定等で調査を行わせ、写真等により記録すること。
近隣に損害を与える可能性のある要因が他にも存在する場合は、監督職員と協議の上、適切な調査を行うこと。

・土壌汚染、水質汚染の事前調査
調査基準　：土壌汚染対策法及びその他の関連法令に従う
調査項目
・土地利用履歴調査
既存の資料、文献による確認（発注者等からの提供資料を含む）
・汚染状況調査
対象有害物質についてサンプリングを行い、分析を行う
有害物質の種類、調査方法、報告書等は図示による
・

⑥技能士　「1.6.2」

工事種目	技能検定の職種	技能検定作業
仮設工事	とび	・とび作業

2 仮設工事

①騒音･粉塵等の対策　・防音パネル（ 設置位置　※ 図示　・　） 「2.2.1」
・防音シート（設置位置　※ 図示　・　）

②足場等　内部足場　※脚立、足場板等　・ 図示 「2.2.1」「2.2.2」
外部足場　防護シートによる養生　※行う　・行わない
材料、撤去材等の運搬方法の種別　（部分解体工事等の場合） ［表2.2.1］
・A種　・B種　・C種　・D種　・E種

③既存部分の養生　既存部分に汚染または損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う [2.3.1]
万一、損傷を与えた場合は、請負者の責任において修復等の措置を行う
（部分解体工事等の場合）
養生の方法
・既存部分　※ビニルシート等、合板等　・
・既存家具、設備等　※ビニルシート等　・
固定家具、備品等の移動　※行わない　・行う（図示）

4 仮設間仕切　・仮設間仕切、仮設扉　（部分解体工事等の場合） [2.3.2]
設置個所　・図示
種別　・A種　・B種　・C種　・図示
仮設扉：木製扉

5 監督員事務所　・設けない　・構内に設置する　・ 既存建物内の一部を使用する 「2.3.1」
設置する場合の規模　（　）㎡程度
必要設備、備品類は監督職員の指示による

⑥工事用水　・構内既存の施設　※利用できない　⊙ 利用できる（※有償　・無償 ）

⑦工事用電力　・構内既存の施設　※利用できない　⊙ 利用できる（※有償　・無償 ）

⑧仮囲い等　・仮囲い　（ ・ H= 3000　・ H = 1800　⊙図示　）
仕様・範囲（※図示　・　）
・シートゲート　（H=　W=　）×　箇所
⊙パネルゲート　（H=2000/2000 W=12000/6000）×　2/1　箇所
⊙交通誘導員　（ 延べ　880　人・日）

⑨山留め　・山留の撤去 「2.4.1～3」
※撤去する　・ 存置する（範囲　）
（撤去しても安全であることを確認した後、慎重に行い、鋼材等の抜きあとは地盤の変形を防止する適切な処置を講ずる）

3 解体施工

①事前措置　建築物の解体に先立ち、次の事前措置を行う 「3.2.1」
ｱ) 特別管理産業廃棄物は、5章「特別管理産業廃棄物の処理」による処理を行う
ｲ) 石綿含有建材は、6章「石綿含有建材の除去及び処理」による処理を行う
ｳ) 特殊な建設副産物は、7章「特殊な建設副産物の処理」による処理を行う
ｴ) 各種設備機器の停止並びに給水,ガス,電力及び通信の供給の停止を確認する
給水管、ガス管、ケーブル等の供給管等の切断は、次の(a)及び(b)による
a) 切断は、解体に支障のない位置で適切に行い、給水管、ガス管等は一次側をプラグ止めとし、止水又は漏えい防止の措置を講ずる。
切断位置を明確にし、記録を監督職員に提出する。
b) 工事に支障となる配管、配線等の切り回しが必要な場合は、監督職員と協議する
ｵ) 落下する恐れのある付属物は、事前に撤去する。
ｶ) 建築物等の解体にあたり、周辺環境に害虫や鼠等による影響が予想される場合は、監督職員と協議のうえ駆除を行う。
ｷ) 電気設備のコンデンサ等は残留電荷を確認し、残留がある場合は放電を行う。
ｸ) 蓄電池等は充電状態を確認し、短絡等による事故を防止する。
ｹ) 衛生器具等は十分に洗浄し、汚水、汚物等による異臭の発生を防止する。
ｺ) オイルタンク、オイルサービスタンク及び配管内の残廃油の回収、洗浄
5章「特別管理産業廃棄物の処理」による

浄化槽、排水槽の汚水、汚物等の回収、洗浄、消毒
・行う　・行わない

②建築物の解体　解体範囲　※ 図示　・ 「3.3.1」～ 「3.9.2」
基礎等　※ 捨てコンクリートまで撤去する
杭の解体　⊙行う　・行わない
杭の解体方法　・引き抜き工法　・ 破砕による工法
杭撤去跡は、山砂等を充填し地盤の安定を維持する
上記以外（解体順序、各部位･設備の解体方法)は、解共仕 3.3.1～ 3.8.2による

株式会社東畑建築事務所
TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

設計番号	作成日	種別/備考		工事名称
20250043	2026.3			須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 解体特記仕様書　その１ 縮尺 A1: A3:

図面番号 A012

Ver.TO標準-230501

4 建設廃棄物の処理

③工作物の解体（建築物以外のもの） 「3.10.1」
- さく、照明設備等の付属物の解体
- 解体範囲　※図示　・
- 基礎類の解体は前項 2.建築物の解体 による

④構内舗装、樹木等 「3.11.1」
- ⊙行う　（範囲　※図示）

⑤地下埋設物及び埋設配管 「3.12.1」
- 地下埋設物及び埋設配管の解体
- ⊙行う　（範囲　※図示）

⑥解体後の整地 「3.13.1」
- 埋戻し、盛土及び地均し
- 整地範囲、整地高さ　（※図示　⊙監督職員の指示　）
- 埋戻し及び盛土の材料
- ※A種　・B種　・C種　・D種
- ⊙建設発生土の処理 [8.28.3 (2)(ｴ)]
- ・構外搬出適切処理

⑧解体後の囲障
- ・設置する　・設置しない　・工事中の仮囲いを存置する
- 設置する囲障の仕様
- ・木杭+ロープ張り　・木杭+番線張り　・図示
- 設置する囲障の高さ　（　　）m　・図示
- 設置する囲障の範囲　※図示　・敷地境界全域

⑨その他
- 解体に際しては、濁水等を周辺及び下流に流さないよう注意すること。
- 工事中に新たに発見された構造物・処理が必要な物質等は、監督職員の指示に従い適切に処理すること

下記廃棄物の処理については別途工事とする。
- 医療用機器の撤去及び処理
- ＲＩ(放射性同位元素)施設の廃棄申請及び物品の撤去
- 諸薬品類、注射針等の撤去及び薬液希釈槽の洗浄汚泥処理
- オイルタンク等の廃油処理
- タンク内の洗浄処理及び液酸タンクの液酸処理
- 備品、家具
- 家電リサイクル法対象廃棄物

①再資源化等 「4.4.1」
- 再資源化する建設廃棄物の種類（1.13 発生材の処理 ｱ)によるものを除く）
- ｱ)建設リサイクル法に基づく特定建設資材
  - ・ コンクリート塊
  - ・ アスファルト・コンクリート塊
  - ・ 建設発生木材
- ｲ)金属類（発注者に引渡しを要するものを除く）
- ｳ)指定再資源化製品（小型二次電池）

再資源化して現場利用する建設廃棄物
- ・ コンクリート塊　利用箇所（　　）

②産業廃棄物広域認定制度 「4.4.2」
- ・適用あり　・適用なし

③処理に注意を要する建設廃棄物 「4.5.1」
- ⊙CCA処理木材　処理方法：許可を得た中間処理施設で処理
- ⊙石綿含有せっこうボード　6章による
- ・ひ素・カドミウム含有せっこうボード
  - 処理方法：許可を得た管理型最終処分場で埋立処分
- ・上記以外の石こうボード
  - 処理方法：適切に分別し、再資源化施設で再資源化又は、許可を得た管理型最終処分地で埋立処分

5 特別管理産業廃棄物の処理

①分析調査 「5.1.2」
- 分析調査対象材料
- ・廃油　（採取場所　　）
- ・廃酸、廃アルカリ　（採取場所　　）
- ⊙微量PCB　（採取場所　　）
- ・ダイオキシン類　（採取場所　　）

②特別管理産業廃棄物の処理 「5.4.1」
- (1) 廃石綿の処理は、6章 石綿含有建材の除去及び処理 による
- (2) PCB含有機器類
- ⊙照明　⊙安定器　⊙変圧器　⊙コンデンサー
- 処理方法：監督職員の指示した場所に保管し、工事完了後、監督職員に引き渡す
- (3) PCB含有シーリング材
- 分析調査の結果、含有が確認されたら適切に撤去・収納し、監督職員の指示した場所に保管し、工事完了後、監督職員に引き渡す
- （1972年（S47）以前に建設した建物に使用されたポリサルファイド系シーリング材が対象。すでに改修されたものは除く。）
- (4) 廃油
- ・オイルタンク、オイルサービスタンク、機器類等（配管内含む）
- 処理方法：許可を受けた専門処理業者にて回収
- (5) 廃酸・廃アルカリ
- ・蓄電池の電解液　・集荷リチウム（直だき吸収冷温水機等）
- 処理方法：許可を受けた専門処理業者にて回収
- (6) ダイオキシン類
- ・廃棄物の焼却施設
- サンプリング調査　・行う　・行わない
- 解体方法及び処分方法　・図示による　・

6 石綿含有建材の除去及び処理

①石綿粉じん濃度測定 「6.1.3」
- 石綿粉じん濃度測定
- ⊙行う　・行わない
- 処理作業における石綿粉じん濃度測定の区分

（建築改修工事監理指針　令和7年版より）

測定時期	測定場所	測定箇所数（各処理作業室ごと）	備 考
処理作業前	・処理作業室内	（　）箇所	
	・施工区域周辺又は敷地境界	（　）箇所	
処理作業後中	・処理作業室内	（　）箇所	
	・セキュリティーゾーン入口	（　）箇所	空気の流れを確認
	・集じん･排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	（　）箇所	集じん･排気装置の性能確認
	施工区域周辺又は敷地境界	（　）箇所	
処理作業後（隔離シート除去前）	処理作業室内	（　）箇所	
	施工区域周辺又は敷地境界	（　）箇所	

（注）1 測定箇所は、処理作業室の規模及び周囲の状況等を考慮し決定する。
2 測定記録には、除去する石綿含有建材の種類、測定点の位置の図面
測定日時、天候、気流、試料採取条件、標本作成方法、使用顕微鏡の種類、計数条件、繊維総数、定量限界等を含むこと

②石綿含有吹付け材の除去 「6.3.1～4」
- 除去範囲　※図示　・
- 除去工法　※解体共仕 6.3.2 による　・
- 除去したアスベスト含有吹付け材の飛散防止措置　※湿潤化　・固形化
- 除去した石綿含有吹付け材等の処分方法
- ※下記のいずれかにて処分
- 埋立処分（管理型最終処分場）
- 中間処理（溶融施設または無害化処理施設）
- ・

③石綿含有保温材等の除去 「6.4.1～4」
- 石綿含有けい酸カルシウム板第二種を含む
- 除去範囲　※図示　・
- 除去工法　※手ばらし　・破砕して除去
- 除去したアスベスト含有保温材の飛散防止措置　※湿潤化　・固形化
- 除去した石綿含有保温材等の処分方法
- ※下記のいずれかにて処分
- 埋立処分（管理型最終処分場）
- 中間処理（溶融施設または無害化処理施設）
- ・

④石綿含有成形材の除去 「6.5.1～4」
- 除去範囲　※図示　・
- 除去工法　※手ばらし　・破砕して除去
- 石綿含有けい酸カルシウム板第一種を破砕して除去する場合は、養生シート等で作業場所の隔離養生を行う(負圧不要)
- 除去したアスベスト含有成形材の飛散防止措置　※湿潤化
- 除去した石綿含有成形材の処分方法
- 石綿含有せっこうボードの処分
- 埋立て処分（管理型最終処分場）
- ・
- 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形材の処分
- ※下記のいずれかにて処分
- 埋立処分（管理型最終処分場）
- 中間処理（溶融施設または無害化処理施設）
- ・

⑤石綿含有仕上げ塗材の除去 「6.6.1～5」
- 除去範囲　※図示　・
- 除去工法
- ・集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法
- ・集じん装置併用手工具ケレン工法
- ・集じん装置付き高圧水洗または超高圧水洗工法
- ・剥離剤併用超音波ケレン工法
- ・剥離剤併用手工具ケレン工法
- ・剥離剤併用高圧水洗または超高圧水洗工法
- ・超音波ケレン工法（HEPAフィルター付き掃除機併用）
- ・
- 電動工具を使用する場合は、隔離養生を行う（負圧不要）
- 現場状況により、特記した除去工法が困難な場合は、監督職員と協議する
- 除去した石綿含有仕上げ塗材の処分方法
- ※下記のいずれかにて処分
- 埋立処分（安定型最終処分場）
- 埋立処分（管理型最終処分場（汚泥となる場合等））
- 中間処理（溶融施設または無害化処理施設）
- ・

6 リフラクトリーセラミックファイバーの処理
- 除去処理対象物
- ・
- 除去範囲　※図示　・
- 除去工法その他
- ・6.3 石綿含有保温材の除去に準ずる（関係官署と事前協議を行う）
- ・
- 処分方法
- 埋立処分（安定型最終処分場）
- （関係官署と事前協議を行う）

7 特殊な建設副産物の処理

①施工計画調査 「7.1.3」

分析調査を行う特殊な建設廃棄物の種類	採取する部位と個所数	備 考
	部位　・図示による　・ 個所数　（　）　箇所	
	部位　・図示による　・ 個所数　（　）　箇所	
	部位　・図示による　・ 個所数　（　）　箇所	
	部位　・図示による　・ 個所数　（　）　箇所	

②特殊な建設副産物の処理等 「7.3.1」
- ⊙フロン（冷凍機、パッケージ形空調機等の冷媒）
- 設備機器のフロン類は、登録を受けた回収業者に回収を委託
- ⊙建材用断熱材フロン
- 焼却による破壊処理が可能な処理施設
- ・ハロン（ハロン消火設備のハロン容器）
- ハロン消火設備設置業者等に処理を委託
- ・イオン化式感知器
- 関連法令に基づき、製造業者等に処理を委託
- ・六ふっ化硫黄ガス（SF6）（SF6を使用する受変電機器）
- 製造業者等に処理を委託
- ・PSOS(ｵｸﾀﾝｰﾙｽﾙﾎﾝ酸)　（泡消火剤）
- 廃棄物処理法に基づき、処理業者に処理を委託
- ・特定化学物質（　　）
- 関連法令に基づき、処理業者に処理を委託
- ⊙その他　（蛍光ランプ、HIDランプ等　）

8 その他

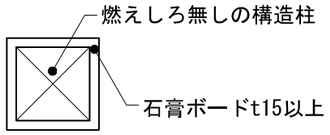
株式会社 東畑建築事務所
TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

設計番号	作成日	種別/備考		工事名称	図面番号
20250043	2026.3			須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	A013
一級建築士 No.273069 高木　耕一	一級建築士 No.343695 久保　久志	一級建築士 No.345792 構造設計一級建築士 No.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 No.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 解体特記仕様書　その2 縮尺　A1: A3:	

イ-2準耐火構造　各部納まり参考図（防火区画以外の部分）

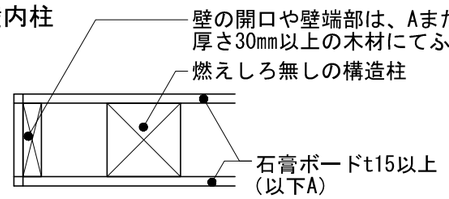
※本図面は、（一般社団法人）日本建築センター発刊の「木造建築物の防・耐火設計マニュアル　ー大規模木造を中心としてー」を参考に、イ準耐火建築物の各部納まりを図示した参考図である。
施工に際して疑義が生じた場合、または法解釈に合わない場所が生じた場合は、監理者へ報告および確認を行うこと。
※各図の防火被覆については本図仕様に準ずること。

独立柱



平面

壁内柱

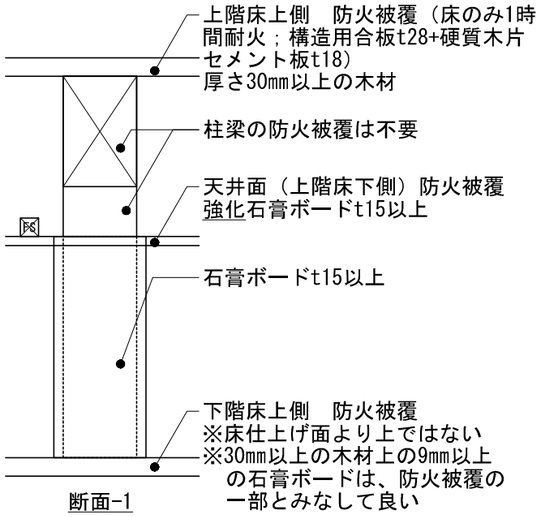


平面

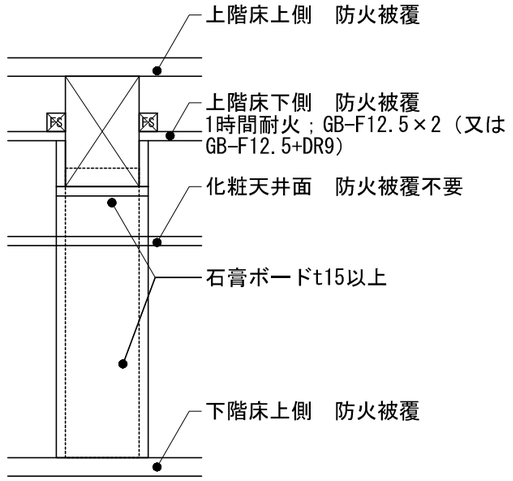
※間柱も同様に被覆が必要

柱・梁・床・天井・間仕切壁

※FS：30×30以上の木材によるファイヤーストップを示す
※床上の防火被覆は、合板12㎜以上＋石膏ボードt9以上でも可

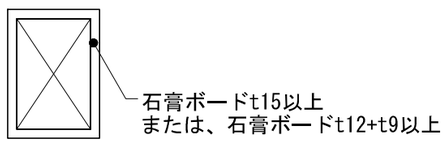


断面-1



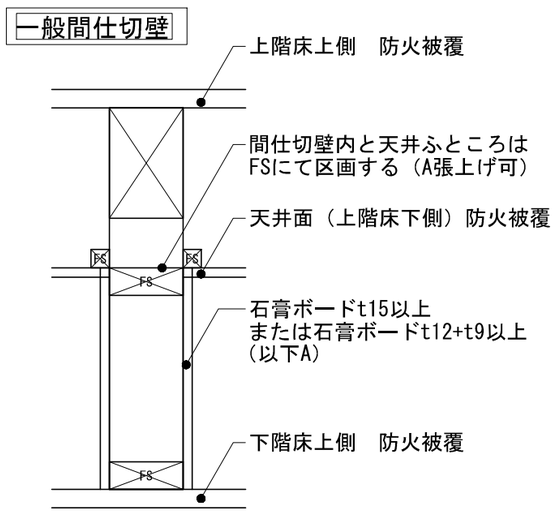
断面-2

梁補足（単独梁）



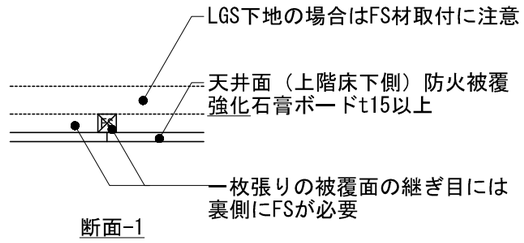
断面-3

一般間仕切壁

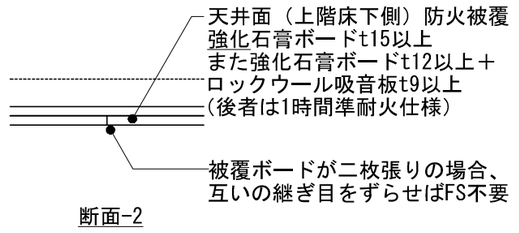


断面-2

天井・間仕切壁　補足



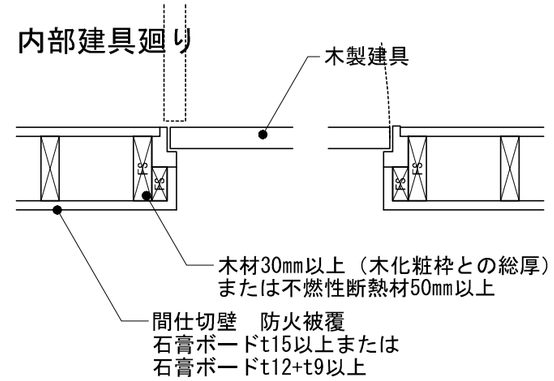
断面-1



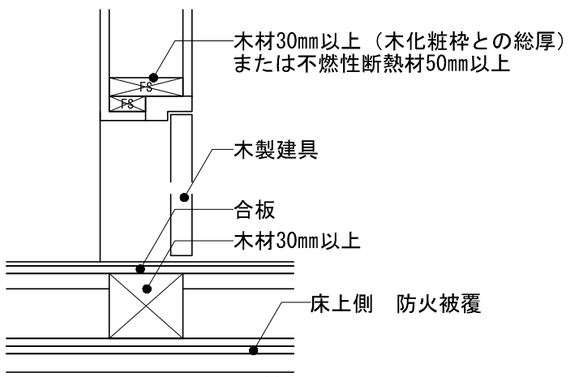
断面-2

※壁のボード継ぎ目のFSについては、
天井と同様の考え方に基づく

内部建具廻り

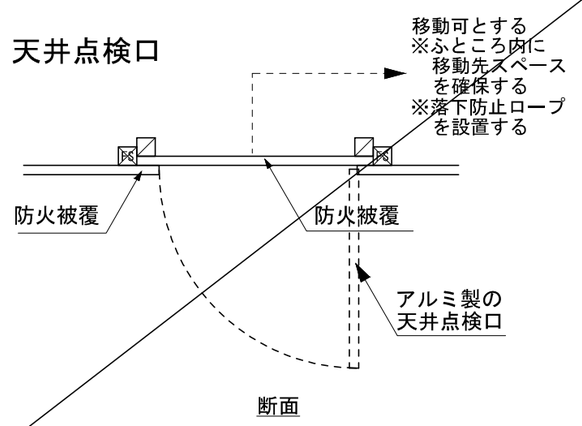


平面



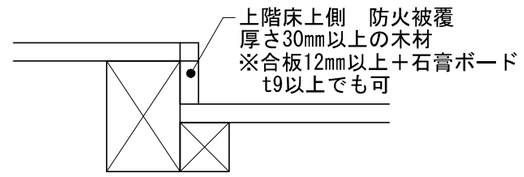
断面

天井点検口



断面

床補足（床段差）



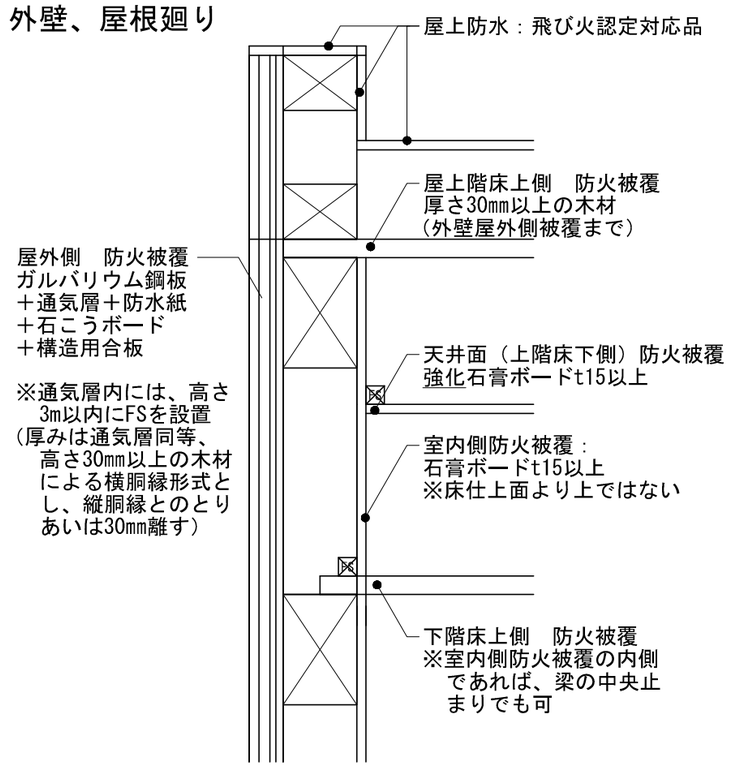
断面-1

株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	図面番号
	一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 45分準耐火構造各部納まり参考図1 縮尺 A1: A3:	A014

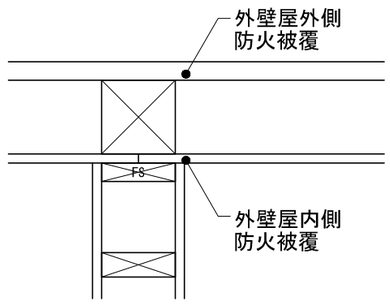
イ-2準耐火構造　各部納まり参考図（防火区画以外の部分）

※本図面は、（一般社団法人）日本建築センター発刊の「木造建築物の防・耐火設計マニュアル　ー大規模木造を中心としてー」を参考に、イ準耐火建築物の各部納まりを図示した参考図である。
施工に際して疑義が生じた場合、または法解釈に合わない場所が生じた場合は、監理者へ報告および確認を行うこと。
※各図の防火被覆については本図仕様に準ずること。

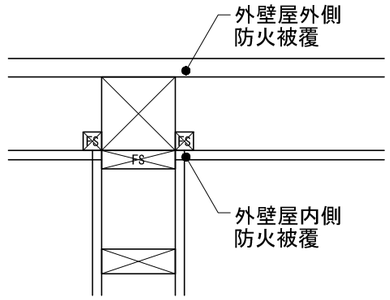
外壁、屋根廻り



断面

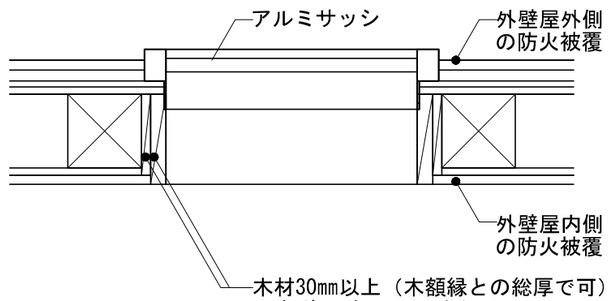


平面-1（外壁屋内側　防火被覆勝ちが原則）

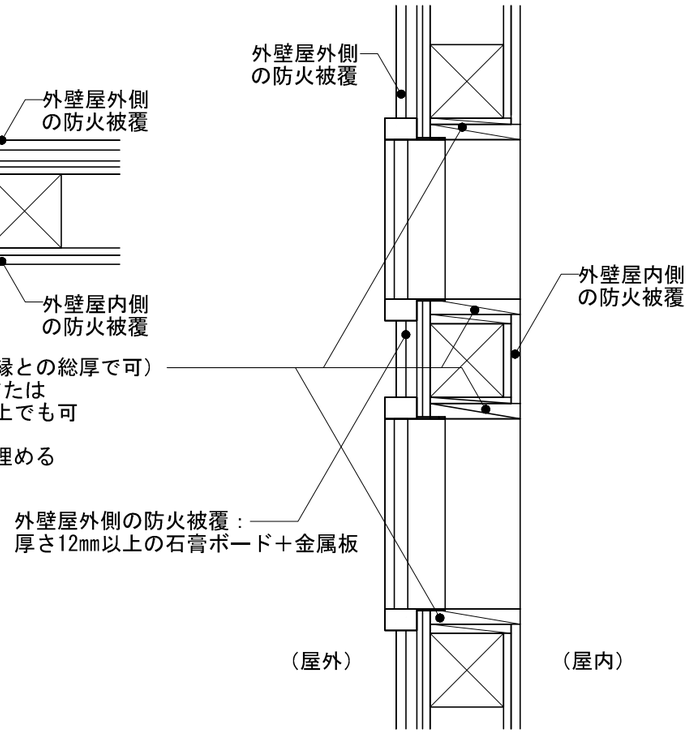


平面-2（耐力壁とりあいなど）

外壁　開口部廻り



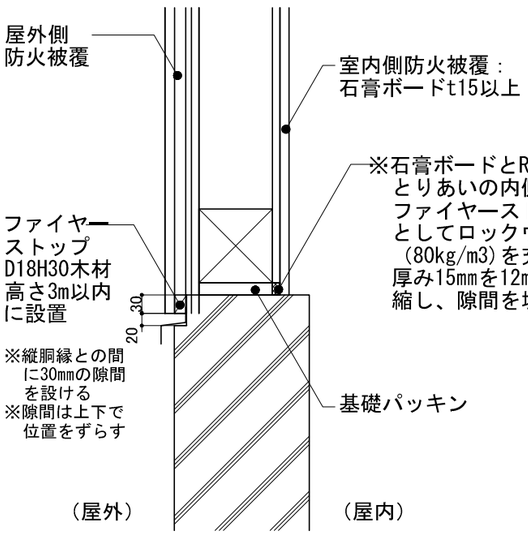
平面



断面

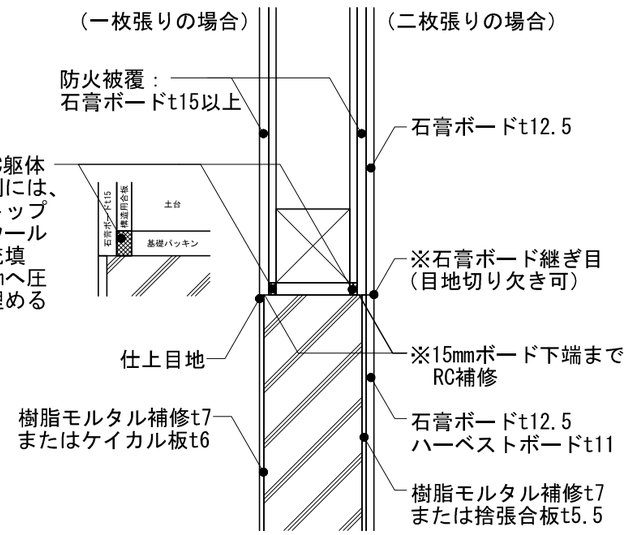
土台廻り

外壁　RC高基礎



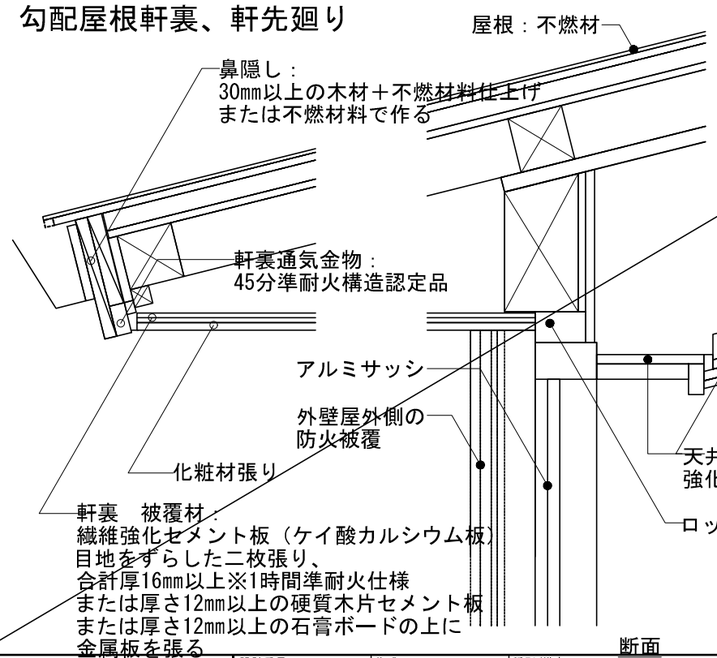
断面-1

内壁　RC高基礎



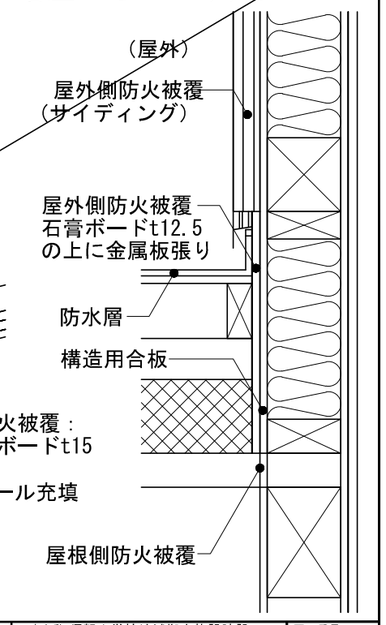
断面-2

勾配屋根軒裏、軒先廻り



断面

塔屋立ち上がり足元



株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考	工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
	一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶 / 建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 45分準耐火構造各部納まり参考図2 縮尺 A1: A3:
				図面番号 A015

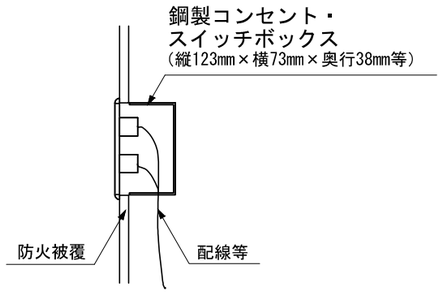
イ-2準耐火構造　各部納まり参考図（防火区画以外の部分）

※本図面は、（一般社団法人）日本建築センター発刊の「木造建築物の防・耐火設計マニュアル　ー大規模木造を中心としてー」を参考に、イ準耐火建築物の各部納まりを図示した参考図である。
施工に際して疑義が生じた場合、または法解釈に合わない場所が生じた場合は、監理者へ報告および確認を行うこと。
※各図の防火被覆については本図仕様に準ずること。

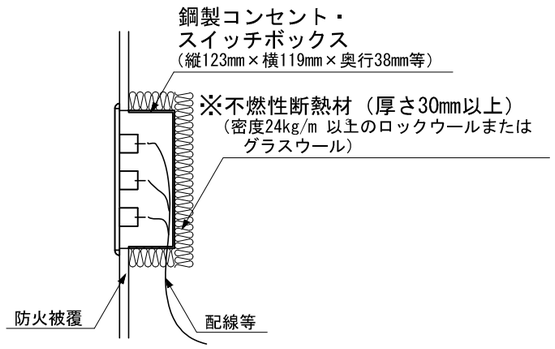
※印のある項目は別途電気設備工事、機械設備工事とする

コンセント・スイッチボックス廻り

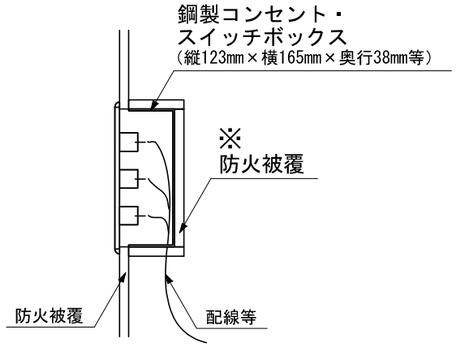
開口面積100cm²未満



開口面積200cm²未満

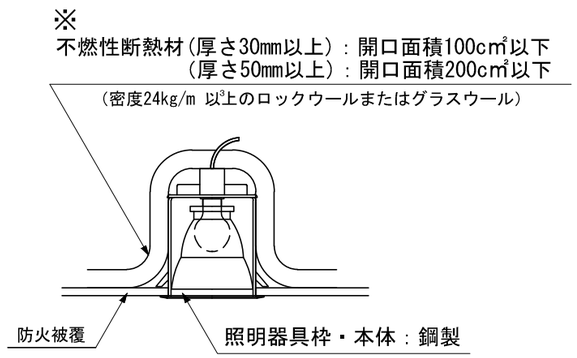


開口面積200cm²以上

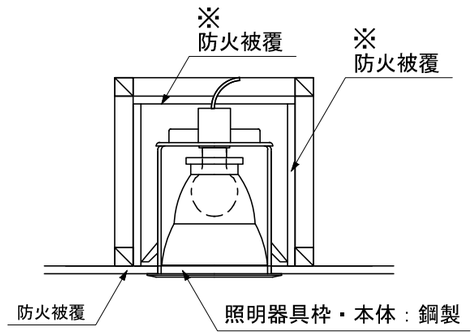


ダウンライト

開口面積200cm²以下

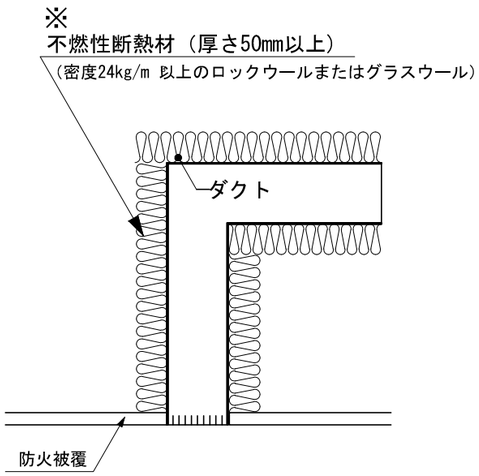


開口面積200cm²超

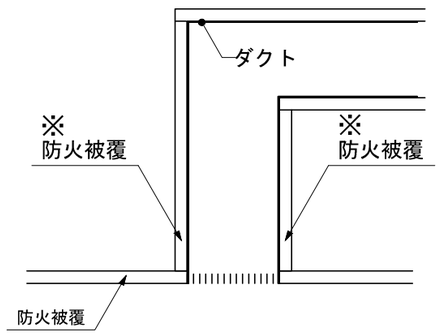


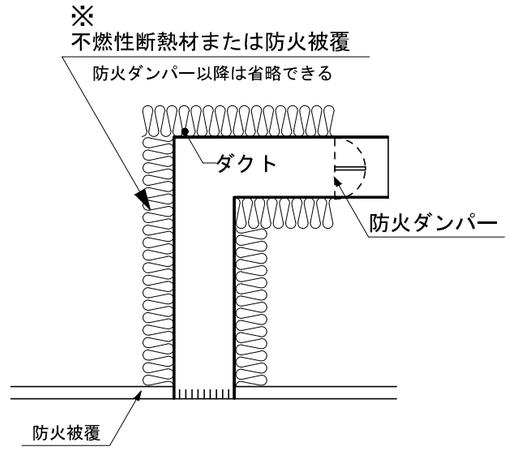
天井換気扇

開口面積200cm²以下

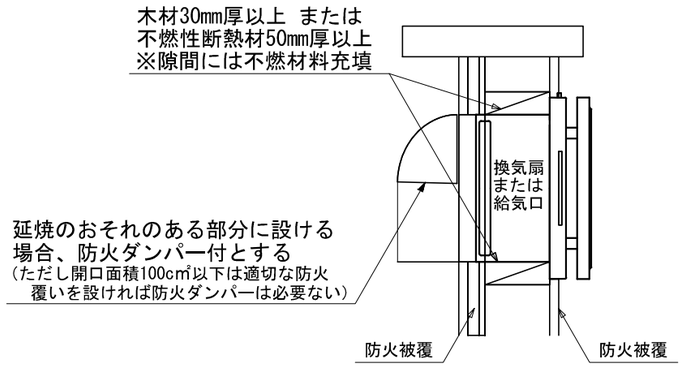


開口面積200cm²超

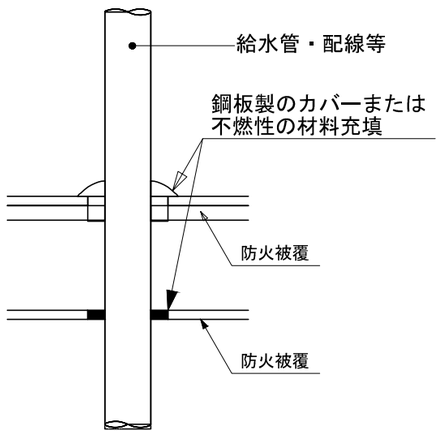




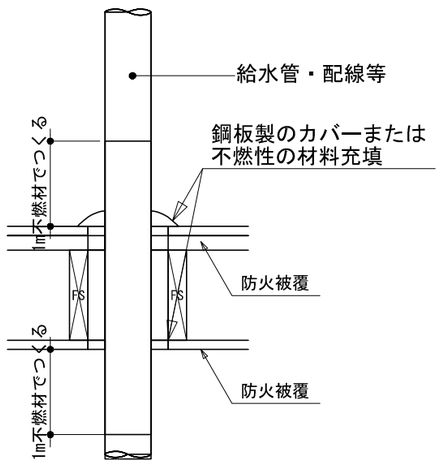
壁付換気扇、給気口



配管・配線貫通部-1（一般間仕切壁）



配管・配線貫通部-2（床、114条区画壁）



株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	図面番号
	一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 45分準耐火構造各部納まり参考図3 縮尺 A1: A3:	A016

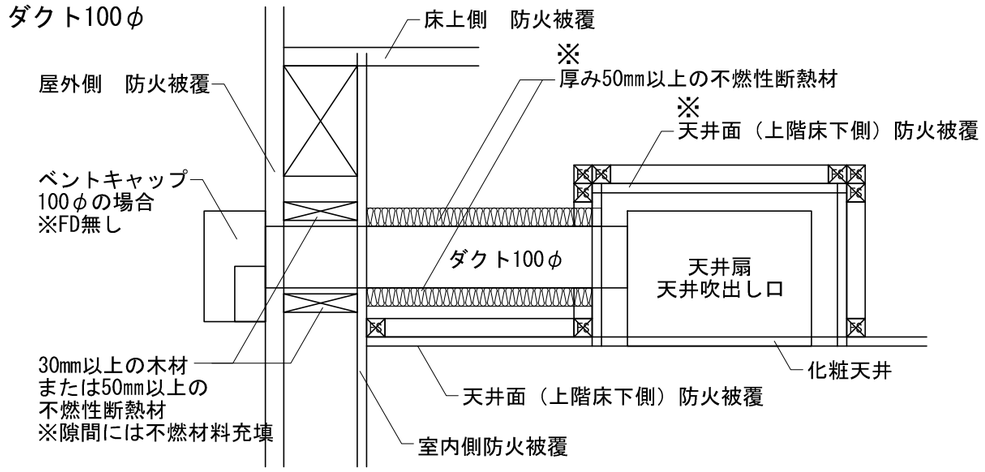
イ-2準耐火構造　各部納まり参考図（防火区画以外の部分）

※本図面は、（一般社団法人）日本建築センター発刊の「木造建築物の防・耐火設計マニュアル　ー大規模木造を中心としてー」を参考に、イ準耐火建築物の各部納まりを図示した参考図である。
施工に際して疑義が生じた場合、または法解釈に合わない場所が生じた場合は、監理者へ報告および確認を行うこと。　※各図の防火被覆については本図仕様に準ずること。

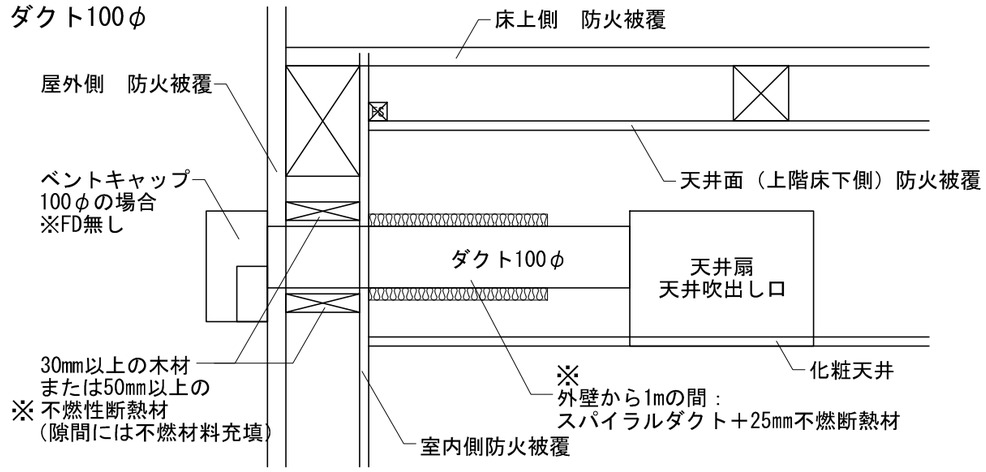
空調換気設備とりあい（ダクト開口面積200㎠以下）

※印のある項目は別途電気設備工事、
機械設備工事とする

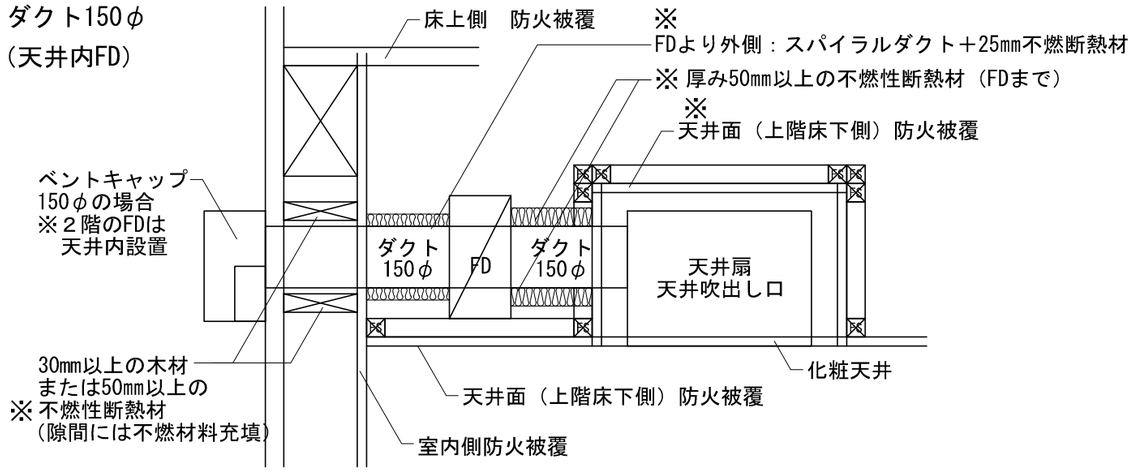
ダクト100φ



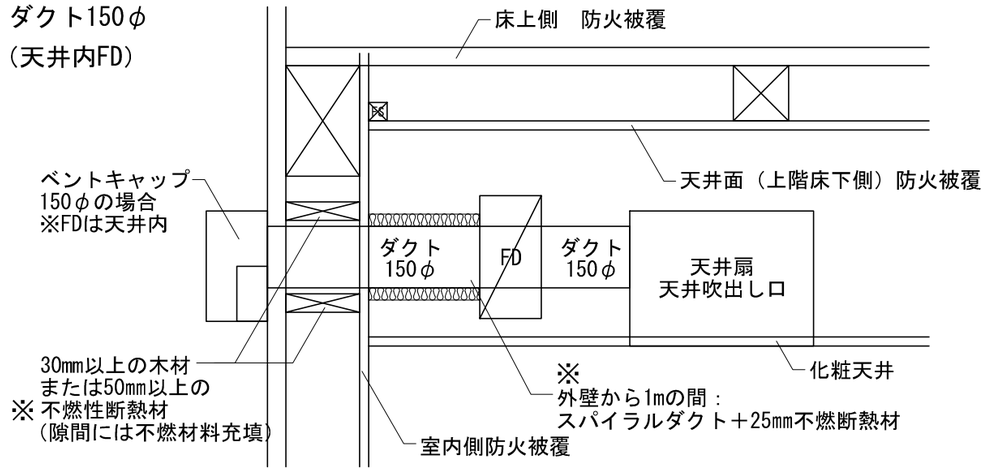
ダクト100φ



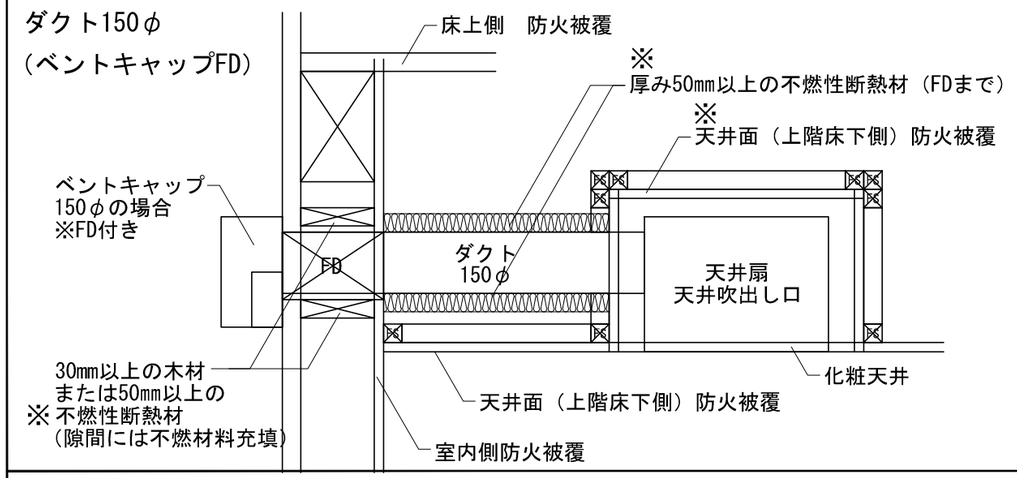
ダクト150φ
（天井内FD）



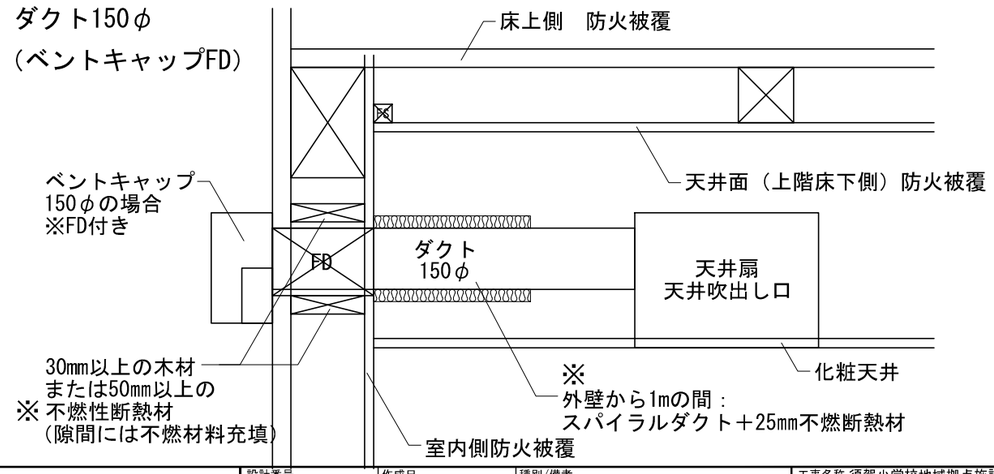
ダクト150φ
（天井内FD）



ダクト150φ
（ベントキャップFD）



ダクト150φ
（ベントキャップFD）



株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
	一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 45分準耐火構造各部納まり参考図4 縮尺 A1: A3:
					図面番号 A017

工事区分表

適用	項目	建築	電気	機械	昇降機	別途	備考
○	直接仮設	○	○	○			
○	関係官公署への申請手続	○	○	○			
○	関係官公署の各種負担金					○	
○	本設受電後引渡までの電気使用料金	○	○	○			基本料金は含まない
○	本設水道、下水、ガスの引渡までの使用料金	○	○	○			
○	コンクリート躯体の水槽類	○					
	コンクリート躯体の蓄熱槽	○					断熱工事を含む
○	同上の連通管及び槽内通気管	○					
○	同上の槽外通気管			○			
○	同上のマンホール及び蓋	○					
○	同上の点検口タラップ	○					
○	同上の槽内防水及び清掃	○					
○	同上の設備			○			
○	同上の水中ポンプ引上用ガイドパイプ			○			
	煙突の築造及び断熱	○					
	煙突の排出口及び排水管	○					
	煙突の煙道取合部の開口及び取付金物	○					
	煙突迄の煙道		○	○			
○	鉄筋コンクリート造の 梁・壁・床のスリーブ及び箱入	○	○	○			
○	同上の補強	○					
○	同上の穴埋	○	○	○			
	鉄骨鉄筋コンクリート造の梁貫通スリーブ	○					
	同上の補強	○					
	同上の穴埋	○	○	○			
	鉄骨造の梁貫通スリーブ	○					
	同上の補強	○					
	同上の穴埋（区画貫通部）	○	○	○			
	外壁貫通部の防水スリーブ	○	○	○			
	同上の配管後のシーリング	○	○	○			
○	設備機器設置用のコンクリート基礎	○					
○	設備機器設置用のアンカ用孔開及び箱入		○	○			
○	設備機器設置用のアンカ及び埋戻		○	○			
○	設備機器設置用の鋼製架台		○	○			
○	設備機器設置用のコンクリート基礎の仕上	○					
	屋外へのコンクリート配管立上	○					
	同上の配管後開口部ふさぎ		○	○			
	同上の配管廻のシーリング		○	○			
○	雨水排水の縦樋及び最寄会所への接続	○					
○	雨水排水の会所桝及び屋外排水管	○					
○	雨水排水の会所桝の蓋	○					
○	汚水排水の会所桝及び蓋			○			
○	化粧蓋の場合の化粧仕上	○					
○	機器搬入用仮設開口及び仕舞	○					
○	同上の機器搬入用フック及びホイストビーム	○					
○	配管・配線用のピット及びトレンチ	○					
○	同上の縁金物及び蓋	○					
○	同上の内部仕上	○					
	電気室・機械室等の床上コンクリート	○					
	発電機室のオイルタンク廻の防油堤	○					
	同上の廃油ピット	○					
	発電機室のオイルタンク及び架台		○				
	同上の給油口		○				
	同上の連絡用インターホン及び油面計		○				

適用	項目	建築	電気	機械	昇降機	別途	備考
	ＣＢ・ＡＬＣ版の壁 鋼板製型枠床の設備機器取付用穴開及び補強	○					
	同上の穴埋	○					
○	設備機器用の壁材の穴開 （石・タイル等の場合）	○					
○	設備機器用の壁材の穴開 （ボード等の場合）	○					
○	設備機器用の壁材の穴開 （鋼板パネル・ガラス等の場合）	○					
○	パーティション組込ボックス及び配管	○					
○	同上の設備機器取付用補強	○					
	同上の配線及び機器取付		○	○			
	外壁ガラリの取付	○					
	同上のダクト接続用金物	○					
	同上のダクト及び接続			○			
	建具ガラリの取付	○					
	同上の設備機器取付用金物	○					
	同上のダクト及び接続			○			
	アクセスフロアの穴開け加工	○					
	アクセスフロア下部の防塵塗装	○					
	アクセスフロアの設備機器用架台		○	○			
	一般天井の設備機器取付用穴開	○					
	設備機器用取付用の壁及び天井の補強	○					
	天井及び床の点検口	○					
	シャフト等の点検口	○					
	システム天井の下地及び天井材	○					
	システム天井の照明器具・感知器・スピーカ		○				
	システム天井の空調用吹出口			○			
	システム天井のスプリンクラーヘッド			○			
	システム天井の鋼板製設備用プレート 及び穴開加工	○					
	サイン類の本体（非電照式）	○					
	サイン類の本体（電照式）	○					
	便所等の化粧鏡（オーダー品）	○					
	便所等の化粧鏡（既製品）	○					
	便所等の面台	○					
	便所等の照明用ボックス	○					
	同上の照明器具		○				
	身障者便所の鏡	○					
	システム便所（ユニット）の設置	○					
	エレベータの各階出入口の開口及び補強	○					
	エレベータの各階押釦等の穴開	○					
	エレベータ機械室の床穴開及び補強	○					
	同上の穴埋				○		
	エレベータ機械室の搬入用開口及び同復旧	○					
	エレベータ機械室の 搬入用吊フック及びビーム	○					
	エレベータの電源供給		○				
	エレベータ昇降路内の 鋼製ファスナープレート（Ｓ造）	○					
	エレベータ昇降路内の 鋼製の中間ビーム（Ｓ造）	○					
	エレベータ昇降路内の 鋼製の中間ビーム（ＲＣ・ＳＲＣ造）	○					
	エレベータ昇降路内の配線		○				
	エレベータ昇降路外の配管		○				
	エレベータ昇降路外の配線	○					

適用	項目	建築	電気	機械	昇降機	別途	備考
○	エレベータ監視盤						
○	エレベータ機械室の換気口	○					
○	エレベータ昇降路内の点検用タラップ				○		点検用タラップはピットに保管
○	エレベータ昇降路内の点検用差込		○				
	エレベータ空調用ドレン配管			○			
	エスカレータピットの築造	○					
	エスカレータ搬入用吊フック	○					
	エスカレータ外装仕上	○					
	エスカレータの電源供給		○				
	エスカレータの下部照明		○				
	エスカレータ用監視盤						
	エスカレータから監視盤への配管		○				
	エスカレータから監視盤への配線						
○	電動シャッター及び自動ドア等の 制御盤・操作函並びに配管配線	○					
○	同上の１次側電源供給		○				
	防火戸、防火シャッターの感知器、制御盤 および予備電源		○				
○	防火戸の２次配線		○				
○	防火シャッターの２次配線	○					
○	防火扉等の閉鎖装置		○				
○	同上の防災盤までの制御監視用配管配線		○				
○	防火シャッター等の閉鎖装置	○					
○	同上の防災盤までの制御監視用配管配線		○				
○	防火扉・防火防煙シャッタ・排煙口・給気口 ・ダンパー等用の煙感知器及び配管配線		○				
○	排煙口・給気口・ダンパー等の制御機構	○		○			
○	排煙口・給気口及び手動開放装置	○		○			
○	同上の防災盤までの制御監視用配管配線		○				
○	空調自動制御用機器及び現場盤			○			
○	同上用電源盤		○				
○	同上の２次側電源工事			○			
	空調、衛生設備用一般電動機及び据付			○			
	同上制御盤と電動機接続までの電気工事	○					
	冷温水発生機等の操作盤及び据付			○			
	同上の２次側電気工事			○			
	同上のガス配管			○			
○	空気熱源ヒートポンプパッケージの 電源供給		○				
○	同上の２次側電気工事			○			
○	液面警報盤		○				
○	水槽用液面制御スイッチ		○				
○	同上の配管配線		○				
○	コンクリート製水槽等に取付る 電極・フロートスイッチ及び函体		○				
○	鋼板製及び樹脂製等のタンクに取付る 電極等の取付用金物及び函体		○				
○	屋内消火栓及び屋外消火栓等の本体			○			
○	同上の開口部の構造補強	○					
○	同上の起動押釦・位置表示灯		○				
○	同上の配管配線		○				
○	消火栓ポンプ等の制御盤			○			
○	同上の配管配線			○			
○	同上の消火水槽の警報用電極		○				
○	同上の配管配線		○				
○	同上の防災盤等への配管配線		○				

適用	項目	建築	電気	機械	昇降機	別途	備考
	スプリンクラーポンプ・ 消火栓ポンプ等の制御盤			○			呼水槽の警報（満減）を含む
	同上のアラーム弁及び配管配線			○			
	同上の消火水槽の警報用電極		○				
	同上の配管配線		○				
	同上の防災盤等への配管配線		○				
	電気室等のＣＯ２消火設備			○			
	ＣＯ２消火装置の操作盤			○			
	同上の２次側配管配線及び機器の取付			○			
	給気ファン等の電源インターロック		○				
	同上の防災盤等への配管配線		○				
	ピストンダンパー用ＣＯ２ガス配管			○			
	ピストンダンパー本体			○			
	同上の操作盤及び据付			○			
	同上の２次側配管配線			○			
○	消火器ボックス（埋込型）	○					
○	消火器ボックス（露出型）	○					
○	消火器ボックス（消火栓箱に組込）			○			
○	消火器（ＡＢＣ－１０型）	○					
	消火器（大型）			○			
○	防犯監視盤					○	
○	防犯監視用の配管		○				
○	同上の配線及び端末機器取付					○	
○	同上の建具加工	○					
○	同上に取付機器又は組込機器					○	
○	防犯監視設備から中央監視設備間の 配管配線		○			○	配管は電気設備工事
○	監視カメラ用モニター		○				
○	監視カメラの配管		○				
○	同上の配線及び端末機器取付		○				
○	駐車管制		○				
○	同上の配管接続			○			
○	同上の換気扇及び配管接続			○			
○	シャワーユニットの設置	○					シャワー金具・排水トラップを含む
○	同上の配管接続			○			
○	洗面化粧台の設置	○					
○	同上の配管接続			○			
○	洗濯機パンの設置	○					排水トラップを含む
○	同上の配管接続			○			
○	調理台及び実験台の設置	○					水栓・排水トラップを含む
○	同上の配管接続			○			給排水
○	同上の配管・配線接続		○				
○	防火被覆の欠損補強	○	○	○	○		欠損補強の方法については各図による
○	サイン工事の基礎と根巻	○					

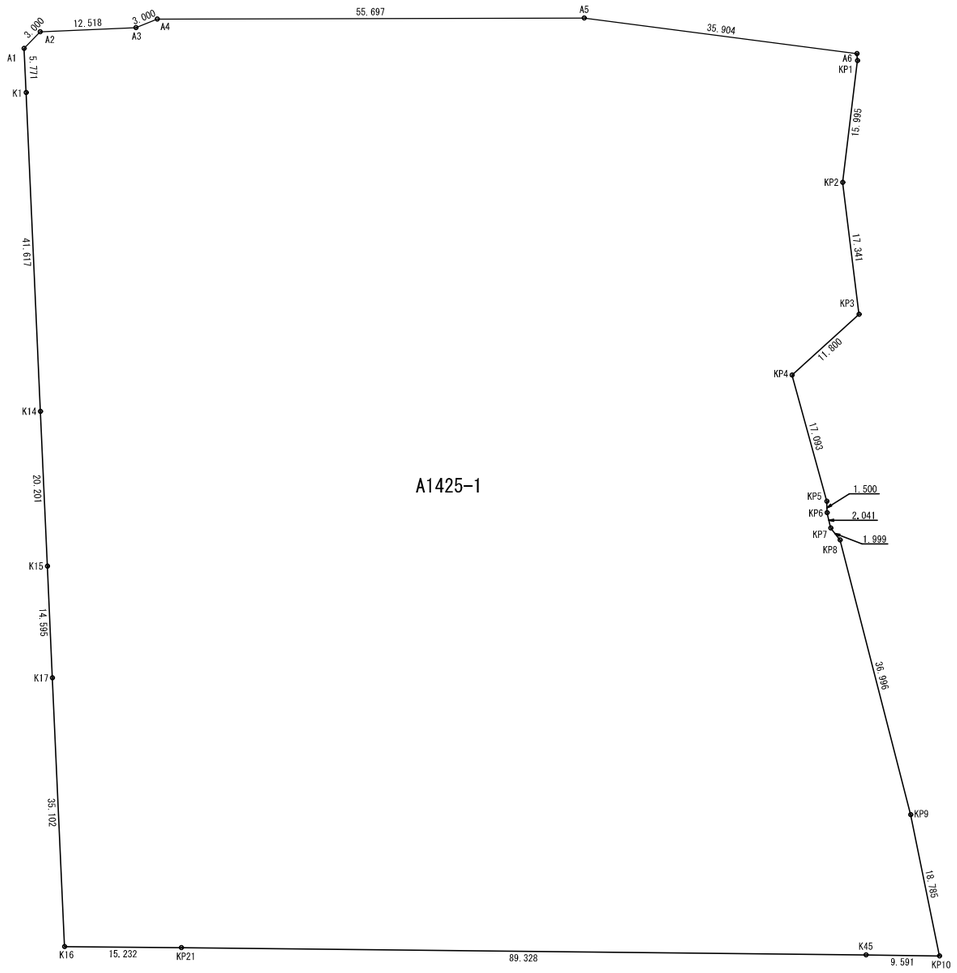
株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考
	一級建築士 No.273069 高木 耕一	一級建築士 No.343695 久保 久志	一級建築士 No.345792 構造設計一級建築士 No.9786 中牟田 昌慶 / 建築設備士 No.09E1-0256YY 三宅 光義

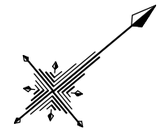
工事名称	須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
図面名称	工事区分表
縮尺	A1: A3:
図面番号	A018

Ver.TO標準-200101

地番	A1425-1	公簿地積	13397 m2	公簿地目	学校用地
所有者	南埼玉郡宮代町			現況地目	学校用地

点名	Xn	Yn	Xn×(Yn+1-Yn-1)	距離
A1	4129.278	-11964.543	20365.599096	5.771
K1	4125.791	-11959.944	155550.572282	41.617
K14	4100.568	-11926.841	201633.129696	20.201
K15	4088.326	-11910.772	113160.775354	14.595
K17	4079.482	-11899.162	161359.831028	35.102
K16	4058.238	-11871.218	153409.512876	15.232
KP21	4069.850	-11861.360	276086.414450	89.328
K45	4137.805	-11803.381	265700.872465	9.591
KP10	4145.093	-11797.147	-42690.312807	18.785
KP9	4154.011	-11813.680	-207422.231263	36.996
KP8	4169.922	-11847.080	-147606.898956	1.999
KP7	4169.981	-11849.078	-15966.857249	2.041
KP6	4170.882	-11850.909	-12466.766298	1.500
KP5	4171.835	-11852.067	-69790.627715	17.093
KP4	4178.885	-11867.638	-66987.526550	11.800
KP3	4190.676	-11868.097	-63052.911096	17.341
KP2	4200.054	-11882.684	-107189.578134	15.995
KP1	4211.728	-11893.618	-49230.888592	0.916
A6	4212.247	-11894.373	-114295.110098	35.904
A5	4187.890	-11920.752	-259611.488990	55.697
A4	4145.065	-11956.364	-151402.644190	3.000
A3	4142.208	-11957.278	-35258.474496	12.518
A2	4132.259	-11964.876	-30020.861635	3.000
合計			-25726.470822	
面積			12863.2354110	
地積			12863.23 m2	





	株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	図面番号 A019
		一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 敷地求積図 縮尺 A1: 1/400 A3: 1/800	

■各階床面積

1階				
符号	W(m)	W(m)	A(㎡)	A/2(㎡)
□校舎棟南				
s1	18.200	7.280	132.496000	
s2	1.820	3.640	6.624800	
s3	16.380	7.280	119.246400	
s4	16.380	3.640	59.623200	
s5	3.640	1.508	5.489120	
s6	3.640	3.640	13.249600	6.624800
s7	9.412	9.412	88.585744	44.292872
s8	3.640	3.640	13.249600	6.624800
s9	5.148	9.412	48.452976	
s10	3.640	4.238	15.426320	
s11	14.560	15.158	220.700480	
			小計	665.601768
校舎棟南 1階床面積			小学校	665.60
			校舎棟南 1階床面積	665.60

□南壁等				
sA	14.100	4.000	56.400000	
aB	4.100	4.000	16.400000	EVシャフト
sC	18.200	0.520	9.464000	
			小計	82.264000
校舎棟南 1階床面積			小学校	82.26
エレベーター昇降路面積				16.40
			南壁等 1階床面積	82.26

□校舎棟東				
e1	18.200	10.010	182.182000	
e2	14.560	7.280	105.996800	
e3	3.640	7.280	26.499200	
e4	14.560	10.010	145.745600	
e5	10.920	14.560	158.995200	
e6	7.280	10.920	79.497600	
e7	23.660	10.920	258.367200	
e8	20.020	10.920	218.618400	
▲e9	3.880	4.155	16.121400	**面積不算入**
			小計	1159.780600
			校舎棟東 1階床面積	1159.78

↓

小学校：（e3~e8）-e9	871.601800
集会場（地域ｺﾐｭﾆﾃｨ施設）：e1+e2	288.178800
小学校	871.60
集会場（地域ｺﾐｭﾆﾃｨ施設）	288.17

□北壁等				
nA-1	4.000	5.460	21.840000	
nA-2	4.000	7.280	29.120000	
nB-1	0.520	5.460	2.839200	
nB-2	0.260	3.640	0.946400	
nB-3	0.260	3.640	0.946400	
			小計	55.692000
			北壁等 1階床面積	55.69

↓

小学校：nA-2+nB-2	30.066400
集会場(地域ｺﾐｭﾆﾃｨ施設)：nA-1+nB-1+nB-3	25.625600
小学校	30.06
集会場（地域ｺﾐｭﾆﾃｨ施設）	25.62

□校舎棟北				
n1	13.650	10.010	136.636500	
n2	10.920	6.370	69.560400	
n3	10.920	19.110	208.681200	
n4	7.280	10.010	72.872800	
n5	10.010	25.480	255.054800	
n6	7.280	1.820	13.249600	
n7	6.370	15.470	98.543900	
			小計	854.599200
			校舎棟北 1階床面積	854.59

↓

集会場（地域ｺﾐｭﾆﾃｨ施設）：n1+n2	206.196900
小学校：n3	208.681200
児童福祉施設（学童保育所）：n4~n7	439.721100
集会場（地域ｺﾐｭﾆﾃｨ施設）	206.19
小学校	208.68
児童福祉施設（学童保育所）	439.72

□屋内体育館棟				
a1	24.570	42.970	1055.772900	
a2	12.065	1.330	16.046450	
a3	4.750	1.330	6.317500	
a4	1.820	7.900	14.378000	
			小計	1092.514850
			屋内体育館棟 1階床面積	1092.51

2階				
符号	W(m)	W(m)	A(㎡)	A/2(㎡)
□校舎棟南				
s1	18.200	7.280	132.496000	
s2	1.820	3.640	6.624800	
s3	12.740	10.920	139.120800	
s4	7.280	7.280	52.998400	26.499200
s5	14.560	15.158	220.700480	
s6	3.640	3.640	13.249600	6.624800
s7	9.412	9.412	88.585744	44.292872
s8	1.066	1.066	1.136356	0.568178
s9	5.148	9.412	48.452976	
			小計	625.380106
			校舎棟南 2階床面積	625.38

□南壁等				
sA	14.100	4.000	56.400000	
sB	4.100	4.000	16.400000	EVシャフト
sC	18.200	0.520	9.464000	
			小計	82.264000
エレベーター昇降路面積				16.40
			南壁等 2階床面積	82.26

□校舎棟東				
e1	3.640	3.640	13.249600	
e2	14.560	13.650	198.744000	
e3	3.715	4.550	16.903250	
e4	14.560	12.740	185.494400	
e5	9.200	4.550	41.860000	
e6	10.920	14.560	158.995200	
e7	5.460	3.640	19.874400	
e8	7.280	14.560	105.996800	
e9	12.740	14.560	185.494400	
e10	7.280	7.280	52.998400	
e11	18.200	3.640	66.248000	
e12	0.600	3.640	2.184000	
			小計	1048.042450
			校舎棟東 2階床面積	1048.04

□北壁等				
nA	4.000	12.740	50.960000	
nB	0.520	6.370	3.312400	
			小計	54.272400
			北壁等 2階床面積	54.27

□校舎棟北				
n1	20.930	12.740	266.648200	
n2	14.560	6.370	92.747200	
n3	10.010	5.460	54.654600	
n4	2.730	6.370	17.390100	
n5	16.380	2.730	44.717400	
n6	0.295	2.730	0.805350	
			小計	476.962850
			校舎棟北 2階床面積	476.96

□屋内体育館棟				
a1	4.750	7.700	36.575000	
a2	1.190	2.730	3.248700	
			小計	39.823700
			屋内体育館棟 2階床面積	39.82

□体育倉庫（既製品）				
	3.470	18.300	63.501000	
			体育倉庫（既製品） 床面積	63.50
□ゴミ庫（既製品）				
	4.127	1.930	7.965110	
			体育倉庫（既製品） 床面積	7.96
□ボンベ庫（既製品）				
	1.100	1.000	1.100000	
			体育倉庫（既製品） 床面積	1.10

■各階床面積　合計

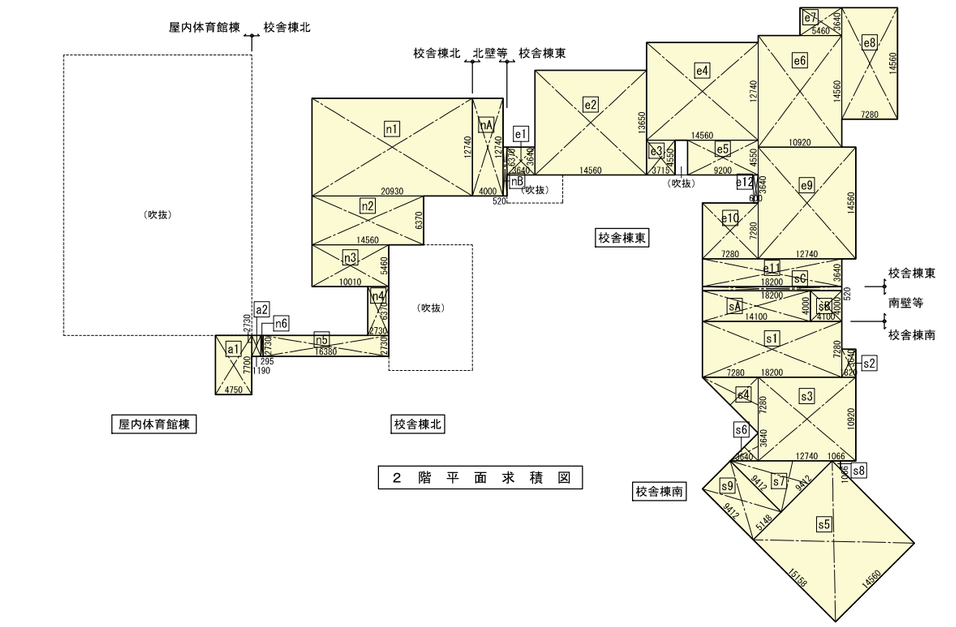
	床面積
1階床面積	3910.43
1階床面積　（容積対象）	3894.03
2階床面積	2326.73
2階床面積　（容積対象）	2310.33

■用途別床面積　合計

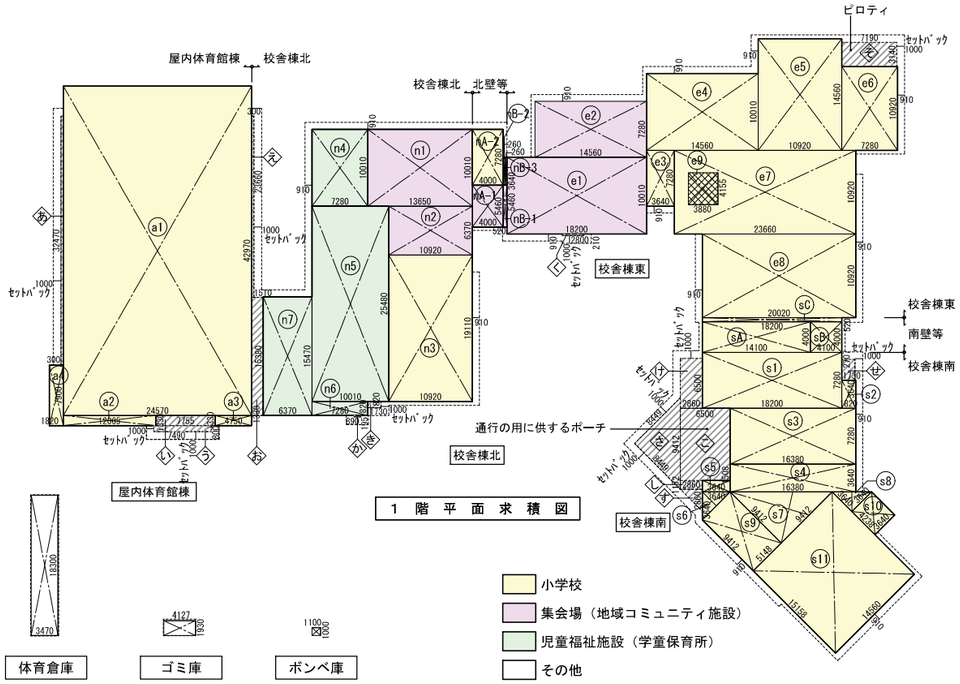
	用途	床面積
2階	小学校	2326.73
1階	小学校	2950.71
	集会場（地域ｺﾐｭﾆﾃｨ施設）	519.98
	児童福祉施設（学童保育所）	439.72

■建築面積

符号	W(m)	W(m)	A(㎡)	A/2(㎡)
あ	0.300	32.470	9.741	
い	7.755	1.330	10.314	
う	7.490	0.800	5.992	
え	0.300	23.660	7.098	
お	1.510	15.380	23.223	
か	0.890	0.195	0.173	
き	1.730	0.820	1.418	
く	2.800	0.210	0.588	
け	2.860	6.500	18.590	
こ	6.500	9.412	61.178	
さ	8.449	8.449	71.385	35.692500
し	2.860	1.172	3.351	
す	2.860	2.860	8.179	4.089500
せ	1.730	2.707	4.683	
そ	7.190	3.140	22.576	
			小計	208.707
			1階床面積＋A~H	4119.137
			校舎棟　建築面積	4119.13



2 階 平 面 求 積 図



1 階 平 面 求 積 図

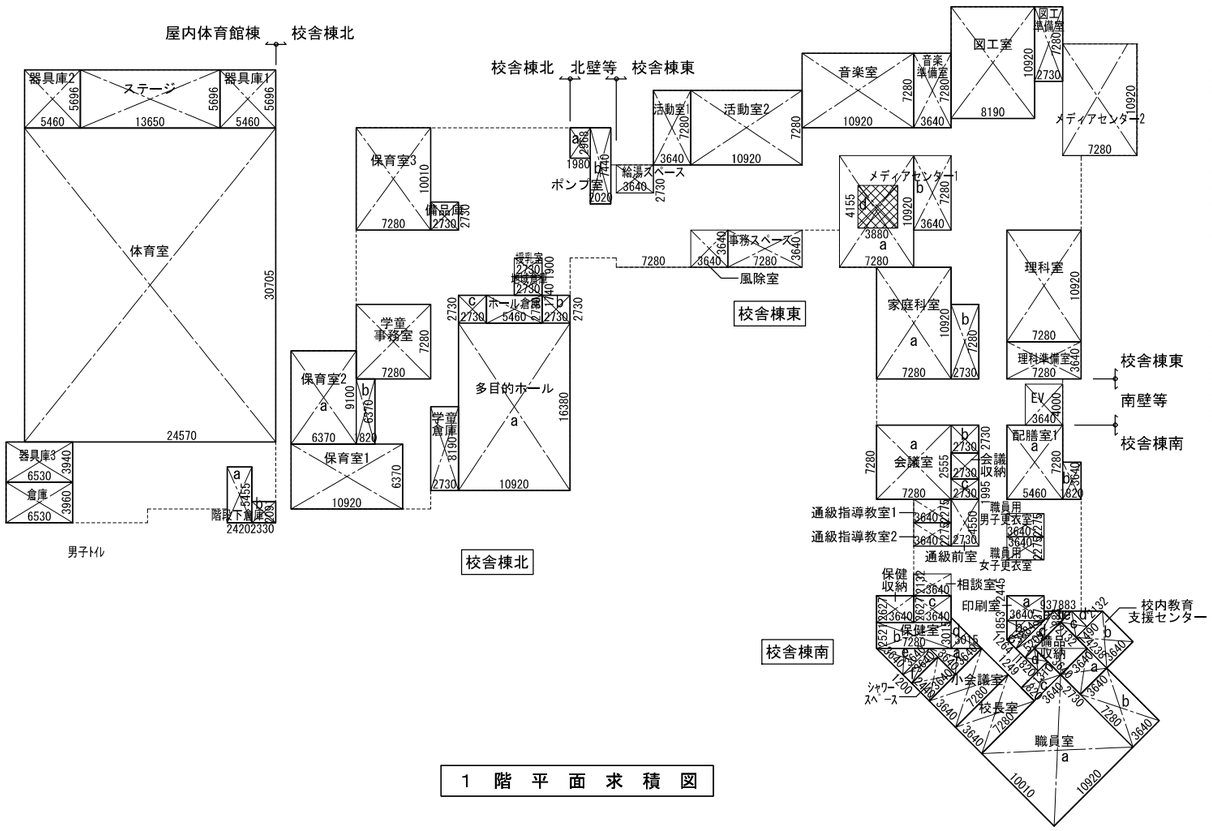
■床面積　合計

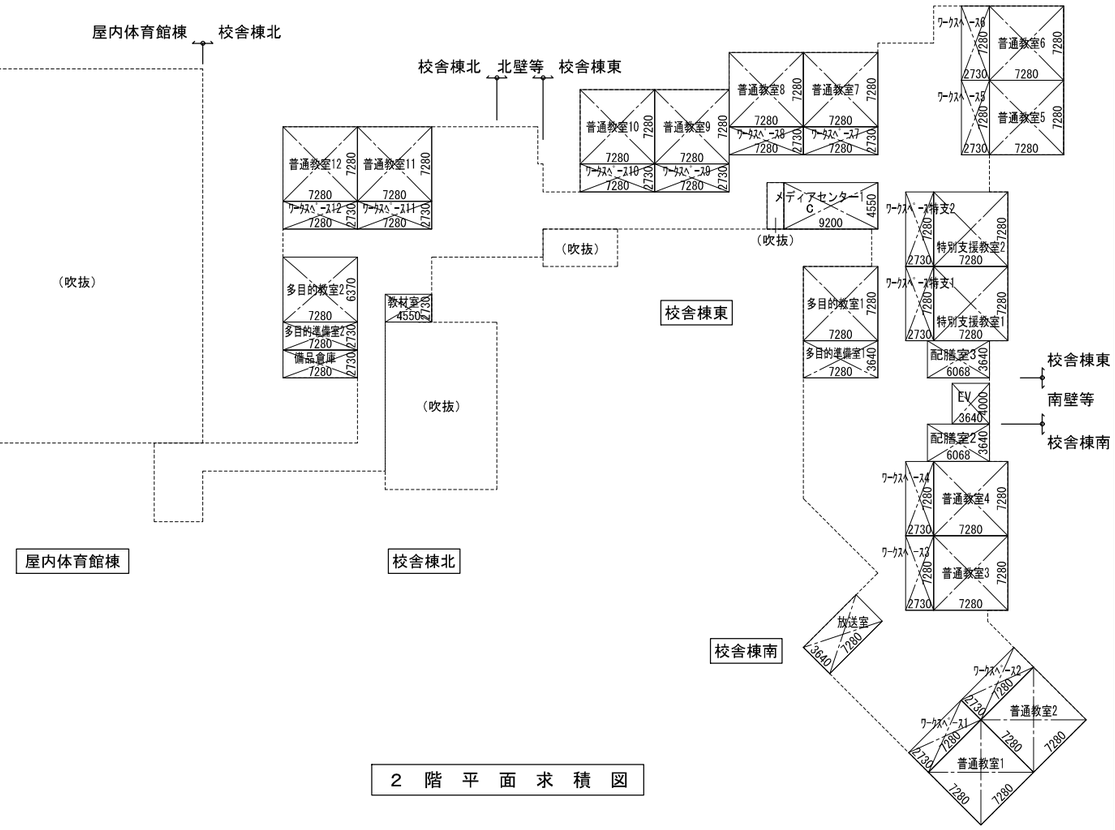
	校舎棟南	南壁等	校舎棟東	北壁等	校舎棟北	屋内体育館棟	体育倉庫	ゴミ庫	ボンベ庫
2階	625.38	82.26	1048.04	54.27	476.96	39.82			
1階	665.60	82.26	1159.78	55.69	854.59	1092.51	63.50	7.96	1.10
各棟小計	1290.98	164.52	2207.82	109.96	1331.55	1132.33	63.50	7.96	1.10
各棟合計						6237.16			72.56
総計									6309.72

■建築面積　合計

	校舎棟・屋体棟	体育倉庫	ゴミ庫	ボンベ庫
各棟小計	4119.13	63.50	7.96	1.10
合計				4191.69

株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	図面番号 A020
	一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 建物面積求積図 縮尺 A1: A3:	





■各室面積

■1階

室名		W(m)	W(m)	A(㎡)	A/2(㎡)	計
□校舎棟南						
職員室	a	10.920	10.010	109.309200		
	b	3.640	7.280	26.499200		
	c	3.640	1.820	6.624800		
	d	1.310	1.820	2.384200		144.81
校長室		7.280	3.640	26.499200		26.49
小会議室		7.280	3.640	26.499200		26.49
保健室	a	3.640	3.640	13.249600	6.624800	
	b	7.280	2.521	18.352880		
	c	3.640	2.627	9.562280		
	d	3.015	3.015	9.090225	4.545113	
	e	3.640	3.640	13.249600	6.624800	
	f	3.640	1.200	4.368000		50.07
シャワースペース		3.640	2.440	8.881600		8.88
保健収納		3.640	2.627	9.562280		9.56
相談室		3.640	2.132	7.760480		7.76
備品収納		3.640	3.640	13.249600		13.24
校内教育支援センター	a	2.730	3.640	9.937200		
	b	4.238	3.640	15.426320		
	c	2.132	1.490	3.176680		
	d	2.132	2.132	4.545424	2.272712	
	e	0.883	0.883	0.779689	0.389845	31.20
印刷室	a	3.640	2.445	8.899800		
	b	3.640	1.853	6.744920	3.372460	
	c	1.264	3.884	4.909376	2.454688	
	d	1.249	5.209	6.506041		
	e	0.937	0.937	0.877969	0.438985	
	f	0.883	0.883	0.779689	0.389845	22.06
通級前室		2.730	4.550	12.421500		12.42
通級指導教室1		3.640	2.275	8.281000		8.28
通級指導教室2		3.640	2.275	8.281000		8.28
会議室	a	7.280	7.280	52.998400		
	b	2.730	2.818	7.693140		
	c	2.730	1.935	5.282550		65.97
会議収納		2.730	2.525	6.893250		6.89
職員用女子更衣室		3.640	2.275	8.281000		8.28
職員用男子更衣室		3.640	2.275	8.281000		8.28
配膳室1	a	5.460	7.280	39.748800		
	b	1.820	3.640	6.624800		46.37

■各室面積

■1階

室名		W(m)	W(m)	A(㎡)	A/2(㎡)	計
□南壁等						
EV		3.640	4.000	14.560000		14.56
□校舎棟東						
家庭科室	a	7.280	10.920	79.497600		
	b	2.730	7.280	19.874400		99.37
理科室		7.280	10.920	79.497600		79.49
理科準備室		7.280	3.640	26.499200		26.49
図工室		8.190	10.920	89.434800		89.43
図工準備室		2.730	7.280	19.874400		19.87
音楽室		10.920	7.280	79.497600		79.49
音楽準備室		3.640	7.280	26.499200		26.49
メディアセンター1	a	7.280	10.920	79.497600		
	b	3.640	7.280	26.499200		
	c	9.200	4.550	41.860000		
	▲d	3.880	4.155	16.121400		131.73
メディアセンター2		7.280	10.920	79.497600		79.49
活動室１		3.640	7.280	26.499200		26.49
活動室２		10.920	7.280	79.497600		79.49
風除室		3.640	3.640	13.249600		13.24
事務スペース		7.280	3.640	26.499200		26.49
給湯スペース		3.640	2.730	9.937200		9.93
□北壁等						
ポンプ室	a	1.980	2.968	5.876640		
	b	2.020	7.440	15.028800		20.90

■1階

室名		W(m)	W(m)	A(㎡)	A/2(㎡)	計
□校舎棟北						
授乳室		2.730	1.900	5.187000		5.18
倉庫1		2.730	1.740	4.750200		4.75
備品庫		2.730	2.730	7.452900		7.45
多目的ホール	a	10.920	16.380	178.869600		
	b	2.730	2.730	7.452900		
	c	2.730	2.730	7.452900		193.77
ホール倉庫		5.460	2.730	14.905800		14.90
保育室1		10.920	6.370	69.560400		69.56
保育室2	a	6.370	9.100	57.967000		
	b	1.820	7.280	13.249600		71.21
保育室3		7.280	10.010	72.872800		72.87
学童事務室		7.280	7.280	52.998400		52.99
学童倉庫		2.730	8.190	22.358700		22.35
□屋内体育館棟						
体育室		24.570	30.705	754.421850		754.42
ステージ		13.650	5.696	77.750400		77.75
器具庫1		5.460	5.696	31.100160		31.10
器具庫2		5.460	5.696	31.100160		31.10
器具庫3		6.530	3.940	25.728200		25.72
階段下倉庫	a	2.420	5.455	13.201100		
	b	2.330	2.091	4.872030		18.07
倉庫2		6.530	3.960	25.858800		25.85

■2階

室名		W(m)	W(m)	A(㎡)	A/2(㎡)	計
□校舎棟南						
普通教室1･2･3･4		7.280	7.280	52.998400		52.99
ﾜｰｸｽﾍﾟｰｽ1･2･3･4		2.730	7.280	19.874400		19.87
放送室		3.640	7.280	26.499200		26.49
配膳室2		6.068	3.640	22.087520		22.08
□南壁等						
EV		3.640	4.000	14.560000		14.56
□校舎棟東						
配膳室3		6.068	3.640	22.087520		22.08
特別支援教室1･2		7.280	7.280	52.998400		52.99
ﾜｰｸｽﾍﾟｰｽ特支1･2		2.730	7.280	19.874400		19.87
普通教室5･6･7･8･9･10		7.280	7.280	52.998400		52.99
ﾜｰｸｽﾍﾟｰｽ5･6･7･8･9･10		2.730	7.280	19.874400		19.87
多目的教室1		7.280	7.280	52.998400		52.99
多目的準備室1		7.280	3.640	26.499200		26.49
□校舎棟北						
普通教11･12		7.280	7.280	52.998400		52.99
ﾜｰｸｽﾍﾟｰｽ11･12		2.730	7.280	19.874400		19.87
多目的教室2		7.280	6.370	46.373600		46.37
多目的準備室2		7.280	2.730	19.874400		19.87
教材室		4.550	2.730	12.421500		12.42
備品倉庫		7.280	2.730	19.874400		19.87

株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	図面番号 A021
	一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 各室面積求積図 縮尺 A1: 1/300 A3: 1/600	

内部仕上表

階	室名	居室	内装制限①	内装制限②	断熱	化学物質測定	床 防火被覆	床 下地1 仕上高	床 下地1 スラブ天(梁天/下地天)	床 下地2	床 仕上げ	幅木 仕上げ 特記外H=100	壁 防火被覆	壁 腰壁 下地	壁 腰壁 仕上げ	壁 下地1	壁 下地2	壁 仕上げ	天井 防火被覆	天井 下地1	天井 下地2	天井 仕上げ	天井高	その他 廻縁	その他 ボックステン類	備考
1（校舎棟 南）	職員室	居			○	○		RC		OAフロア	ビニル床ﾀｲﾙ	VB	○	壁下地に準ずる	—	W	GB-R12.5+9.5	ペン下クロス+EP-G	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	2700	V	○	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ（W1800xH1200）、窓下収納棚、掃除用具入、収納棚、下足棚、受付ｶｳﾝﾀｰ
										ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	（出入口）FS-D										GB-F12.5+12.5	GB-R9.5+DR9	2500			
								-100/±0	-120、-50																	
	給湯･打合せスペース				○			RC		ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	FS-B	VB	○	同上	—	W	GB-R15	化粧FK6	○	鋼製1	GB-F12.5+12.5	GB-R9.5+DR9	2700	V	—	収納付き流し台（IHﾋｰﾀｰ付）、面台、吊り戸棚、給湯ｶｳﾝﾀｰ
																					GB-F12.5	DR9	2500			
								±0	-15																	
	校内教育支援センター	居			○			RC		—	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	○	同上	—	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5+12.5	GB-R9.5+DR9	2700	V	○	児童用ﾛｯｶｰ、掃除用具入、収納棚、洗面ﾊﾞｯｸ、面台
																		一部、掲示壁A								
								±0	-30																	
	備品収納							RC		ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	FS-A	VB	○	同上	—	W	GB-R12.5+9.5	EP-G	○	鋼製1	GB-F12.5+12.5	GB-D9.5	3270	V	—	
								±0	-15																	
	印刷室							RC		ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	FS-A	VB	○	同上	—	W	GB-R15	吸音壁A	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	3280~	V	—	収納棚、作業台
																	遮音壁				大梁部分：GB-F12.5+12.5	EP	3370			
								±0	-15																	
	校長室	居			○			RC		ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB	WB	○	同上	杉板t12+WP	W	GB-R15	杉板t12+WP	○	鋼製1	GB-F12.5+12.5	GB-R9.5+DR9	2700	V	○	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ（W900xH1200）、ﾜｰﾄﾞﾛｰﾌﾞ、洗面台、収納棚、額用付鴨居
																	遮音壁	一部、掲示壁A								
								±0	-15																	
	小会議室	居			○			RC		—	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	○	同上	—	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	3280	V	○	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ（W3600xH1200）、ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ
																	遮音壁									
								±0	-30																	
	保健室	居			○			RC		—	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	○	同上	—	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5+12.5	GB-R9.5+DR9	2700	V	○	収納棚、窓下収納棚、流し台（IHﾋｰﾀｰ付）、掃除用具入、薬品棚、
										ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	（流し台廻り）FS-D															ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ（W900xH1200）、作業台、ﾍﾞｯﾄﾞ収納、ﾍﾞｯﾄﾞｶｰﾃﾝﾚｰﾙ、
								±0	-15、-30、-120	同上	（出入口）FS-D															洗面ﾊﾞｯｸ、面台、足洗（外部）
	シャワースペース		準		○			RC		ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	FS-B	VB	○	同上	—	W	GB-R15	化粧FK6	○	鋼製1	GB-F12.5+12.5	FK6+EP	2500	V	○	棚、洗濯機ﾊﾟﾝ、掃除流し、面台、ﾕﾆｯﾄｼｬﾜｰ、更衣ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ
	（保健室内）																ﾕﾆｯﾄｼｬﾜｰ部分：遮音壁									
								±0	-15																	
	保健収納							RC		ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	FS-A	VB	○	同上	—	W	GB-R12.5+9.5	EP-G	○	鋼製1	GB-F12.5+12.5	GB-D9.5	3270	V	—	
								±0	-15																	
	相談室	居			○			RC		—	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	○	同上	—	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	2700	V	○	窓下収納棚
																	遮音壁									
								±0	-30																	
	職員用玄関				○			RC		MO	床ﾀｲﾙA	床材立上	○	同上	杉板t12+WP	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	2700	V	—	下足箱、掃除用具入
										—	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB					GB-F12.5+GB-R9.5						2800			
								-100/±0	-150、-30																	
	来客用玄関				○			RC		MO	床ﾀｲﾙA	床材立上	○	同上	—	W	GB-R15	杉板t12+WP（H=～2000）	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	2700	V	—	下足箱、展示収納棚、洗面バック
										鋼製床組+合板t12	FS-D	WB					GB-F12.5+GB-R9.5	ｼﾅ合板t5.5+WP（H=2000～）					2800			
								-100/±0	-150、-15	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ																
	玄関ホール1				○			RC		—	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	○	同上	杉板t12+WP	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	2700	V	—	ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ、掃除用具入
																	GB-F12.5+GB-R9.5				GB-F12.5+12.5	GB-R9.5+DR9				
								±0	-30																	

表示略号

コンクリート直均し	床	床コンクリート直均し仕上	FK-P	0.8吸音用孔あきけい酸カルシウム板（タイプ2）	FS-A	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ （複層床ｼｰﾄ（発泡層なし））
			DR	ロックウール化粧吸音板	FS-B	ﾉﾝﾜｯｸｽﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ（複層床ｼｰﾄ（発泡層なし））
コンクリート打放し( )	壁	コンクリート打放し仕上の種別（A・B・C）	DR(軒天)	ロックウール化粧吸音板（軒天井用）	FS-C	調理用ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ （複層床ｼｰﾄ（発泡層なし））
	天井	種別は標仕表6.2.4	FRG	繊維混入せっこう板（エフジーボード）	FS-D	外部用ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ（複層床ｼｰﾄ（発泡層なし））
CB		コンクリートブロック積み	GRG	繊維補強せっこう板（グラスロック）	FS-E	厨房用ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ （複層床ｼｰﾄ（発泡層なし））
PC		プレキャストコンクリート	WV-RM	天然木化粧合板（難燃）	FS-F	耐薬品性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ （複層床ｼｰﾄ（発泡層なし））
ALC		軽量気泡コンクリートパネル	WV-NM	天然木化粧合板（不燃）	KT	コンポジションビニル床ﾀｲﾙ
ECP		押出成形セメント板	HW	硬質木毛セメント板	TT	単層ビニル床ﾀｲﾙ
LGS		軽量鉄骨下地	NW	普通木毛セメント板	FT	複層ビニル床ﾀｲﾙ
GB-R		せっこうボード	SW	特殊木毛セメント板（不燃木毛板）	FA	フリーアクセスフロア
GB-S		シージングせっこうボード	HF	硬質木片セメント板	VB	ビニル幅木
GB-F		強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	NF	普通木片セメント板	WB	木製幅木
GB-R-H		硬質せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	RW	ロックウール	MO	モルタル塗り
GB-D		化粧せっこうボード（トラバーチン模様）	RW-F	ロックウール吸音フェルト（表面処理品）	壁仕様	
GB-DW		化粧せっこうボード（木目）	RW-B	ロックウール吸音ボード（厚手ガラスクロス張）	掲示壁A	（木下地）ﾗﾜﾝ合板t5.5+掲示ｸﾛｽ
GB-NC		不燃積層せっこうボード	GW-F	グラスウール吸音フェルト	掲示壁B	（木下地）ﾗﾜﾝ合板t5.5+ﾏｸﾞﾈｯﾄｼｰﾄ
GB-NCT		不燃積層せっこうボード（トラバーチン模様）	GW-B	グラスウール吸音ボード（厚手ガラスクロス額縁張）	掲示壁C	（木下地）ﾗﾜﾝ合板t5.5+ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞｼｰﾄ
GB-P		吸音用孔あきせっこうボード	PF板	押出法ポリスチレンフォーム断熱材	吸音壁	標準詳細図W-09による
GB-L		せっこうラスボード	UF	現場発泡吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材	遮音壁	木下地の場合 ：GW t100(32kg/㎥)充填
FK		0.8けい酸カルシウム板（タイプ2）	TS	単層ビニル床シート（発泡層なし）		LGS下地の場合：GW t50(32kg/㎥)充填

塗料凡例

SOP	合成樹脂調合ペイント塗り
CL	クリヤラッカー塗り
NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（屋内）
DP	耐候性塗料塗り
EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り
EP	合成樹脂エマルションペイント塗り
EP-T	合成樹脂エマルション模様塗料塗り
UC	ウレタン樹脂ワニス塗り
OS	オイルステイン塗り
WP	木材保護塗料塗り
AC	アクリル樹脂ワニス塗り
EP-M	多彩模様塗料塗り
MST	マスチック塗材塗り
F-BE	ふっ素樹脂焼付け塗装
U-BE	ウレタン樹脂焼付け塗装
A-BE	アクリル樹脂焼付け塗装

内装制限凡例

不共	下地共不燃材
不	不燃材
準共	下地共準不燃材以上
準	準不燃材（壁･天井）
難	難燃材以上（壁･天井:1.2m以下の腰壁部分を除く）
壁不	壁不燃材以上

壁下地	
W	木製下地
LGS	LGS下地
天井下地	
鋼製１	LGS下地
鋼製２	C-120x60x20x2.3 + Mﾊﾞｰ
材質種別	
ST	鋼製
AL	アルミ製
SUS	ステンレス製
V	ビニル製
W	木製

不燃・準不燃認定番号

GB-R 9.5/12.5/15	準不燃 QM-9828 / 不燃 NM-8619	GW-F	不燃 NM-8605
GB-S 9.5/12.5	準不燃 QM-0898、QM-0493 / 不燃 NM-9639、NM-9346	GW-B	不燃 NM-8606
GB-F 12.5/15/21	不燃 NM-8615	HW	準不燃 QM-9701
GB-D 9.5	準不燃 QM-0524、QM-0831(I)	NW	準不燃 QM-9701
GB-DW 9.5/12.5	準不燃 QM-9824 / 不燃 NM-0127	SW	不燃 NM-0234
GB-NC 9.5	不燃 NM-0441、NM-2817	HF	準不燃 QM-9706
GB-NCT 9.5	不燃 NM-1864、NM-2816	NF	準不燃 QM-9705
GB-P 9.5	準不燃 QM-9827	一般塗料	不燃 NM-8585 / 準不燃 QM-9816 / 難燃 RM-9364
GB-L 7	不燃 NM-8617（せっこうプラスター塗）	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ仕様：特記による	
GB-R-H 9.5/12.5/15	不燃 NM-9645 、 NM-1139	床ﾀｲﾙ仕様 ：特記による	
FRG	不燃 NM-2967		
GRG	不燃 NM-2286	ﾀｲﾙ仕様	
FK	不燃 NM-1217、NM-3522、NM-4971	壁ﾀｲﾙA	100角ﾀｲﾙ
FK-P	不燃 NM-2988、NM-5056、NM-5233（不燃材裏打ち）	壁ﾀｲﾙB	50角ﾀｲﾙ
DR	不燃 NM-8599	壁ﾀｲﾙC	10角ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ
DR（軒天）	不燃 NM-8599	壁紙防火種別 （・印の付いた項目においては、⊙ 印の付いたものを適用する）	
RW	不燃 NM-8601（吹付け）	塩化ビニル樹脂系壁紙（塩化ﾋﾞﾆﾙ）	防火種別 ・ 1-1 / ・ 1-4 / ・ 2-2 / ・ 2-4
RW-F	不燃 NM-8600	プラスチック系壁紙（その他ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ）	防火種別 ・ 1-3 / ・ 1-6 / ・ 2-1 / ・ 2-3
RW-B	不燃 NM-8600	紙系壁紙	防火種別 ・ 1-1 / ・ 1-3 / ・ 2-3
		無機質系壁紙	防火種別 1-6

「防火被覆」 ○：国土交通省告示第221号（ ）は、45分準耐火構造の告示仕様を示す）
○：国土交通省告示第195号（ ）は、1時間準耐火構造の告示仕様を示す）
◎：国土交通省告示第250号第2（ ）は、火熱遮断壁等の告示仕様を示す）

「内装制限①」 ：建築基準法第35条の2
「内装制限②」 ：国土交通省告示第227号第2

株式会社東畑建築事務所
TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

設計番号	作成日	種別/備考		
20250043	2026.3			
一級建築士 NO.273069	一級建築士 NO.343695	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786	建築設備士 NO.09E1-0256YY	
高木 耕一	久保 久志	中牟田 昌慶	三宅 光義	

工事名称	図面番号
須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	A022
図面名称 内部仕上表 その1 縮尺 A1: A3:	

内部仕上表

階	室名	居室	内装制限①	内装制限②	断熱	化学物質測定	床 防火被覆	床 下地1 仕上高	床 下地1 スラブ天（梁天/下地天）	床 下地2	床 仕上げ	幅木 仕上げ 特記外H=100	壁 防火被覆	壁 腰壁 下地	壁 腰壁 仕上げ	壁 下地1	壁 下地2	壁 仕上げ	天井 防火被覆	天井 下地1	天井 下地2	天井 仕上げ	天井高	その他 廻縁	その他 ボックステン類	備考
1（校舎棟 南）	職員用更衣室（男子/女子）							RC		ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	FS-A	VB	○	壁下地に準ずる	—	W	GB-R12.5+9.5	EP-G	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	2500	V	○	更衣ﾛｯｶｰ、姿見鏡、ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ
																	遮音壁									
								±0	-15																	
	職員用トイレ（男子/女子）				○			RC		ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	FS-B	床材立上	○	同上	—	W	GB-R15 +GB-S9.5	壁ﾀｲﾙA	○	鋼製1	GB-F12.5+12.5	FK6+EP	2500	V	—	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、洗面ｶｳﾝﾀｰ、補助手摺、小便・大便器ﾊﾟｯｸ、洗面ﾊﾟｯｸ、掃除流し、棚、ﾌｯｸ、化粧鏡、
																	GB-F12.5+GB-R9.5+GB-S9.5									姿見鏡、抗菌床ﾀｲﾙ、ﾌｨｯﾃｨﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ、面台
								±0	-15								遮音壁									
	配膳室1				○			RC		ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	FS-E	床材立上	○	同上	—	W	GB-R15	化粧FK6	○	鋼製1	GB-F12.5+12.5	FK6+EP	2700	V	○	洗面ﾊﾞｯｸ、SK、面台、化粧鏡、更衣ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ
								±0	-15																	
	通級前室							RC		—	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	○	同上	—	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	2700	V	—	
																	GB-F12.5+GB-R9.5									
								±0	-30																	
	通級指導室1･2	居			○			RC		ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄA	WB	○	同上	—	W	GB-R15	掲示壁C	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	2700	V	○	収納棚
																	GB-F12.5+GB-R9.5	吸音壁A								
								±0	-15								遮音壁									
	会議室	居			○			RC		—	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	○	同上	—	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	2600	V	○	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ（W2700xH1200）、ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ、収納棚、掃除用具入、移動間仕切
																	GB-F21+21+21				GB-F12.5+12.5	GB-R9.5+DR9	2700			
								±0	-30								遮音壁									
	会議収納							RC		ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	FS-A	VB	○	同上	—	W	GB-R12.5+9.5	EP-G	○	鋼製1	GB-F12.5+12.5	GB-D9.5	3220~	V	—	
																					大梁部分：GB-F12.5+12.5	EP	3270			
								±0	-15																	
	廊下S1				○			RC		—	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	○	同上	杉板t12+WP	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	2700	V	—	
																		掲示壁A								
								±0	-30																	
	廊下S2、S3							RC		—	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	○	同上	杉板t12+WP	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5+12.5	GB-R9.5+DR9	2700	V	—	ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ
																	GB-F12.5+GB-R9.5	掲示壁A								
								±0	-30								GB-F21+21+21									
南壁等（火熱遮断壁等：コアタイプ）	階段室1 （1階）			不		◎	RC			—	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	◎	同上	—	W	GB-F21+21+21	内装薄塗材E	◎	鋼製1	GB-F21+21+21	DR9	2500	V	—	
								±0	-30																	
	（2階）			不		◎	W（構造用合板t28）			ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製床組+合板t12	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	◎	同上	—	W	GB-F21+21+21	内装薄塗材E	◎	鋼製1	GB-F21+21+21	DR9	2250	V	—	
							GB-F21+21+21																			
								±0	-250																	
	（階段部分）			不	○		S			MO	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	◎	同上	—	W	GB-F21+21+21	内装薄塗材E	◎	鋼製1	GB-F21+21+21	DR9	-	V	—	
							※構造耐力上主要な部分に非該当																			
								±0	-30																	
	EV			不	○	◎	RC			MO	（ﾋﾟｯﾄ部）ｹｲ酸質系塗布防水	-	◎	同上	—	W	GB-F21+21+21	素地	◎	鋼製1	GB-F21+21+21	素地	-	-	—	
								±0	-1250																	
1（校舎棟 東）	理科室	居			○	○		RC		ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	FS-F	WB	○	同上	—	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5（準不燃）+WP	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	3000	V	○	上下式黒板（W3600xH1800）、教師用実験台、児童用実験台、流し台、掃除用具入
																	GB-F12.5+GB-R9.5	掲示壁A			GB-F12.5+12.5	GB-R9.5+DR9	2700			（ﾒﾃﾞｨｱｾﾝﾀｰ1_理科室前）書架
								±0	-15																	
	理科準備室				○			RC		ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	FS-F	WB	○	同上	—	W	GB-R15	ﾗｰﾁ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	3280~	V	○	実験台、収納棚、薬品庫
																							3370			
								±0	-15																	
	家庭科室	居			○			RC		ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	FS-C	WB	○	同上	—	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5（準不燃）+WP	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	3000	V	○	上下式黒板（W3600xH1800）、教師用調理台、児童用調理台、流し台、収納棚、
																		掲示壁A			GB-F12.5+12.5	GB-R9.5+DR9	2700			展示収納棚、作業ﾃｰﾌﾞﾙ、掃除用具入
								±0	-15														2400			（ﾒﾃﾞｨｱｾﾝﾀｰ1_家庭科室前）書架
	トイレE1（男子/女子）				○			RC		ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	FS-B	床材立上	○	同上	—	W	GB-R15 +GB-S9.5	壁ﾀｲﾙA（H=～1100）ー部、壁ﾀｲﾙB	○	鋼製1	GB-F12.5+12.5	FK6+EP	2500	V	—	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、洗面ｶｳﾝﾀｰ、補助手摺、小便・大便器ﾊﾟｯｸ、洗面ﾊﾟｯｸ、掃除流し、棚、ﾌｯｸ、化粧鏡、
	多目的トイレE1																GB-F12.5+GB-R9.5+GB-S9.5	壁ﾀｲﾙC（H=1100～1900）				GB-R9.5+DR9				姿見鏡、抗菌床ﾀｲﾙ、ﾌｨｯﾃｨﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ
								±0	-15									EP-G （H=1900～）、ｼﾅ合板t5.5+WP								
	廊下E1							RC		—	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	○	同上	杉板t12+WP	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	2700	V	—	ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ、書架
																	GB-F12.5+GB-R9.5	掲示壁A								
								±0	-30																	
	メディアセンター1･2	居			○			RC		—	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	○	同上	杉板t12+WP	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	2700~	V	○	ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ、書架関連家具一式、掃除用具入、司書ｶｳﾝﾀｰ
										—	（絵本ｺｰﾅｰFL+100）ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄC	WB					GB-F12.5+GB-R9.5	土壁			GB-F12.5+12.5	GB-R9.5+DR9.0	3300			
								±0/+100	-30									掲示壁A			絵本ｺｰﾅｰ：GB-F12.5+12.5	GB-R9.5+DR9.0+EP, 木ﾙｰﾊﾞｰ+WP	2200			
	図工室	居			○			RC		—	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	○	同上	—	W	GB-R15	吸音壁A	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	3000	V	○	上下式黒板（W3600xH1800）、教師用工作台、児童用工作台、壁面作業台、流し台、収納棚、
																	遮音壁	掲示壁A			GB-F12.5+12.5	GB-R9.5+DR9	2700			工具ﾜｺﾞﾝ、材料収納棚、掃除用具入、ホワイトボード（W900×H1200）
								±0	-30														2400			（ﾒﾃﾞｨｱｾﾝﾀｰ1_図工室前）書架
	図工準備室				○			RC		—	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	○	同上	—	W	GB-R15	ﾗｰﾁ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	3280	V	○	展示収納棚、収納棚
																	遮音壁									
								±0	-30																	

株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考	工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
	一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶 / 建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 内部仕上表 その2 縮尺 A1: A3:
				図面番号 A023

内部仕上表

階	室名	居室	内装制限①	内装制限②	断熱	化学物質測定	床 防火被覆	床 下地1 仕上高	床 下地1 スラブ天（梁天/下地天）	床 下地2	床 仕上げ	幅木 仕上げ 特記外H=100	壁 防火被覆	壁 腰壁 下地	壁 腰壁 仕上げ	壁 下地1	壁 下地2	壁 仕上げ	天井 防火被覆	天井 下地1	天井 下地2	天井 仕上げ	天井 天井高	その他 廻縁	その他 ボックステン類	備考
1（校舎棟 東）	音楽室	居			○			RC		ー	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	○	壁下地に準ずる	ー	W	GB-R15	吸音壁A	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	3000	V	○	上下式ホワイトボード（片面5線入り）（W3600xH1800）、掃除用具入
																	GB-F12.5+GB-R9.5	掲示壁A			GB-F12.5+12.5	GB-R9.5+DR9	2700			（ﾒﾃﾞｨｱｾﾝﾀｰ1_音楽室前）書架
								±0	-30								遮音壁						2400			
	音楽準備室				○			RC		ー	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	○	同上	ー	W	GB-R15	ﾗｰﾁ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	3310	V	○	楽器収納棚、窓下収納棚
								±0	-30																	
	風除室				○			RC		MO	床ﾀｲﾙA	床材立上	○	同上	ー	W	GB-R15	杉板t12+WP（H=～2000）	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	2700	V	ー	下足箱
										ー	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB						ｼﾅ合板t5.5+WP								
								±0	-50、-30									（H=2000～）								
	事務スペース	居			○			RC		ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄA	VB	○	同上	ー	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5+12.5	GB-R9.5+DR9	2700	V	○	受付ｶｳﾝﾀｰ、収納棚
								±0	-15																	
	給湯スペース				○			RC		MO	床ﾀｲﾙB	WB	○	同上	杉板t12+WP	W	GB-R15	内装薄塗材E	○	鋼製1	GB-F12.5+12.5	GB-R9.5+DR9.0+EP	2200	V	ー	ｶｳﾝﾀｰ付き流し台（IHﾋｰﾀｰ付）、面台、収納棚
																						木ﾙｰﾊﾞｰ+WP				
								±0	-50																	
	メディアセンター3				○			RC		ー	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	○	同上	杉板t12+WP	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	3130~	V	○	書架関連家具一式、地域用ﾛｯｶｰ
												WB											3280			
								±0	-30																	
	活動室1	居			○	○		RC		鋼製床組+合板t12	本畳	WB	○	同上	-	W	GB-R15	土壁	○	鋼製1	GB-F12.5+12.5	木板張	2700	W	○	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ
											一部、ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA							内装薄塗材E								
								±0、+300	-30																	
	活動室2	居			○			RC		-	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	○	同上	ー	W	GB-R15	杉板t12+WP	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	3000	V	○	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ
												WB									GB-F12.5+12.5	GB-R9.5+DR9	2700			
								±0	-30																	
北壁等（火熱遮断壁等：コアタイプ）	階段室2 （1階）			不	○			RC		ー	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	◎	同上	ー	W	GB-F21+21+21	内装薄塗材E	◎	鋼製1	GB-F21+21+21	DR9	2500	V	ー	
								±0	-30																	
	（2階）			不	○		◎	W（構造用合板t28）		ﾌﾗｽﾁｯｸ製床組+合板t12	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	◎	同上	ー	W	GB-F21+21+21	内装薄塗材E	◎	鋼製1	GB-F21+21+21	DR9	2250	V	ー	
								GB-F21+21+21																		
								±0	-250																	
	（階段部分）			不	○			S		MO	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	◎	同上	—	W	GB-F21+21+21	内装薄塗材E	◎	鋼製1	GB-F21+21+21	DR9	-	V	—	
								※構造耐力上主要な部分に非該当																		
								±0	-30																	
	ポンプ室（1階）			不	○			RC		ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し	塗床	床材立上	◎	同上	ー	W	GB-F21+21+21	GWﾏｯﾄ	◎	鋼製1	GB-F21+21+21	GWﾏｯﾄ	-	V	ー	
											（ﾋﾟｯﾄ部）ｹｲ酸質系塗布防水						GB-R12.5+9.5										
								±0	-15																	
1（校舎棟 北）	メディアセンター4				○			RC		ー	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	○	同上	杉板t12+WP	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5+12.5	GB-R9.5+DR9	2400	V	○	書架関連家具一式
										ﾌﾗｽﾁｯｸ製床組+合板t12	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄD（FL+100）	WB					GB-F12.5+GB-R9.5	掲示壁A								
								±0、+100	-30	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	（出入口） FS-D														
	多目的ホール	居			○			RC		鋼製床組+合板t12	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞD	WB	○	同上	ー	W	GB-R15	**杉板t12+WP**（H=～2700）	○	-	-		8750~	V	○	ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ、バトン、暗幕
	（用途：小学校）																GB-F12.5+GB-R9.5	ｼﾅ合板t5.5+WP（H=2700～）		鋼製1	GB-F12.5	DR9	5580			
								±0	-300								遮音壁						2700			
	ホール倉庫							RC		ﾌﾗｽﾁｯｸ製床組+合板t12	FS-A	VB	○	同上	ー	W	GB-R12.5+9.5	EP-G	○	鋼製1	GB-F12.5+12.5	GB-D9.5	3120~	V	ー	
																	GB-F12.5+GB-R9.5						3330			
								±0	-300																	
	トイレN1（男子/女子）				○			RC		ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	FS-B	床材立上	○	同上	ー	W	GB-R15 +GB-S9.5	壁ﾀｲﾙA（H=～1100）一部、壁ﾀｲﾙB	○	鋼製1	GB-F12.5+12.5	FK6+EP	2500	V	ー	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、洗面ｶｳﾝﾀｰ、補助手摺、小便・大便器ﾊﾟｯｸ、洗面ﾊﾟｯｸ、SK、棚、ﾌｯｸ、化粧鏡
																	GB-F21+21+21 +GB-S9.5	壁ﾀｲﾙC（H=1100～1900）				GB-R9.5+DR9				
								±0	-15								遮音壁	EP-G （H=1900～）								
	多目的トイレN1				○			RC		ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	FS-B	床材立上	○	同上	ー	W	GB-R15 +GB-S9.5	壁ﾀｲﾙA（H=～1900）	○	鋼製1	GB-F12.5+12.5	FK6+EP	2500	V	ー	補助手摺、ﾗｲﾆﾝｸﾞ、多目的ｼｰﾄ、ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱ、ﾌｨｯﾃｨﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ、化粧鏡、ｵｽﾄﾒｲﾄ対応流し
																	GB-F12.5+GB-R9.5+GB-S9.5	EP-G （H=1900～）				GB-R9.5+DR9				
								±0	-15								遮音壁									
	倉庫1							RC		ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	FS-A	床材立上	○	同上	ー	W	GB-R12.5+9.5	EP-G	○	鋼製1	GB-F12.5+12.5	GB-D9.5	3140	V	ー	
																	GB-F12.5+GB-R9.5									
								±0	-15																	
	授乳室							RC		ー	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	○	同上	ー	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5+12.5	GB-R9.5+DR9	2500	V	ー	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ、化粧鏡、洗面ﾊﾟｯｸ、ソファー
																	遮音壁									
								±0	-30																	
	備品庫							RC		ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	FS-A	VB	○	同上	ー	W	GB-R12.5+9.5	EP-G	○	鋼製1	GB-F12.5+12.5	GB-D9.5	3270	V	ー	洗濯機ﾊﾟﾝ、面台
																	GB-F12.5+GB-R9.5									
								±0	-15																	

株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考	工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
	一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶 / 建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 内部仕上表 その3 縮尺 A1: A3:
				図面番号 A024

内部仕上表

階	室名 ※学童保育所：1階のため内装制限なし	居室	内装制限①	内装制限②	断熱	化学物質測定	床 防火被覆	床 下地1 仕上高	床 下地1 スラブ天（梁天/下地天）	床 下地2	床 仕上げ	幅木 仕上げ 特記外H=100	壁 防火被覆	壁 腰壁 下地	壁 腰壁 仕上げ	壁 下地1	壁 下地2	壁 仕上げ	天井 防火被覆	天井 下地1	天井 下地2	天井 仕上げ	天井高	その他 廻縁	その他 ボックステン類	備考
1（校舎棟 北）	学童玄関				○			RC		MO	床ﾀｲﾙA	床材立上	○	同上	杉板t12+WP	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5+12.5	GB-R9.5+DR9	2700	V	―	下足箱
										鋼製床組+合板t12	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB						掲示壁C								
								-100/±0	-150、-30																	
	玄関ホール2							RC		―	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	○	同上	杉板t12+WP	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5+12.5	GB-R9.5+DR9	2700	V	―	収納棚
																		掲示壁C								
								±0	-30																	
	保育室1･2･3	居			○	○1のみ		RC		―	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	○	同上	―	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5+12.5	GB-R9.5+DR9	2700	V	○	収納棚、児童用ﾛｯｶｰ、掃除用具入、ホワイトボード（W1800×H1200）
																	GB-F12.5+GB-R9.5	掲示壁B							
								±0	-30									吸音壁A								
	学童事務室	居			○			RC		―	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	VB	○	同上	―	W	GB-R12.5+9.5	ペン下クロス+EP-G	○	鋼製1	GB-F12.5+12.5	GB-R9.5+DR9	2500	V	○	姿見鏡、ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ、収納棚、ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ（W1200xH1200）、受付ｶｳﾝﾀｰ
																		掲示壁A				FK6+EP	2700			収納付き流し台（IHヒーター付）、面台、吊り戸棚
								±0	-30																	
	廊下N2、N3				○			RC		―	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	○	同上	杉板t12+WP	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5+12.5	GB-R9.5+DR9	2700	V	―	窓下収納棚、手洗い、掃除用具入
										ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	一部、FS-A						GB-F12.5+GB-R9.5	掲示壁A							
								±0	-15、-30、-300	廊下N2一部、ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製床組+合板t12															
	学童用トイレ（男子/女子）				○			RC		ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	FS-B	床材立上	○	同上	―	W	GB-R15 +GB-S9.5	壁ﾀｲﾙA（H=～1100）一部、壁ﾀｲﾙB	○	鋼製1	GB-F12.5+12.5	FK6+EP	2500	V	―	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、洗面ｶｳﾝﾀｰ、補助手摺、大便器ﾊﾞｯｸ、洗面ﾊﾞｯｸ、掃除流し、棚、ﾌｯｸ、化粧鏡、
																	遮音壁	壁ﾀｲﾙC（H=1100～1900）				GB-R9.5+DR9			抗菌床ﾀｲﾙ、ﾌｨｯﾃｨﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ
								±0	-15									EP-G （H=1900～）								
	学童倉庫				○			RC		ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	FS-A	VB	○	同上	―	W	GB-R12.5+9.5	EP-G	○	鋼製1	GB-F12.5+12.5	GB-D9.5	3280	V	○	収納棚
																	GB-F12.5+GB-R9.5								
								±0	-15																	
1（屋内体育館棟）	体育館玄関・児童用昇降口1				○			RC		MO	床ﾀｲﾙ	床材立上	○	壁下地に準ずる	―	LGS	GB-R15	杉板t12+WP（H=～2000）	○	鋼製1	GB-R12.5	DR9+EP	2500	V	―	下足箱
										―	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB				-	RC	ｼﾅ合板t5.5+WP（H=2000～）				木ﾙｰﾊﾞｰ+WP				
								-100/±0	-150、-30									掲示壁A								
	階段3				○			RC		―	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	○	同上	―	RC	GB-R12.5+9.5	内装薄塗材E	○	鋼製1	GB-R9.5	DR9	2500	V	―	
																LGS	GB-R12.5+9.5									
								±0	-30																	
	階段下倉庫				○			RC		ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し	塗床	床材立上	○	同上	―	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	素地	○	-	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	素地	-	-	―	
																LGS	GB-R12.5+9.5	EP-G								
								-100	-150																	
	体育室	居			○	○		RC		鋼製床組+合板t12	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞE	WB	○	同上	―	LGS	―	吸音壁B	○	-	GB-R12.5	DR9	8000~	V	―	肋木、床下換気口、収納式姿見鏡、支柱用金物、暗幕、ホワイトボード（W1800×H1200）
																-	RC								ﾐﾆﾊﾞｽｹｯﾄｺﾞｰﾙｺｰﾄ（11×20m：2面）
								±0	-300											-	（ｷｬｯﾄｳｫｰｸ下）合板t9	シナ合板t5.5+WP				ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙｺｰﾄ（9×18m：3面）、ﾊﾞﾄﾐﾝﾄﾝｺｰﾄ（6.1×13.4m：3面）
	ステージ				○			RC		鋼製床組+合板t12	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞE	WB	○	同上	―	-	RC	EP-G	○	-	木毛ｾﾒﾝﾄ板t15	EP	-	V	―	ステージ下収納台車、舞台機構一式、舞台框、ブドウ棚
																	GB-R12.5+9.5									
								+800	-15																	
	器具庫1・2				○			RC		ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	FS-A	VB	○	同上	―	-	RC	EP-G	○	-	木毛ｾﾒﾝﾄ板t15	EP	-	V	―	
																	GB-R12.5+9.5									
								±0	-15																	
	器具庫3				○			RC		ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	FS-A	VB	○	同上	―	-	RC	EP-G	○	―	木毛ｾﾒﾝﾄ板t15	EP	3500~	V	―	
																	GB-R12.5+9.5						3570			
								±0	-15																	
	体育館多目的トイレ							RC		ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	FS-B	床材立上	○	同上	―	LGS	GB-R15 +GB-S9.5	壁ﾀｲﾙA（H=～1900）	○	鋼製1	-	FK6+EP	2500	V	―	補助手摺、ﾗｲﾆﾝｸﾞ、多目的ｼｰﾄ、ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱ、ﾌｨｯﾃｨﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ、化粧鏡、
	体育館共用トイレ																遮音壁	EP-G （H=1900～）								ｵｽﾄﾒｲﾄ対応流し（別途設備工事）
								±0	-15																	
	体育館トイレ（男子/女子）				○			RC		ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	FS-B	床材立上	○	同上	―	LGS	GB-R15 +GB-S9.5	壁ﾀｲﾙA（H=～1100）一部、壁ﾀｲﾙB	○	鋼製1	-	FK6+EP	2500	V	―	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、洗面ｶｳﾝﾀｰ、補助手摺、小便・大便器ﾊﾞｯｸ、洗面ﾊﾞｯｸ、掃除流し、棚、ﾌｯｸ、化粧鏡、
																-	RC	壁ﾀｲﾙC（H=1100～1900）								姿見鏡、抗菌床ﾀｲﾙ
								±0	-15								遮音壁	EP-G （H=1900～）								
	トイレ前室							RC		ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	FS-B	VB	○	同上	―	LGS	GB-R12.5+9.5	EP-G	○	鋼製1	GB-R9.5	DR9	2500	V	―	
																-	RC									
								±0	-15																	
	倉庫2				○			RC		ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	FS-D	VB	○	同上	―	W	RC	EP-G	○	―	木毛ｾﾒﾝﾄ板t15	EP	3530~	V	―	
																	GB-R12.5+9.5						3600			
								-100	-150																	

株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考	工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
	一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶 / 建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 内部仕上表 その4 縮尺 A1: A3: / 図面番号 A025

内部仕上表

階	室名 （南）…校舎棟南 （東）…校舎棟東 （北）…校舎棟北	居室	内装制限①	内装制限②	断熱	化学物質測定	床 防火被覆	床 下地1 仕上高	床 下地1 スラブ天（梁天/下地天）	床 下地2	床 仕上げ	幅木 仕上げ 特記外H=100	壁 防火被覆	壁 腰壁 下地	壁 腰壁 仕上げ	壁 下地1	壁 下地2	壁 仕上げ	天井 防火被覆	天井 下地1	天井 下地2	天井 仕上げ	天井高	その他 廻縁	その他 ボックステン類	備考
2（校舎棟）	（南）普通教室1･2･3･4	居			○	○ 1･6･11のみ		構造用合板t24		ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製床組+合板t12	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	○	壁下地に準ずる	―	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	3040~	V	○	昇降式黒板（W3600xH1200）、ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ（W900xH1200）、教師用収納棚、給食袋掛けﾌｯｸ、
	（東）普通教室5･6､特別支援教室1･2							+硬質木片セメント板t12									GB-F12.5+GB-R9.5	掲示壁A					4800			児童用ﾛｯｶｰ（可動式）、掃除用具入
	（北）普通教室11･12							±0	-250																	
	（南）ワークスペース1･2･3･4	居			○			構造用合板t24		ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製床組+合板t12	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞB	WB	○	同上	杉板t12+WP	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	4860~	V	―	掲示兼用扉、昇降式物干
	（東）ワークスペース5･6、特支1･2							+硬質木片セメント板t12									GB-F12.5+GB-R9.5	掲示壁A					5490			
	（北）ワークスペース11･12							±0	-250												（設備スペース）GB-F12.5	GB-R9.5+DR9	2100			
	（東）普通教室7･8･9･10	居			○			構造用合板t24		ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製床組+合板t12	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	○	同上	―	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	3340~	V	○	昇降式黒板（W3600xH1200）、ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ（W900xH1200）、教師用収納棚、給食袋掛けﾌｯｸ、
								+硬質木片セメント板t12									GB-F12.5+GB-R9.5	掲示壁A					5100			児童用ﾛｯｶｰ（可動式）、掃除用具入
								±0	-250																	
	（東）ワークスペース7･8･9･10	居			○			構造用合板t24		ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製床組+合板t12	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞB	WB	○	同上	杉板t12+WP	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	5160~	V	―	掲示兼用扉
								+硬質木片セメント板t12									GB-F12.5+GB-R9.5	掲示壁A					5790			
								±0	-250												（設備スペース）GB-F12.5	GB-R9.5+DR9	2100			
	（東）多目的教室1	居			○			構造用合板t24		ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製床組+合板t12	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	○	同上	―	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	3040	V	○	昇降式黒板（W3600xH1200）、ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ（W900xH1200）、教師用収納棚、給食袋掛けﾌｯｸ、
	（北）多目的教室2							+硬質木片セメント板t12										掲示壁A					~			児童用ﾛｯｶｰ（可動式）、掃除用具入
								±0	-250														4800			
	（南）教員コーナー1				○			構造用合板t24		ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製床組+合板t12	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	○	同上	杉板t12+WP	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	2200	V	○	ｶｳﾝﾀｰ、収納棚、更衣ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ
	（東）教員コーナー2							+硬質木片セメント板t12									GB-F12.5+GB-R9.5									
	（北）教員コーナー3							±0	-250																	
	（南）放送室	居			○			構造用合板t24		ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製床組+合板t12	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄA	WB	○	同上	―	W	GB-R15	吸音壁A	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	2500	V	○	収納棚、掃除用具入、放送卓（別途電気設備工事）
								+硬質木片セメント板t12									遮音壁									
								±0	-250																	
	（南）配膳室2				○			構造用合板t24		ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製床組+合板t12	FS-B	VB	○	同上	―	W	GB-R15	化粧FK6	○	鋼製1	GB-F12.5	FK6+EP	2500	V	―	洗面ﾊﾞｯｸ、掃除流し、化粧鏡
	（東）配膳室3							+硬質木片セメント板t12									GB-F21+21+21									
								±0	-250																	
	（南）児童用昇降口2				○			構造用合板t24		ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製床組+合板t12	床ﾀｲﾙA	床材立上	○	同上	―	W	GB-R15	杉板t12+WP（H=～2000）	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	3100~	V	―	下足箱
								+硬質木片セメント板t12	同上		FS-D	WB						ｼﾅ合板t5.5+WP（H=2000～）					3950			
								-100/±0	-250、-15																	
	（東）多目的準備室1	居			○			構造用合板t24		ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製床組+合板t12	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	○	同上	―	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	2700	V	○	収納棚
	（北）多目的準備室2							+硬質木片セメント板t12										掲示壁A								昇降式黒板（W3600xH1200）、ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ（W900xH1200）、教師用収納棚、給食袋掛けﾌｯｸ
								±0	-250																	
	（北）教材室				○			構造用合板t24		ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製床組+合板t12	FS-A	VB	○	同上	―	W	GB-R15	ﾗｰﾁ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5	GB-D9.5	2500	V	○	収納棚
								+硬質木片セメント板t12									GB-F12.5+GB-R9.5									
								±0	-250																	
	（北）備品倉庫				○			構造用合板t24		ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製床組+合板t12	FS-A	VB	○	同上	―	W	GB-R12.5+9.5	EP-G	○	鋼製1	GB-F12.5	GB-D9.5	2500	V	―	
								+硬質木片セメント板t12																		
								±0	-250																	
	（南）トイレS1（男子/女子）				○			構造用合板t24		ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製床組+合板t12	FS-B	床材立上	○	同上	―	W	GB-R15 +GB-S9.5	壁ﾀｲﾙA（H=～1100）ー部､壁ﾀｲﾙB	○	鋼製1	GB-F12.5	FK6+EP	2500	V	―	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、洗面ｶｳﾝﾀｰ、補助手摺、小便・大便器ﾊﾞｯｸ、洗面ﾊﾞｯｸ、掃除流し、棚、ﾌｯｸ、化粧鏡、
	（東）トイレE2（男子/女子）							+硬質木片セメント板t12									GB-F12.5+GB-R9.5+GB-S9.5	壁ﾀｲﾙC（H=1100～1900）				GB-R9.5+DR9				姿見鏡、抗菌床ﾀｲﾙ、ﾌｨｯﾃｨﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ
	（北）トイレN2（男子/女子）							±0	-250								遮音壁	EP-G （H=1900～）								
	（東）多目的トイレE2				○			構造用合板t24		ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製床組+合板t12	FS-B	床材立上	○	同上	―	W	GB-R15 +GB-S9.5	壁ﾀｲﾙA（H=～1900）	○	鋼製1	GB-F12.5	FK6+EP	2400	V	―	多目的ﾊﾞｯｸ、補助手摺、大便器ﾊﾞｯｸ、洗面ﾊﾞｯｸ、化粧鏡、ﾌｨｯﾃｨﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ
								+硬質木片セメント板t12									GB-F12.5+GB-R9.5+GB-S9.5	EP-G （H=1900～）				GB-R9.5+DR9	2500			
								±0	-250								遮音壁									
	（南）廊下S4、S5、S6				○			構造用合板t24		ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製床組+合板t12	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	○	同上	杉板t12+WP	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	2400	V	―	収納棚、流し台
								+硬質木片セメント板t12									GB-F12.5+GB-R9.5	掲示壁A					2500			
								±0	-250													3950~	4300			
	（東）廊下E2、E3、E4、E5				○			構造用合板t24		ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製床組+合板t12	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	○	同上	杉板t12+WP	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	2250	V	―	収納棚、流し台
								+硬質木片セメント板t12									GB-F12.5+GB-R9.5	掲示壁A					2500			
								±0	-250													3800~	4300			
	（北）廊下N4、N5、N6				○			構造用合板t24		ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製床組+合板t12	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞA	WB	○	同上	杉板t12+WP	W	GB-R15	ｼﾅ合板t5.5+WP	○	鋼製1	GB-F12.5	DR9	2500	V	―	ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ、収納棚、流し台
								+硬質木片セメント板t12									GB-F12.5+GB-R9.5	掲示壁A					2400			
								±0	-250																	
共通	（1階）PS、EPS、DS				○			RC		-	素地	-	○	-	-	W	GB-R15	素地	○	鋼製1	GB-F12.5+12.5	素地	-	-	-	-
																	GB-F12.5+GB-R9.5									
								±0	±0																	
	（2階）PS、EPS、DS				○			構造用合板t24		-	素地	-	○	-	-	W	GB-R15	素地	○	鋼製1	GB-F12.5	素地	-	-	-	-
								+硬質木片セメント板t12									GB-F12.5+GB-R9.5									
								-	-																	
	（1階）SK				○			RC		-	FS-B	VB	○	-	-	W	GB-R15 +GB-S9.5	壁ﾀｲﾙA（H=～1900）	○	鋼製1	GB-F12.5+12.5	FK6+EP	2500	V	-	掃除用具掛けﾌｯｸ、雑巾掛け
																		EP-G （H=1900～）								
								±0	-15																	
	（2階）SK				○			構造用合板t24		-	FS-B	VB	○	-	-	W	GB-R15 +GB-S9.5	壁ﾀｲﾙA（H=～1900）	○	鋼製1	GB-F12.5	FK6+EP	2500	V	-	掃除用具掛けﾌｯｸ、雑巾掛け
								+硬質木片セメント板t12										EP-G （H=1900～）								
								±0	-250																	

株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考	工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
	一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 内部仕上表 その5 縮尺 A1: A3:	図面番号 A026

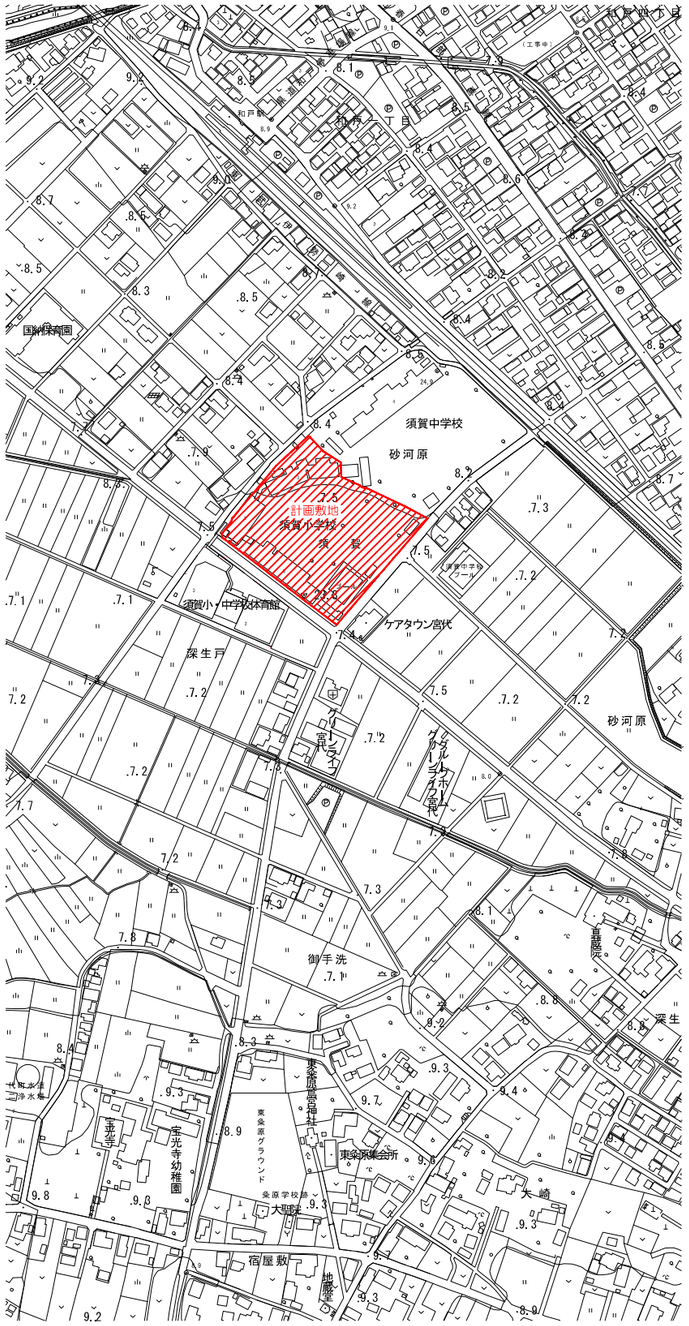
学童保育所
【別途解体】
第4校舎(トイレ棟)
配膳室棟2
ゴミ庫
キュービクル
灯油庫
職員駐車場
第4校舎(教室棟)
第3校舎(教室棟)
第2校舎(教室棟)
渡り廊下棟
配膳室棟1
第1校舎(教室棟)
倉庫
体育倉庫1
体育倉庫2
屋外プール
屋外プール(付属棟)
既存小学校体育館
既存中学校体育館
町道527号線
町道74号線
町道67号線
KBM.1（金属鋲）
TP=7.506
既存樹木：ヒマラヤスギ
工事開始時に先行して伐採保管

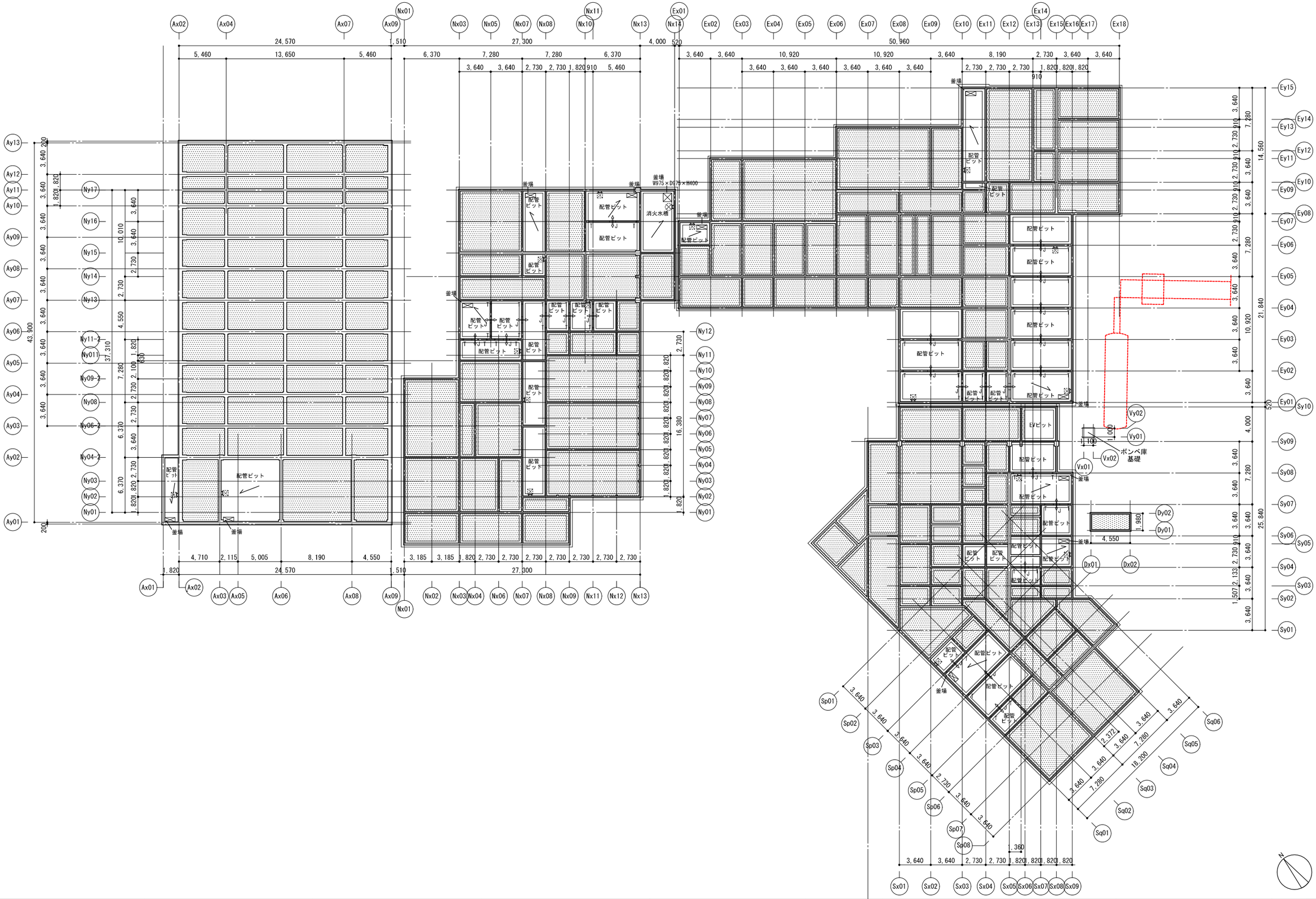
新築建物を示す

株式会社東畑建築事務所
TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

設計番号	作成日	種別/備考		工事名称
20250043	2026.3			須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 敷地現況図 縮尺　A1：1/400 A3：1/800

図面番号
A027


須賀中学校
砂河原
計画敷地
須賀小学校
須賀小・中学校体育館
ケアタウン宮代
深生戸
砂河原
御手洗
東栄原宮福社
東栄原集会所
東栄原グラウンド
大崎
宿屋敷
地蔵堂
宝光寺幼稚園
国道4号
和戸町
和戸一丁目
和戸二丁目
砂河原一丁目
砂河原二丁目
深生一丁目
深生二丁目
深生三丁目
深生四丁目
東栄原一丁目
東栄原二丁目
東栄原三丁目
東栄原四丁目
東栄原五丁目
東栄原六丁目
東栄原七丁目
東栄原八丁目
東栄原九丁目
東栄原十丁目
東栄原十一丁目
東栄原十二丁目
東栄原十三丁目
東栄原十四丁目
東栄原十五丁目
東栄原十六丁目
東栄原十七丁目
東栄原十八丁目
東栄原十九丁目
東栄原二十丁目
東栄原二十一丁目
東栄原二十二丁目
東栄原二十三丁目
東栄原二十四丁目
東栄原二十五丁目
東栄原二十六丁目
東栄原二十七丁目
東栄原二十八丁目
東栄原二十九丁目
東栄原三十丁目
東栄原三十一丁目
東栄原三十二丁目
東栄原三十三丁目
東栄原三十四丁目
東栄原三十五丁目
東栄原三十六丁目
東栄原三十七丁目
東栄原三十八丁目
東栄原三十九丁目
東栄原四十丁目
東栄原四十一丁目
東栄原四十二丁目
東栄原四十三丁目
東栄原四十四丁目
東栄原四十五丁目
東栄原四十六丁目
東栄原四十七丁目
東栄原四十八丁目
東栄原四十九丁目
東栄原五十丁目
東栄原五十一丁目
東栄原五十二丁目
東栄原五十三丁目
東栄原五十四丁目
東栄原五十五丁目
東栄原五十六丁目
東栄原五十七丁目
東栄原五十八丁目
東栄原五十九丁目
東栄原六十丁目
東栄原六十一丁目
東栄原六十二丁目
東栄原六十三丁目
東栄原六十四丁目
東栄原六十五丁目
東栄原六十六丁目
東栄原六十七丁目
東栄原六十八丁目
東栄原六十九丁目
東栄原七十丁目
東栄原七十一丁目
東栄原七十二丁目
東栄原七十三丁目
東栄原七十四丁目
東栄原七十五丁目
東栄原七十六丁目
東栄原七十七丁目
東栄原七十八丁目
東栄原七十九丁目
東栄原八十丁目
東栄原八十一丁目
東栄原八十二丁目
東栄原八十三丁目
東栄原八十四丁目
東栄原八十五丁目
東栄原八十六丁目
東栄原八十七丁目
東栄原八十八丁目
東栄原八十九丁目
東栄原九十丁目
東栄原九十一丁目
東栄原九十二丁目
東栄原九十三丁目
東栄原九十四丁目
東栄原九十五丁目
東栄原九十六丁目
東栄原九十七丁目
東栄原九十八丁目
東栄原九十九丁目
東栄原百丁目
東栄原百一丁目
東栄原百二丁目
東栄原百三丁目
東栄原百四丁目
東栄原百五丁目
東栄原百六丁目
東栄原百七丁目
東栄原百八丁目
東栄原百九丁目
東栄原百十丁目
東栄原百十一丁目
東栄原百十二丁目
東栄原百十三丁目
東栄原百十四丁目
東栄原百十五丁目
東栄原百十六丁目
東栄原百十七丁目
東栄原百十八丁目
東栄原百十九丁目
東栄原百二十丁目
東栄原百二十一丁目
東栄原百二十二丁目
東栄原百二十三丁目
東栄原百二十四丁目
東栄原百二十五丁目
東栄原百二十六丁目
東栄原百二十七丁目
東栄原百二十八丁目
東栄原百二十九丁目
東栄原百三十丁目
東栄原百三十一丁目
東栄原百三十二丁目
東栄原百三十三丁目
東栄原百三十四丁目
東栄原百三十五丁目
東栄原百三十六丁目
東栄原百三十七丁目
東栄原百三十八丁目
東栄原百三十九丁目
東栄原百四十丁目
東栄原百四十一丁目
東栄原百四十二丁目
東栄原百四十三丁目
東栄原百四十四丁目
東栄原百四十五丁目
東栄原百四十六丁目
東栄原百四十七丁目
東栄原百四十八丁目
東栄原百四十九丁目
東栄原百五十丁目
東栄原百五十一丁目
東栄原百五十二丁目
東栄原百五十三丁目
東栄原百五十四丁目
東栄原百五十五丁目
東栄原百五十六丁目
東栄原百五十七丁目
東栄原百五十八丁目
東栄原百五十九丁目
東栄原百六十丁目
東栄原百六十一丁目
東栄原百六十二丁目
東栄原百六十三丁目
東栄原百六十四丁目
東栄原百六十五丁目
東栄原百六十六丁目
東栄原百六十七丁目
東栄原百六十八丁目
東栄原百六十九丁目
東栄原百七十丁目
東栄原百七十一丁目
東栄原百七十二丁目
東栄原百七十三丁目
東栄原百七十四丁目
東栄原百七十五丁目
東栄原百七十六丁目
東栄原百七十七丁目
東栄原百七十八丁目
東栄原百七十九丁目
東栄原百八十丁目
東栄原百八十一丁目
東栄原百八十二丁目
東栄原百八十三丁目
東栄原百八十四丁目
東栄原百八十五丁目
東栄原百八十六丁目
東栄原百八十七丁目
東栄原百八十八丁目
東栄原百八十九丁目
東栄原百九十丁目
東栄原百九十一丁目
東栄原百九十二丁目
東栄原百九十三丁目
東栄原百九十四丁目
東栄原百九十五丁目
東栄原百九十六丁目
東栄原百九十七丁目
東栄原百九十八丁目
東栄原百九十九丁目
東栄原二百丁目
東栄原二百一丁目
東栄原二百二丁目
東栄原二百三丁目
東栄原二百四丁目
東栄原二百五丁目
東栄原二百六丁目
東栄原二百七丁目
東栄原二百八丁目
東栄原二百九丁目
東栄原二百十丁目
東栄原二百十一丁目
東栄原二百十二丁目
東栄原二百十三丁目
東栄原二百十四丁目
東栄原二百十五丁目
東栄原二百十六丁目
東栄原二百十七丁目
東栄原二百十八丁目
東栄原二百十九丁目
東栄原二百二十丁目
東栄原二百二十一丁目
東栄原二百二十二丁目
東栄原二百二十三丁目
東栄原二百二十四丁目
東栄原二百二十五丁目
東栄原二百二十六丁目
東栄原二百二十七丁目
東栄原二百二十八丁目
東栄原二百二十九丁目
東栄原二百三十丁目
東栄原二百三十一丁目
東栄原二百三十二丁目
東栄原二百三十三丁目
東栄原二百三十四丁目
東栄原二百三十五丁目
東栄原二百三十六丁目
東栄原二百三十七丁目
東栄原二百三十八丁目
東栄原二百三十九丁目
東栄原二百四十丁目
東栄原二百四十一丁目
東栄原二百四十二丁目
東栄原二百四十三丁目
東栄原二百四十四丁目
東栄原二百四十五丁目
東栄原二百四十六丁目
東栄原二百四十七丁目
東栄原二百四十八丁目
東栄原二百四十九丁目
東栄原二百五十丁目
東栄原二百五十一丁目
東栄原二百五十二丁目
東栄原二百五十三丁目
東栄原二百五十四丁目
東栄原二百五十五丁目
東栄原二百五十六丁目
東栄原二百五十七丁目
東栄原二百五十八丁目
東栄原二百五十九丁目
東栄原二百六十丁目
東栄原二百六十一丁目
東栄原二百六十二丁目
東栄原二百六十三丁目
東栄原二百六十四丁目
東栄原二百六十五丁目
東栄原二百六十六丁目
東栄原二百六十七丁目
東栄原二百六十八丁目
東栄原二百六十九丁目
東栄原二百七十丁目
東栄原二百七十一丁目
東栄原二百七十二丁目
東栄原二百七十三丁目
東栄原二百七十四丁目
東栄原二百七十五丁目
東栄原二百七十六丁目
東栄原二百七十七丁目
東栄原二百七十八丁目
東栄原二百七十九丁目
東栄原二百八十丁目
東栄原二百八十一丁目
東栄原二百八十二丁目
東栄原二百八十三丁目
東栄原二百八十四丁目
東栄原二百八十五丁目
東栄原二百八十六丁目
東栄原二百八十七丁目
東栄原二百八十八丁目
東栄原二百八十九丁目
東栄原二百九十丁目
東栄原二百九十一丁目
東栄原二百九十二丁目
東栄原二百九十三丁目
東栄原二百九十四丁目
東栄原二百九十五丁目
東栄原二百九十六丁目
東栄原二百九十七丁目
東栄原二百九十八丁目
東栄原二百九十九丁目
東栄原三百丁目
東栄原三百一丁目
東栄原三百二丁目
東栄原三百三丁目
東栄原三百四丁目
東栄原三百五丁目
東栄原三百六丁目
東栄原三百七丁目
東栄原三百八丁目
東栄原三百九丁目
東栄原三百十丁目
東栄原三百十一丁目
東栄原三百十二丁目
東栄原三百十三丁目
東栄原三百十四丁目
東栄原三百十五丁目
東栄原三百十六丁目
東栄原三百十七丁目
東栄原三百十八丁目
東栄原三百十九丁目
東栄原三百二十丁目
東栄原三百二十一丁目
東栄原三百二十二丁目
東栄原三百二十三丁目
東栄原三百二十四丁目
東栄原三百二十五丁目
東栄原三百二十六丁目
東栄原三百二十七丁目
東栄原三百二十八丁目
東栄原三百二十九丁目
東栄原三百三十丁目
東栄原三百三十一丁目
東栄原三百三十二丁目
東栄原三百三十三丁目
東栄原三百三十四丁目
東栄原三百三十五丁目
東栄原三百三十六丁目
東栄原三百三十七丁目
東栄原三百三十八丁目
東栄原三百三十九丁目
東栄原三百四十丁目
東栄原三百四十一丁目
東栄原三百四十二丁目
東栄原三百四十三丁目
東栄原三百四十四丁目
東栄原三百四十五丁目
東栄原三百四十六丁目
東栄原三百四十七丁目
東栄原三百四十八丁目
東栄原三百四十九丁目
東栄原三百五十丁目
東栄原三百五十一丁目
東栄原三百五十二丁目
東栄原三百五十三丁目
東栄原三百五十四丁目
東栄原三百五十五丁目
東栄原三百五十六丁目
東栄原三百五十七丁目
東栄原三百五十八丁目
東栄原三百五十九丁目
東栄原三百六十丁目
東栄原三百六十一丁目
東栄原三百六十二丁目
東栄原三百六十三丁目
東栄原三百六十四丁目
東栄原三百六十五丁目
東栄原三百六十六丁目
東栄原三百六十七丁目
東栄原三百六十八丁目
東栄原三百六十九丁目
東栄原三百七十丁目
東栄原三百七十一丁目
東栄原三百七十二丁目
東栄原三百七十三丁目
東栄原三百七十四丁目
東栄原三百七十五丁目
東栄原三百七十六丁目
東栄原三百七十七丁目
東栄原三百七十八丁目
東栄原三百七十九丁目
東栄原三百八十丁目
東栄原三百八十一丁目
東栄原三百八十二丁目
東栄原三百八十三丁目
東栄原三百八十四丁目
東栄原三百八十五丁目
東栄原三百八十六丁目
東栄原三百八十七丁目
東栄原三百八十八丁目
東栄原三百八十九丁目
東栄原三百九十丁目
東栄原三百九十一丁目
東栄原三百九十二丁目
東栄原三百九十三丁目
東栄原三百九十四丁目
東栄原三百九十五丁目
東栄原三百九十六丁目
東栄原三百九十七丁目
東栄原三百九十八丁目
東栄原三百九十九丁目
東栄原四百丁目
東栄原四百一丁目
東栄原四百二丁目
東栄原四百三丁目
東栄原四百四丁目
東栄原四百五丁目
東栄原四百六丁目
東栄原四百七丁目
東栄原四百八丁目
東栄原四百九丁目
東栄原四百十丁目
東栄原四百十一丁目
東栄原四百十二丁目
東栄原四百十三丁目
東栄原四百十四丁目
東栄原四百十五丁目
東栄原四百十六丁目
東栄原四百十七丁目
東栄原四百十八丁目
東栄原四百十九丁目
東栄原四百二十丁目
東栄原四百二十一丁目
東栄原四百二十二丁目
東栄原四百二十三丁目
東栄原四百二十四丁目
東栄原四百二十五丁目
東栄原四百二十六丁目
東栄原四百二十七丁目
東栄原四百二十八丁目
東栄原四百二十九丁目
東栄原四百三十丁目
東栄原四百三十一丁目
東栄原四百三十二丁目
東栄原四百三十三丁目
東栄原四百三十四丁目
東栄原四百三十五丁目
東栄原四百三十六丁目
東栄原四百三十七丁目
東栄原四百三十八丁目
東栄原四百三十九丁目
東栄原四百四十丁目
東栄原四百四十一丁目
東栄原四百四十二丁目
東栄原四百四十三丁目
東栄原四百四十四丁目
東栄原四百四十五丁目
東栄原四百四十六丁目
東栄原四百四十七丁目
東栄原四百四十八丁目
東栄原四百四十九丁目
東栄原四百五十丁目
東栄原四百五十一丁目
東栄原四百五十二丁目
東栄原四百五十三丁目
東栄原四百五十四丁目
東栄原四百五十五丁目
東栄原四百五十六丁目
東栄原四百五十七丁目
東栄原四百五十八丁目
東栄原四百五十九丁目
東栄原四百六十丁目
東栄原四百六十一丁目
東栄原四百六十二丁目
東栄原四百六十三丁目
東栄原四百六十四丁目
東栄原四百六十五丁目
東栄原四百六十六丁目
東栄原四百六十七丁目
東栄原四百六十八丁目
東栄原四百六十九丁目
東栄原四百七十丁目
東栄原四百七十一丁目
東栄原四百七十二丁目
東栄原四百七十三丁目
東栄原四百七十四丁目
東栄原四百七十五丁目
東栄原四百七十六丁目
東栄原四百七十七丁目
東栄原四百七十八丁目
東栄原四百七十九丁目
東栄原四百八十丁目
東栄原四百八十一丁目
東栄原四百八十二丁目
東栄原四百八十三丁目
東栄原四百八十四丁目
東栄原四百八十五丁目
東栄原四百八十六丁目
東栄原四百八十七丁目
東栄原四百八十八丁目
東栄原四百八十九丁目
東栄原四百九十丁目
東栄原四百九十一丁目
東栄原四百九十二丁目
東栄原四百九十三丁目
東栄原四百九十四丁目
東栄原四百九十五丁目
東栄原四百九十六丁目
東栄原四百九十七丁目
東栄原四百九十八丁目
東栄原四百九十九丁目
東栄原五百丁目
東栄原五百一丁目
東栄原五百二丁目
東栄原五百三丁目
東栄原五百四丁目
東栄原五百五丁目
東栄原五百六丁目
東栄原五百七丁目
東栄原五百八丁目
東栄原五百九丁目
東栄原五百十丁目
東栄原五百十一丁目
東栄原五百十二丁目
東栄原五百十三丁目
東栄原五百十四丁目
東栄原五百十五丁目
東栄原五百十六丁目
東栄原五百十七丁目
東栄原五百十八丁目
東栄原五百十九丁目
東栄原五百二十丁目
東栄原五百二十一丁目
東栄原五百二十二丁目
東栄原五百二十三丁目
東栄原五百二十四丁目
東栄原五百二十五丁目
東栄原五百二十六丁目
東栄原五百二十七丁目
東栄原五百二十八丁目
東栄原五百二十九丁目
東栄原五百三十丁目
東栄原五百三十一丁目
東栄原五百三十二丁目
東栄原五百三十三丁目
東栄原五百三十四丁目
東栄原五百三十五丁目
東栄原五百三十六丁目
東栄原五百三十七丁目
東栄原五百三十八丁目
東栄原五百三十九丁目
東栄原五百四十丁目
東栄原五百四十一丁目
東栄原五百四十二丁目
東栄原五百四十三丁目
東栄原五百四十四丁目
東栄原五百四十五丁目
東栄原五百四十六丁目
東栄原五百四十七丁目
東栄原五百四十八丁目
東栄原五百四十九丁目
東栄原五百五十丁目
東栄原五百五十一丁目
東栄原五百五十二丁目
東栄原五百五十三丁目
東栄原五百五十四丁目
東栄原五百五十五丁目
東栄原五百五十六丁目
東栄原五百五十七丁目
東栄原五百五十八丁目
東栄原五百五十九丁目
東栄原五百六十丁目
東栄原五百六十一丁目
東栄原五百六十二丁目
東栄原五百六十三丁目
東栄原五百六十四丁目
東栄原五百六十五丁目
東栄原五百六十六丁目
東栄原五百六十七丁目
東栄原五百六十八丁目
東栄原五百六十九丁目
東栄原五百七十丁目
東栄原五百七十一丁目
東栄原五百七十二丁目
東栄原五百七十三丁目
東栄原五百七十四丁目
東栄原五百七十五丁目
東栄原五百七十六丁目
東栄原五百七十七丁目
東栄原五百七十八丁目
東栄原五百七十九丁目
東栄原五百八十丁目
東栄原五百八十一丁目
東栄原五百八十二丁目
東栄原五百八十三丁目
東栄原五百八十四丁目
東栄原五百八十五丁目
東栄原五百八十六丁目
東栄原五百八十七丁目
東栄原五百八十八丁目
東栄原五百八十九丁目
東栄原五百九十丁目
東栄原五百九十一丁目
東栄原五百九十二丁目
東栄原五百九十三丁目
東栄原五百九十四丁目
東栄原五百九十五丁目
東栄原五百九十六丁目
東栄原五百九十七丁目
東栄原五百九十八丁目
東栄原五百九十九丁目
東栄原六百丁目
東栄原六百一丁目
東栄原六百二丁目
東栄原六百三丁目
東栄原六百四丁目
東栄原六百五丁目
東栄原六百六丁目
東栄原六百七丁目
東栄原六百八丁目
東栄原六百九丁目
東栄原六百十丁目
東栄原六百十一丁目
東栄原六百十二丁目
東栄原六百十三丁目
東栄原六百十四丁目
東栄原六百十五丁目
東栄原六百十六丁目
東栄原六百十七丁目
東栄原六百十八丁目
東栄原六百十九丁目
東栄原六百二十丁目
東栄原六百二十一丁目
東栄原六百二十二丁目
東栄原六百二十三丁目
東栄原六百二十四丁目
東栄原六百二十五丁目
東栄原六百二十六丁目
東栄原六百二十七丁目
東栄原六百二十八丁目
東栄原六百二十九丁目
東栄原六百三十丁目
東栄原六百三十一丁目
東栄原六百三十二丁目
東栄原六百三十三丁目
東栄原六百三十四丁目
東栄原六百三十五丁目
東栄原六百三十六丁目
東栄原六百三十七丁目
東栄原六百三十八丁目
東栄原六百三十九丁目
東栄原六百四十丁目
東栄原六百四十一丁目
東栄原六百四十二丁目
東栄原六百四十三丁目
東栄原六百四十四丁目
東栄原六百四十五丁目
東栄原六百四十六丁目
東栄原六百四十七丁目
東栄原六百四十八丁目
東栄原六百四十九丁目
東栄原六百五十丁目
東栄原六百五十一丁目
東栄原六百五十二丁目
東栄原六百五十三丁目
東栄原六百五十四丁目
東栄原六百五十五丁目
東栄原六百五十六丁目
東栄原六百五十七丁目
東栄原六百五十八丁目
東栄原六百五十九丁目
東栄原六百六十丁目
東栄原六百六十一丁目
東栄原六百六十二丁目
東栄原六百六十三丁目
東栄原六百六十四丁目
東栄原六百六十五丁目
東栄原六百六十六丁目
東栄原六百六十七丁目
東栄原六百六十八丁目
東栄原六百六十九丁目
東栄原六百七十丁目
東栄原六百七十一丁目
東栄原六百七十二丁目
東栄原六百七十三丁目
東栄原六百七十四丁目
東栄原六百七十五丁目
東栄原六百七十六丁目
東栄原六百七十七丁目
東栄原六百七十八丁目
東栄原六百七十九丁目
東栄原六百八十丁目
東栄原六百八十一丁目
東栄原六百八十二丁目
東栄原六百八十三丁目
東栄原六百八十四丁目
東栄原六百八十五丁目
東栄原六百八十六丁目
東栄原六百八十七丁目
東栄原六百八十八丁目
東栄原六百八十九丁目
東栄原六百九十丁目
東栄原六百九十一丁目
東栄原六百九十二丁目
東栄原六百九十三丁目
東栄原六百九十四丁目
東栄原六百九十五丁目
東栄原六百九十六丁目
東栄原六百九十七丁目
東栄原六百九十八丁目
東栄原六百九十九丁目
東栄原七百丁目
東栄原七百一丁目
東栄原七百二丁目
東栄原七百三丁目
東栄原七百四丁目
東栄原七百五丁目
東栄原七百六丁目
東栄原七百七丁目
東栄原七百八丁目
東栄原七百九丁目
東栄原七百十丁目
東栄原七百十一丁目
東栄原七百十二丁目
東栄原七百十三丁目
東栄原七百十四丁目
東栄原七百十五丁目
東栄原七百十六丁目
東栄原七百十七丁目
東栄原七百十八丁目
東栄原七百十九丁目
東栄原七百二十丁目
東栄原七百二十一丁目
東栄原七百二十二丁目
東栄原七百二十三丁目
東栄原七百二十四丁目
東栄原七百二十五丁目
東栄原七百二十六丁目
東栄原七百二十七丁目
東栄原七百二十八丁目
東栄原七百二十九丁目
東栄原七百三十丁目
東栄原七百三十一丁目
東栄原七百三十二丁目
東栄原七百三十三丁目
東栄原七百三十四丁目
東栄原七百三十五丁目
東栄原七百三十六丁目
東栄原七百三十七丁目
東栄原七百三十八丁目
東栄原七百三十九丁目
東栄原七百四十丁目
東栄原七百四十一丁目
東栄原七百四十二丁目
東栄原七百四十三丁目
東栄原七百四十四丁目
東栄原七百四十五丁目
東栄原七百四十六丁目
東栄原七百四十七丁目
東栄原七百四十八丁目
東栄原七百四十九丁目
東栄原七百五十丁目
東栄原七百五十一丁目
東栄原七百五十二丁目
東栄原七百五十三丁目
東栄原七百五十四丁目
東栄原七百五十五丁目
東栄原七百五十六丁目
東栄原七百五十七丁目
東栄原七百五十八丁目
東栄原七百五十九丁目
東栄原七百六十丁目
東栄原七百六十一丁目
東栄原七百六十二丁目
東栄原七百六十三丁目
東栄原七百六十四丁目
東栄原七百六十五丁目
東栄原七百六十六丁目
東栄原七百六十七丁目
東栄原七百六十八丁目
東栄原七百六十九丁目
東栄原七百七十丁目
東栄原七百七十一丁目
東栄原七百七十二丁目
東栄原七百七十三丁目
東栄原七百七十四丁目
東栄原七百七十五丁目
東栄原七百七十六丁目
東栄原七百七十七丁目
東栄原七百七十八丁目
東栄原七百七十九丁目
東栄原七百八十丁目
東栄原七百八十一丁目
東栄原七百八十二丁目
東栄原七百八十三丁目
東栄原七百八十四丁目
東栄原七百八十五丁目
東栄原七百八十六丁目
東栄原七百八十七丁目
東栄原七百八十八丁目
東栄原七百八十九丁目
東栄原七百九十丁目
東栄原七百九十一丁目
東栄原七百九十二丁目
東栄原七百九十三丁目
東栄原七百九十四丁目
東栄原七百九十五丁目
東栄原七百九十六丁目
東栄原七百九十七丁目
東栄原七百九十八丁目
東栄原七百九十九丁目
東栄原八百丁目
東栄原八百一丁目
東栄原八百二丁目
東栄原八百三丁目
東栄原八百四丁目
東栄原八百五丁目
東栄原八百六丁目
東栄原八百七丁目
東栄原八百八丁目
東栄原八百九丁目
東栄原八百十丁目
東栄原八百十一丁目
東栄原八百十二丁目
東栄原八百十三丁目
東栄原八百十四丁目
東栄原八百十五丁目
東栄原八百十六丁目
東栄原八百十七丁目
東栄原八百十八丁目
東栄原八百十九丁目
東栄原八百二十丁目
東栄原八百二十一丁目
東栄原八百二十二丁目
東栄原八百二十三丁目
東栄原八百二十四丁目
東栄原八百二十五丁目
東栄原八百二十六丁目
東栄原八百二十七丁目
東栄原八百二十八丁目
東栄原八百二十九丁目
東栄原八百三十丁目
東栄原八百三十一丁目
東栄原八百三十二丁目
東栄原八百三十三丁目
東栄原八百三十四丁目
東栄原八百三十五丁目
東栄原八百三十六丁目
東栄原八百三十七丁目
東栄原八百三十八丁目
東栄原八百三十九丁目
東栄原八百四十丁目
東栄原八百四十一丁目
東栄原八百四十二丁目
東栄原八百四十三丁目
東栄原八百四十四丁目
東栄原八百四十五丁目
東栄原八百四十六丁目
東栄原八百四十七丁目
東栄原八百四十八丁目
東栄原八百四十九丁目
東栄原八百五十丁目
東栄原八百五十一丁目
東栄原八百五十二丁目
東栄原八百五十三丁目
東栄原八百五十四丁目
東栄原八百五十五丁目
東栄原八百五十六丁目
東栄原八百五十七丁目
東栄原八百五十八丁目
東栄原八百五十九丁目
東栄原八百六十丁目
東栄原八百六十一丁目
東栄原八百六十二丁目
東栄原八百六十三丁目
東栄原八百六十四丁目
東栄原八百六十五丁目
東栄原八百六十六丁目
東栄原八百六十七丁目
東栄原八百六十八丁目
東栄原八百六十九丁目
東栄原八百七十丁目
東栄原八百七十一丁目
東栄原八百七十二丁目
東栄原八百七十三丁目
東栄原八百七十四丁目
東栄原八百七十五丁目
東栄原八百七十六丁目
東栄原八百七十七丁目
東栄原八百七十八丁目
東栄原八百七十九丁目
東栄原八百八十丁目
東栄原八百八十一丁目
東栄原八百八十二丁目
東栄原八百八十三丁目
東栄原八百八十四丁目
東栄原八百八十五丁目
東栄原八百八十六丁目
東栄原八百八十七丁目
東栄原八百八十八丁目
東栄原八百八十九丁目
東栄原八百九十丁目
東栄原八百九十一丁目
東栄原八百九十二丁目
東栄原八百九十三丁目
東栄原八百九十四丁目
東栄原八百九十五丁目
東栄原八百九十六丁目
東栄原八百九十七丁目
東栄原八百九十八丁目
東栄原八百九十九丁目
東栄原九百丁目
東栄原九百一丁目
東栄原九百二丁目
東栄原九百三丁目
東栄原九百四丁目
東栄原九百五丁目
東栄原九百六丁目
東栄原九百七丁目
東栄原九百八丁目
東栄原九百九丁目
東栄原九百十丁目
東栄原九百十一丁目
東栄原九百十二丁目
東栄原九百十三丁目
東栄原九百十四丁目
東栄原九百十五丁目
東栄原九百十六丁目
東栄原九百十七丁目
東栄原九百十八丁目
東栄原九百十九丁目
東栄原九百二十丁目
東栄原九百二十一丁目
東栄原九百二十二丁目
東栄原九百二十三丁目
東栄原九百二十四丁目
東栄原九百二十五丁目
東栄原九百二十六丁目
東栄原九百二十七丁目
東栄原九百二十八丁目
東栄原九百二十九丁目
東栄原九百三十丁目
東栄原九百三十一丁目
東栄原九百三十二丁目
東栄原九百三十三丁目
東栄原九百三十四丁目
東栄原九百三十五丁目
東栄原九百三十六丁目
東栄原九百三十七丁目
東栄原九百三十八丁目
東栄原九百三十九丁目
東栄原九百四十丁目
東栄原九百四十一丁目
東栄原九百四十二丁目
東栄原九百四十三丁目
東栄原九百四十四丁目
東栄原九百四十五丁目
東栄原九百四十六丁目
東栄原九百四十七丁目
東栄原九百四十八丁目
東栄原九百四十九丁目
東栄原九百五十丁目
東栄原九百五十一丁目
東栄原九百五十二丁目
東栄原九百五十三丁目
東栄原九百五十四丁目
東栄原九百五十五丁目
東栄原九百五十六丁目
東栄原九百五十七丁目
東栄原九百五十八丁目
東栄原九百五十九丁目
東栄原九百六十丁目
東栄原九百六十一丁目
東栄原九百六十二丁目
東栄原九百六十三丁目
東栄原九百六十四丁目
東栄原九百六十五丁目
東栄原九百六十六丁目
東栄原九百六十七丁目
東栄原九百六十八丁目
東栄原九百六十九丁目
東栄原九百七十丁目
東栄原九百七十一丁目
東栄原九百七十二丁目
東栄原九百七十三丁目
東栄原九百七十四丁目
東栄原九百七十五丁目
東栄原九百七十六丁目
東栄原九百七十七丁目
東栄原九百七十八丁目
東栄原九百七十九丁目
東栄原九百八十丁目
東栄原九百八十一丁目
東栄原九百八十二丁目
東栄原九百八十三丁目
東栄原九百八十四丁目
東栄原九百八十五丁目
東栄原九百八十六丁目
東栄原九百八十七丁目
東栄原九百八十八丁目
東栄原九百八十九丁目
東栄原九百九十丁目
東栄原九百九十一丁目
東栄原九百九十二丁目
東栄原九百九十三丁目
東栄原九百九十四丁目
東栄原九百九十五丁目
東栄原九百九十六丁目
東栄原九百九十七丁目
東栄原九百九十八丁目
東栄原九百九十九丁目
東栄原千丁目
東栄原千一丁目
東栄原千二丁目
東栄原千三丁目
東栄原千四丁目
東栄原千五丁目
東栄原千六丁目
東栄原千七丁目
東栄原千八丁目
東栄原千九丁目
東栄原千十丁目
東栄原千十一丁目
東栄原千十二丁目
東栄原千十三丁目
東栄原千十四丁目
東栄原千十五丁目
東栄原千十六丁目
東栄原千十七丁目
東栄原千十八丁目
東栄原千十九丁目
東栄原千二十丁目
東栄原千二十一丁目
東栄原千二十二丁目
東栄原千二十三丁目
東栄原千二十四丁目
東栄原千二十五丁目
東栄原千二十六丁目
東栄原千二十七丁目
東栄原千二十八丁目
東栄原千二十九丁目
東栄原千三十丁目
東栄原千三十一丁目
東栄原千三十二丁目
東栄原千三十三丁目
東栄原千三十四丁目
東栄原千三十五丁目
東栄原千三十六丁目
東栄原千三十七丁目
東栄原千三十八丁目
東栄原千三十九丁目
東栄原千四十丁目
東栄原千四十一丁目
東栄原千四十二丁目
東栄原千四十三丁目
東栄原千四十四丁目
東栄原千四十五丁目
東栄原千四十六丁目
東栄原千四十七丁目
東栄原千四十八丁目
東栄原千四十九丁目
東栄原千五十丁目
東栄原千五十一丁目
東栄原千五十二丁目
東栄原千五十三丁目
東栄原千五十四丁目
東栄原千五十五丁目
東栄原千五十六丁目
東栄原千五十七丁目
東栄原千五十八丁目
東栄原千五十九丁目
東栄原千六十丁目
東栄原千六十一丁目
東栄原千六十二丁目
東栄原千六十三丁目
東栄原千六十四丁目
東栄原千六十五丁目
東栄原千六十六丁目
東栄原千六十七丁目
東栄原千六十八丁目
東栄原千六十九丁目
東栄原千七十丁目
東栄原千七十一丁目
東栄原千七十二丁目
東栄原千七十三丁目
東栄原千七十四丁目
東栄原千七十五丁目
東栄原千七十六丁目
東栄原千七十七丁目
東栄原千七十八丁目
東栄原千七十九丁目
東栄原千八十丁目
東栄原千八十一丁目
東栄原千八十二丁目
東栄原千八十三丁目
東栄原千八十四丁目
東栄原千八十五丁目
東栄原千八十六丁目
東栄原千八十七丁目
東栄原千八十八丁目
東栄原千八十九丁目
東栄原千九十丁目
東栄原千九十一丁目
東栄原千九十二丁目
東栄原千九十三丁目
東栄原千九十四丁目
東栄原千九十五丁目
東栄原千九十六丁目
東栄原千九十七丁目
東栄原千九十八丁目
東栄原千九十九丁目
東栄原千百丁目
東栄原千百一丁目
東栄原千百二丁目
東栄原千百三丁目
東栄原千百四丁目
東栄原千百五丁目
東栄原千百六丁目
東栄原千百七丁目
東栄原千百八丁目
東栄原千百九丁目
東栄原千百十丁目
東栄原千百十一丁目
東栄原千百十二丁目
東栄原千百十三丁目
東栄原千百十四丁目
東栄原千百十五丁目
東栄原千百十六丁目
東栄原千百十七丁目
東栄原千百十八丁目
東栄原千百十九丁目
東栄原千百二十丁目
東栄原千百二十一丁目
東栄原千百二十二丁目
東栄原千百二十三丁目
東栄原千百二十四丁目
東栄原千百二十五丁目
東栄原千百二十六丁目
東栄原千百二十七丁目
東栄原千百二十八丁目
東栄原千百二十九丁目
東栄原千百三十丁目
東栄原千百三十一丁目
東栄原千百三十二丁目
東栄原千百三十三丁目
東栄原千百三十四丁目
東栄原千百三十五丁目
東栄原千百三十六丁目
東栄原千百三十七丁目
東栄原千百三十八丁目
東栄原千百三十九丁目
東栄原千百四十丁目
東栄原千百四十一丁目
東栄原千百四十二丁目
東栄原千百四十三丁目
東栄原千百四十四丁目
東栄原千百四十五丁目
東栄原千百四十六丁目
東栄原千百四十七丁目
東栄原千百四十八丁目
東栄原千百四十九丁目
東栄原千百五十丁目
東栄原千百五十一丁目
東栄原千百五十二丁目
東栄原千百五十三丁目
東栄原千百五十四丁目
東栄原千百五十五丁目
東栄原千百五十六丁目
東栄原千百五十七丁目
東栄原千百五十八丁目
東栄原千百五十九丁目
東栄原千百六十丁目
東栄原千百六十一丁目
東栄原千百六十二丁目
東栄原千百六十三丁目
東栄原千百六十四丁目
東栄原千百六十五丁目
東栄原千百六十六丁目
東栄原千百六十七丁目
東栄原千百六十八丁目
東栄原千百六十九丁目
東栄原千百七十丁目
東栄原千百七十一丁目
東栄原千百七十二丁目
東栄原千百七十三丁目
東栄原千百七十四丁目
東栄原千百七十五丁目
東栄原千百七十六丁目
東栄原千百七十七丁目
東栄原千百七十八丁目
東栄原千百七十九丁目
東栄原千百八十丁目
東栄原千百八十一丁目
東栄原千百八十二丁目
東栄原千百八十三丁目
東栄原千百八十四丁目
東栄原千百八十五丁目
東栄原千百八十六丁目
東栄原千百八十七丁目
東栄原千百八十八丁目
東栄原千百八十九丁目
東栄原千百九十丁目
東栄原千百九十一丁目
東栄原千百九十二丁目
東栄原千百九十三丁目
東栄原千百九十四丁目
東栄原千百九十五丁目
東栄原千百九十六丁目
東栄原千百九十七丁目
東栄原千百九十八丁目
東栄原千百九十九丁目
東栄原千二百丁目
東栄原千二百一丁目
東栄原千二百二丁目
東栄原千二百三丁目
東栄原千二百四丁目
東栄原千二百五丁目
東栄原千二百六丁目
東栄原千二百七丁目
東栄原千二百八丁目
東栄原千二百九丁目
東栄原千二百十丁目
東栄原千二百十一丁目
東栄原千二百十二丁目
東栄原千二百十三丁目
東栄原千二百十四丁目
東栄原千二百十五丁目
東栄原千二百十六丁目
東栄原千二百十七丁目
東栄原千二百十八丁目
東栄原千二百十九丁目
東栄原千二百二十丁目
東栄原千二百二十一丁目
東栄原千二百二十二丁目
東栄原千二百二十三丁目
東栄原千二百二十四丁目
東栄原千二百二十五丁目
東栄原千二百二十六丁目
東栄原千二百二十七丁目
東栄原千二百二十八丁目
東栄原千二百二十九丁目
東栄原千二百三十丁目
東栄原千二百三十一丁目
東栄原千二百三十二丁目
東栄原千二百三十三丁目
東栄原千二百三十四丁目
東栄原千二百三十五丁目
東栄原千二百三十六丁目
東栄原千二百三十七丁目
東栄原千二百三十八丁目
東栄原千二百三十九丁目
東栄原千二百四十丁目
東栄原千二百四十一丁目
東栄原千二百四十二丁目
東栄原千二百四十三丁目
東栄原千二百四十四丁目
東栄原千二百四十五丁目
東栄原千二百四十六丁目
東栄原千二百四十七丁目
東栄原千二百四十八丁目
東栄原千二百四十九丁目
東栄原千二百五十丁目
東栄原千二百五十一丁目
東栄原千二百五十二丁目
東栄原千二百五十三丁目
東栄原千二百五十四丁目
東栄原千二百五十五丁目
東栄原千二百五十六丁目
東栄原千二百五十七丁目
東栄原千二百五十八丁目
東栄原千二百五十九丁目
東栄原千二百六十丁目
東栄原千二百六十一丁目
東栄原千二百六十二丁目
東栄原千二百六十三丁目
東栄原千二百六十四丁目
東栄原千二百六十五丁目
東栄原千二百六十六丁目
東栄原千二百六十七丁目
東栄原千二百六十八丁目
東栄原千二百六十九丁目
東栄原千二百七十丁目
東栄原千二百七十一丁目
東栄原千二百七十二丁目
東栄原千二百七十三丁目
東栄原千二百七十四丁目
東栄原千二百七十五丁目
東栄原千二百七十

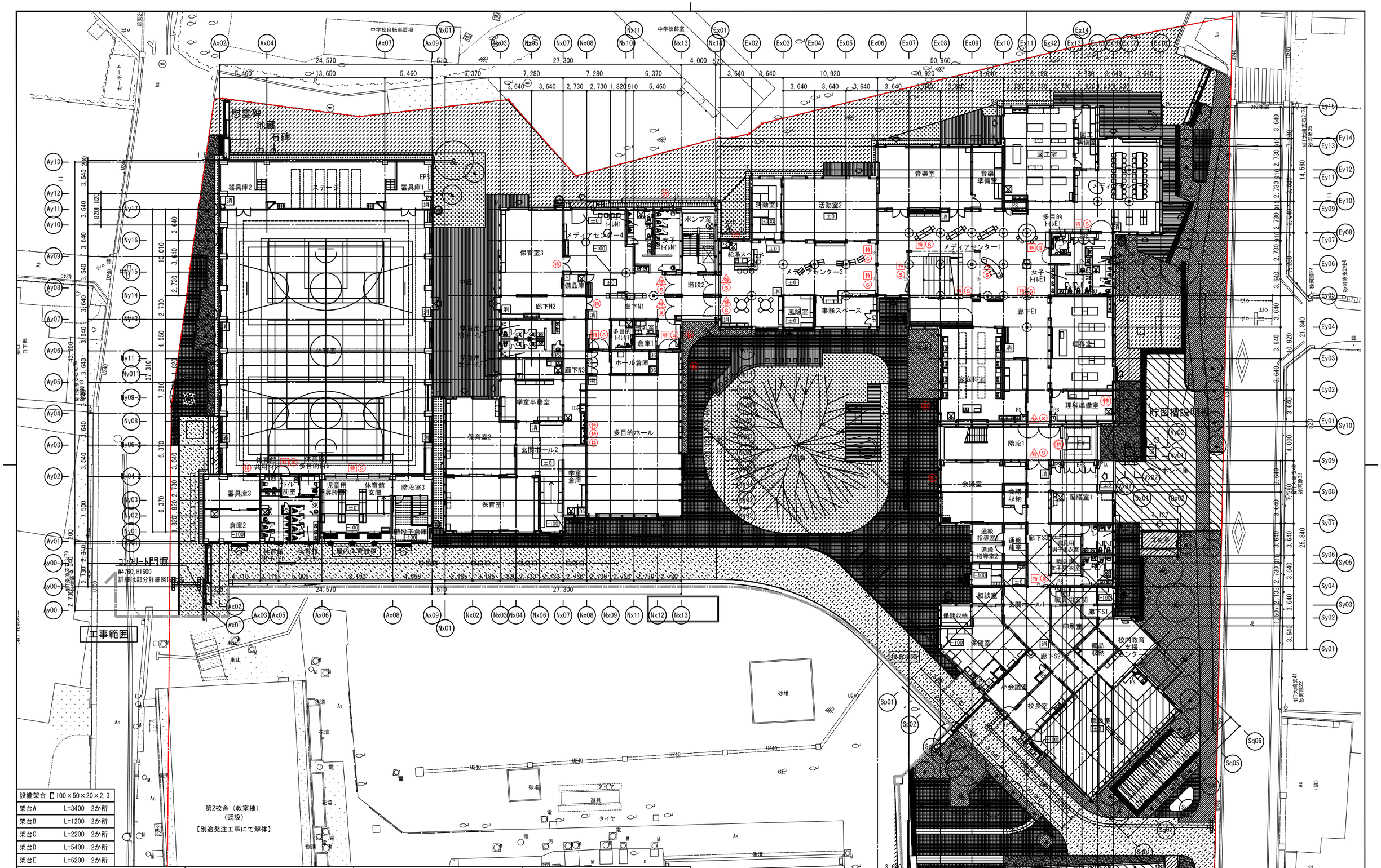


埋戻し	上部：アルミ製床点検口（600×600）		
窯場：500×1200×H500	上部：鋳鉄製マンホール（600Φ）		
J：人通口 600Φ（ダクトスリーブ含む）			
T：上 通気管 VP100Φ　下 通気管 VP100Φ			

株式会社 東畑建築事務所
TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

設計番号	作成日	種別/備考	
20250043	2026.3		
一級建築士 NO.273069	一級建築士 NO.343695	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786	建築設備士 NO.09E1-0256YY
高木　耕一	久保　久志	中牟田　昌慶	三宅　光義

工事名称	図面番号
須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	A029
図面名称 縮尺　A1：1/200 A3：1/400	



設備架台 ㄈ100×50×20×2.3	
架台A	L=3400 2か所
架台B	L=1200 2か所
架台C	L=2200 2か所
架台D	L=5400 2か所
架台E	L=6200 2か所

主要出入口を示す	TA 竪樋-A（特記外**φ） ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ製	㊣ 特定防火設備（常閉）	消 消火器（置き型）
出入口を示す	TB 竪樋-B（特記外**φ） ｱﾙﾐ製	㊣ 特定防火設備（常閉，遮煙性能有）	屋内消火栓(設備工事)
±0 各階床レベルからの仕上高さを示す	TC 竪樋-C（特記外**φ） 硬質塩ビ管VP100φ	特 特定防火設備（常閉，遮煙性能有）	屋外消火栓(設備工事)
（特記外±0）	RD ルーフドレイン（横引き）	特S 特定防火設備（常閉，遮煙性能・遮熱性能有）	避難器具：救助袋 垂直式
OAフロア	OG 落とし口	防 法2条9号のニ ロに規定する防火設備	SS 鋼製シャッター
床下点検口 600角 ｱﾙﾐ製 ﾀﾗｯﾌﾟ共	排水溝W150（鋼製グレーチング蓋）	S 煙感知器連動装置付	FS シートシャッター
ﾏﾝﾎｰﾙ 600φ 鋳鉄製 SUSﾀﾗｯﾌﾟ共	設備目隠しフェンス（H2000）		SP 可動間仕切
デッキ部床下点検口 600角		県産材指定の柱	DP 移動間仕切

株式会社東畑建築事務所
TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

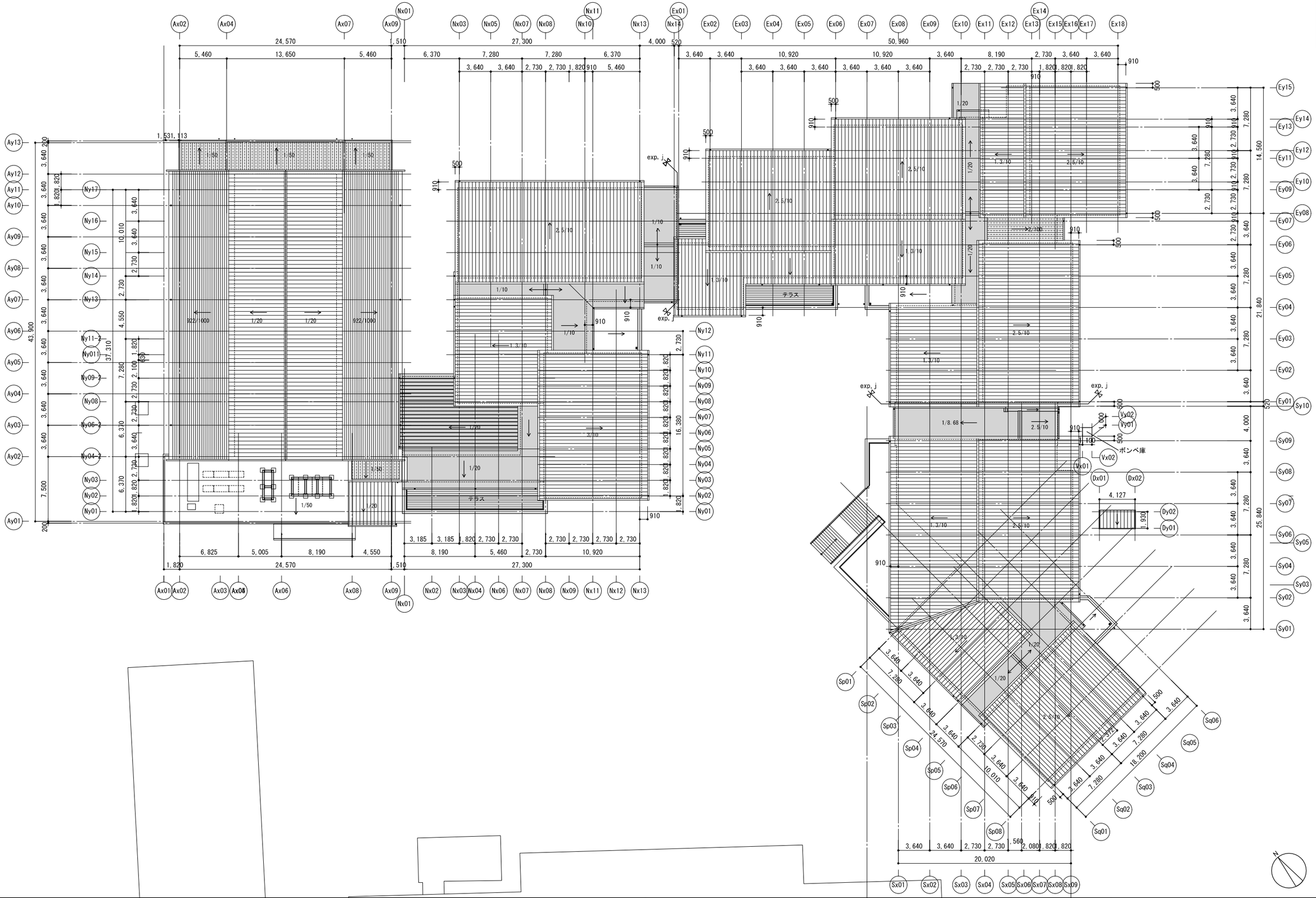
設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 1階平面図 縮尺 A1：1/200 A3：1/400
				図面番号 A030



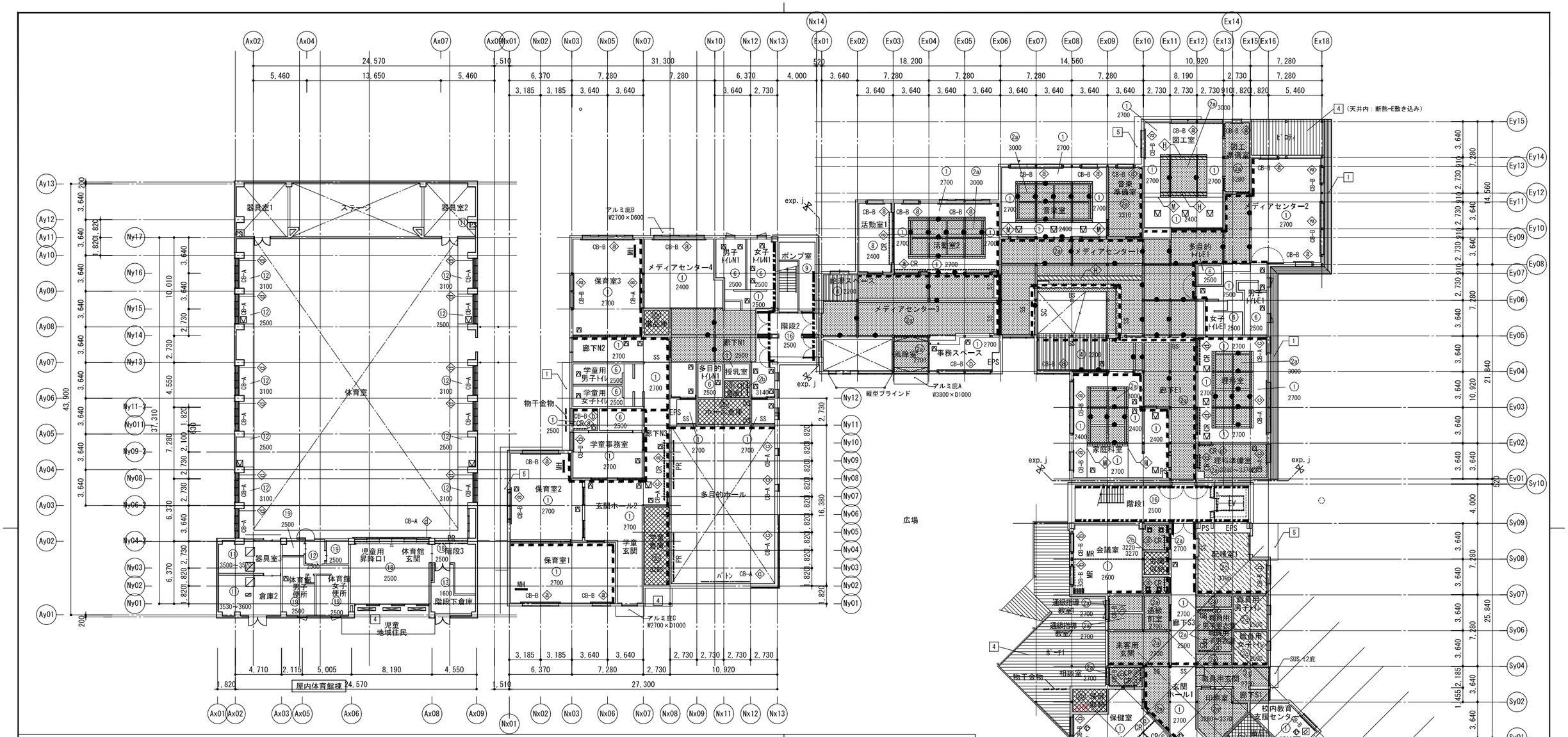
設備架台	C 100×50×20×2.3
架台A	L=3400 2か所
架台B	L=1200 2か所
架台C	L=2200 2か所
架台D	L=5400 2か所
架台E	L=6200 2か所

主要出入口を示す	TA 竪樋-A（特記外**φ）ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ製	特 特定防火設備（常閉）	消 消火器（置き型）
出入口を示す	TB 竪樋-B（特記外**φ）ｱﾙﾐ製	特 特定防火設備（常閉、遮煙性能有）	屋内消火栓(設備工事)
±0 各階床レベルからの仕上高さを示す	TC 竪樋-C（特記外**φ）硬質塩ビ管VP100φ	特 特定防火設備（常閉、遮煙性能有）	屋外消火栓(設備工事)
（特記外±0）	RD ルーフドレイン（横引き）	特 特定防火設備（常閉、遮煙性能・遮熱性能有）	避難器具：救助袋 垂直式
OAフロア	OG 落とし口	防 法2条9号のニ ロに規定する防火設備	SS 鋼製シャッター
床下点検口 600角 ｱﾙﾐ製 ﾀﾗｯﾌﾟ共	排水溝W150（鋼製グレーチング蓋）	S 煙感知器連動装置付	FS シートシャッター
ﾏﾝﾎｰﾙ 600φ 鋳鉄製 SUSﾀﾗｯﾌﾟ共	設備目隠しフェンス（H2000）		SP 可動間仕切
デッキ部床下点検口 600角		県産材指定の柱	DP 移動間仕切

株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	図面番号
	一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 2階平面図 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	A031



株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
	一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 屋根伏図 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400
					図面番号 A032



○天井仕上　凡例

図面内記入

昇降口	・・・室名
①	・・・天井仕上凡例記号
2700	・・・天井高さ

図面外記入

昇降口
①
2700

・・・室名
・・・天井仕上凡例記号
・・・天井高さ

※（）内寸法及び仕上げは、折上げ天井の高さ及び仕上げを示す。
※ PS、EPS、暗部等は表地のままとする。

（内部）

①	GB-R9.5+DR9.0	（二重天井）	
2a	GB-F12.5+DR9（防火被覆天井）		
2b	GB-F12.5+12.5+GB-D9.5（防火被覆天井）		
2c	GB-F12.5+12.5+FK6+EP（防火被覆天井）		
2d	GB-F12.5+12.5+杉羽目板張りWP（防火被覆天井）		
③	GB-D9.5	（二重天井）	
④	GB-R9.5+DR9.0+EP、木ルーバー+WP	（二重天井）	
⑤	GB-R12.5+EP	（二重天井）	
⑥	FK6.0+EP	（二重天井）	
⑦	ラワン合板 t5.5+WP	（二重天井）	
⑧	木板張り	（二重天井）	
⑨	鉄骨SOP塗装		
⑩	木製設備ラック		
⑪	木毛セメント板 t15+EP		
⑫	GB-R9.5+DR9		
⑬	素地		
⑭	GB-F12.5+DR9.0（防火被覆天井）		
⑮	GB-F15+FK6+EP（防火被覆天井）		
⑯	GB-F21+21+21+DR9（防火被覆天井）		
⑰	GB-R9.5+DR9（天井裏にGB-F21+21+21）		
⑱	GB-F15+DR9+EP+木ルーバー+WP		
⑲	FK6.0+EP		

※（二重天井）と表記あるものは、仕上の天井裏側に　GB-F12.5+12.5の防火被覆天井が必要

※2a、2b、2c各室の大梁は防火被覆GB-F12.5+12.5+EPとする

（外部）

1	小庇-A（アルミルーバー庇）
2	小庇-B（耐木合板+フッ素GL鋼板+アルミルーバー）
3	小庇-C（合板+ASA+フィンガ+フッ素GL鋼板立葺き）
	軒天：LGS＋硬質木片セメント板t18+耐水ラワン板（1類）t9+WP塗装
4	杉羽目板張りt12+WP
5	LGS＋硬質木片セメント板t18+耐水ラワン板（1類）t9+WP塗装
6	LGS ＋ GB-Ft21+21+21+WP塗装
7	体育館軒（ガルバリウム製軒樋）

○カーテン・ブラインド　凡例

ⓐ	ドレープカーテン	（防炎認定品）	
ⓑ	ドレープカーテン＋レースカーテン（防炎認定品）		
ⓒ	ドレープカーテン＋暗幕	（防炎認定品）	
ⓓ	暗幕	（防炎認定品）	
ⓔ	ベッドカーテン	（防炎認定品）	
ⓕ	レースカーテン	（防炎認定品）	
MH	昇降式物干		

天井懐内壁：構造用合板12
+GB-F12.5+GB-R9.5（両面張り）
天井懐内壁：GB-F21 3枚張り（両面張り）

〈体育館〉

ⓖ	遮光スクリーン	（防炎認定品）
ⓗ	遮光バーチカルブラインド(電動)	（防炎認定品）
ⓘ	遮光バーチカルブラインド(手動)	（防炎認定品）

設置角度が水平でない場合、※で角度を示す。
なおカーテンボックスは水平投影長さを図示。

○天井開口・点検口　凡例

電気　天井開口	機械　天井開口	天井点検口
	〈体育館〉	
〈体育館〉	1800×800（空調用木製格子）	450角
540×290（ハトコット）	1800×450（0A用木製格子）	600角
	900×900（ハトコット）	450角（防火点検口）
	1800×300（0Aガラリ）	〈体育館〉
		1800×450

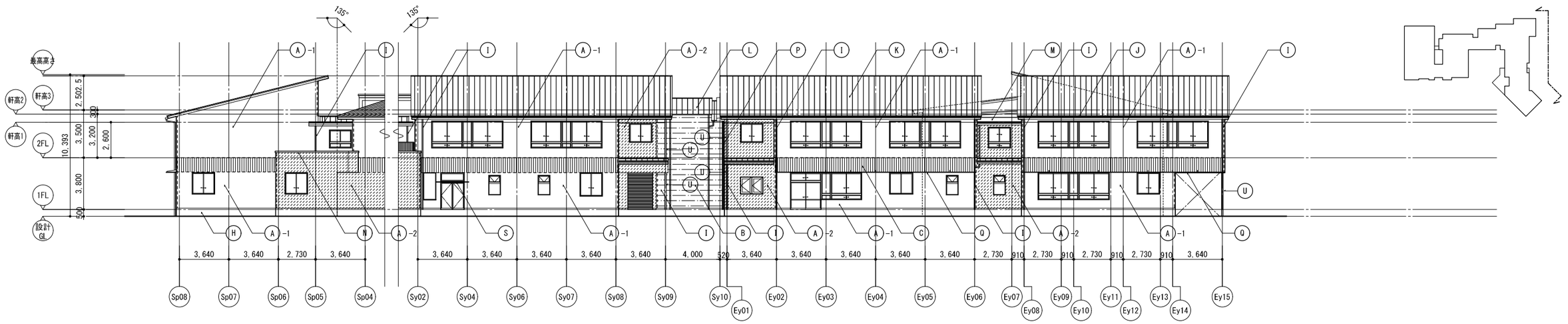
○カーテン・ブラインド　凡例

CB-A	カーテンボックスA　W150 H150
CB-B	カーテンボックスB　W100
	※ 木製CL カーテンレール共
SC	スクリーンボックス
	梁：燃え代（WP塗装）
▲	梁：補助梁　杉150×240　CL
CR	カーテンレール
PR	ピクチャーレール
MR	移動間仕切レール
M	木製見切り縁
H	GB-F12.5+12.5+EP

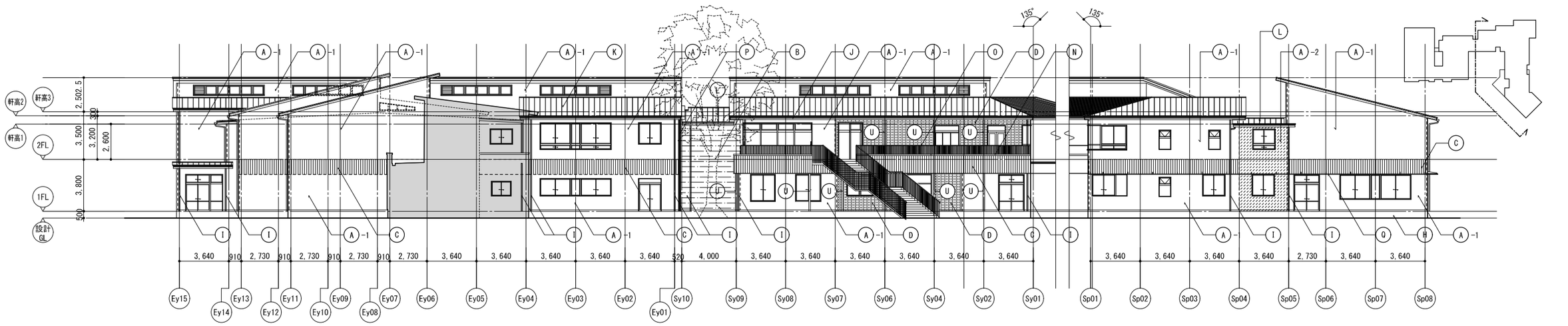
株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考	工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
	一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 1階天井伏図 縮尺　A1：1/200 A3：1/400	図面番号 A033

器具室1 上部吹抜
ステージ 上部吹抜
器具室2 上部吹抜
体育室 上部吹抜
普通教室6
普通教室5
普通教室8
普通教室7
普通教室10
普通教室9
普通教室4
普通教室3
普通教室2
普通教室1
多目的教室2
多目的教室1
教材室1
教材室2
教材室3
倉庫
廊下E1
廊下E2
廊下E5
廊下N4
廊下N5
廊下N6
廊下S5
廊下S4
階段1
階段2
階段3
EV
女子トイレ2
男子トイレ2
多目的トイレ2
女子トイレN2
男子トイレN2
女子トイレS1
男子トイレS1
教員コーナー
教員コーナー2
教員コーナー3
特支
放送室
屋舎用昇降口
配膳室1
配膳室2
配膳室3
exp. j
SS
PR
CR
MH

	株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	図面番号
		一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 2階天井伏図 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	A034



東　立　面　図



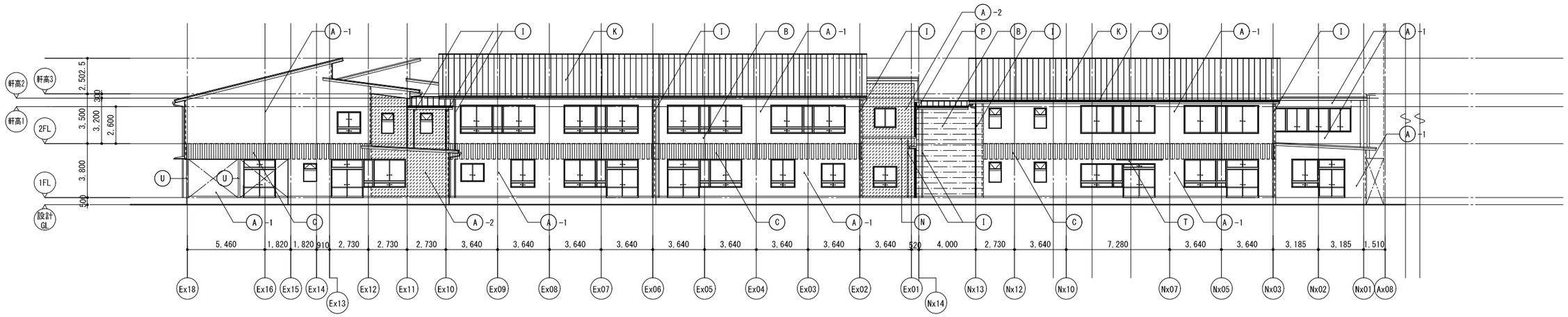
西　立　面　図

凡例（校舎棟）				凡例（屋内体育館棟）	
(A)-1	外壁-A-1：軽量セメントモルタルt20 + 外装薄塗材E	(N)	笠木：アルミ製	(ア)	外壁-A'-1：ガラスメッシュ + アクリルシリコン系塗装
(A)-2	外壁-A-2：軽量セメントモルタルt20 + 外装薄塗材E（色分け）	(O)	外部手摺：スチール製DP塗装	(イ)	外壁-A'-2：窯業系サイディングの上外装薄塗材E(モエン大壁工法同等)　鉄骨下地
(B)	外壁-B：サイディング（フラットウォール）t16	(P)	EXP.J（屋根：アルミ製、外壁部：エラストマー製）	(ウ)	外壁-A'-3：窯業系サイディングの上外装薄塗材E(モエン大壁工法同等)　木下地
(C)	外壁-C：ガルバリウム角スパンドレルt0.5	(Q)	小庇-A		
(D)	外壁-D：杉羽目板張りt15 + WP塗装	(R)	小庇-B	(カ)	勾配屋根A'：カラーガルバリウム鋼板　完全嵌合式平葺き
		(S)	小庇-C	(キ)	勾配屋根B'：カラーガルバリウム鋼板　定尺横葺き
		(T)	アルミ庇（既製品）	(サ)	竪樋A'：塗装ガルバリウム鋼板製 既製品（特記外 75φ）　掴み金物ステンレス@900以下
(H)	巾木A：コンクリート打放+撥水材	(U)	鉄骨柱型：溶融亜鉛メッキ+DP塗装	(シ)	竪樋B'：アルミたてとい 140φ　掴み金物ステンレス@900以下
(I)	竪樋A：塗装ガルバリウム鋼板製 既製品（特記外 75φ）　掴み金物ステンレス@900以下			(ス)	竪樋C'：硬質塩ビ管カラーVP 150φ　掴み金物ステンレス@900以下
(I)-1	竪樋C：硬質塩ビ管カラーVP（特記外 100φ）　掴み金物ステンレス@900以下			(セ)	軒樋A：塗装ガルバリウム鋼板製　ハコ形状 既製品（特記外 W165）　樋受け金物ステンレス@303
(J)	軒樋A：塗装ガルバリウム鋼板製　ハコ形状 既製品（特記外 W165）　樋受け金物ステンレス@303			(ソ)	軒樋B'：塗装ガルバリウム鋼板製　屋根一体型
(K)	勾配屋根A：カラーガルバリウム鋼板　縦葺き（立馳タイプ）			(タ)	笠木：アルミ製
(L)	勾配屋根B：カラーガルバリウム鋼板　完全嵌合式平葺き			(チ)	ベントキャップ 230φ
(M)	勾配屋根C：金属防水工法	-----	目地金物	(ツ)	ベントキャップ 200φ
		▪▪▪▪▪	誘発目地	(テ)	ステンレス製タラップ
				(ト)	アルミルーバー

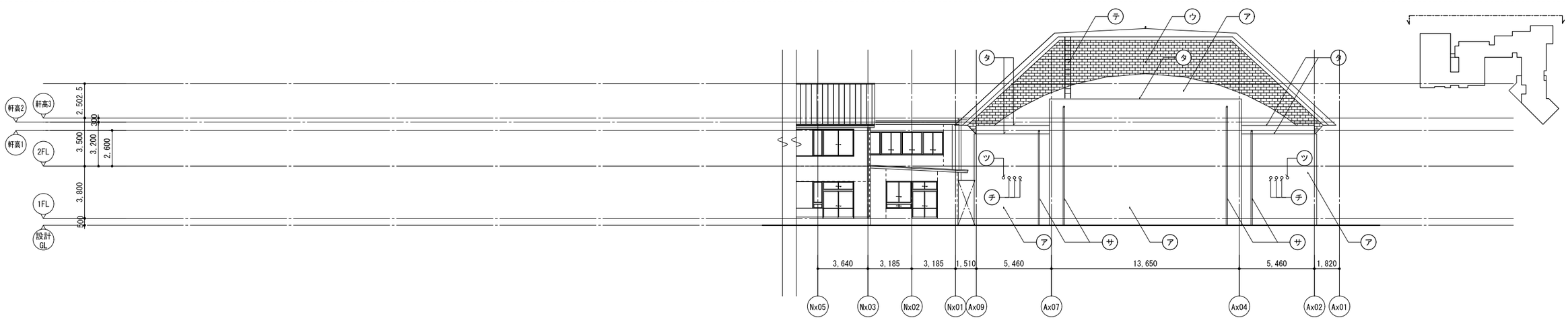
株式会社東畑建築事務所
TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

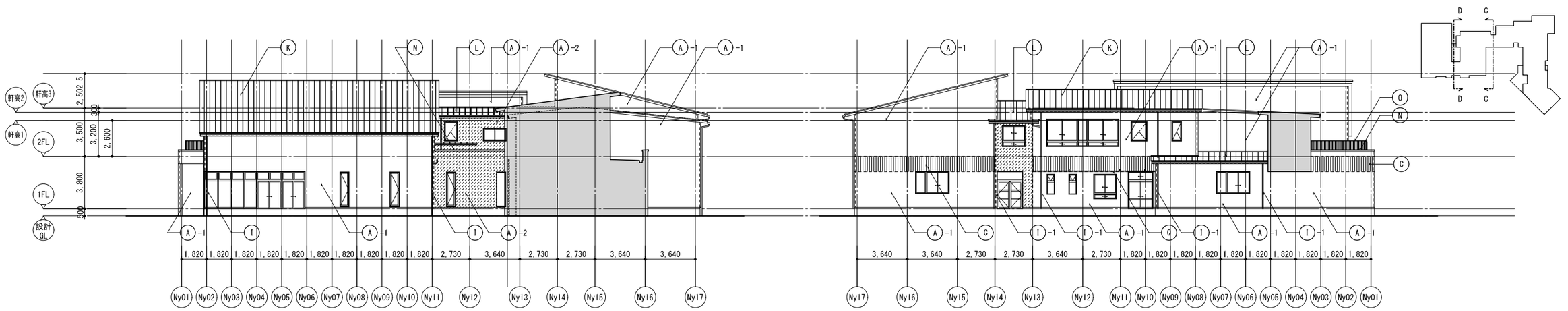
設計番号	作成日	種別/備考		工事名称
20250043	2026.3			須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 立面図　その1 縮尺　A1: 1/150 A3: 1/300

図面番号
A035



北　立　面　図

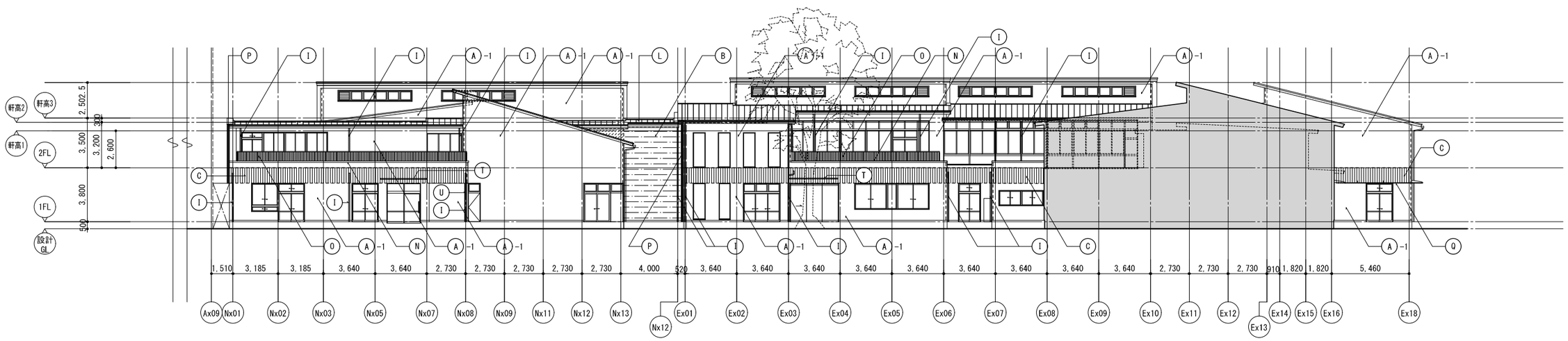




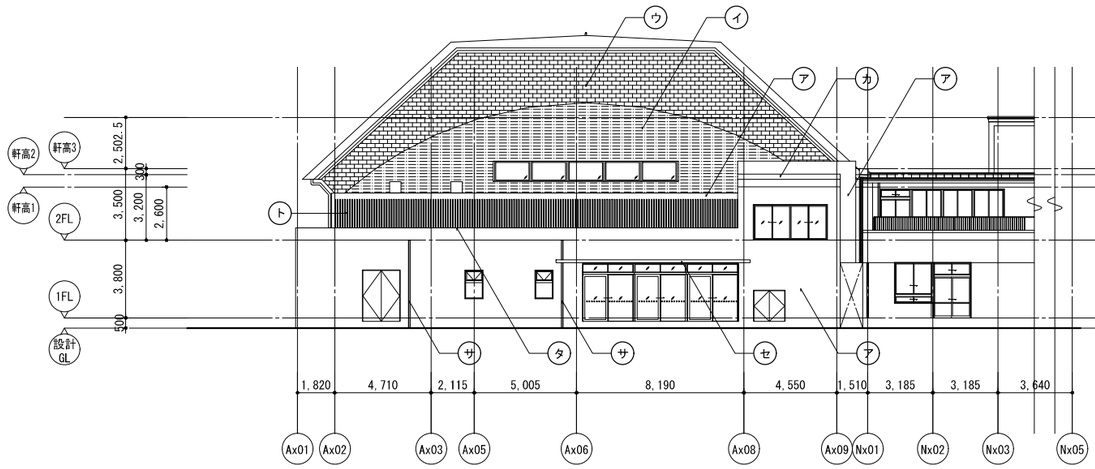
C　－　C　東　立　面　図

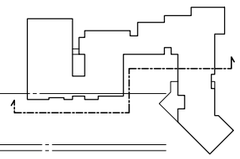
D　－　D　西　立　面　図

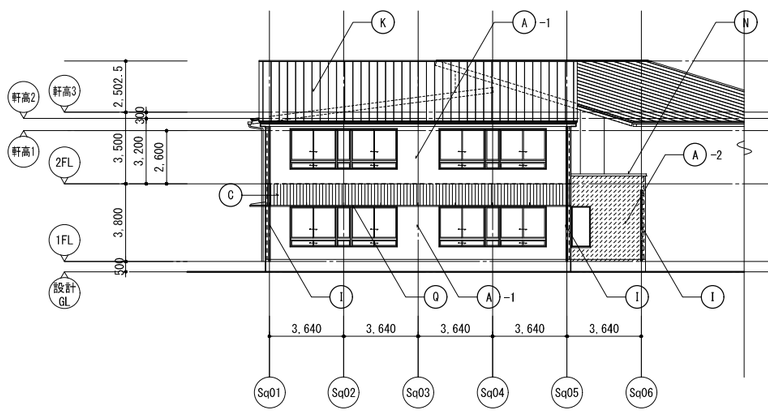
株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
	一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 立面図　その2 縮尺　A1：1/150 A3：1/300
					図面番号 A036



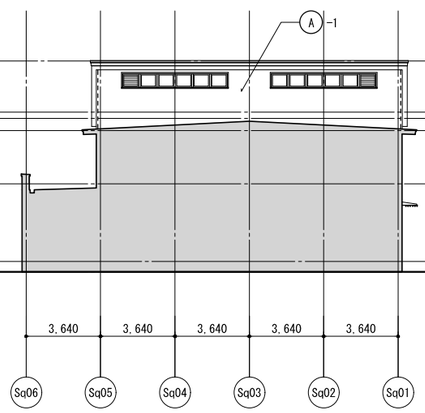
南　立　面　図



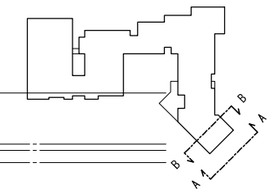




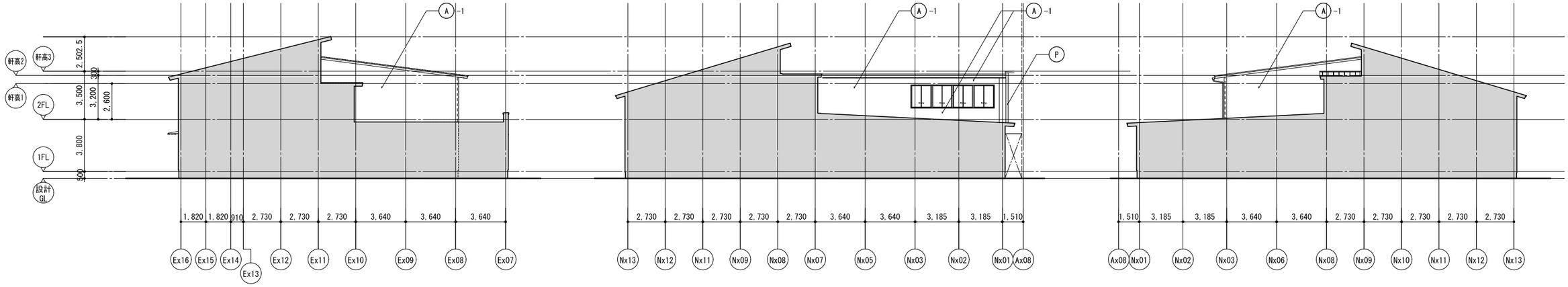
A　－　A　南　立　面　図



B　－　B　北　立　面　図



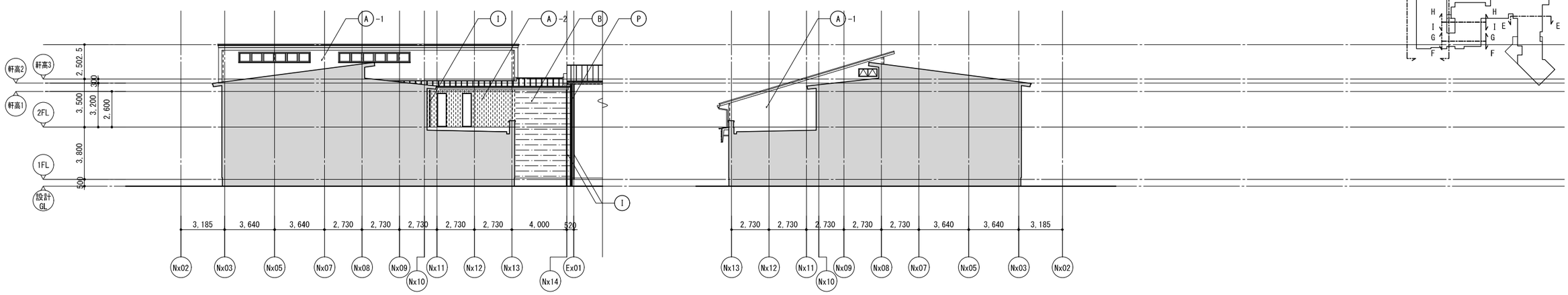
株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
	一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 立面図　その3 縮尺　A1：1/150 A3：1/300
					図面番号 A037



E － E 北 立 面 図

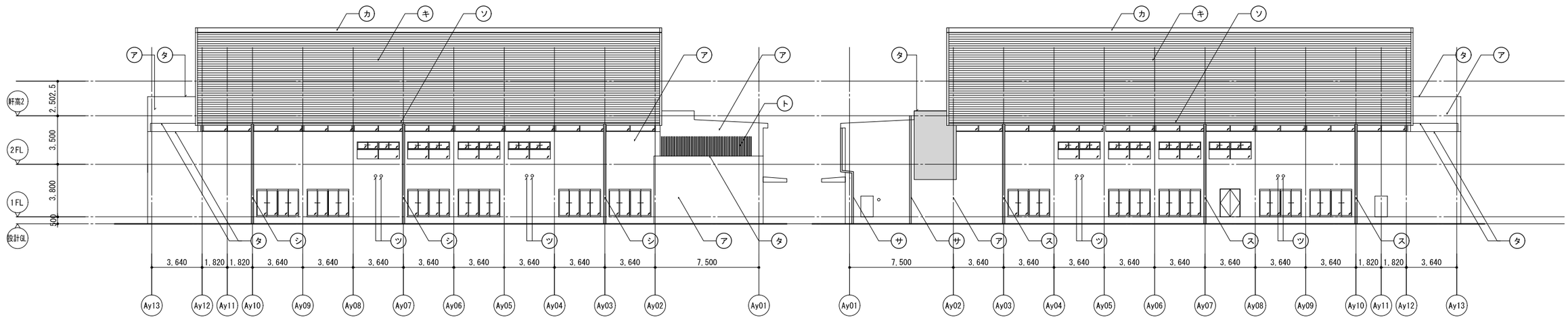
F － F 北 立 面 図

G － G 南 立 面 図



H － H 南 立 面 図

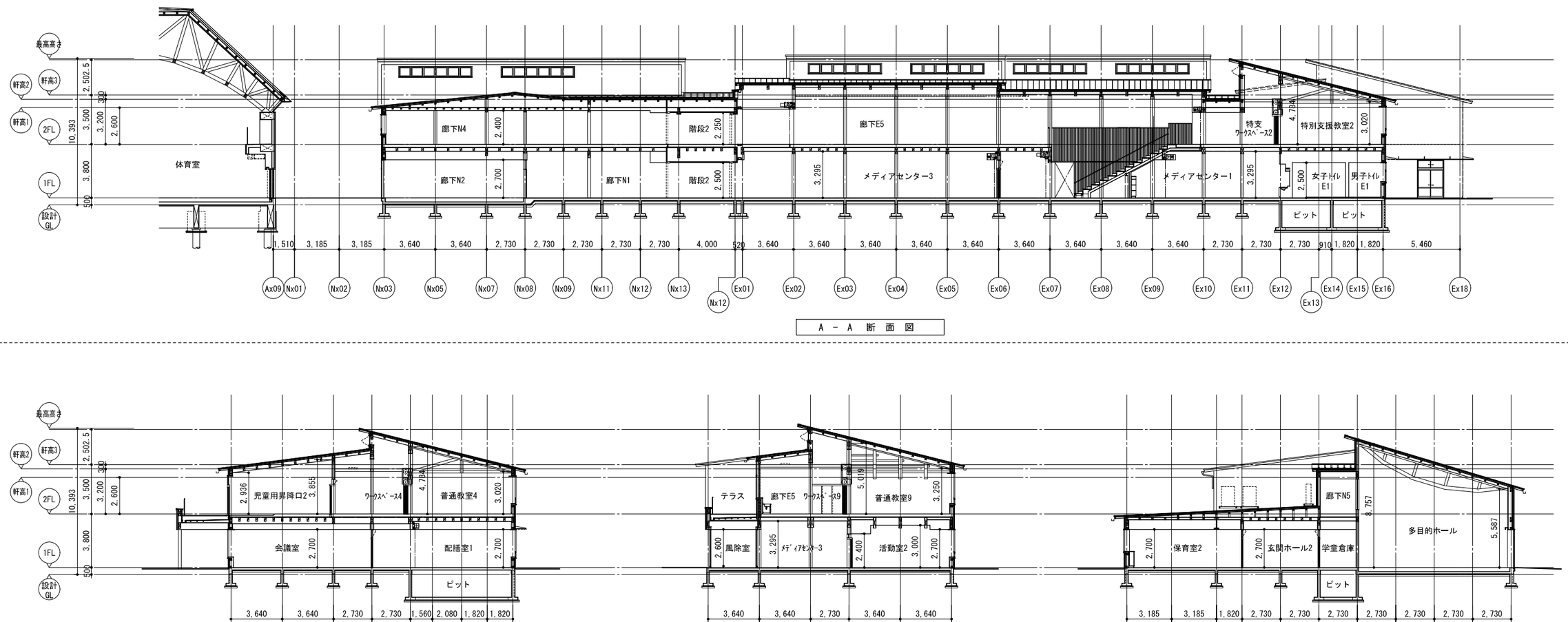
I － I 北 立 面 図



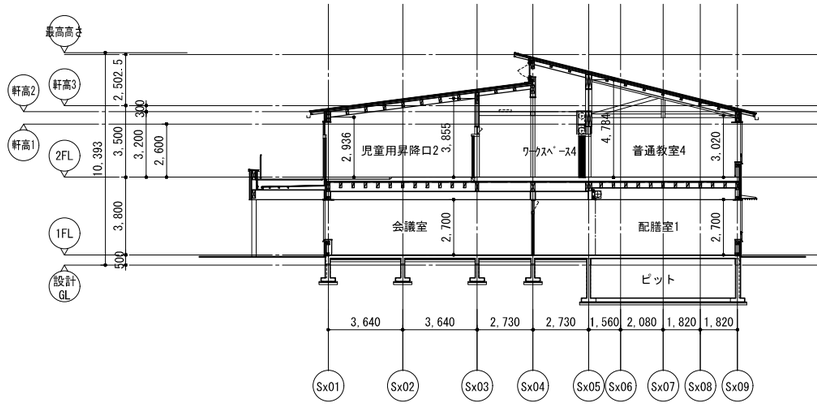
西 立 面 図

東 立 面 図

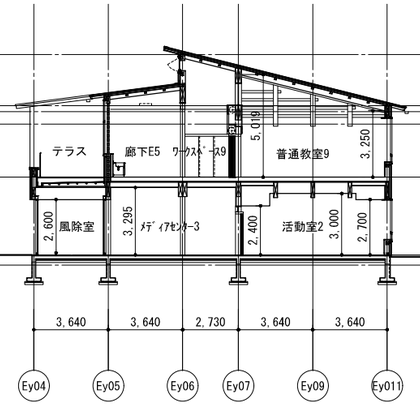
株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考	工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
	一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶 / 建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 立面図 その4 縮尺 A1: 1/150 A3: 1/300
				図面番号 A038



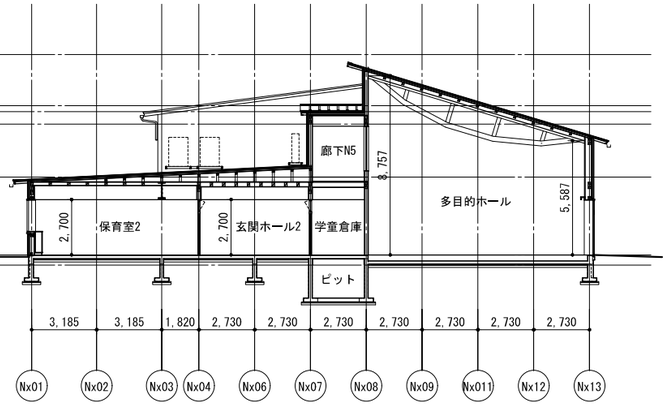
A － A 断 面 図



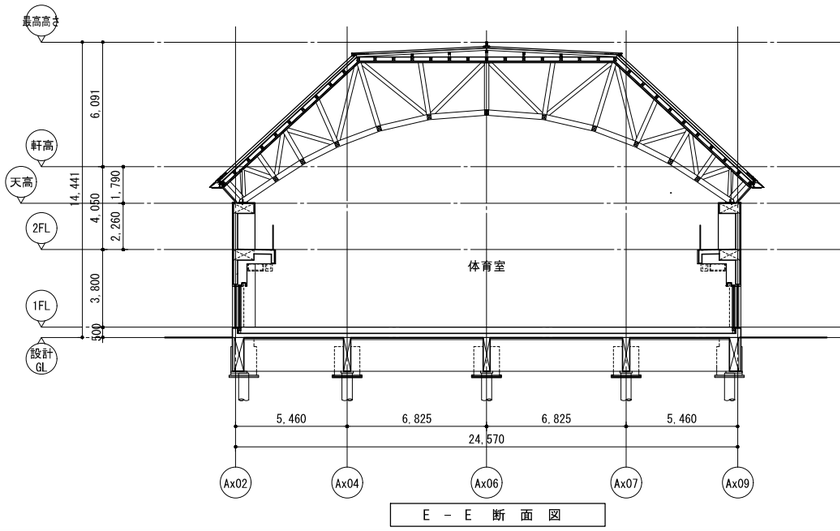
B － B 断 面 図



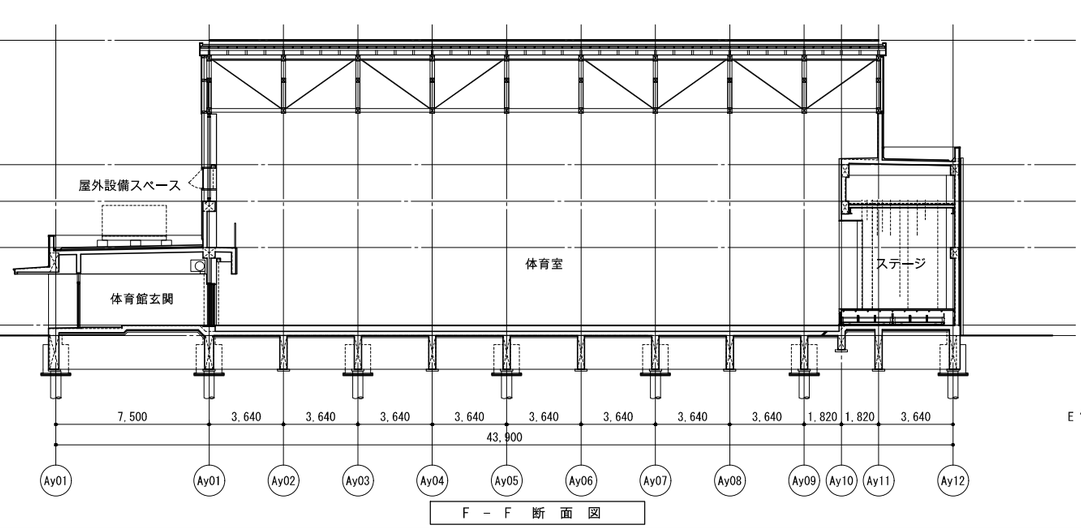
C － C 断 面 図



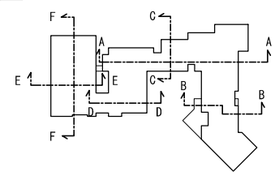
D － D 断 面 図



E － E 断 面 図



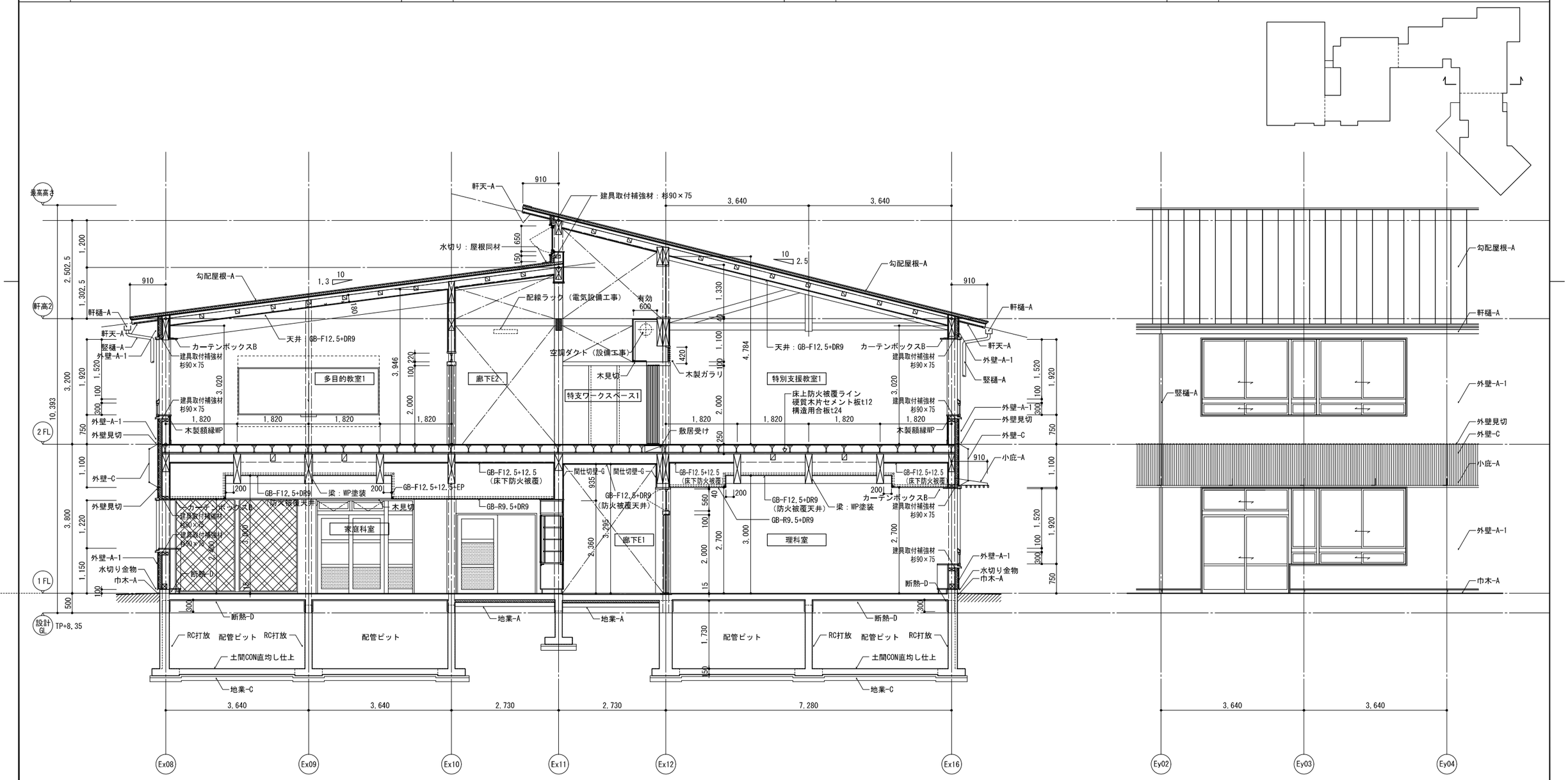
F － F 断 面 図



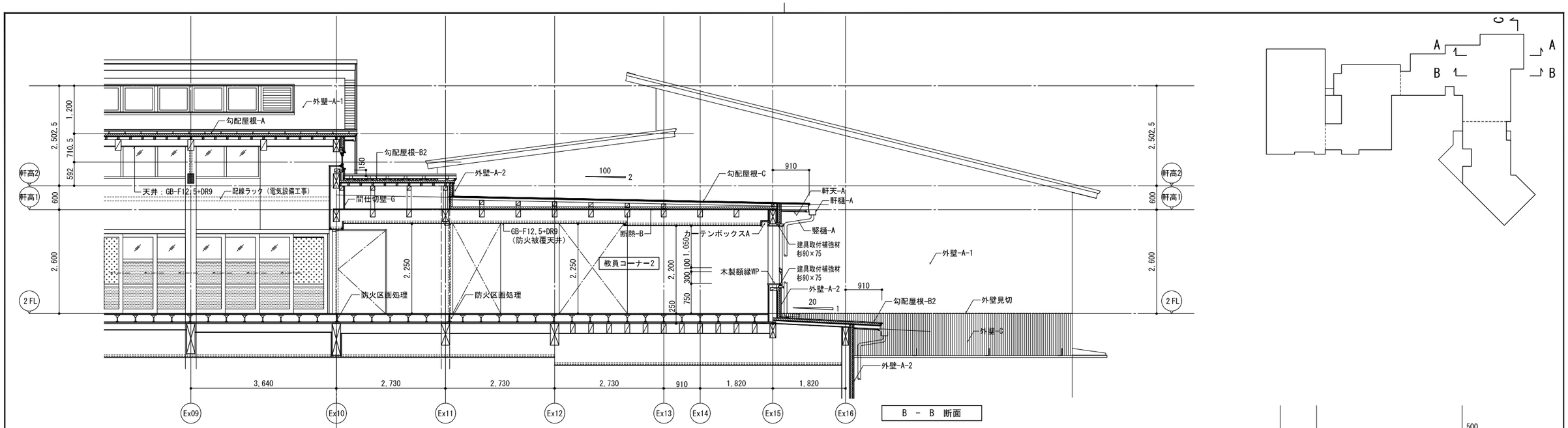
株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考	工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
	一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶 / 建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 断面図 縮尺 A1: 1/150 A3: 1/300
				図面番号 A039

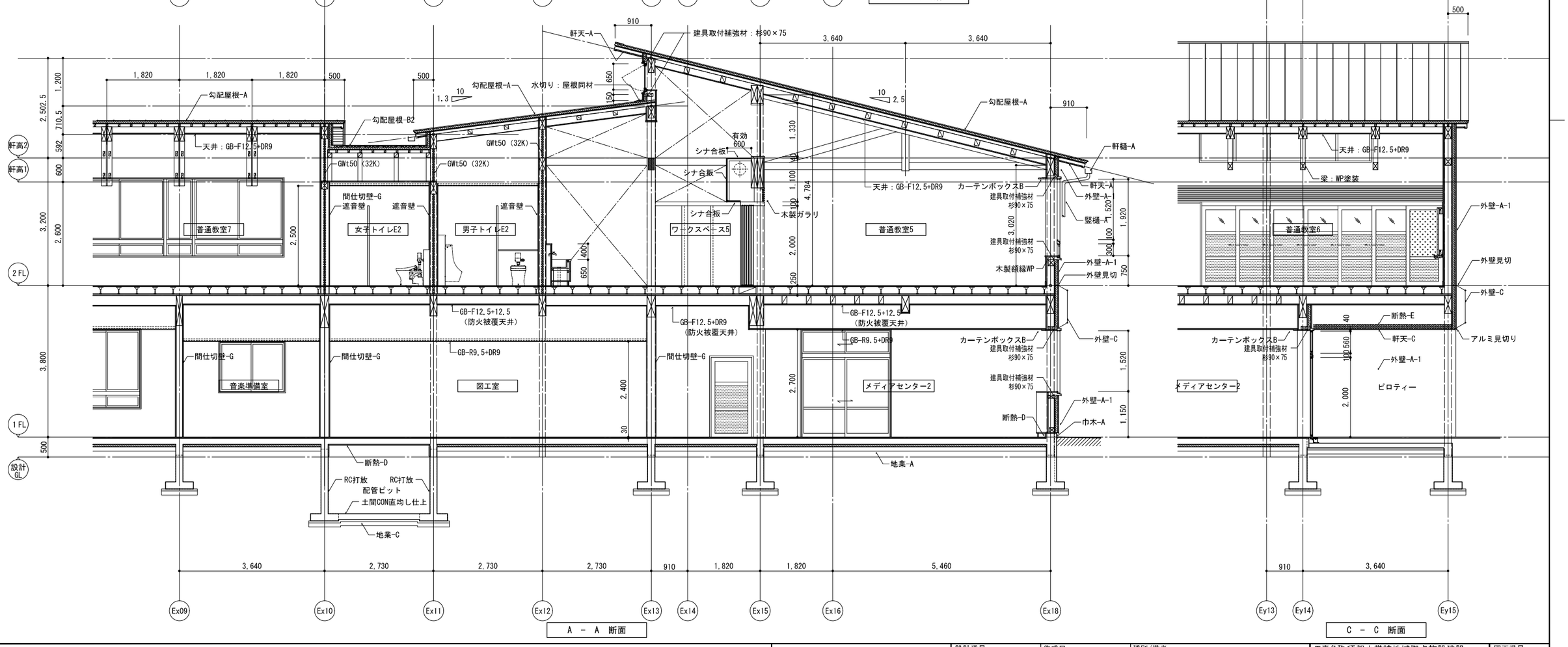
外部共通仕様（図中特記無き場合本仕様による）

■ 屋根仕様		■ 外壁仕様		巾木-A	コンクリート打放し(A種)の上、撥水剤　誘発目地切@2,000以下、シーリング	■ 断熱仕様	
勾配屋根-A	木母屋 + 垂木 + 合板t12 + ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞt1.0 + 断熱-B + フッ素ガルバリウム鋼板t0.4	外壁-A-1	木下地 + 構造用合板t12 + 硬質木片セメント板t18 + 断熱-A + 透湿防水シート + 胴縁t18	小庇-A	ブラケットst-PL t9（@1820） + アルミルーバー（50×30@110）	断熱-A	押出法ポリスチレンフォーム断熱材(3種bA)=50　（外壁部）
	縦葺き（立馳タイプH=20）		+ 軽量セメントモルタルt20（ラス下地） + 外装薄塗材E			断熱-B	押出法ポリスチレンフォーム断熱材(3種bB)=50　（屋根部）
	（室内側）　鋼製下地 + GB-Ft12.5 + 仕上　（一般部）	外壁-A-2	木下地 + 構造用合板t12 + 硬質木片セメント板t18 + 断熱-A + 透湿防水シート + 胴縁t18			断熱-C	押出法ポリスチレンフォーム断熱材(3種bB)=40
勾配屋根-B1	木母屋 + 垂木 + 合板t12 + ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞt1.0 + 断熱-C + フッ素ガルバリウム鋼板t0.4		+ 軽量セメントモルタルt20（ラス下地） + 外装薄塗材E　（色分け）				+ イシシアヌレートボードt25　（火熱遮断壁等部、緩勾配屋根部）
	完全嵌合式平滑葺き	外壁-B	木下地 + GB-Ft21（3枚張り） + 断熱-A + 透湿防水シート + 胴縁t18	間仕切壁-G	木下地 + GB-F12.5 + GB-R9.5（両面張り）　（1時間準耐火構造）【R1国交省告示第195号】	断熱-D	押出法ポリスチレンフォーム断熱材(3種bB)=25　（ピット部）
	（室内側）　鋼製下地 + GB-Ft21（3枚張り） + 仕上　（火熱遮断壁等部）		+ サイディング（フラットウォール）t16 + DP　（耐火コア部）		（面積区画、防火上主要な間仕切壁、天井裏隔壁）	断熱-E	グラスウール24kg　t100　（ピロティ部）
勾配屋根-B2	木母屋 + 垂木 + 合板t12 + ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞt1.0 + 断熱-C + フッ素ガルバリウム鋼板t0.4	外壁-C	木下地 + 構造用合板t12 + 硬質木片セメント板t18 + 断熱-A + 透湿防水シート + 胴縁t18	■ 地業仕様		■ 雨水排水仕様	
	完全嵌合式平滑葺き　（緩勾配部）		+ ガルバリウム角スパンドレルt0.5	地業-A	砕石敷きt100 + 砂敷きt20 + ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑt0.15 + ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑt25+25　（屋内部）	竪樋-A	塗装ガルバリウム鋼板製 既製品（特記外 75φ）　掴み金物ステンレス@900以下
	（室内側）　鋼製下地 + GB-Ft12.5 + 仕上	外壁-D	木下地 + 構造用合板t12 + 硬質木片セメント板t18 + 断熱-A + 透湿防水シート + 胴縁t18	地業-B	砕石敷きt100　（屋外部）		※小庇貫通部については箱抜き(300角)し、四周屋根同材仕上げとする
勾配屋根-C	木下地 + 構造用合板t12（2枚張り） + 発砲ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝｼｰﾄt2 + 金属防水【不燃NM-1981】		+ 杉羽目板張りt15 + WP塗装　（ポーチ1、2部）	地業-C	砕石敷きt100 + 捨てCONt50　（梁底部）	竪樋-C	硬質塩ビ管カラーVP（特記外 100φ）　掴み金物ステンレス@900以下
	（立上げH=150以上確保すること）　（テラス、ポーチ部）					軒樋-A	塗装ガルバリウム鋼板製　ハコ形状 既製品（特記外 W165）　樋受け金物ステンレス@303
軒天-A	LGS + 硬質木片セメント板t18 + 耐水ラワン板（1類）t9 WP塗装　（一般部）					■ その他	
軒天-B	LGS + GB-Ft21（3枚張り） + 耐水ラワン板（1類）t9 WP塗装　（耐火コア部）					釜場	300×300×H150　各ピット区画ごとに1箇所設けること
軒天-C	LGS + 杉羽目板張りt15 + WP塗装　（ポーチ部）					配管ピット	梁、スラブとの取り合い部については、止水シールを入れること

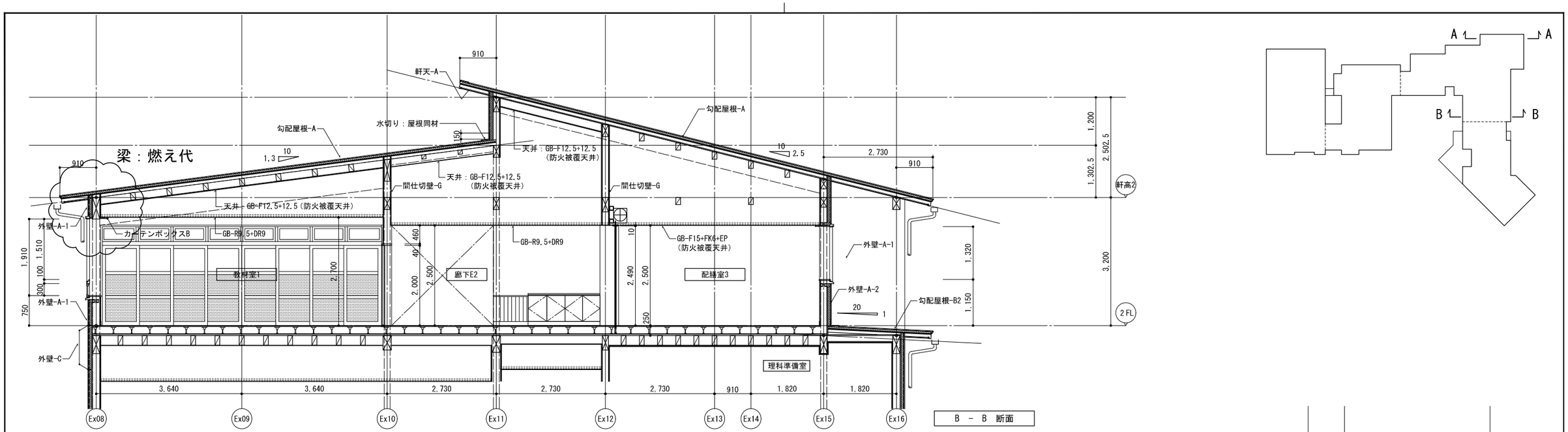


株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	図面番号 A040
	一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 矩計図　その1 縮尺　A1：1/50 A3：1/100	

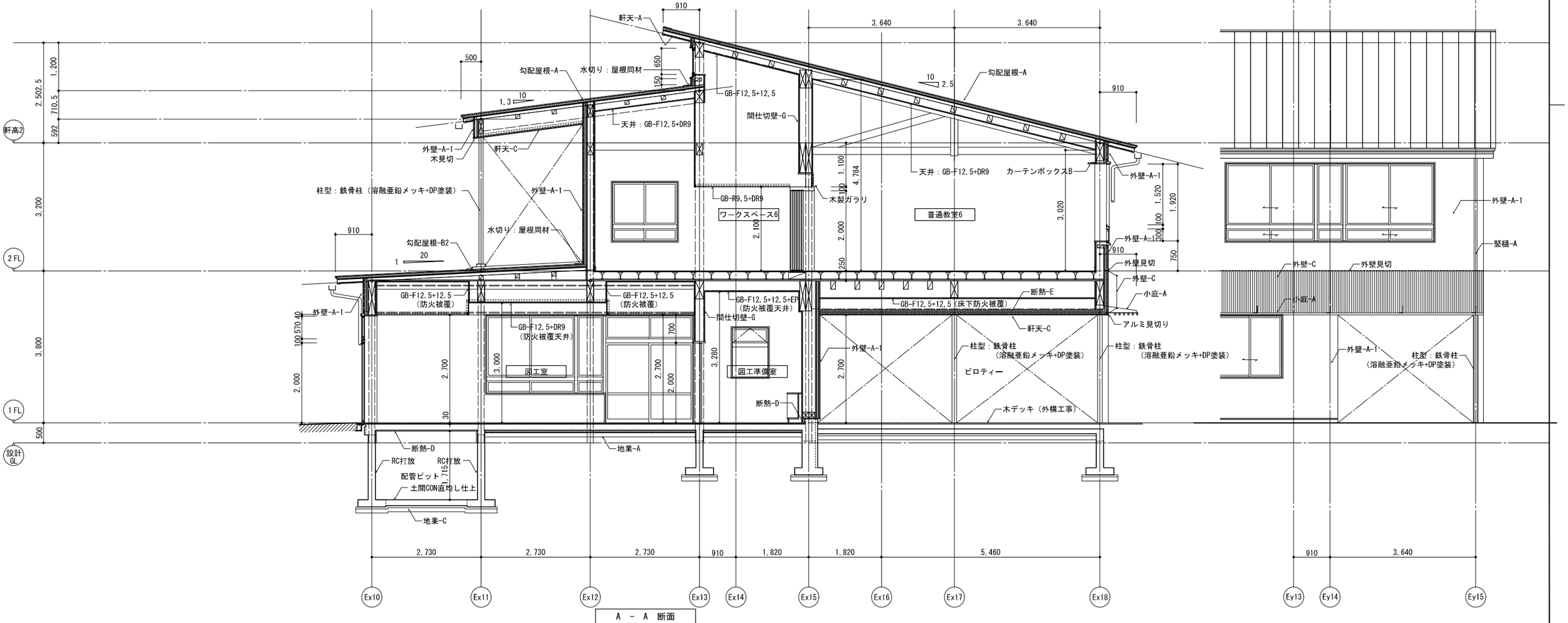




株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
	一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 矩計図 その2 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100
					図面番号 A041

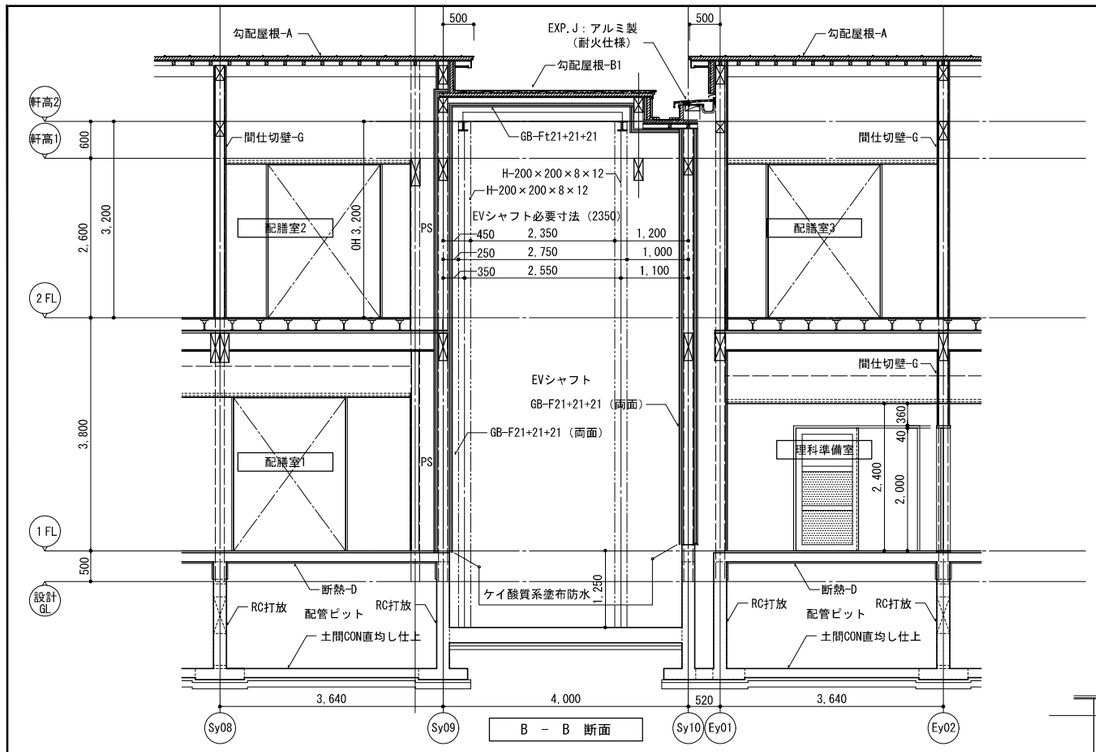


B － B 断面

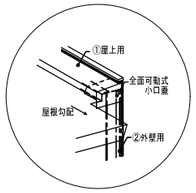


A － A 断面

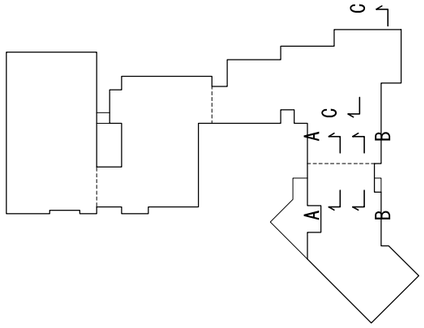
株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考	工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
	一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 矩計図　その3 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	図面番号 A042

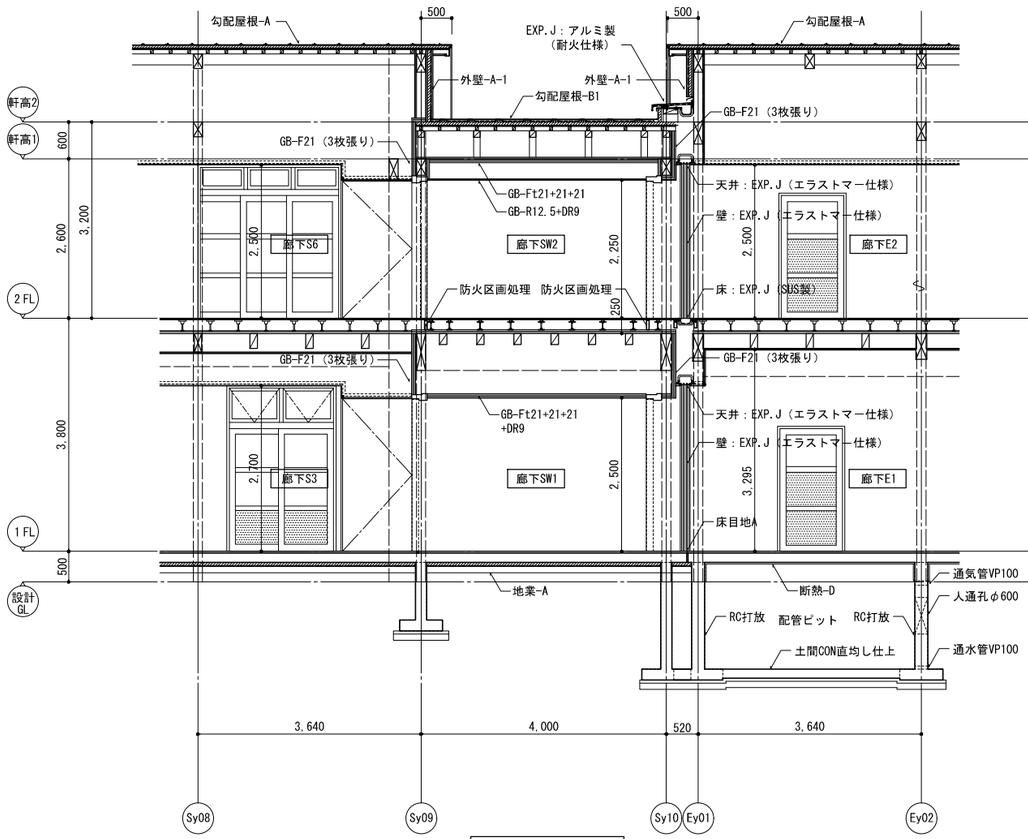


B － B 断面



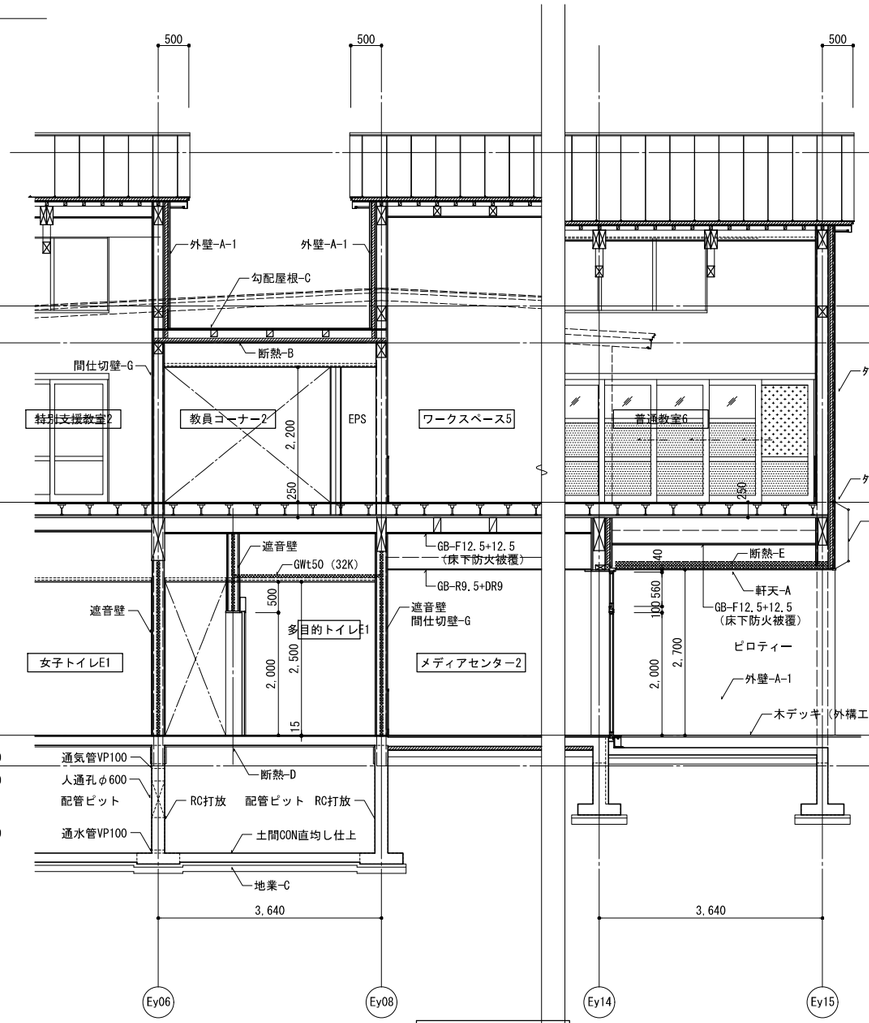
エキスパンションジョイント廻り要領図



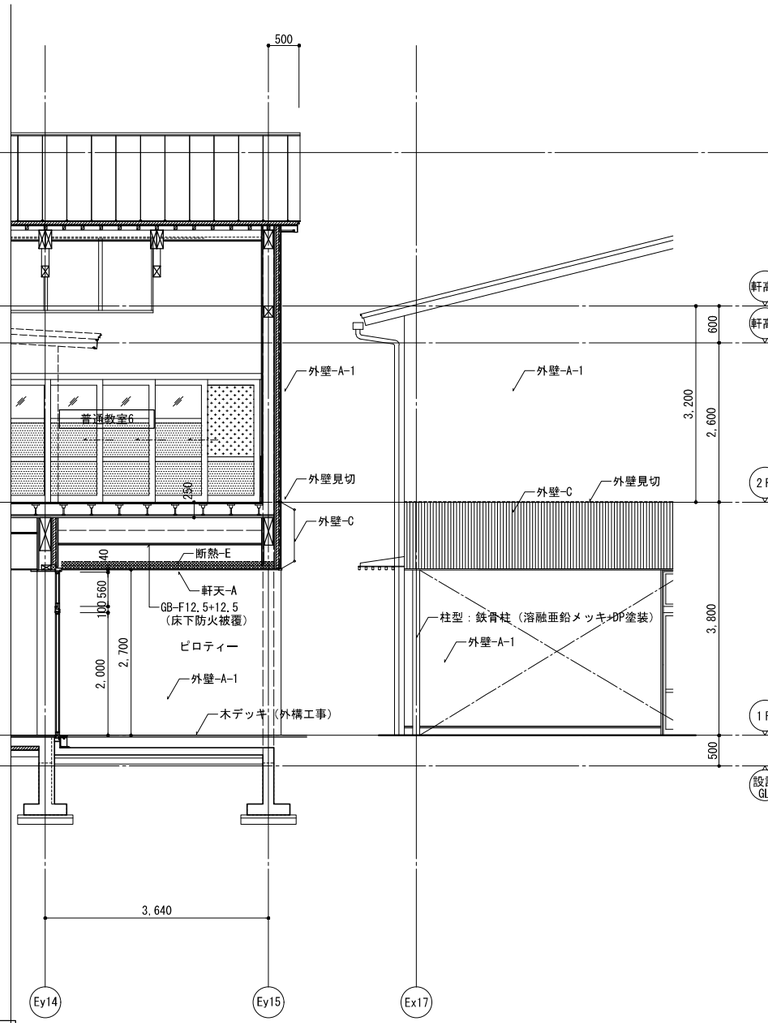


A － A 断面

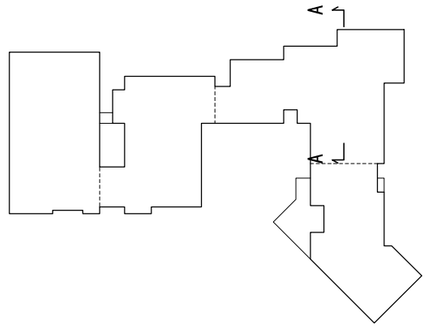
EXP.Jのクリアランスは200とする

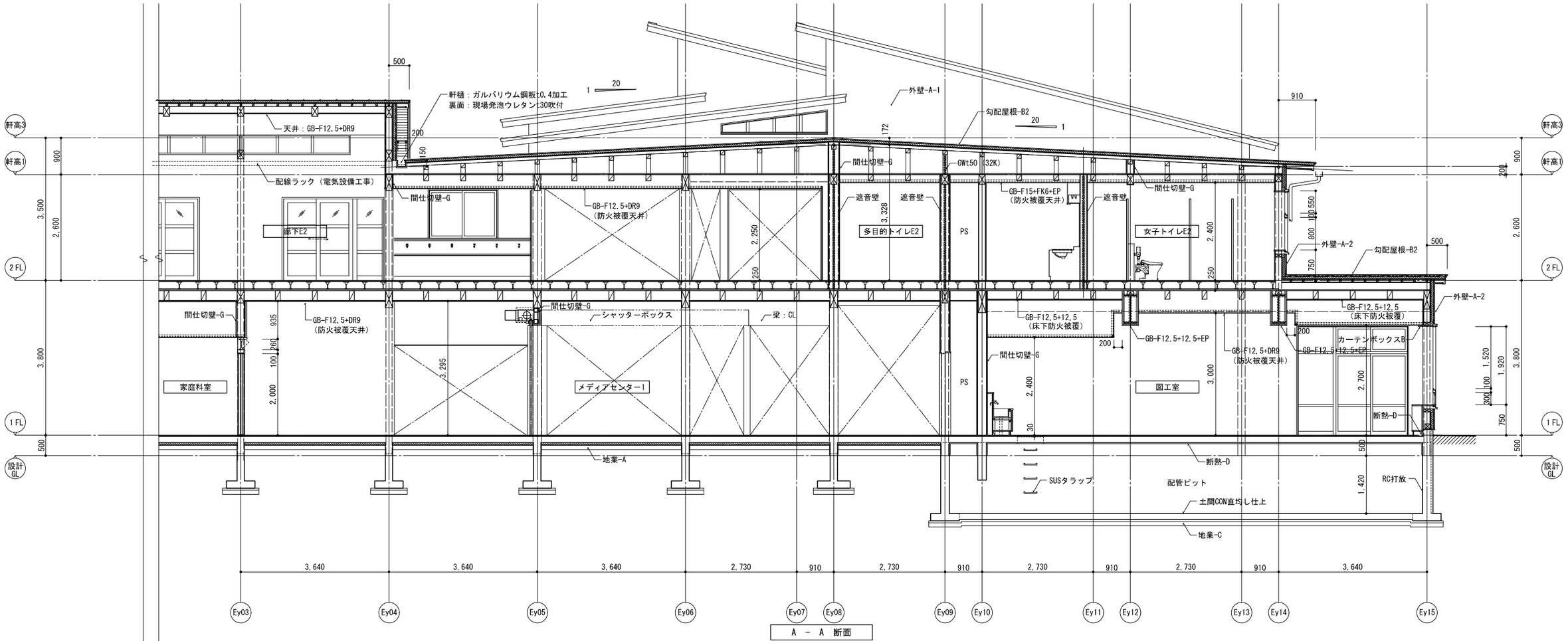


C － C 断面



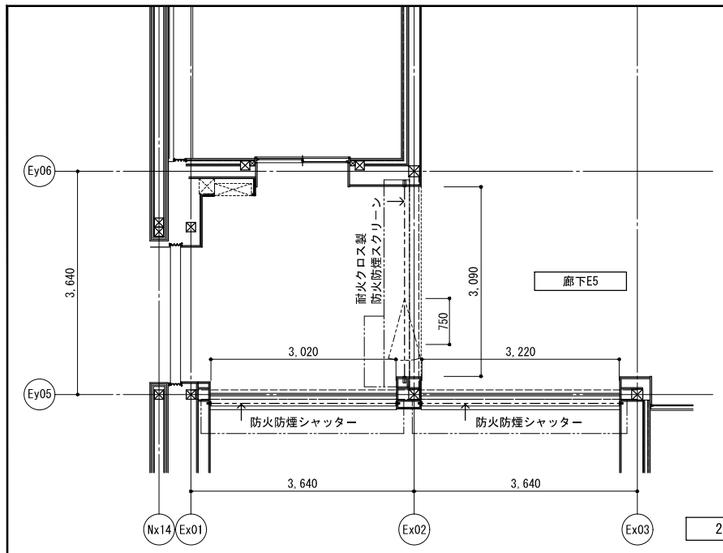
株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考	工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
	一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶 / 建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 矩計図 その4 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100
				図面番号 A043



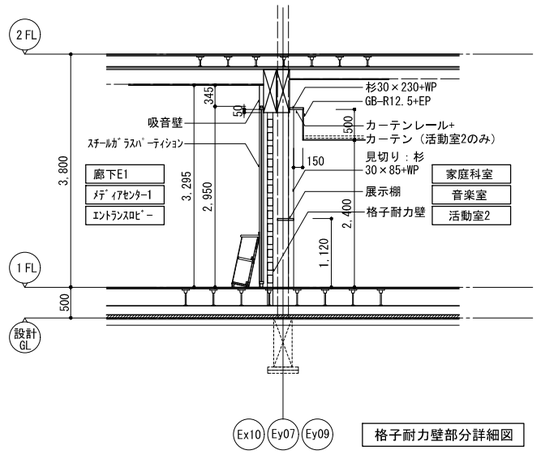


A － A 断面

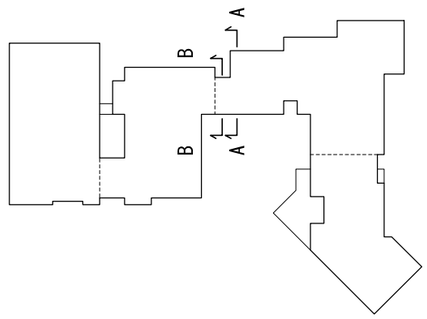
株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考	工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
	一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義
			図面名称 矩計図 その5 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	図面番号 A044

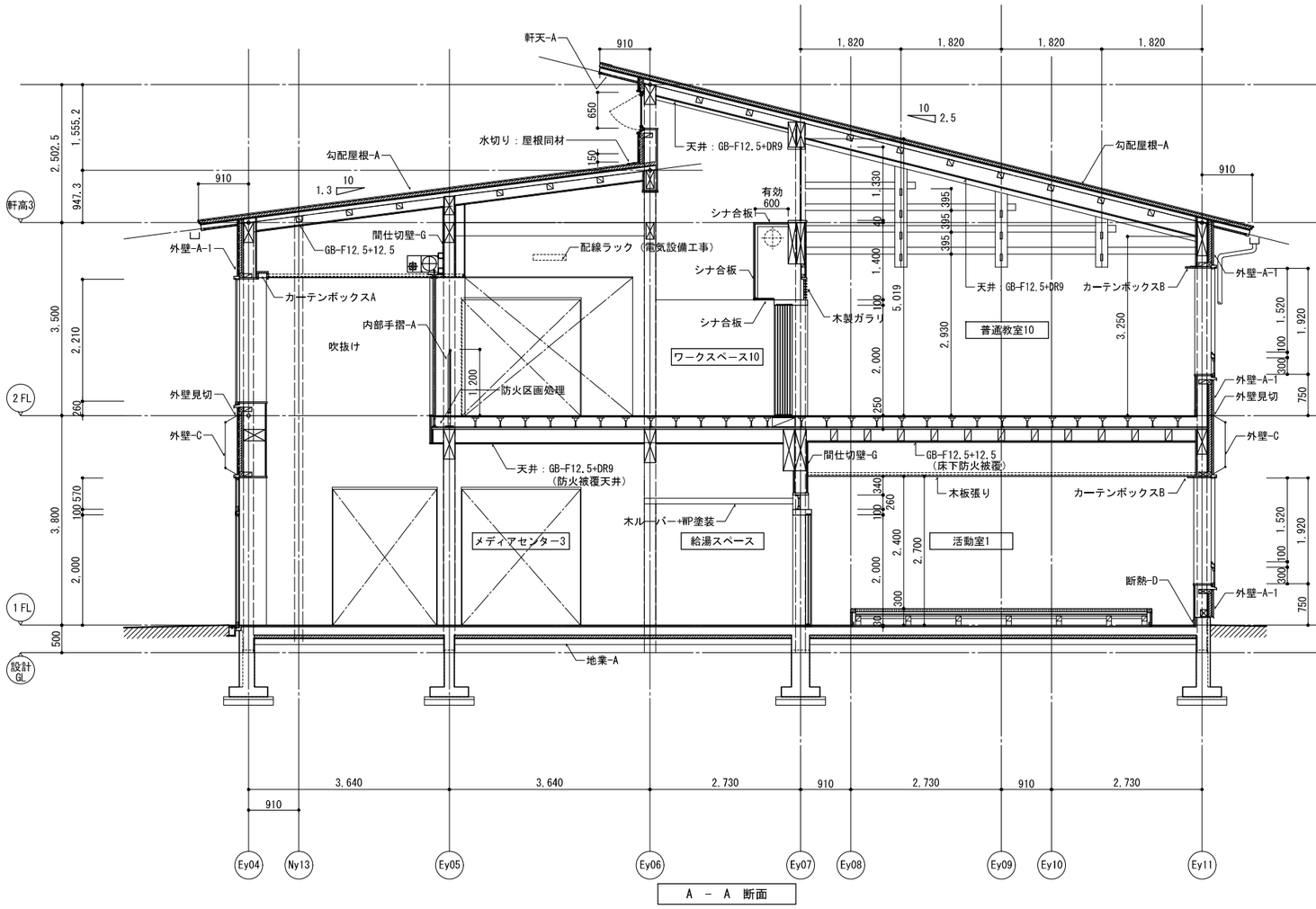


2階　平面詳細図

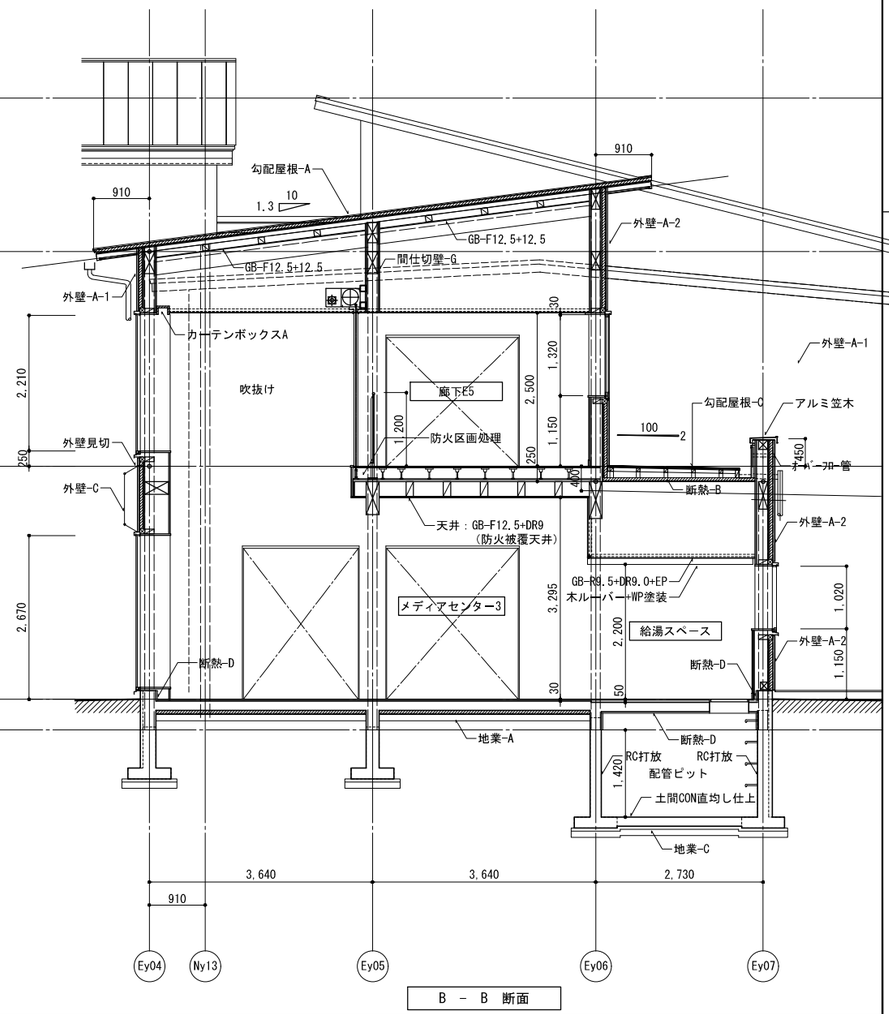


格子耐力壁部分詳細図



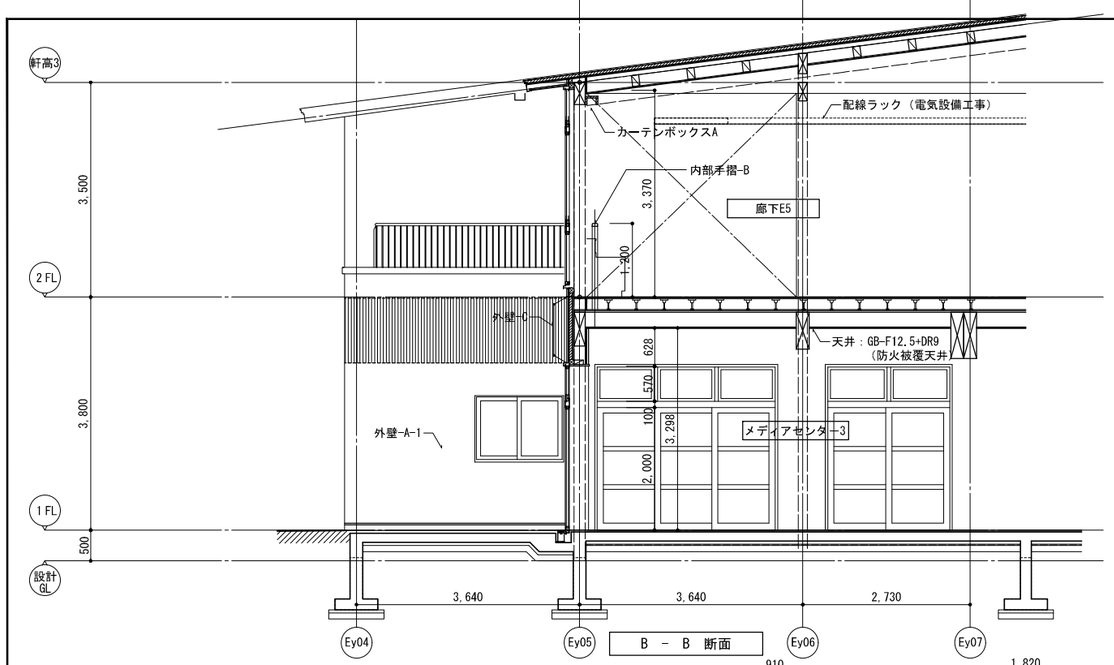


A　－　A　断面

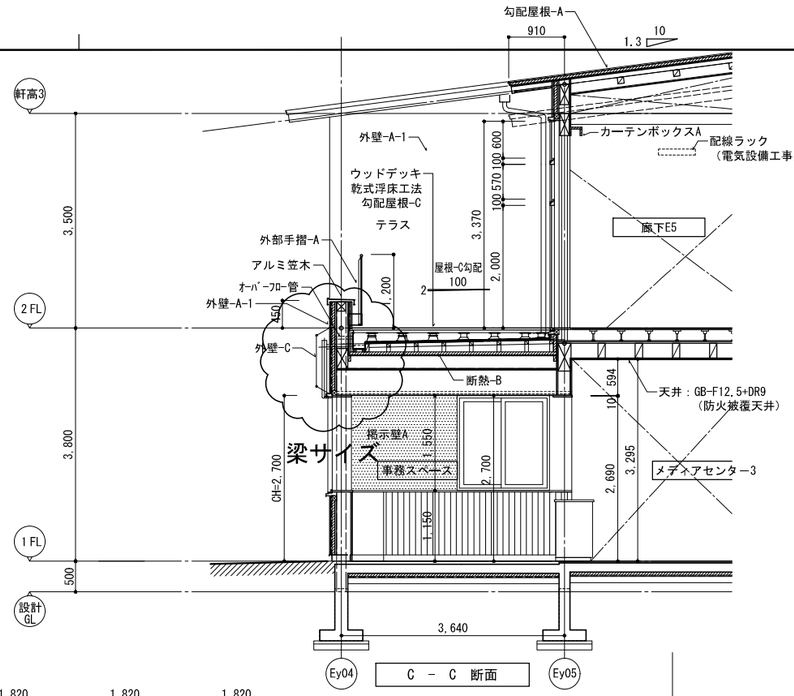


B　－　B　断面

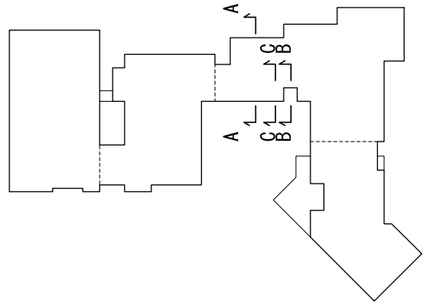
	株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
		一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 矩計図　その6 縮尺　A1：1/50 A3：1/100
						図面番号 A045

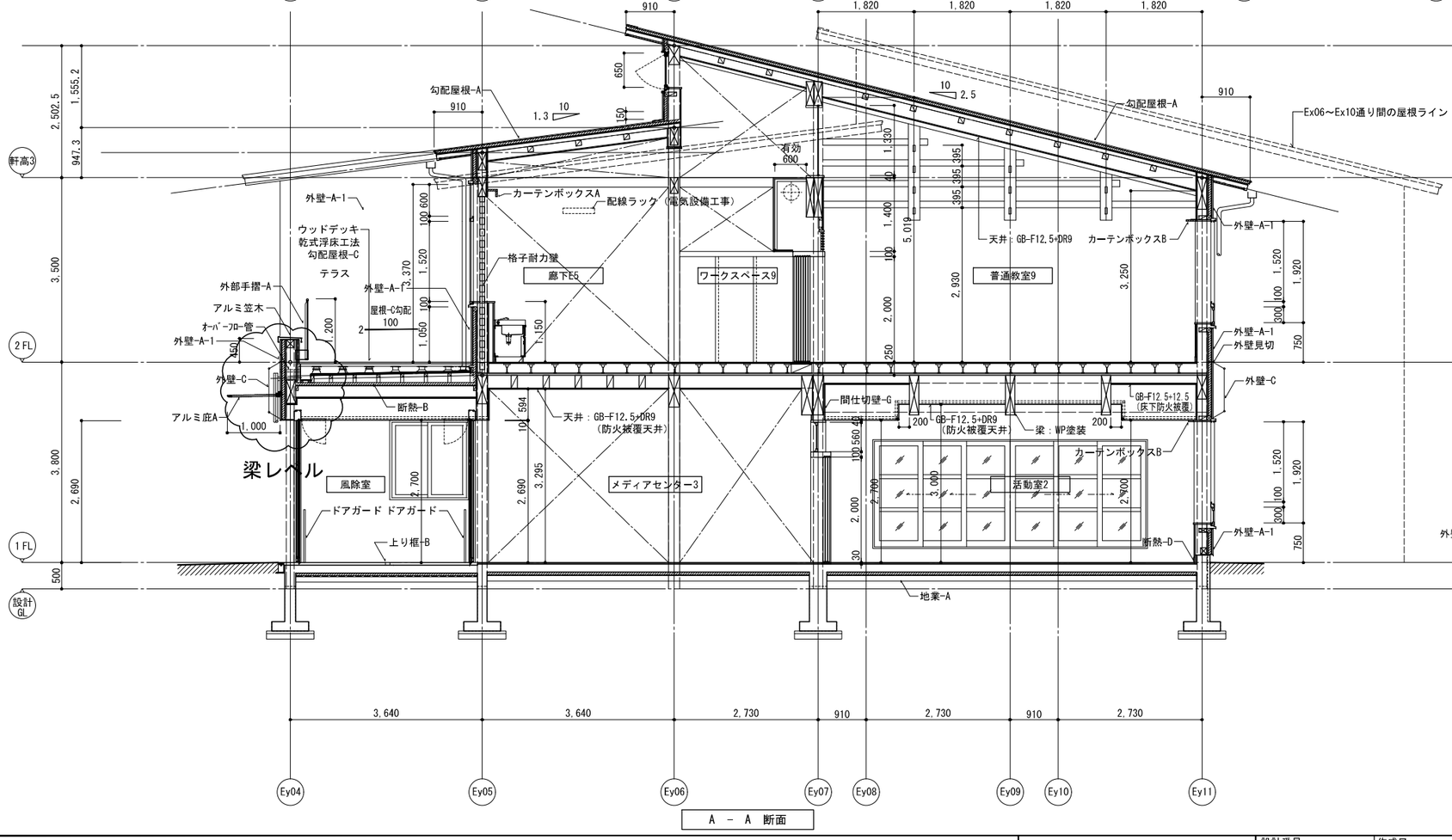


B － B 断面

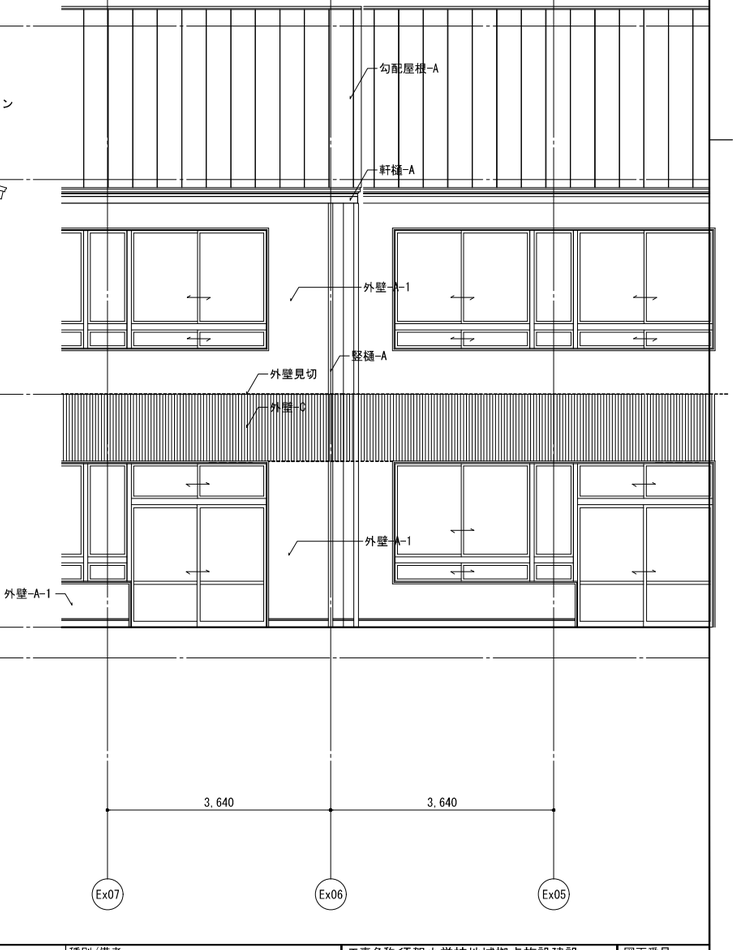


C － C 断面

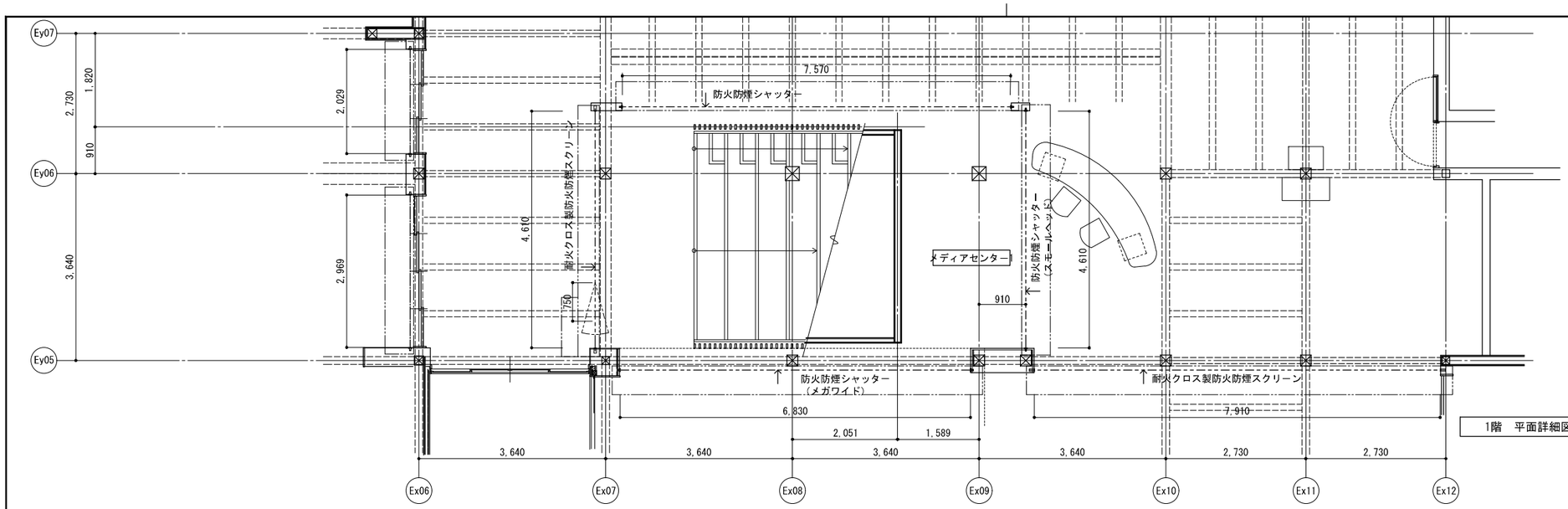




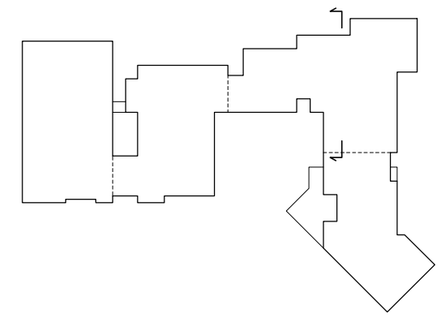
A － A 断面

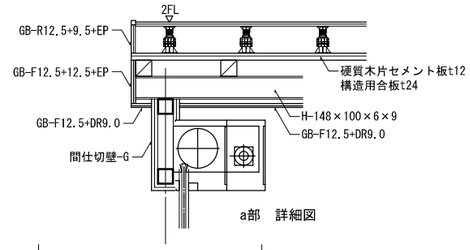


株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
	一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 矩計図 その7 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100
					図面番号 A046

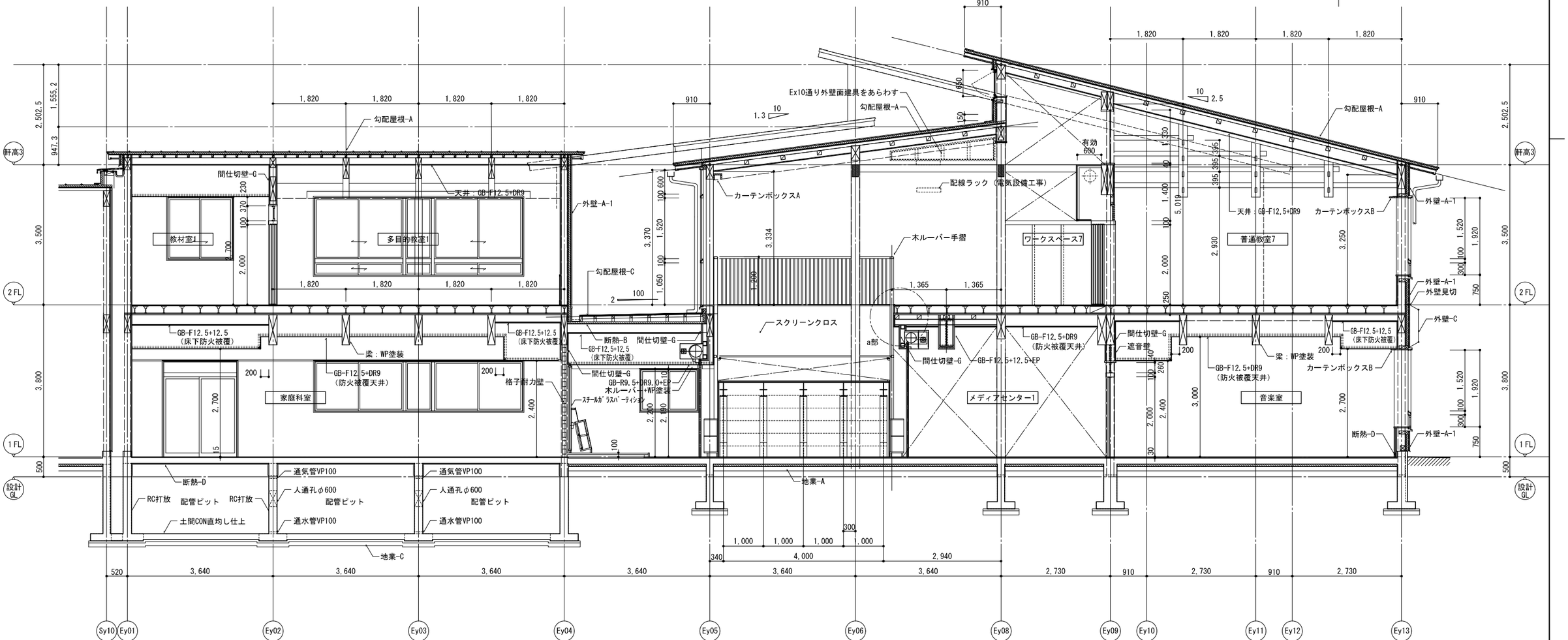


1階　平面詳細図

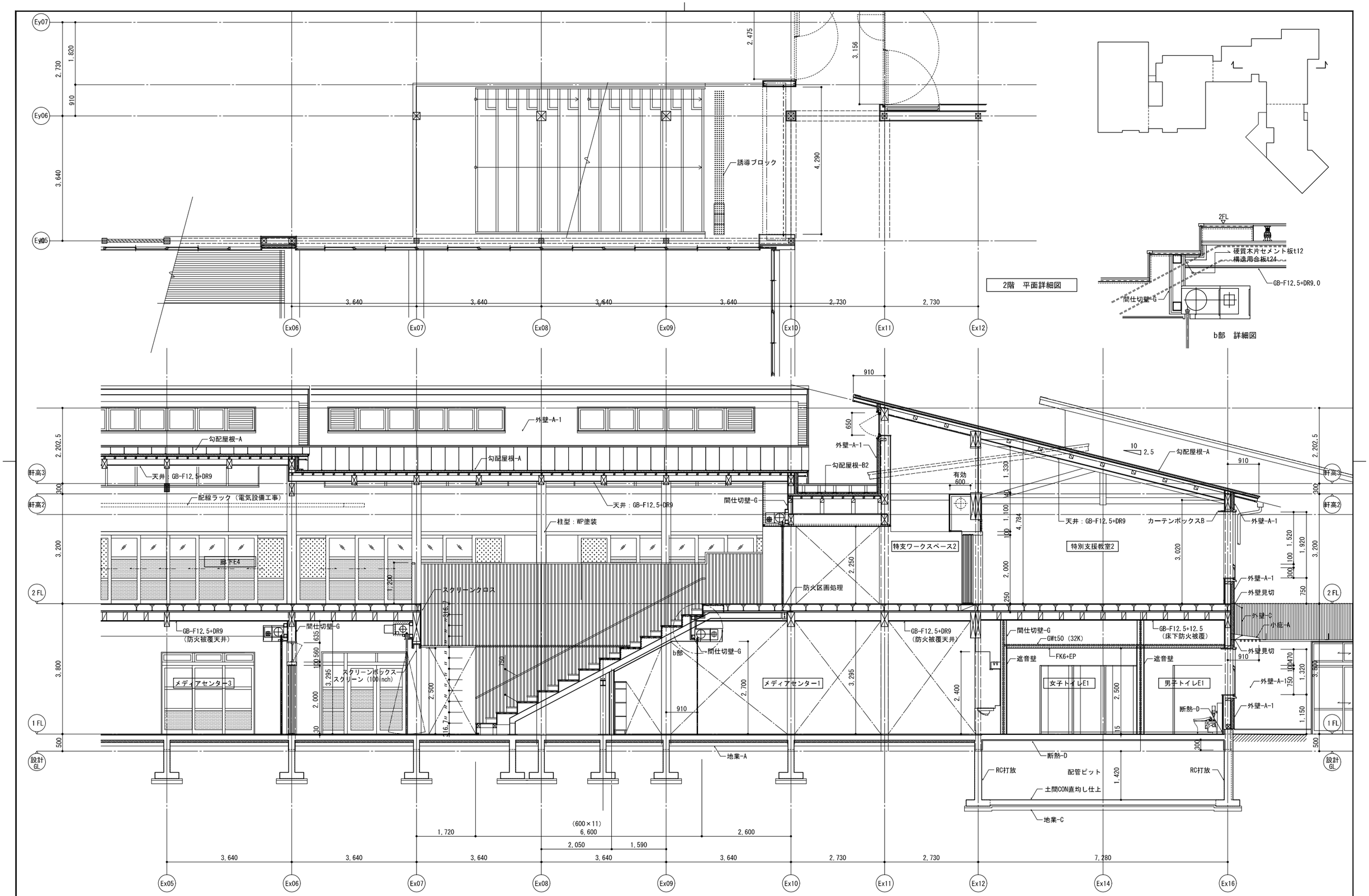




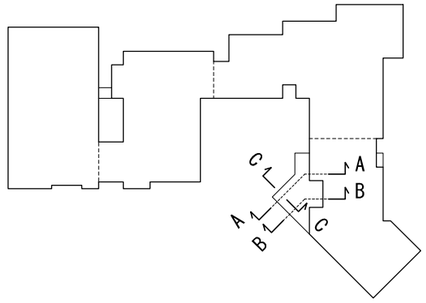
a部　詳細図

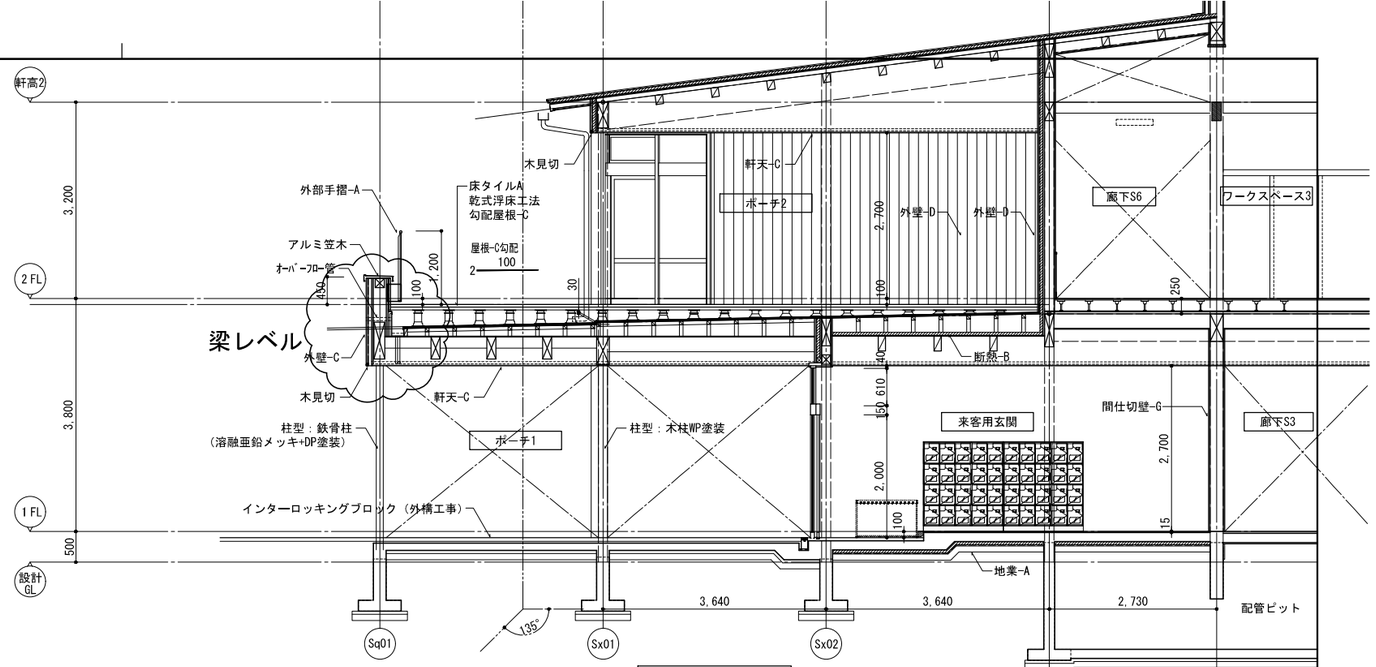


株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	図面番号 A047
	一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 矩計図　その8 縮尺　A1: 1/50 A3: 1/100	

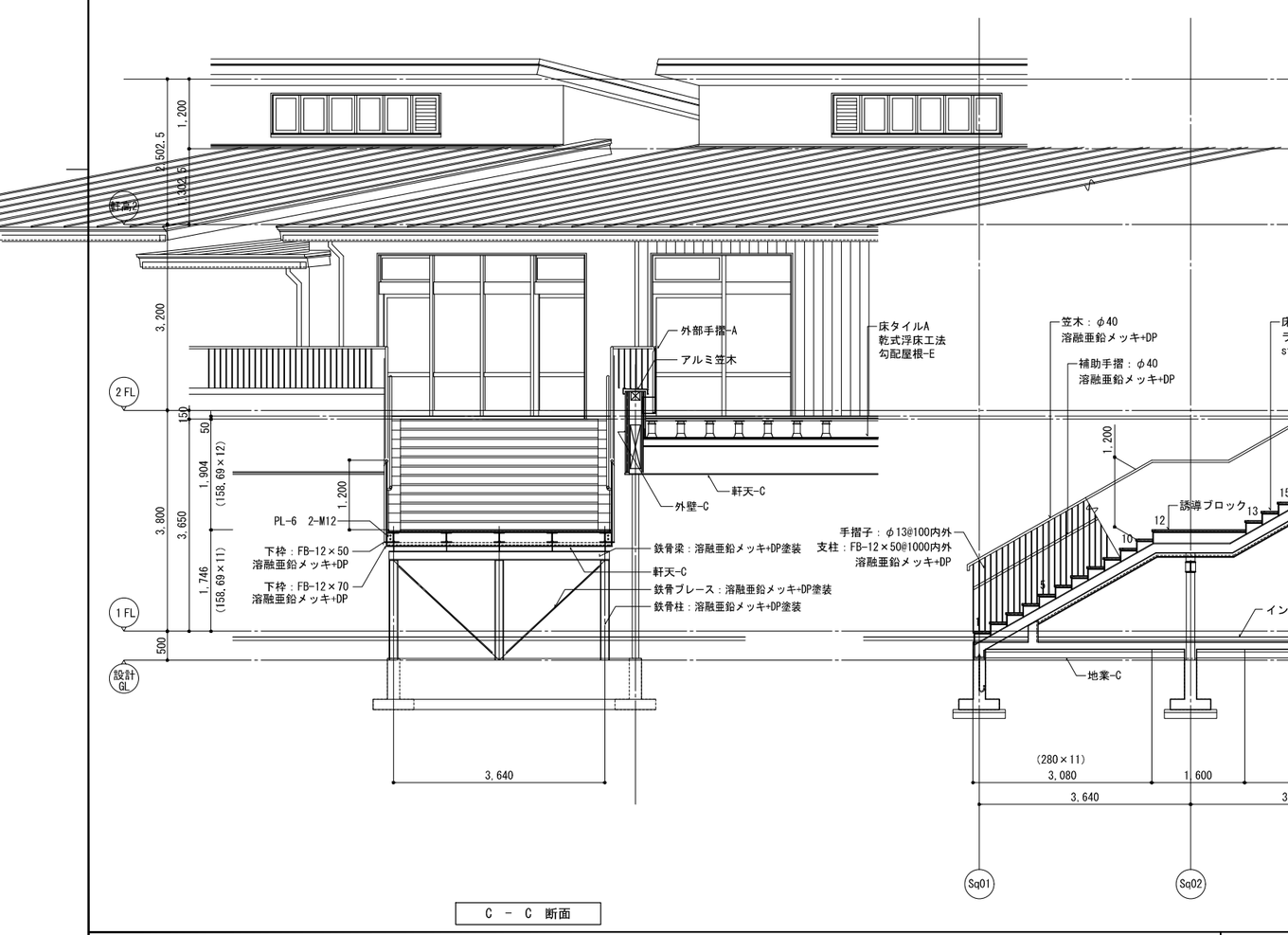


	株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考	工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
		一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 矩計図　その9 縮尺　A1：1/50 A3：1/100	図面番号 A042

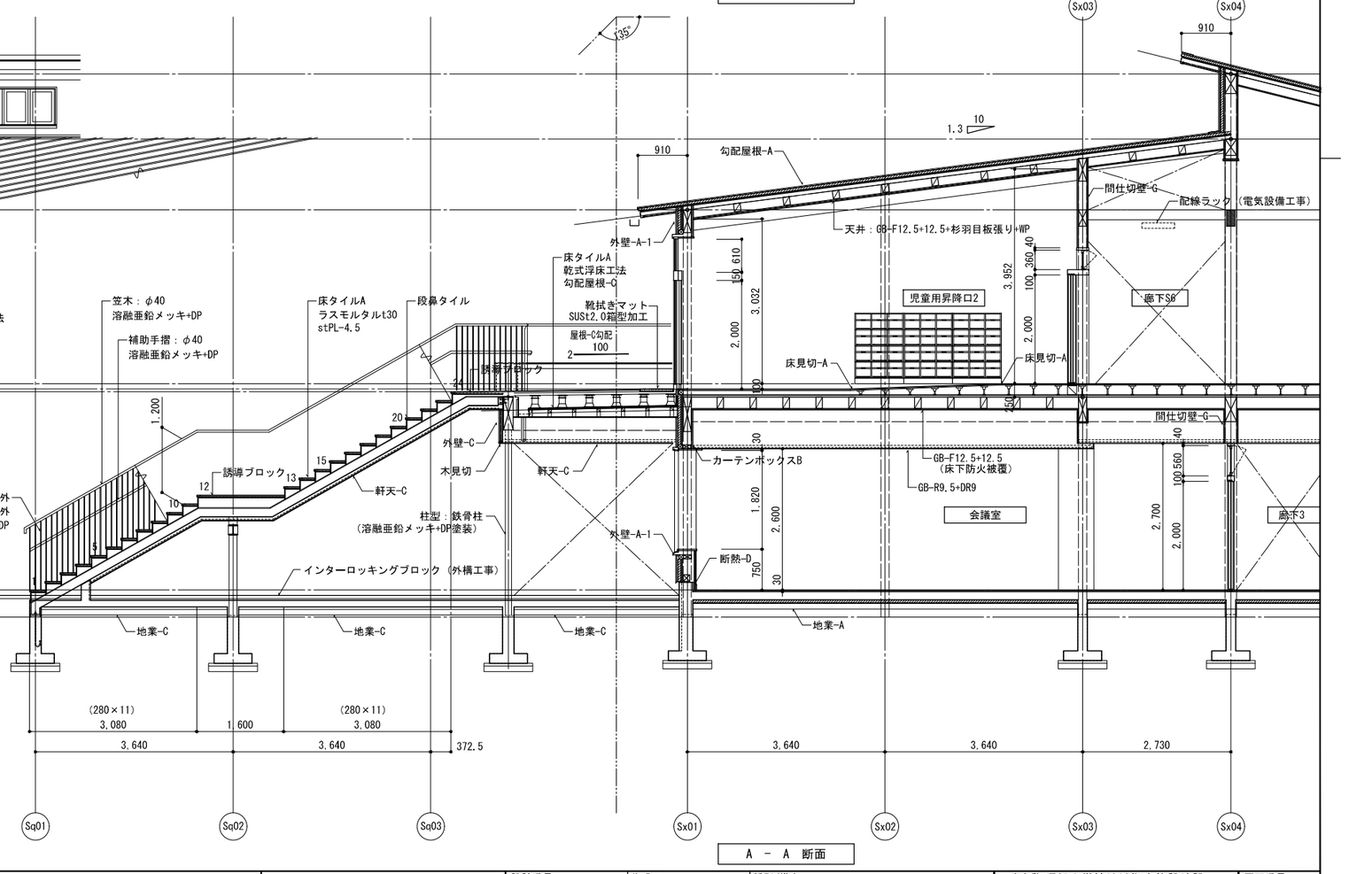




B － B 断面

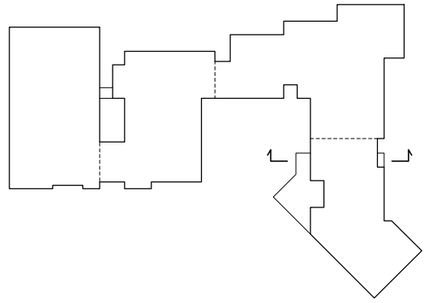


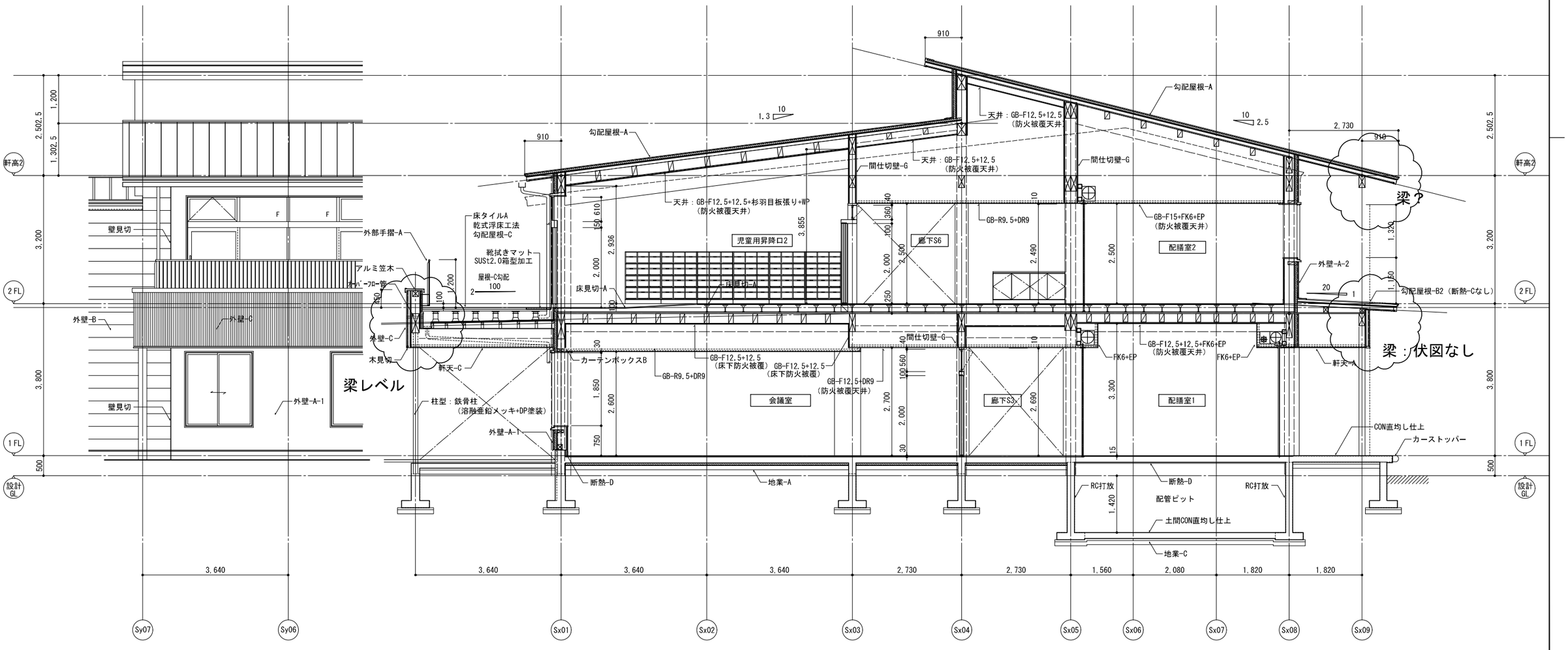
C － C 断面



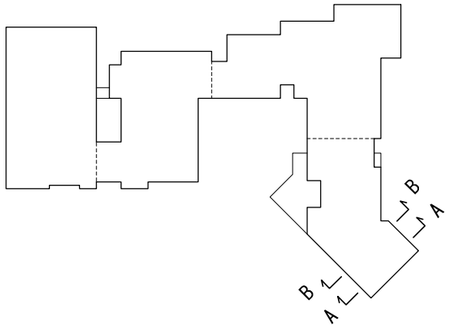
A － A 断面

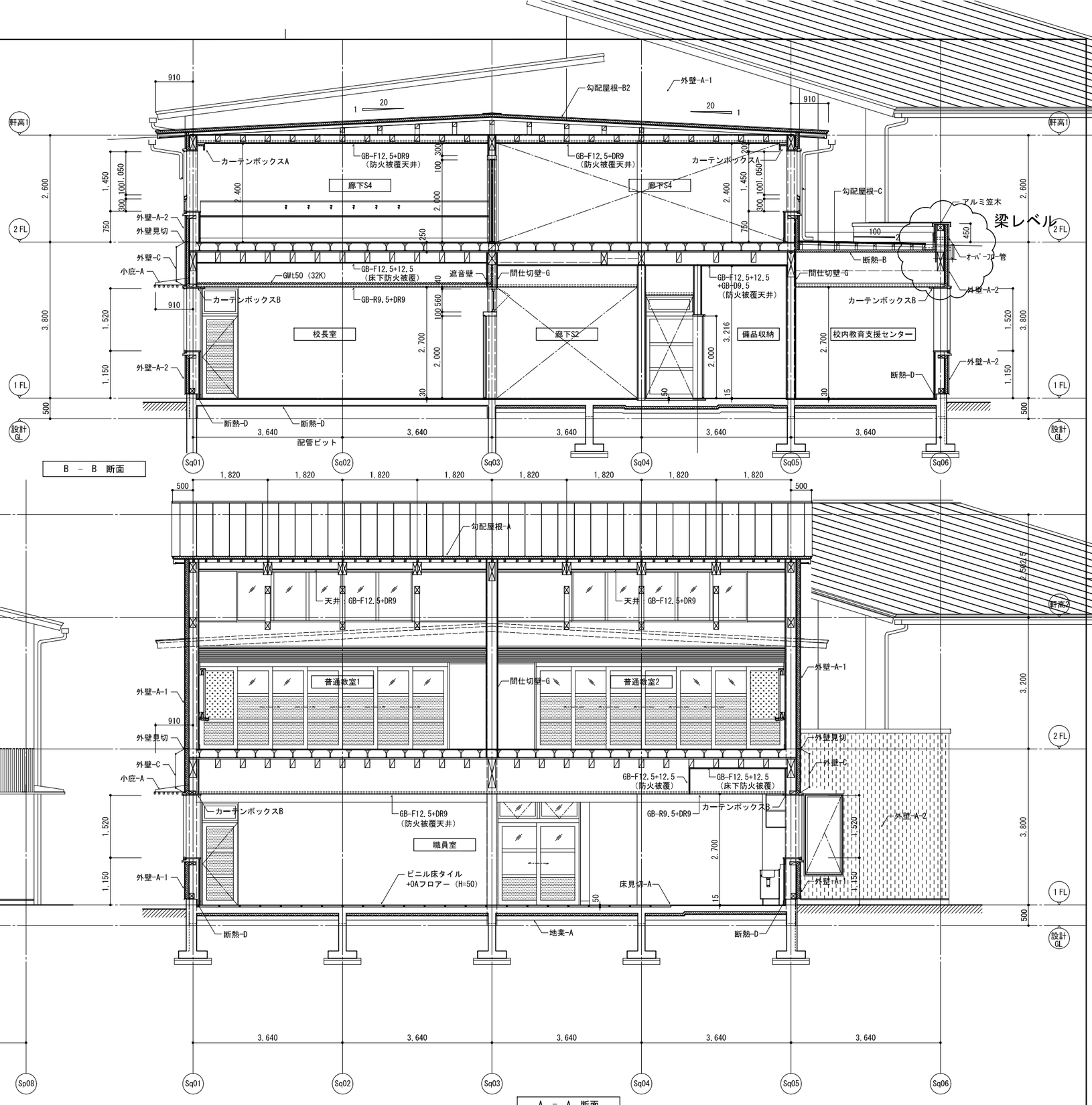
株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
	一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 矩計図 その10 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100
					図面番号 A049





	株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
		一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 矩計図 その11 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100
						図面番号 A050

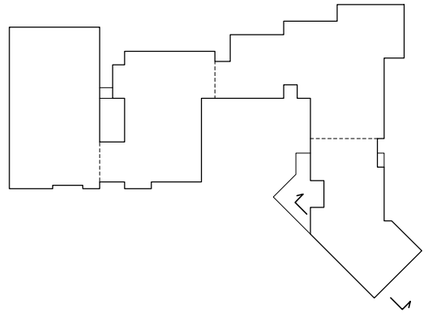


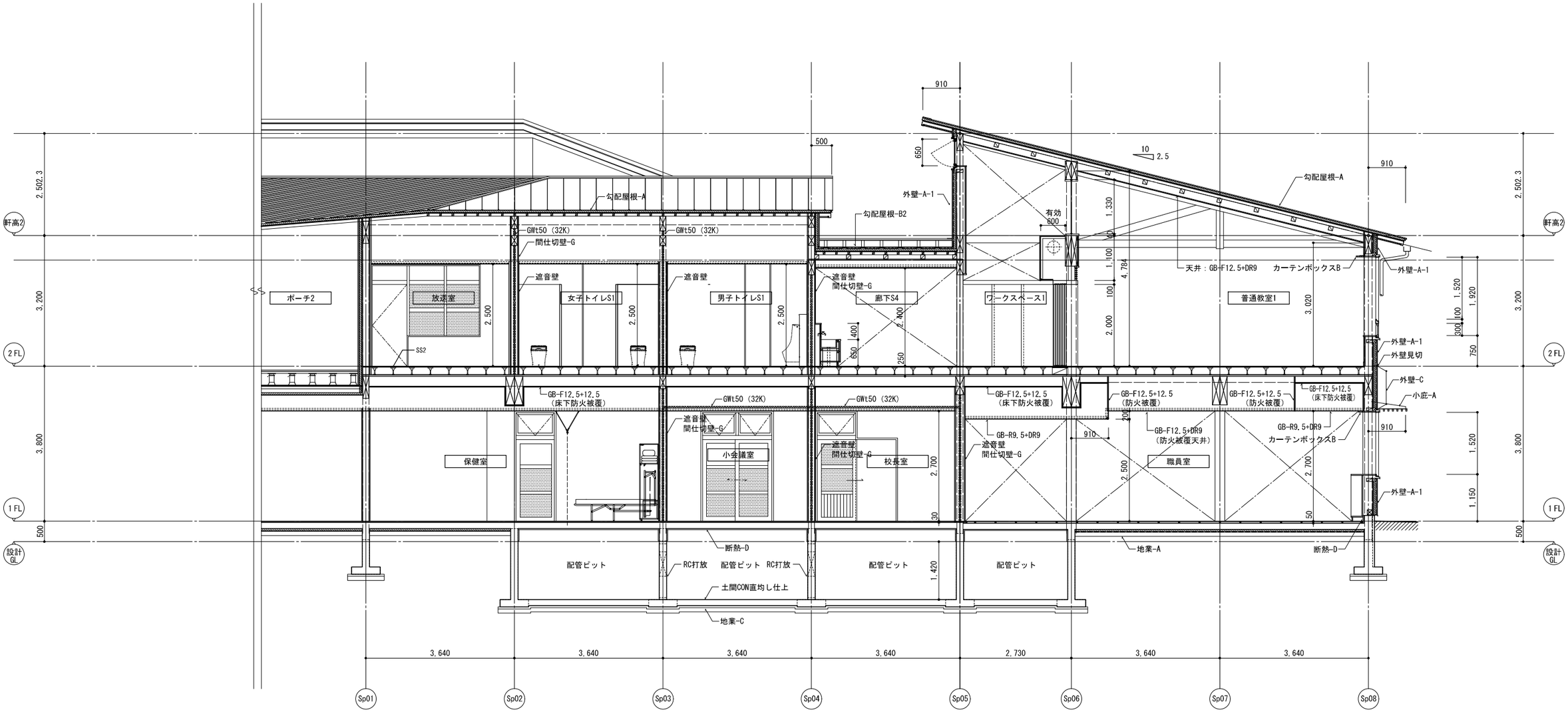


B － B 断面

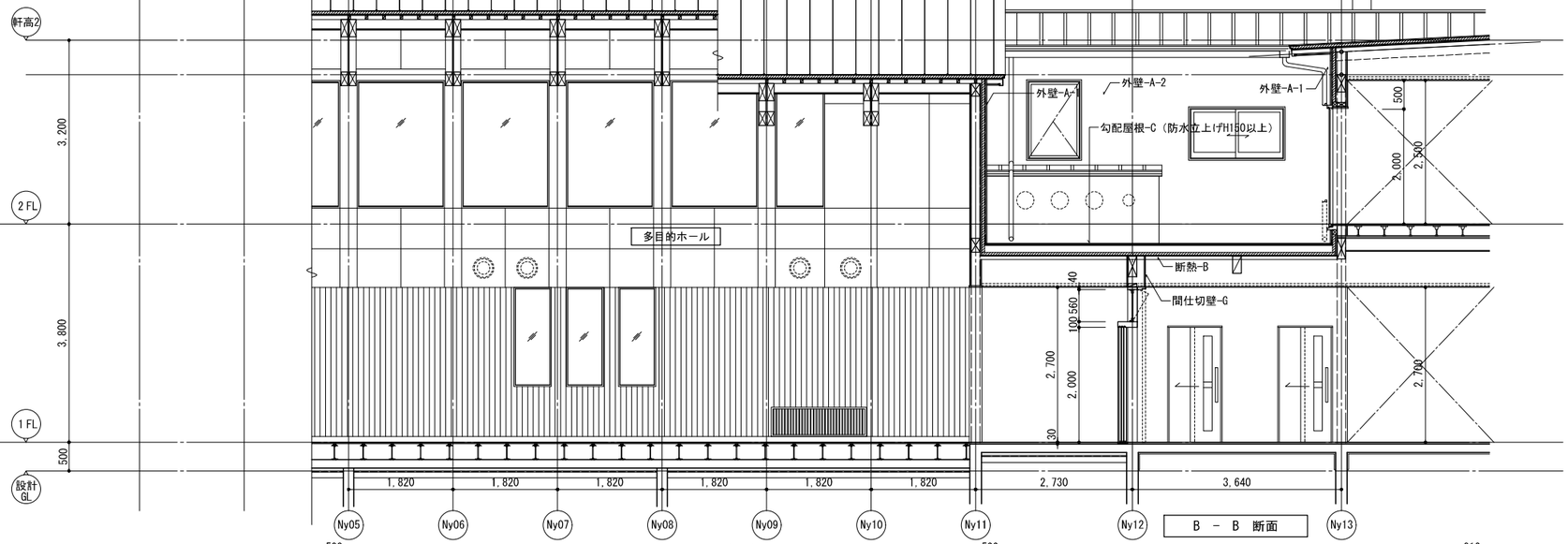
A － A 断面

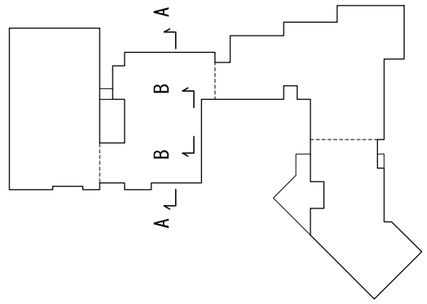
株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	図面番号
	一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 矩計図 その12 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	A051

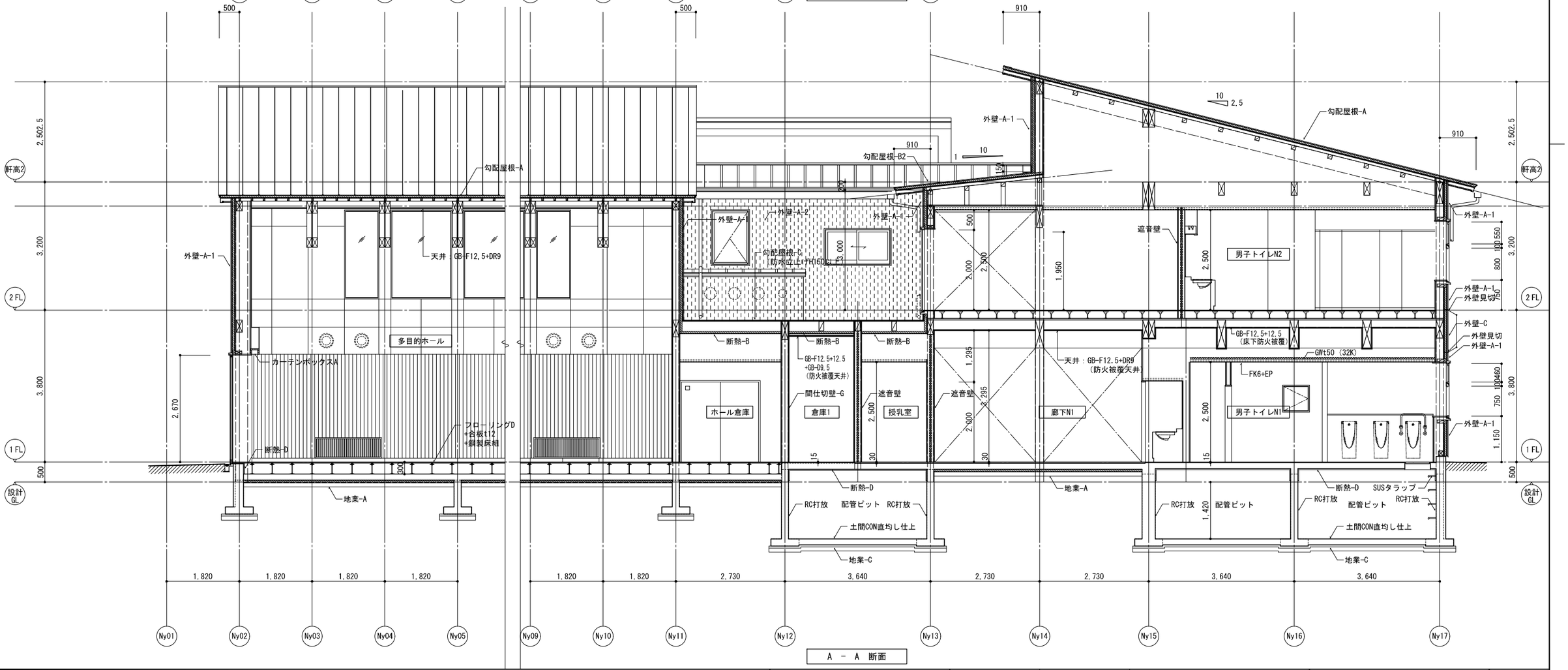




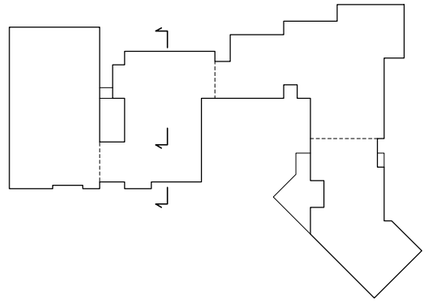
株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	図面番号
	一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 矩計図　その13 縮尺　A1：1/50 A3：1/100	A052

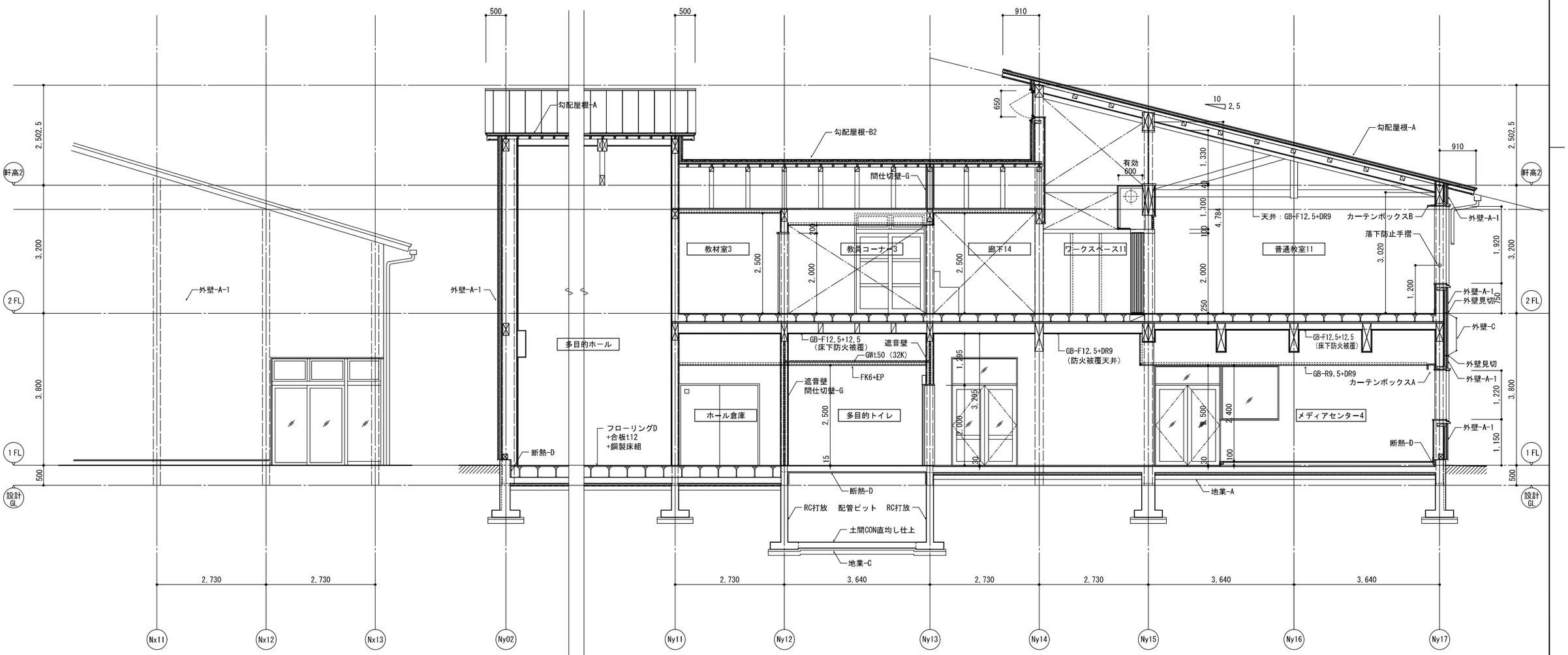




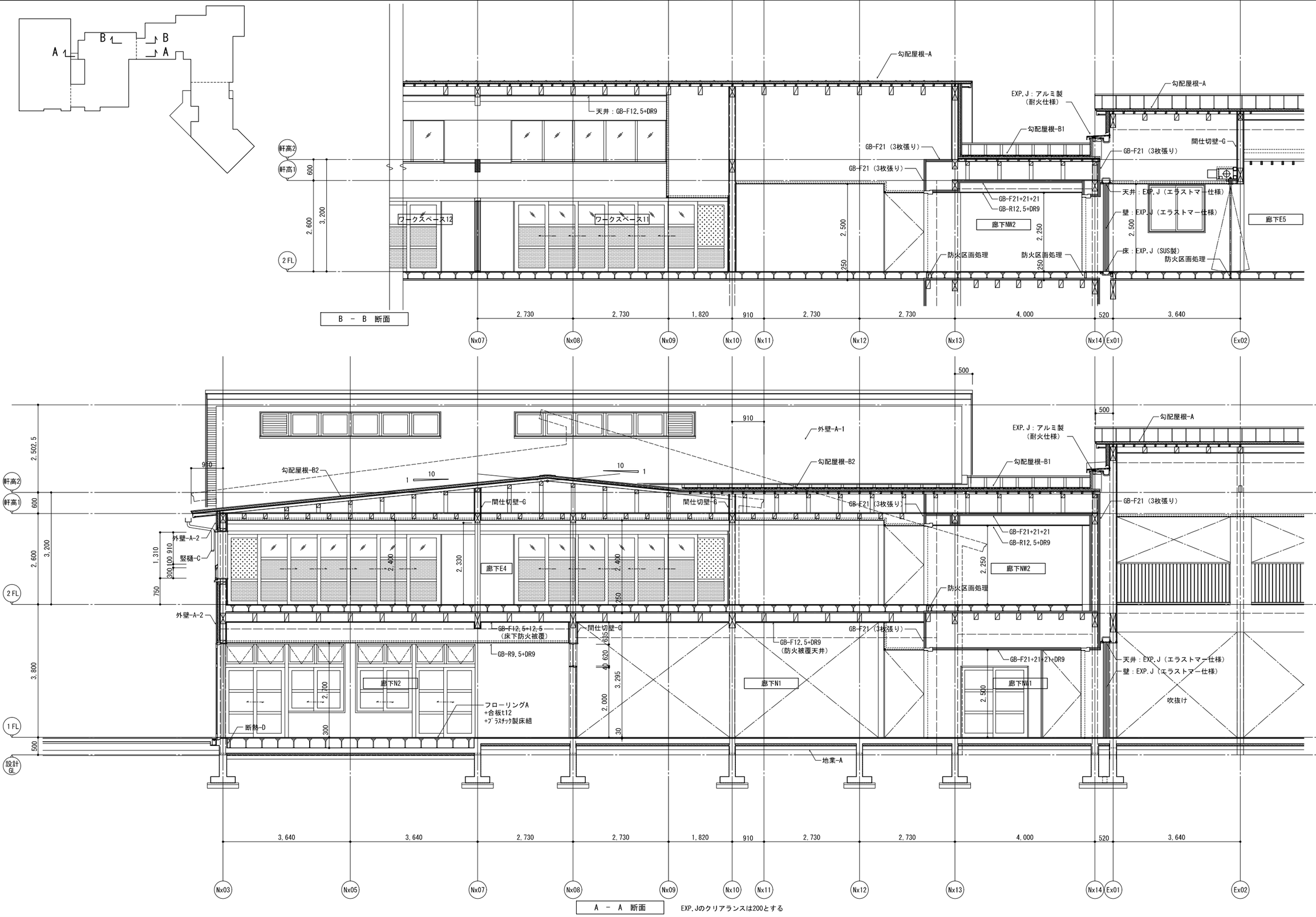


株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
	一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 矩計図　その14 縮尺　A1：1/50 A3：1/100
					図面番号 A053





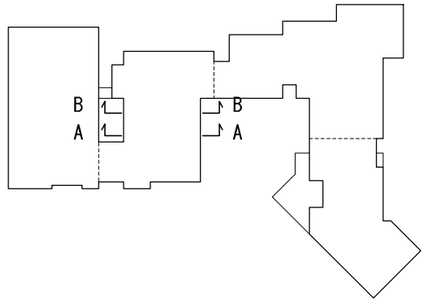
株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	図面番号
	一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 矩計図　その15 縮尺　A1：1/50 A3：1/100	A054

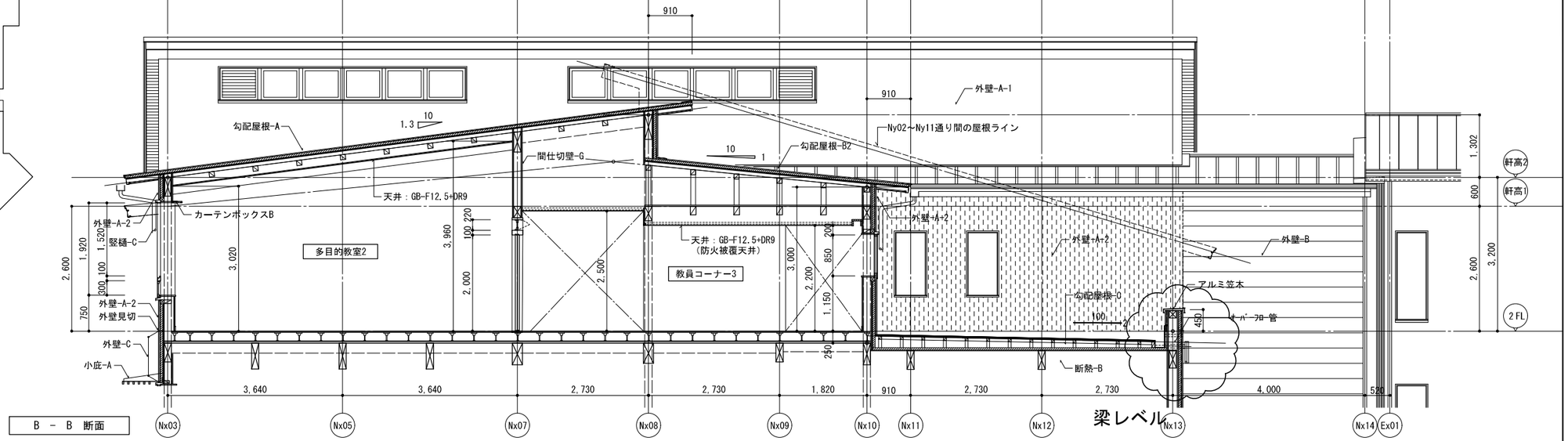


A － A 断面

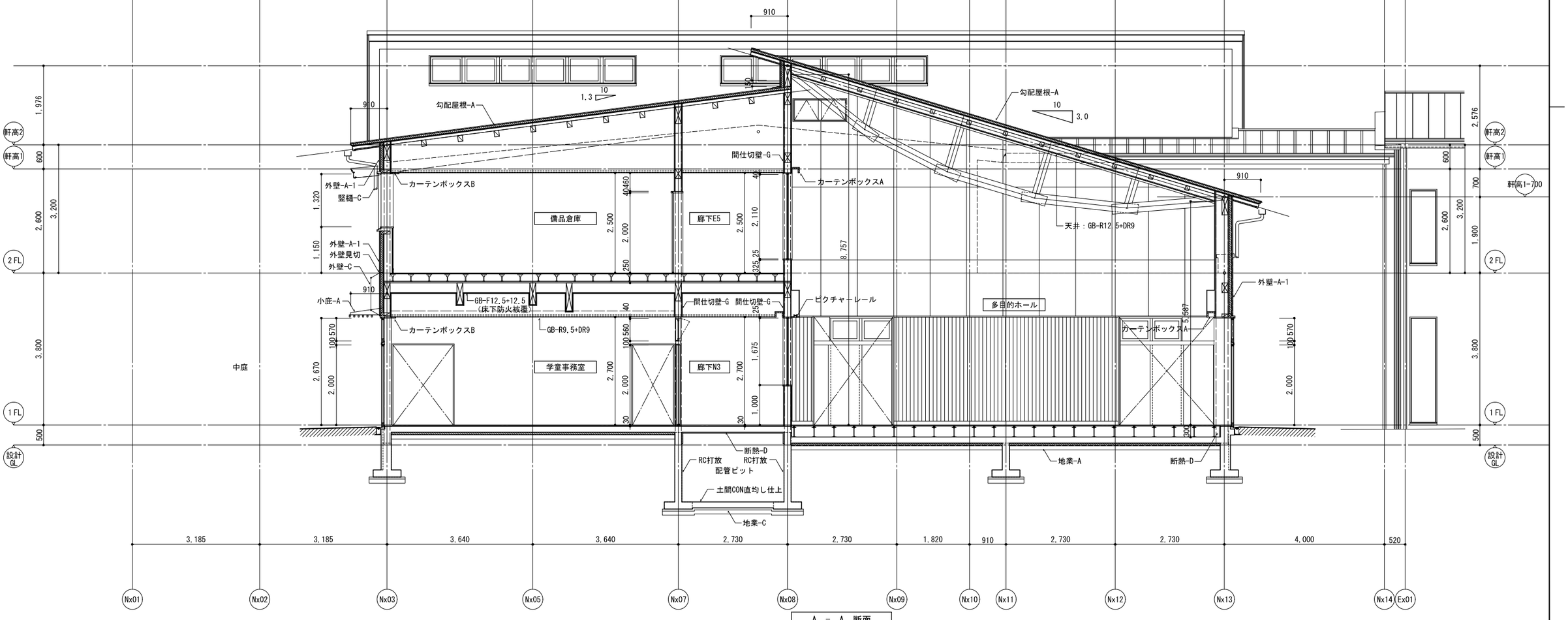
EXP.Jのクリアランスは200とする

株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	図面番号 A055
	一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 矩計図 その16 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	



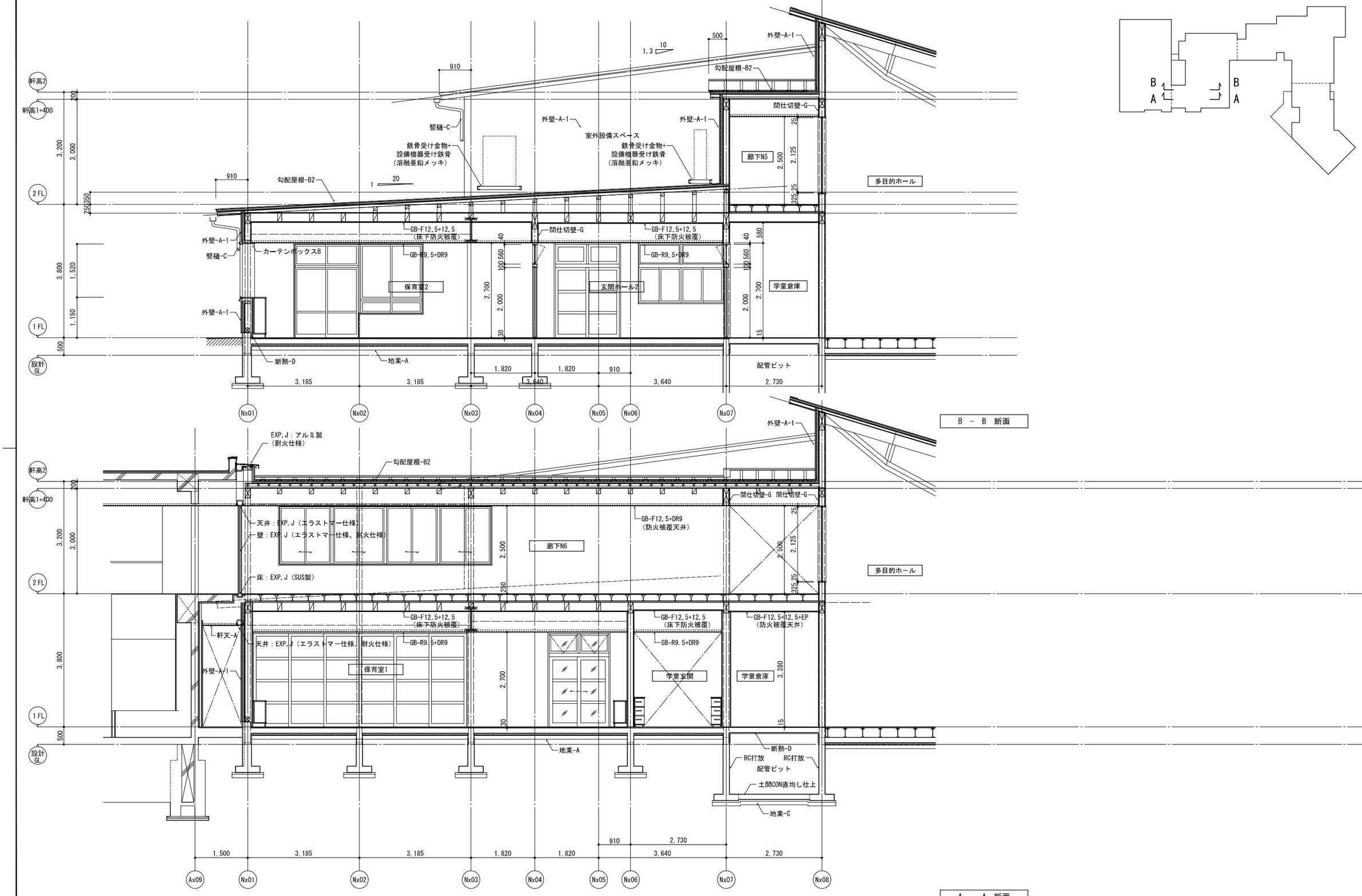


B － B 断面

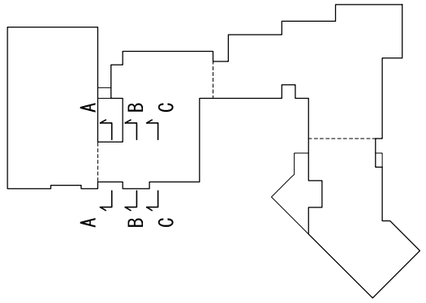


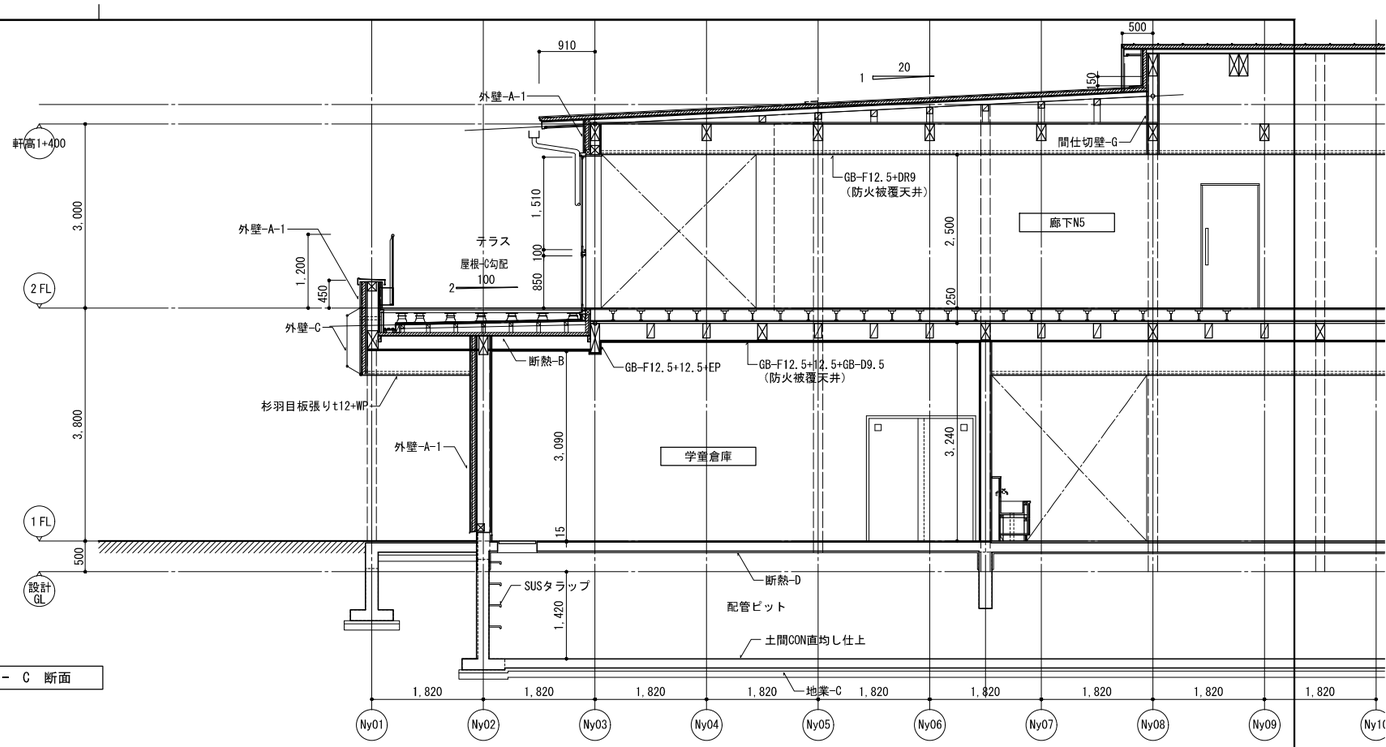
A － A 断面

株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
	一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 矩計図 その17 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100
					図面番号 A056

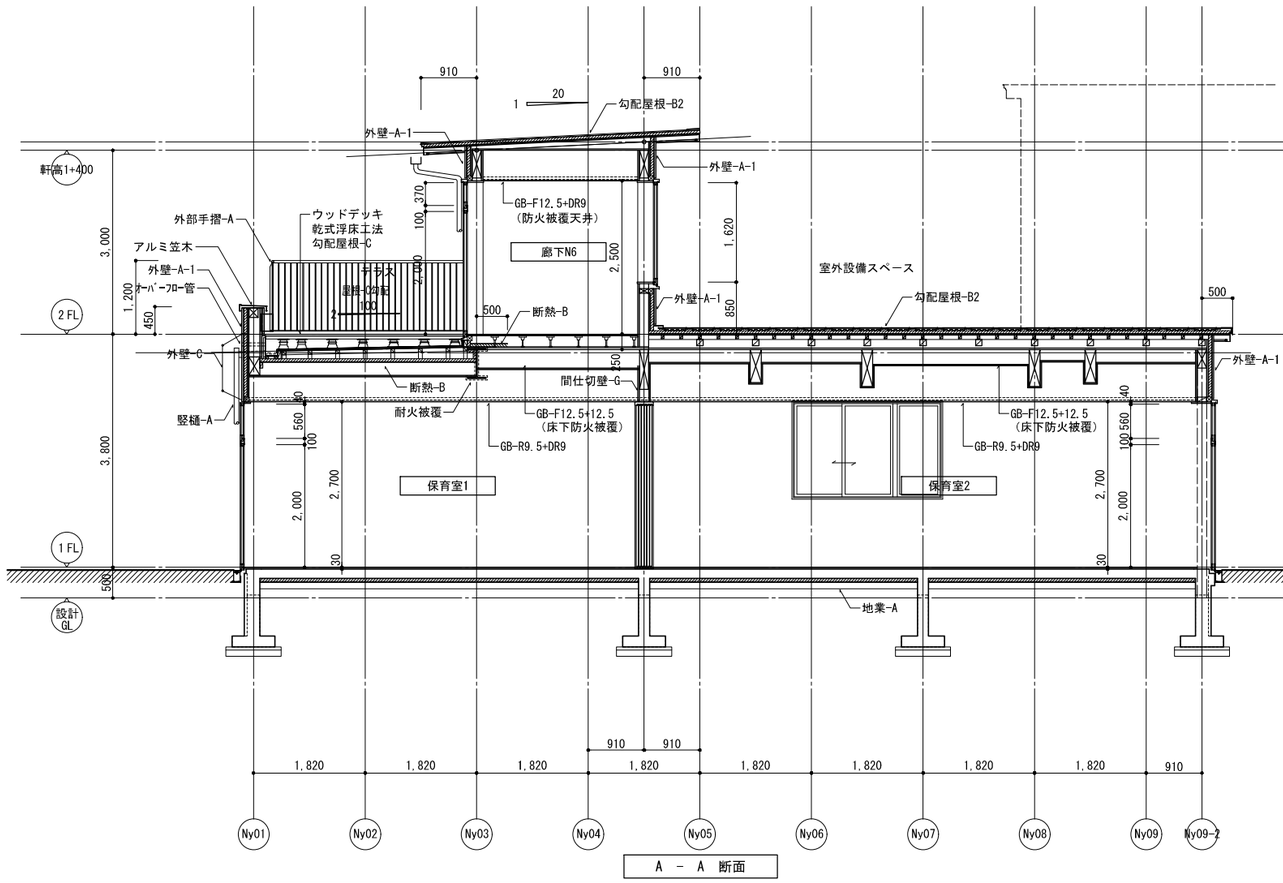


株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
	一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 矩計図 その18 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100
					図面番号 A057

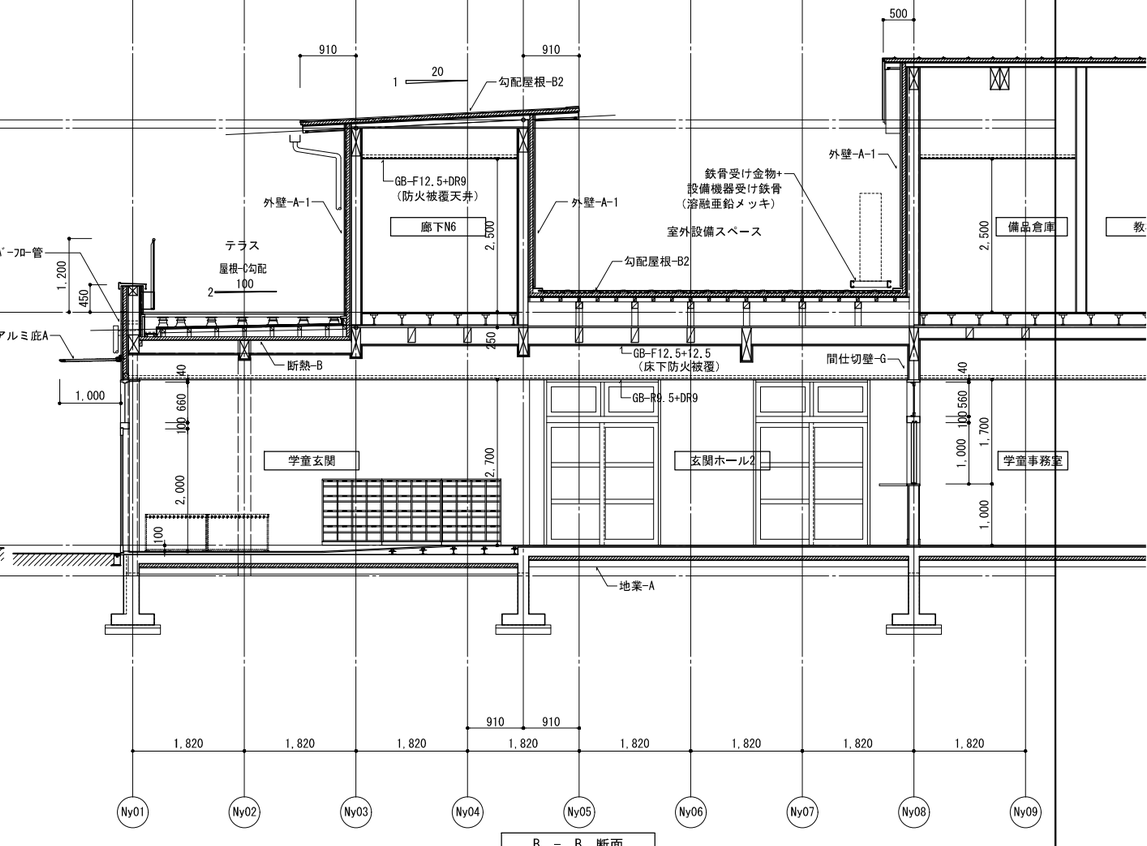




C － C 断面

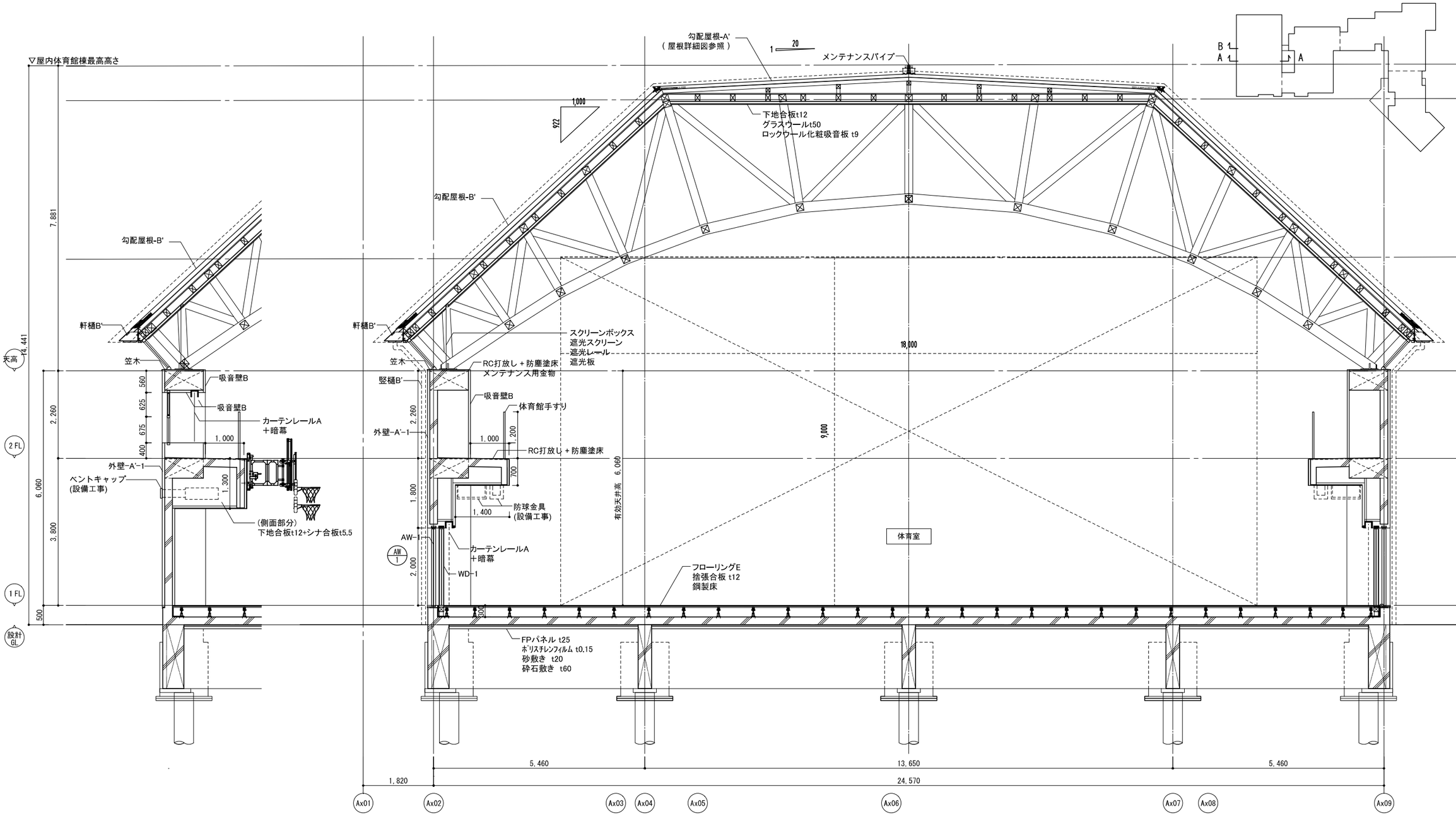


A － A 断面

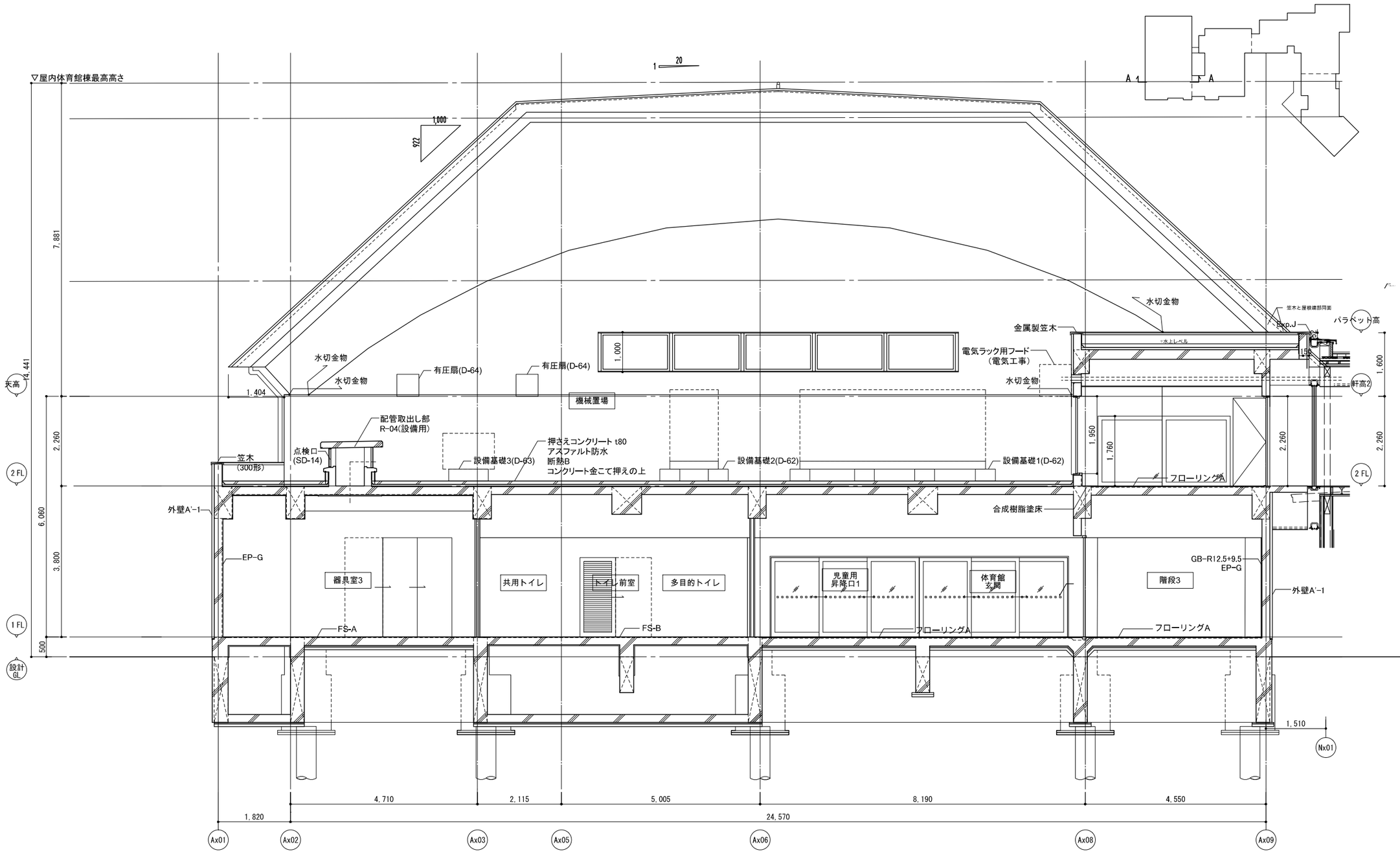


B － B 断面

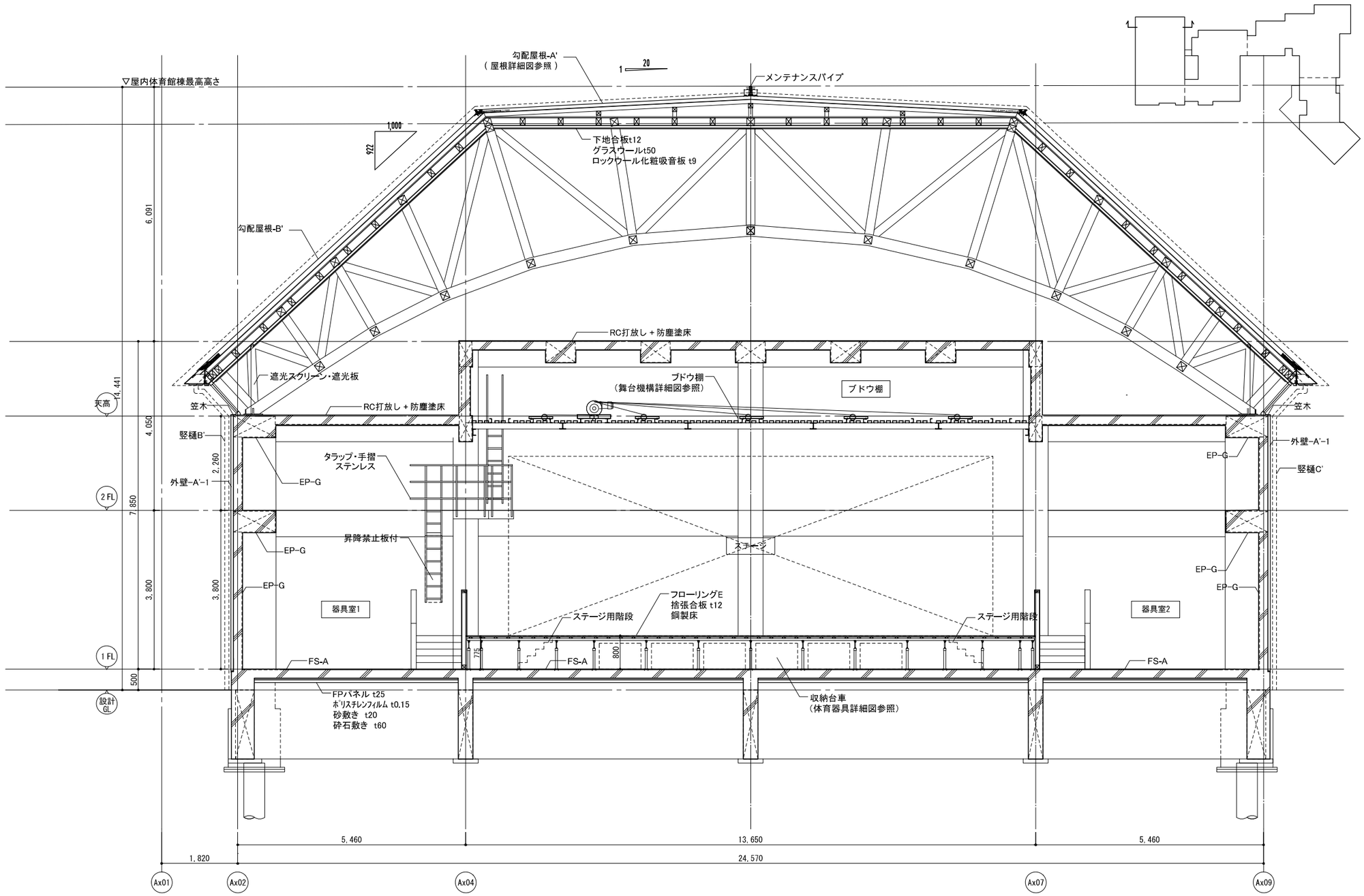
株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
	一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 矩計図 その19 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100
					図面番号 A058



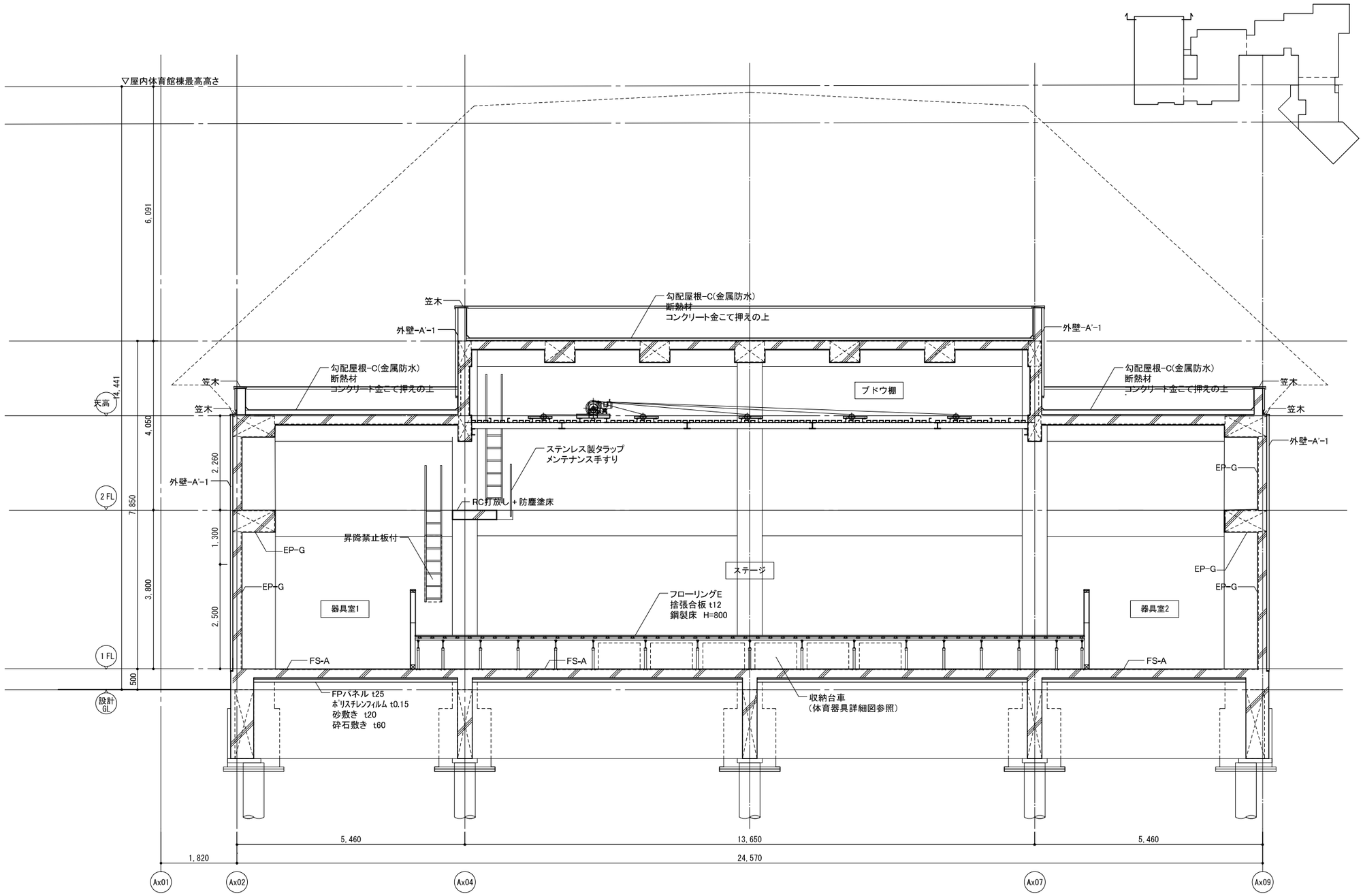
	株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	図面番号 A059
		一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 矩計図　その１　（屋内体育館棟） 縮尺　A1：1/50 A3：1/100	



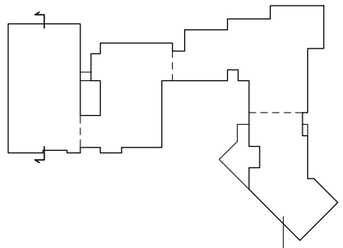
	株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	図面番号 A060
		一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 矩計図　その２　（屋内体育館棟） 縮尺　A1: 1/50 A3: 1/100	

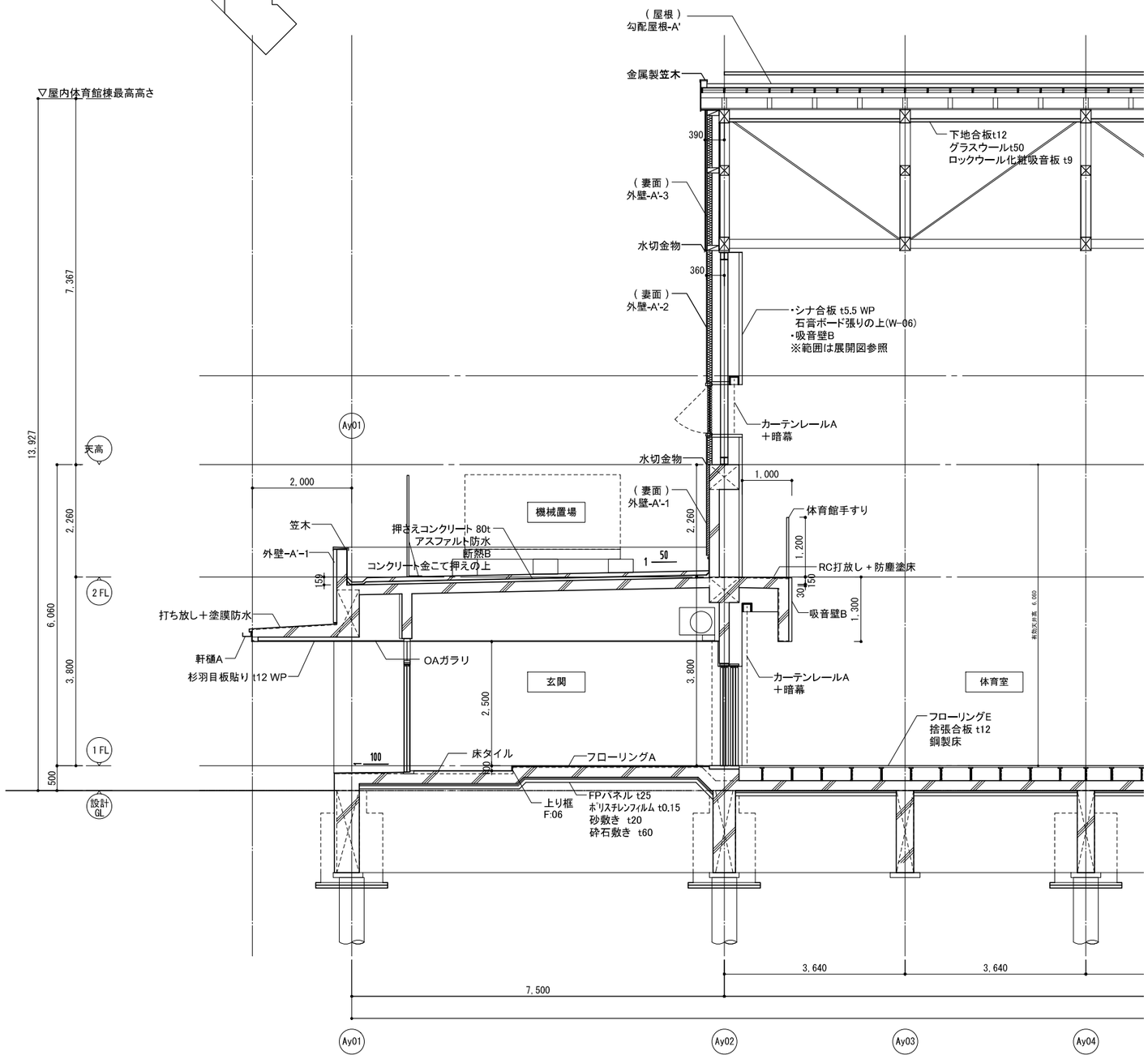


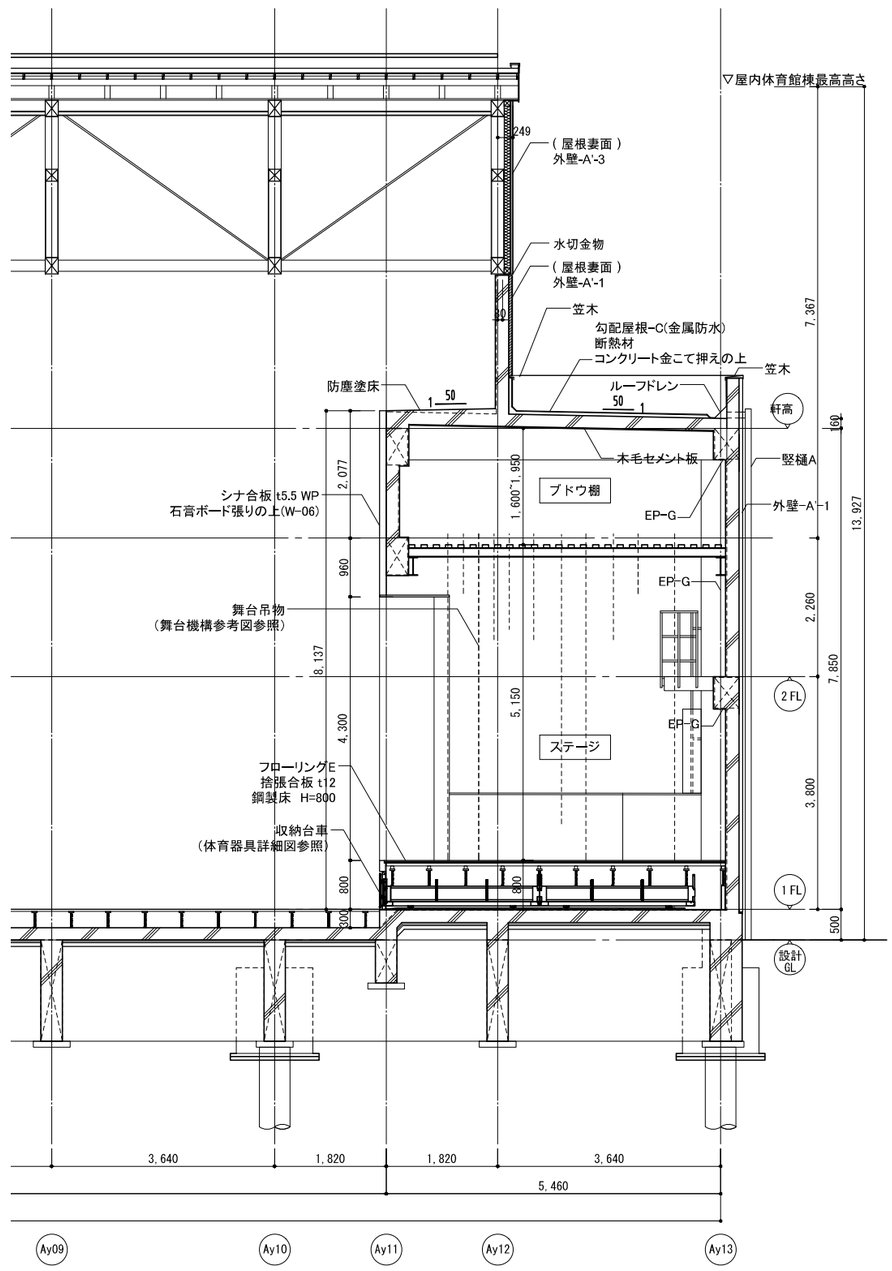
	株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
		一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 矩計図　その３　（屋内体育館棟） 縮尺　A1：1/50 A3：1/100
						図面番号 A061



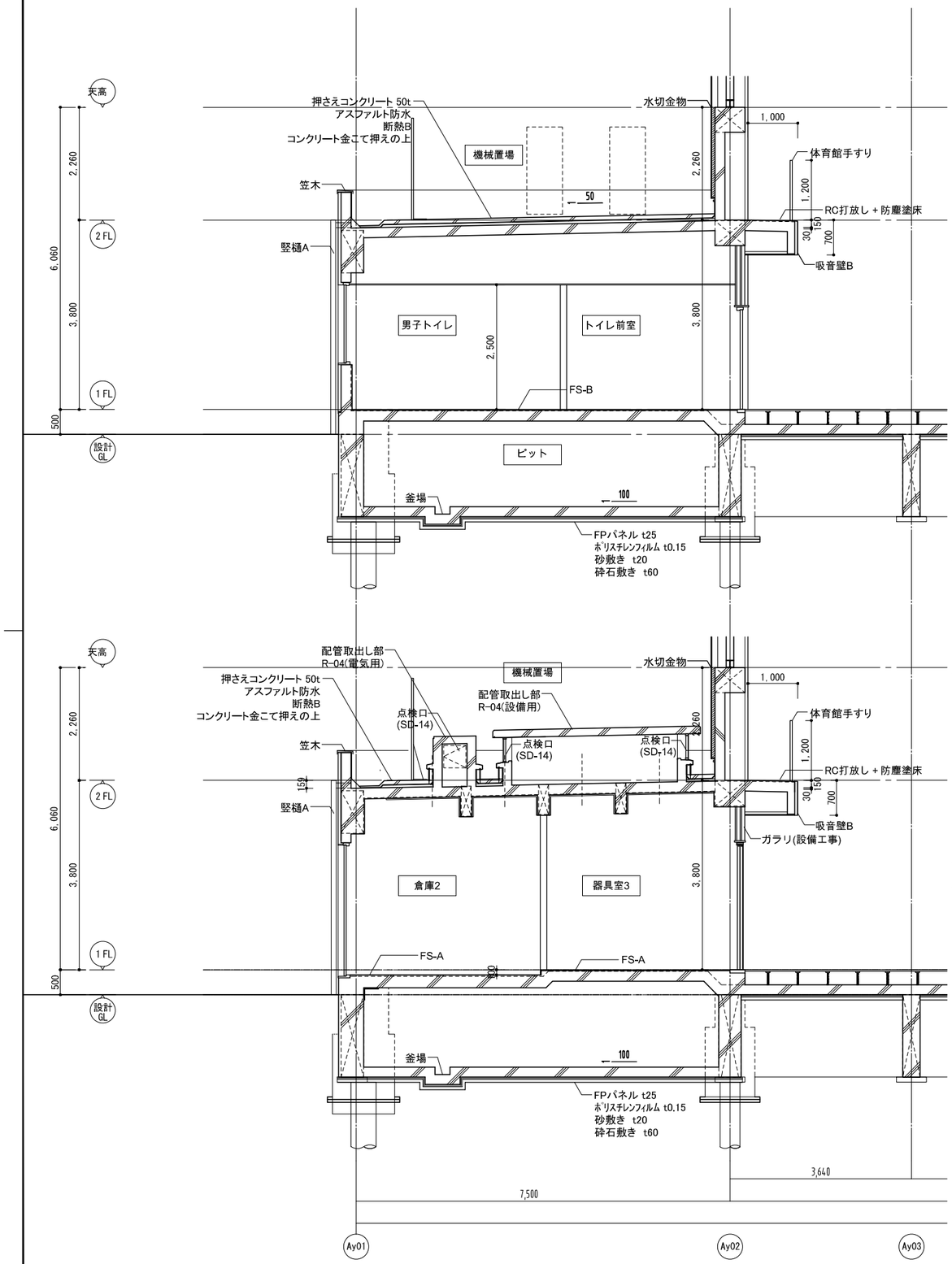
	株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
		一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 矩計図 その４ (屋内体育館棟) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100
						図面番号 A062

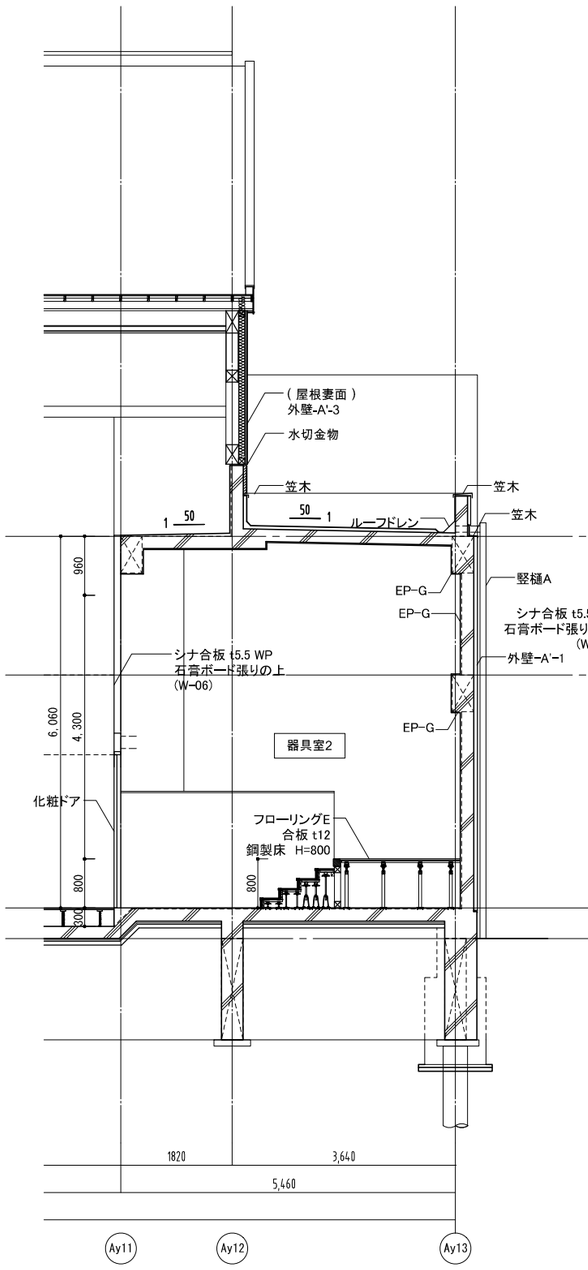


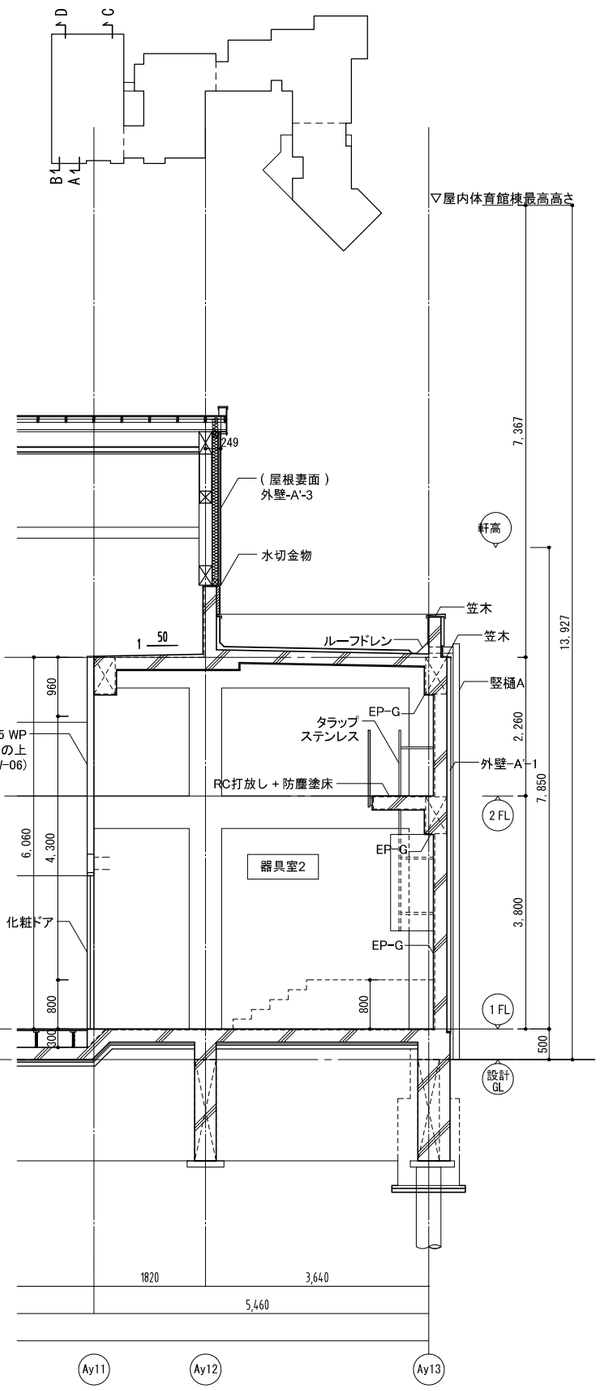




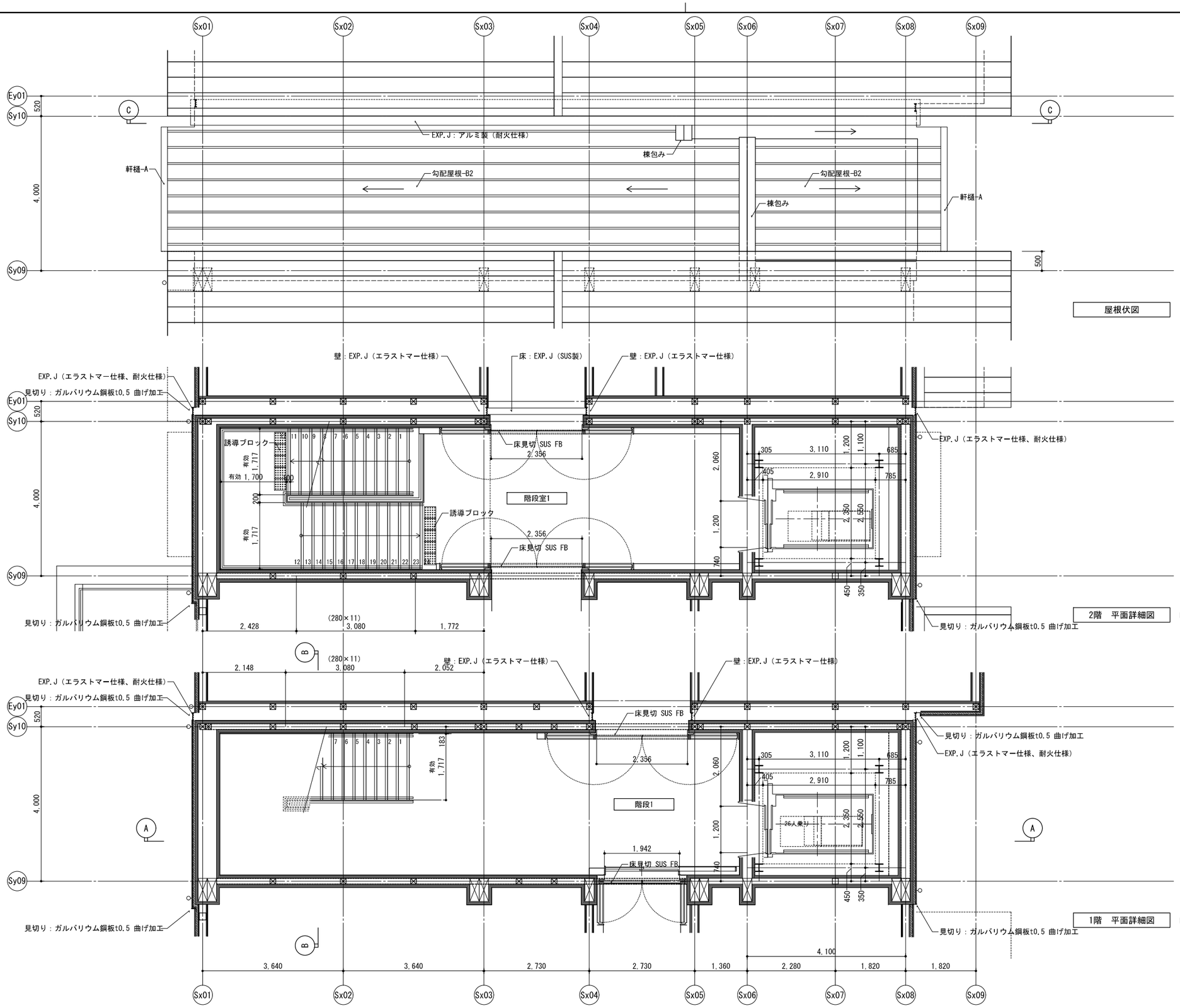
株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
	一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 矩計図　その５　（屋内体育館棟） 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100
					図面番号 A063



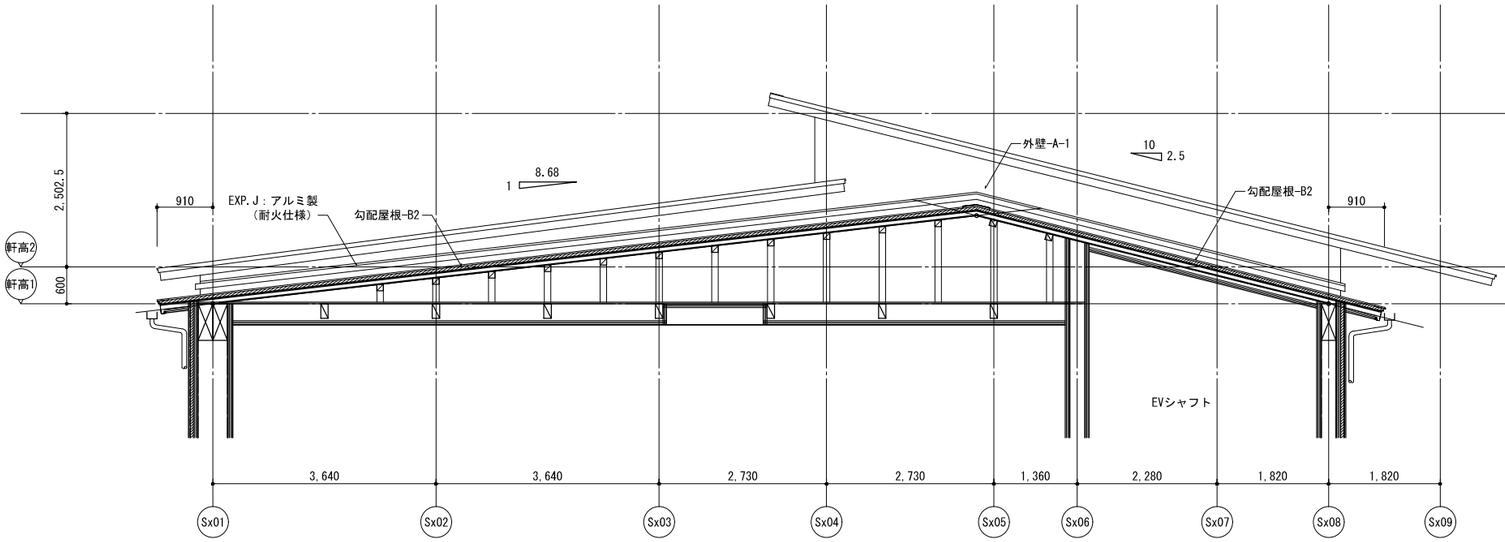




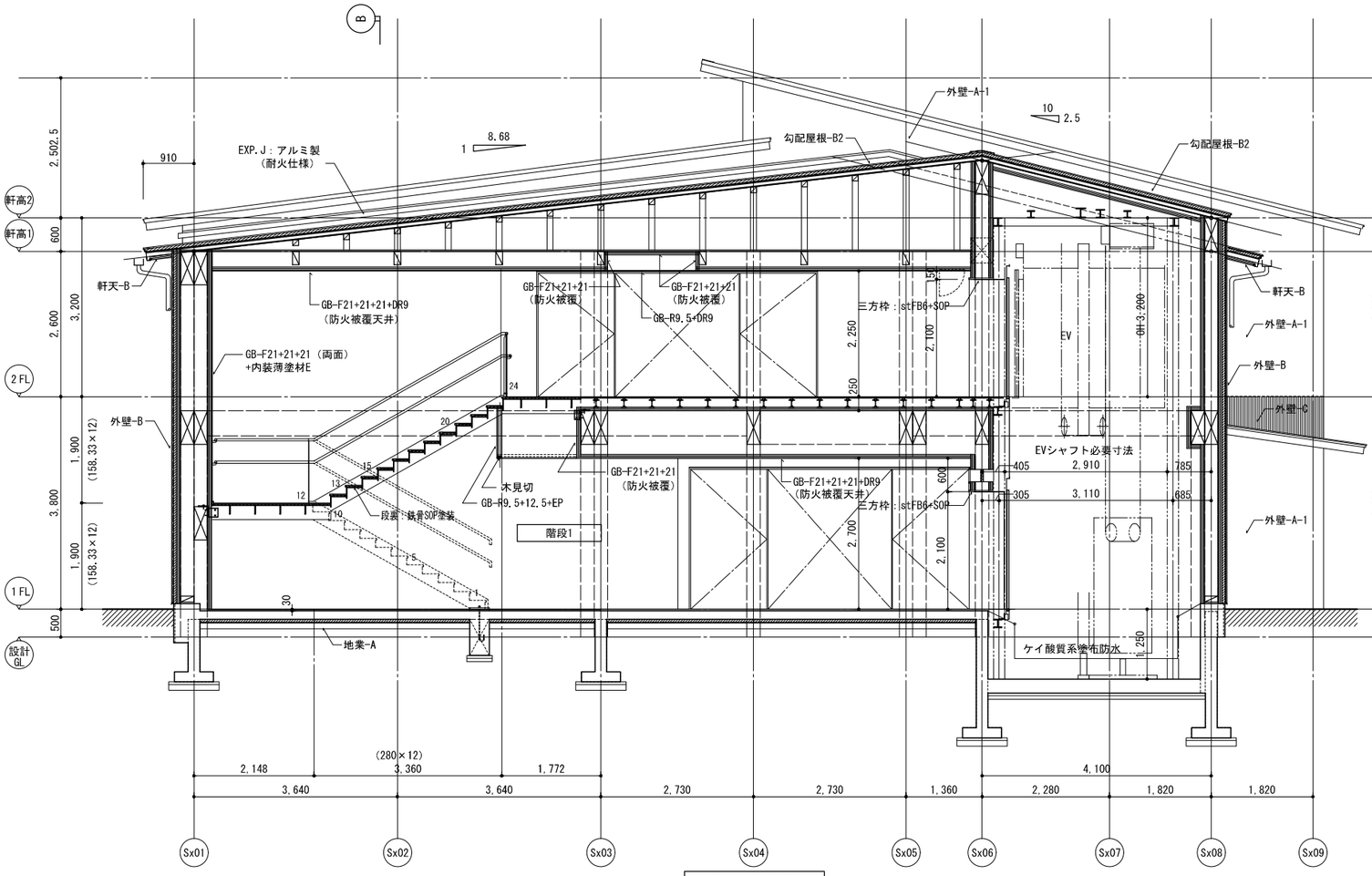
株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
	一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 矩計図 その6 (屋内体育館棟) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100
					図面番号 A064



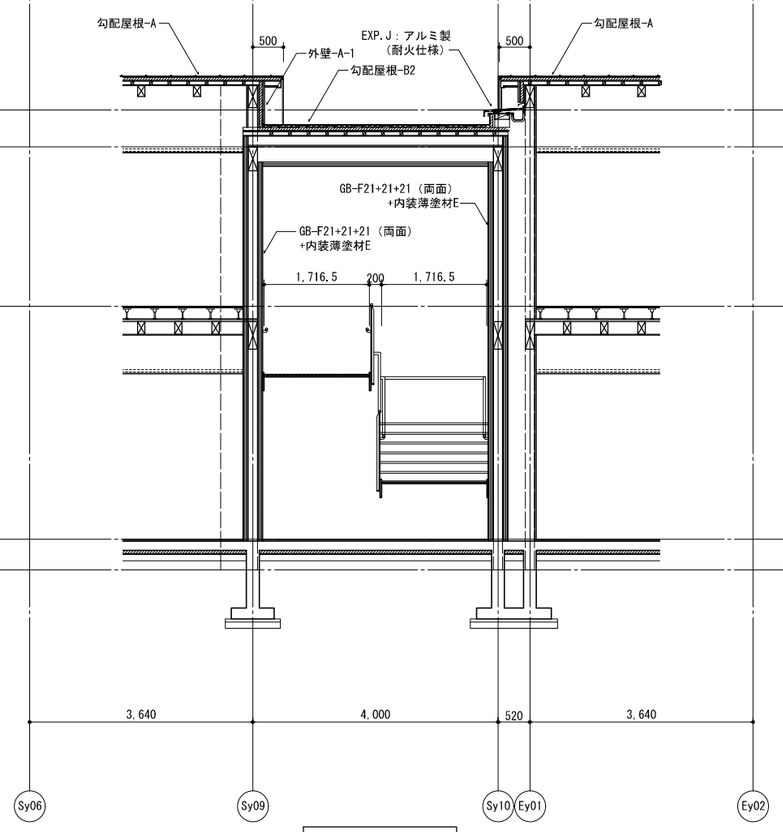
株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
	一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 階段室1詳細図 その1 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100
					図面番号 A065



C － C 断面

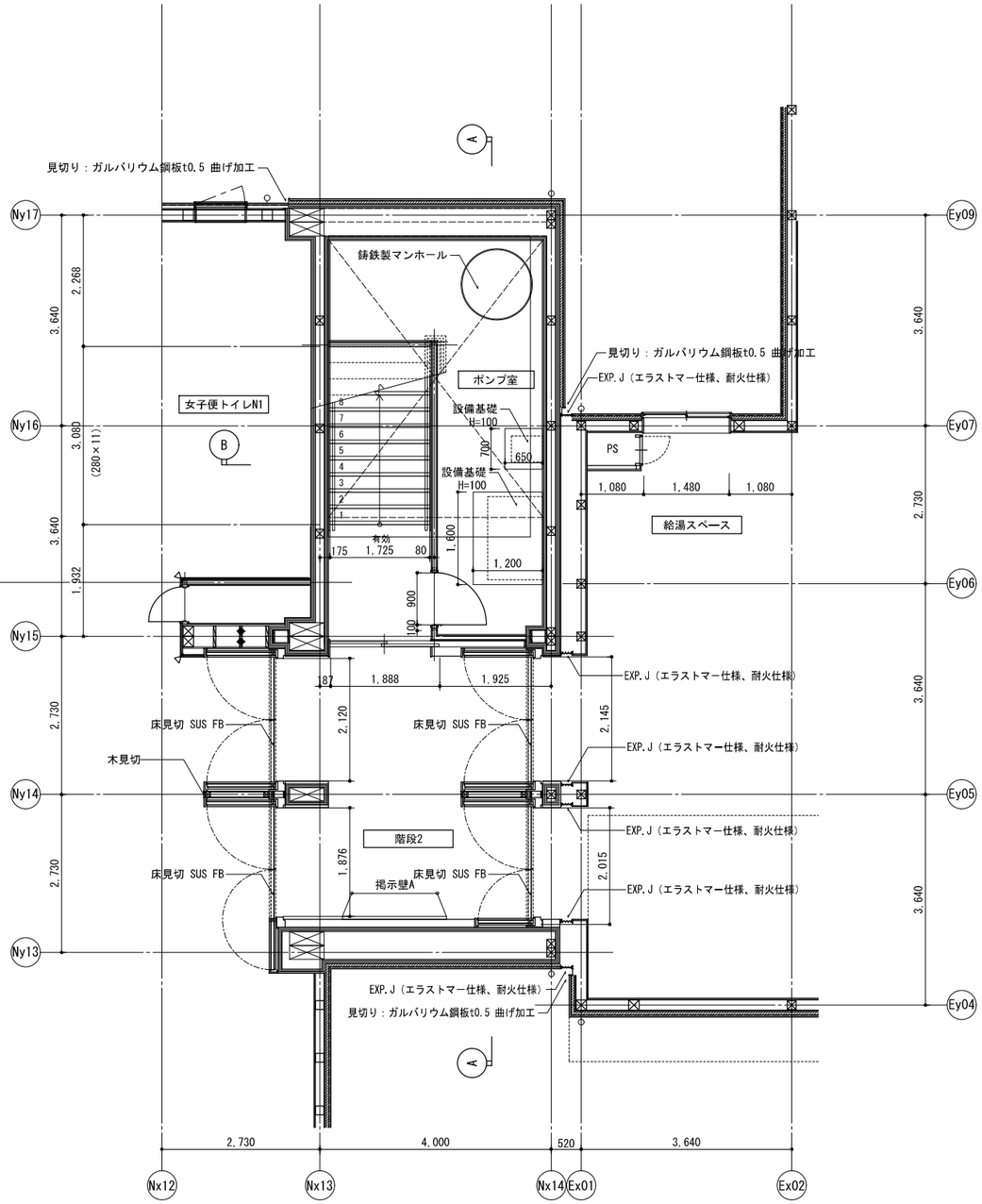


A － A 断面

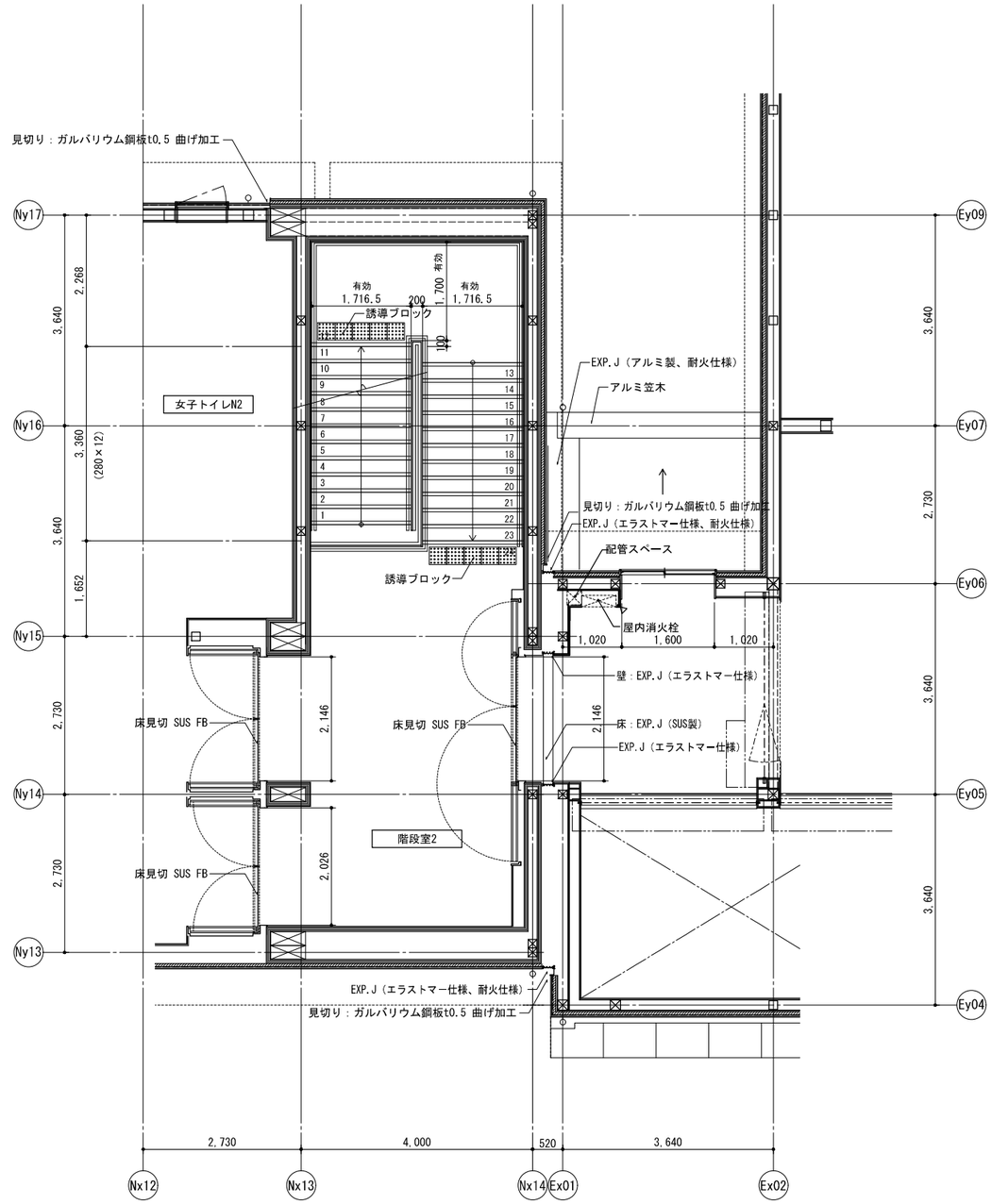


B － B 断面

株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考	工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
	一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶 / 建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 階段室1詳細図 その2 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100
				図面番号 A066

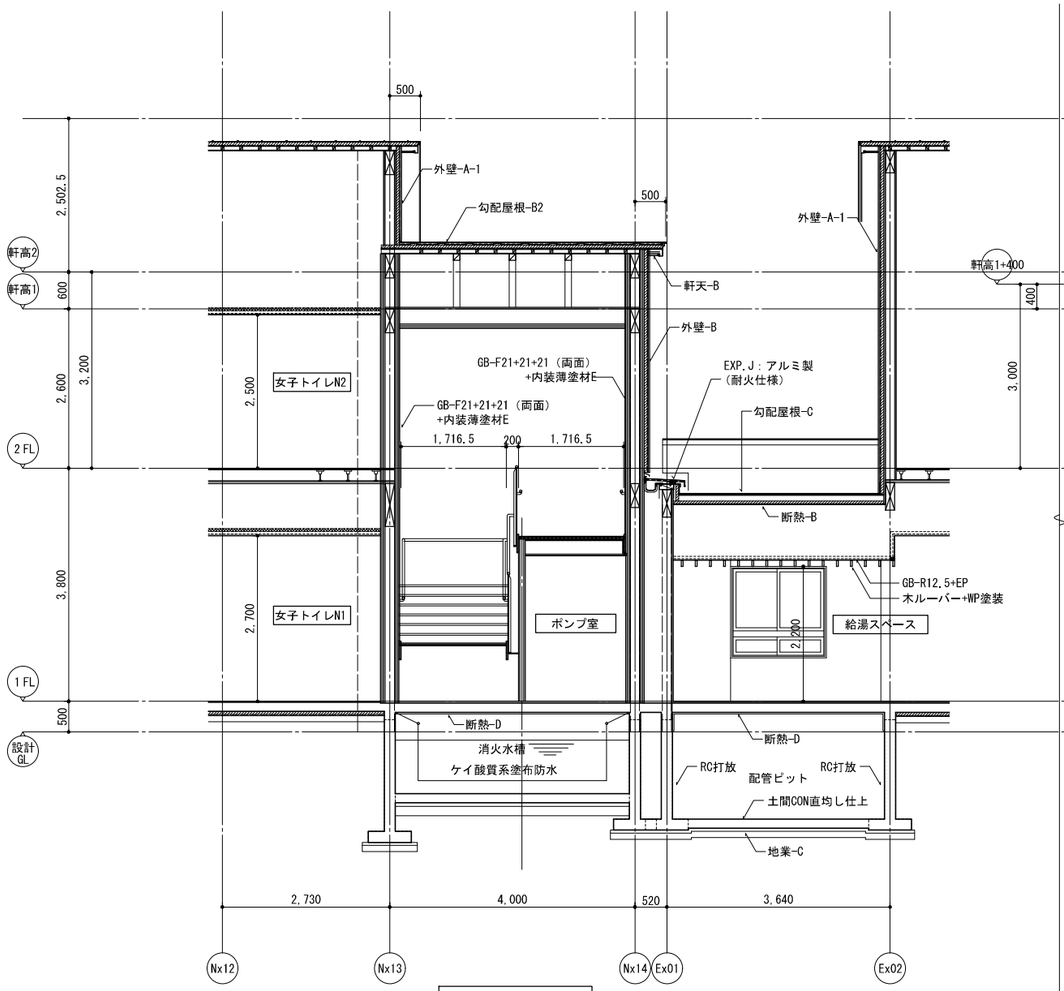


1階　平面詳細図　　EXP.Jのクリアランスは200とする

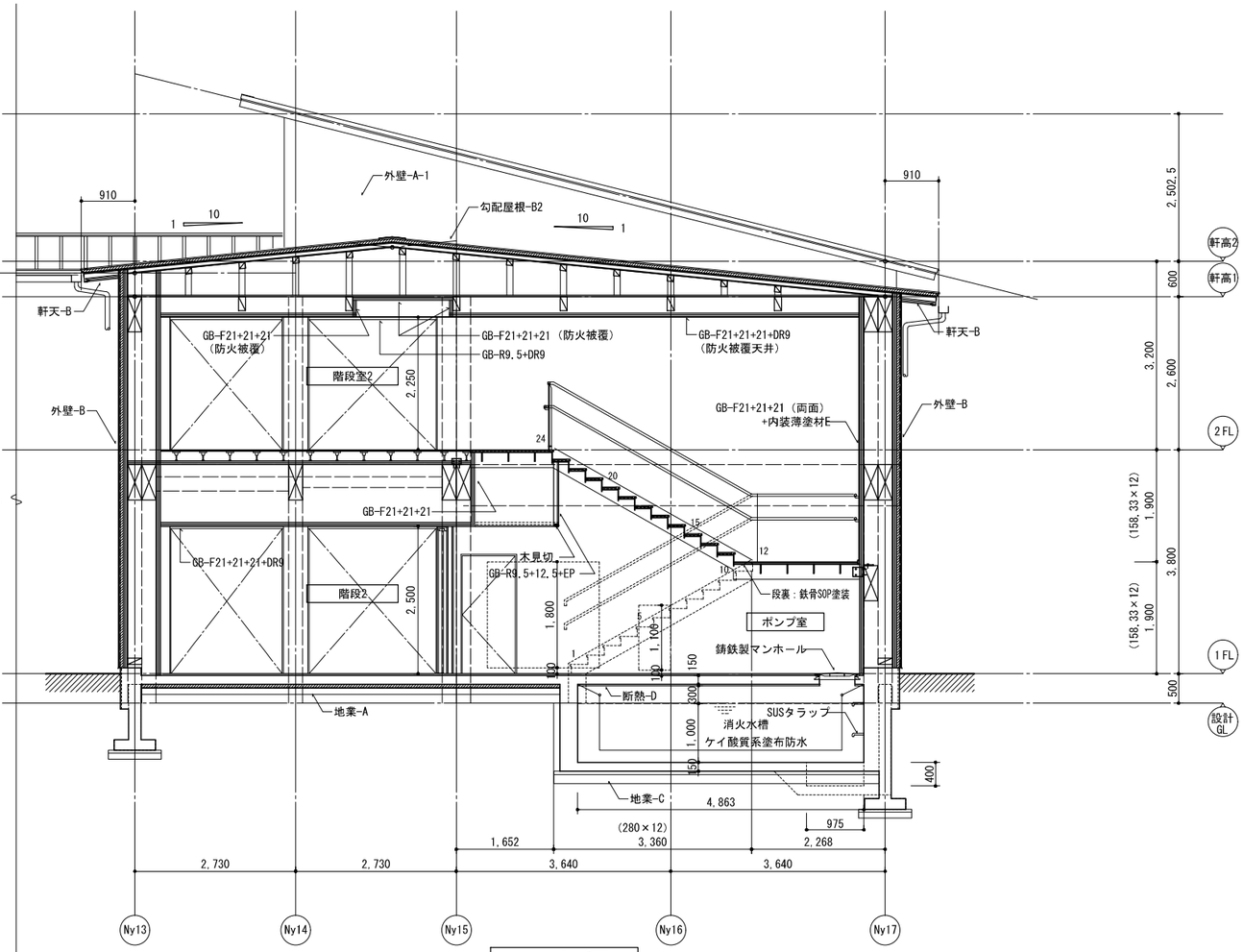


2階　平面詳細図　　EXP.Jのクリアランスは200とする

株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	図面番号
	一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 階段2詳細図　その1 縮尺　A1：1/50 A3：1/100	A067

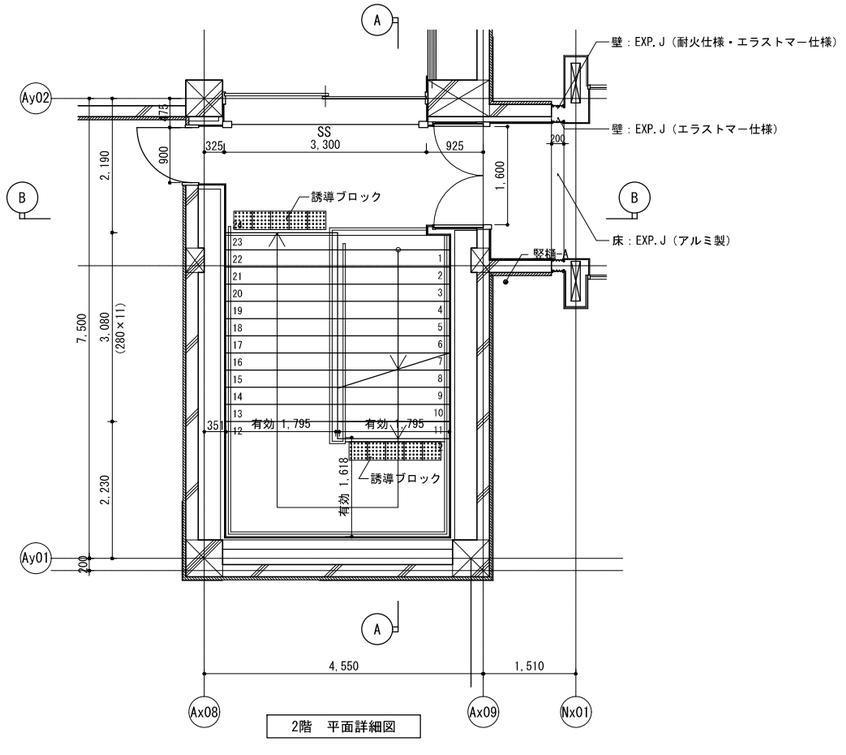


B － B 断面

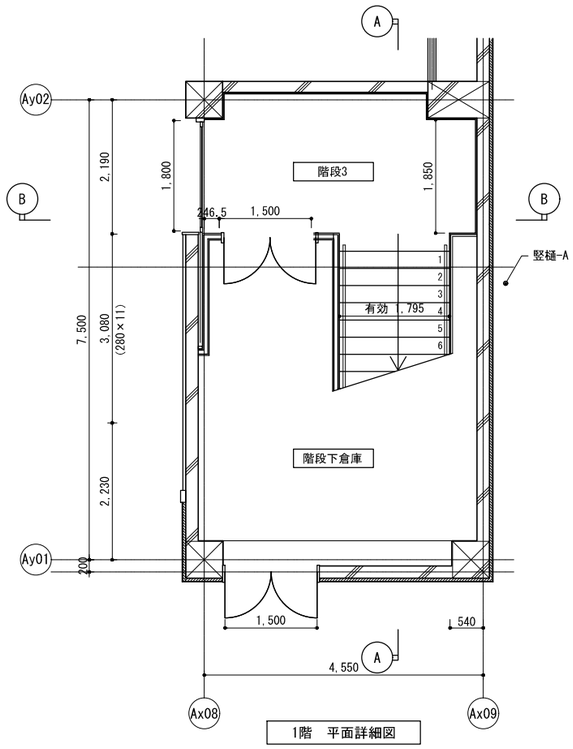


A － A 断面

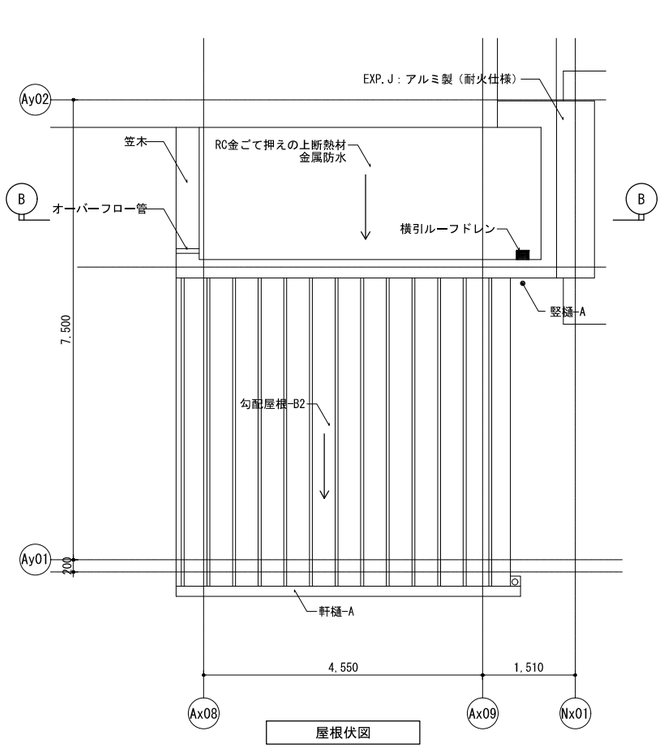
株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考	工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
	一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶 / 建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 階段2詳細図　その2 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100
				図面番号 A068



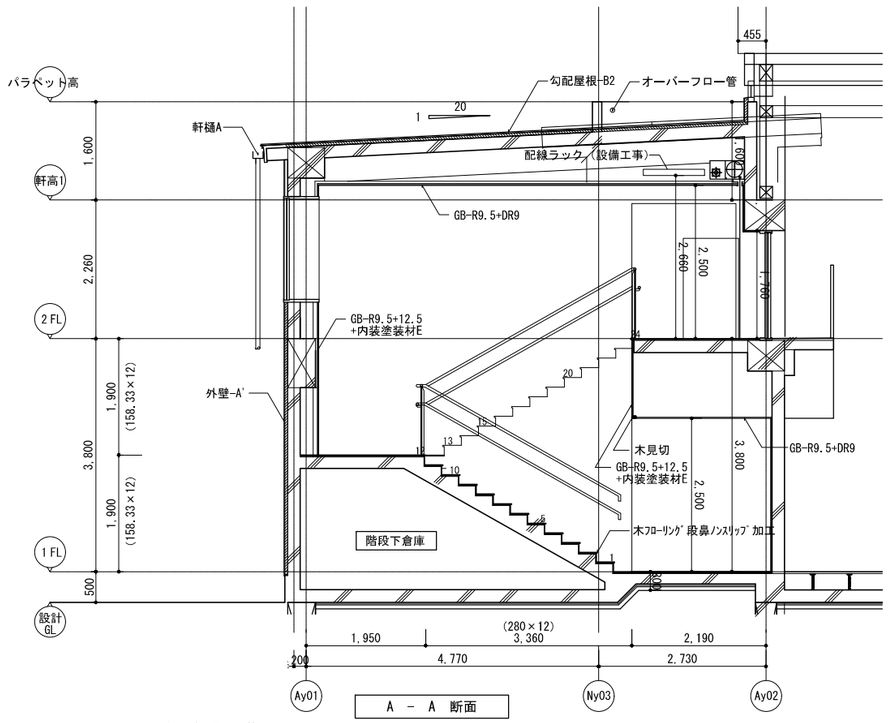
2階　平面詳細図



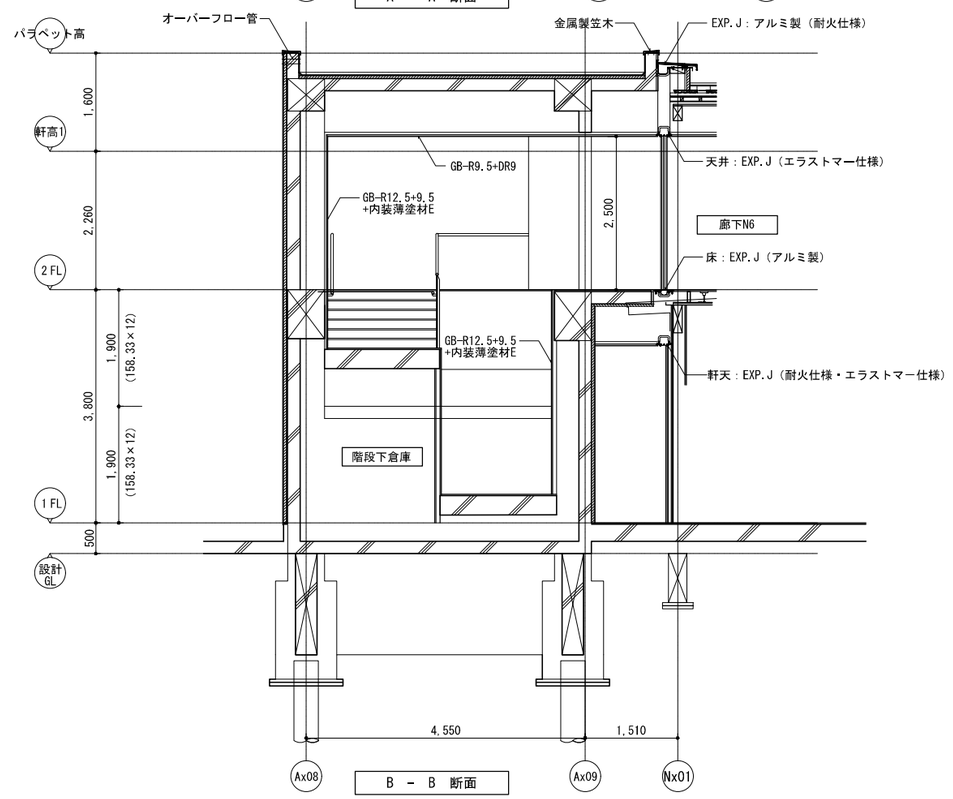
1階　平面詳細図



屋根伏図



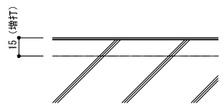
A - A 断面



B - B 断面

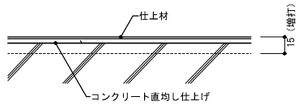
株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	図面番号 A069
	一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 階段3詳細図 縮尺　A1：1/50 A3：1/100	

F-01 合成樹脂塗り床 1／5



仕上材	仕上表による

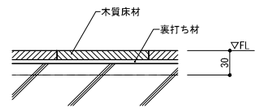
F-02 合成樹脂系タイル、シート、ゴム系タイル張り（セルフレベリング材下地） 1／5



※不陸が大きく必要な場合

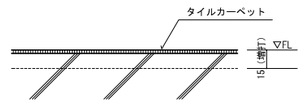
仕上材	仕上表による
	セルフレベリング材はセメント系とし、厚さは10mmとする　F－１４－３

F-03 木質床材直張り 1／5



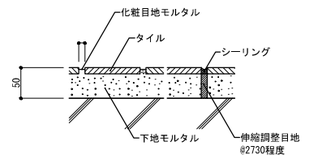
適　用	フローリング各種
材　種	特記仕様書による
仕上材	ウレタン樹脂ワニス塗り（又は塗装品）
厚さは内部仕上表による	

F-04 タイルカーペット張り 1/5



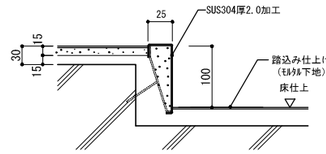
※	FLとSLとの差が15を超える場合は増打は、なしとする

F-05 床用タイル張り 1／5

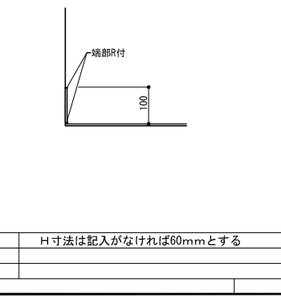


適　用	仕上表による
材　種	仕上表による
仕上材	仕上表による
目地巾は、記入がなければ 7mmとする	F－１２－３

F-06 上り框（SUS製） 1／5

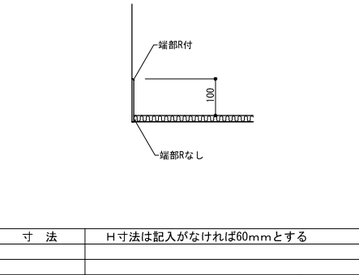


F-07 鋼製床組 1／5



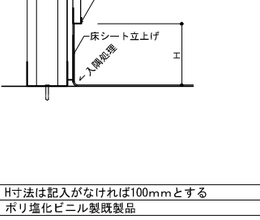
床板材種	内部仕上表による
H寸法	150　　（H寸法は100以上とする）
	図示はパネル工法を示す。根太組立方式も可とする。

F-08 縁甲板張 1／5



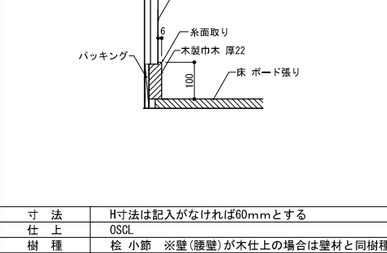
ボード寄せ・見切	桧素地

F-09 EPS床下地（畳敷き） 1/10



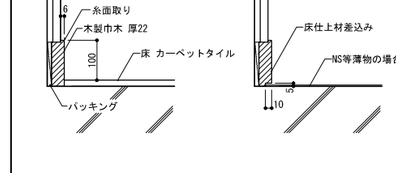
畳寄	桧　15×55 程度　UC

F-10 上框 1/10

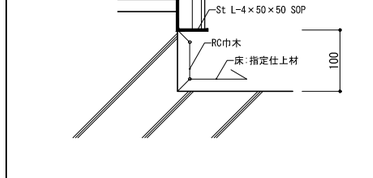


アンカー	アンカーボルト9⊘又はあと施工アンカーM10　@1200内外及び材端
樹種	桧

F-11 OAフロア 1/10



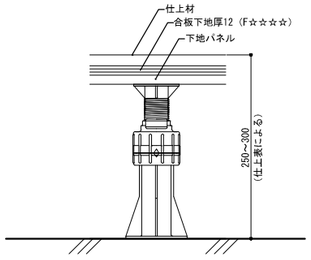
＜パネル構法（床仕上材：タイルカーペット）の場合＞



＜パネル構法（床仕上材：ビニル床シート・ビニル床タイル・タイル張り）の場合＞

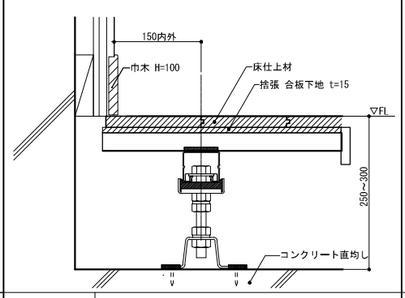
床仕上	仕上表による
H	仕上表による

F-12 プラスチック製床組 1／5

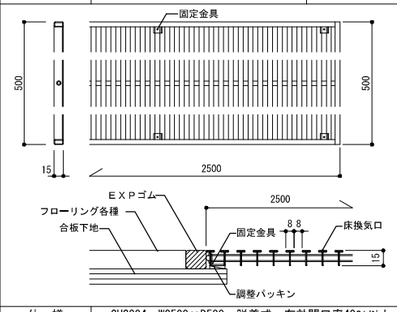


床版材種	内部仕上表による
H寸法	図示
仕上材	図示はパネル工法を示す。根太組立方式も可とする。
置床（既製品）の形状は参考とする	F－１５－３

F-13 壁・高床取合い 1／5

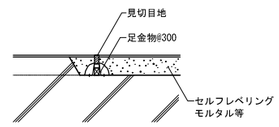


F-14 床下換気口（ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製床組） 1／3，1／5



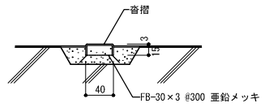
仕　様	SUS304　W2500×D500　脱着式　有効開口率40%以上

F-15 見切目地（床見切りA） 1／5



見切目地は記入がなければｽﾃﾝﾚｽSUS304　9×12とする　F－２１－１

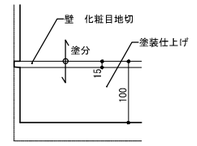
F-16 床見切縁（床見切りB） 1／5



沓　摺	ステンレスSUS304　t1.5　No.2 B 仕上

D－１７－３

F-17 塗床巾木 1／5



寸　法	H寸法は記入がなければ60mmとする

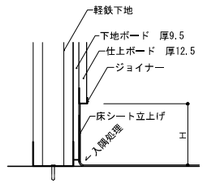
F-18 ビニル巾木 1／5

寸　法	H寸法は記入がなければ60mmとする

F-19 ビニル巾木（床タイルカーペット仕上） 1／5

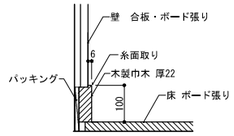
寸　法	H寸法は記入がなければ60mmとする

F-20 床材立上げ（ビニル系シート・軽鉄下地） 1／5



寸　法	H寸法は記入がなければ100mmとする
ジョイナー	ポリ塩化ビニル製既製品

F-21 木製巾木（１） 1／5



寸　法	H寸法は記入がなければ60mmとする
仕　上	OSCL
樹　種	桧 小節　※壁(腰壁)が木仕上の場合は壁材と同樹種

F-22 木製巾木（２） 1／5

寸　法	H寸法は記入がなければ60mmとする
仕　上	OSCL
樹　種	桧 小節　※壁(腰壁)が木仕上の場合は壁材と同樹種

F-23 RC巾木 1／5

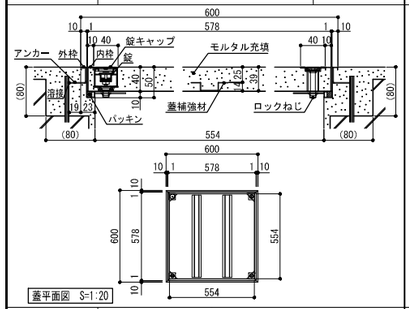
寸　法	H寸法は記入がなければ100mmとする
仕　上	RC(B)種補修の上、半透明着色撥水剤

株式会社 東畑建築事務所
TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

設計番号	作成日	種別/備考		工事名称
20250043	2026.3			須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
一級建築士 NO.273069	一級建築士 NO.343695	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786	建築設備士 NO.09E1-0256YY	図面名称
高木　耕一	久保　久志	中牟田　昌慶	三宅　光義	標準詳細図　その１ 縮尺　A1: A3:

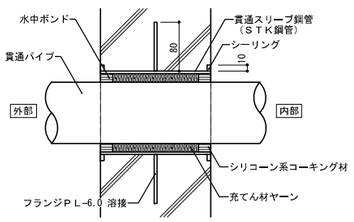
図面番号 A070

F-24 床下点検口（既製品） 1／5



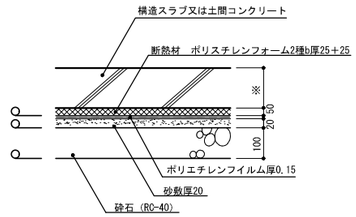
仕　様	防水・防臭タイプ
	モルタル充填
	カギ付

F-25 配管ピット外壁貫通孔 1／5



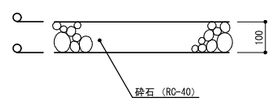
水中ボンド、コーキング材及び充てん材は設備工事とする
貫通スリーブ内部は防錆塗装とする
充てん材は、記入がなければ麻製(縒り紐状)厚23mm以上とする

F-26 地業 A 1／10



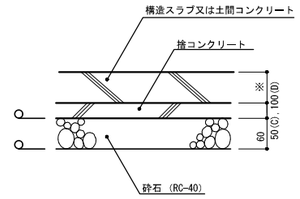
○印は、転圧を示す

F-27 地業 B 1／10



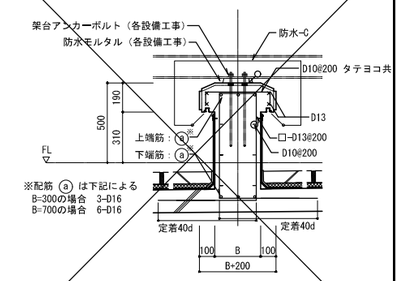
○印は、転圧を示す

F-28 地業 C,D 1／10



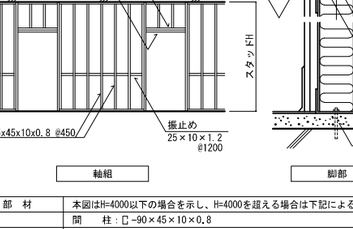
○印は、転圧を示す

F-＊ 屋外機基礎 1／20



○印は、転圧を示す
詳細は屋根廻り部分詳細図による

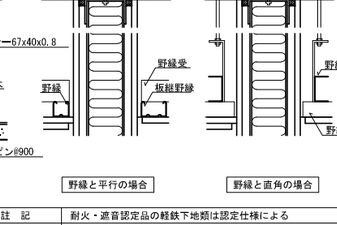
F-29 吊フック（ＲＣ梁の場合） 1／10



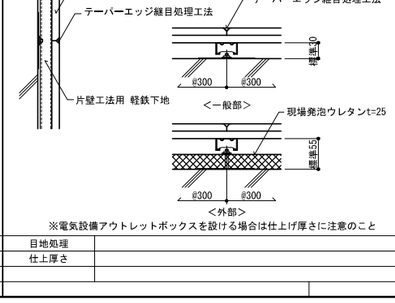
フック近辺に吊荷重制限を表示のこと

本図の対象吊荷重は、30kN以下の場合とする　Ｆ－５１－５

F-30 現場打ちコンクリート設備基礎 1／20



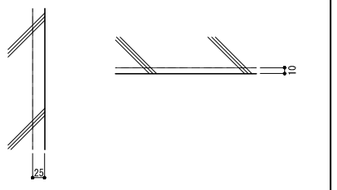
F-31 屋内機械基礎 1／20



仕　上　コンクリート直均し仕上げ

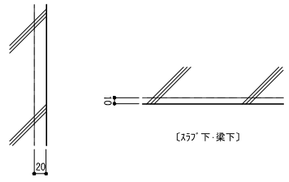
H寸法は200以下とする　Ｆ－６１－１

W-01 コンクリート 打放し仕上げ(外壁) 1／5



増打寸法	図中特記外、上記寸法とする

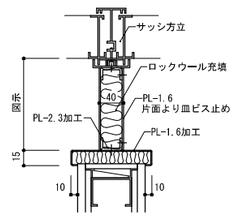
W-02 コンクリート 打放し仕上げ(内部) 1／5



標仕表6.2.3	⊙ A種	⊙ B種	・ C種
施工箇所	打放し仕上部	その他	

Ｗ－１３－１

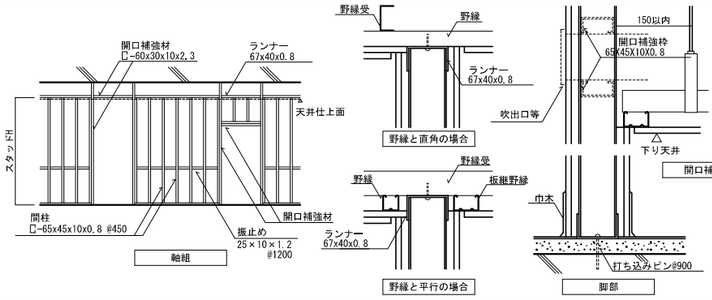
W-03 壁とサッシ取り合い 1／5



仕　上	SOP
ロックウール	80kg/m³

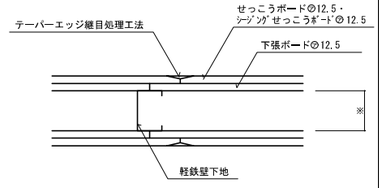
Ｗ－２１－１

W-04 軽鉄壁下地（せっこうボード張りの場合） 1/10



部　材	本図はH=4000以下の場合を示し、H=4000を超える場合は下記による
	間　　柱：□-90×45×10×0.8
	ランナー：□-92×40×0.8
	開口補強：冂-75×45×15×2.3

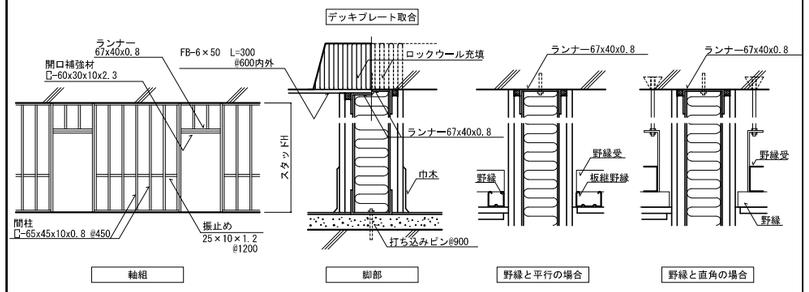
W-05 せっこうボード張り（軽鉄下地の場合） 1/5



軽鉄壁下地H=4m以下は65、4mを超え4.5m以下は90、4.5mを超え5m以下は100とする

図中凡例	せっこうボード張り
下張ボード	一般部：せっこうボード@12.5
	下地共不燃の場合：不燃積層せっこうボード@12.5

W-06 軽鉄壁下地（遮音壁・耐火壁・耐火遮音壁の場合） 1/10



部　材	本図はH=4000以下の場合を示し、H=4000を超える場合は下記による
	間　　柱：□-90×45×10×0.8
	ランナー：□-92×40×0.8
	開口補強：冂-75×45×15×2.3

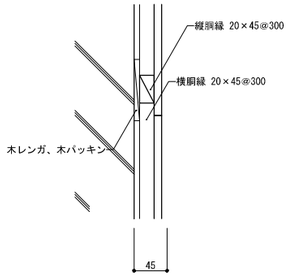
註　記	耐火・遮音認定品の軽鉄下地類は認定仕様による

W-07 せっこうボード張り（片壁工法） 1/5

※電気設備アウトレットボックスを設ける場合は仕上げ厚さに注意のこと

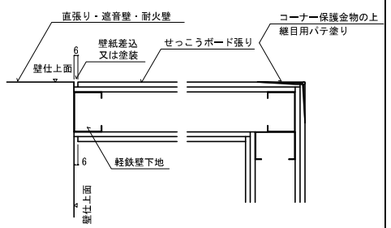
目地処理	
仕上厚さ	

W-08 ボード張り（片壁工法）（木下地） 1／5

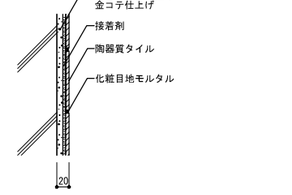


樹　種	杉

W-09 壁取合い 1/5

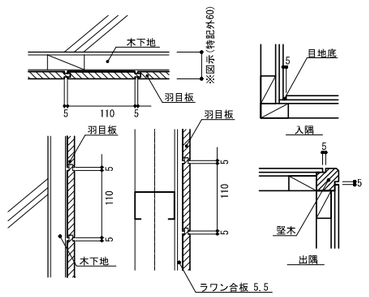


W-10 陶器質タイル張り（接着剤張り） 1／5



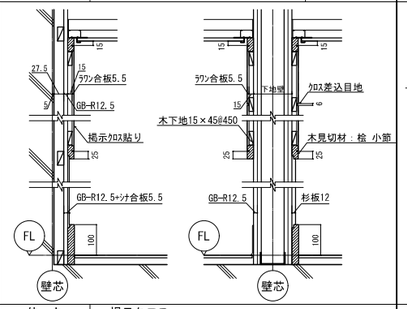
株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.				
設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 標準詳細図　その2 縮尺 A1: A3:
				図面番号 A071

W-11 羽目板張り 1／5



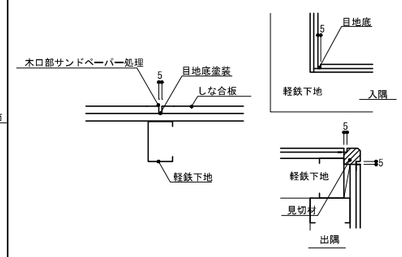
仕　上	本実目透かし張り　WP
見切材	壁同材
樹　種	杉　又は　桧　小節　又は　特一等

W-12 壁仕上詳細（掲示壁） 1／10



仕　上	掲示クロス
クロス差込目地	合板すかし貼りタテ目地@1200内外ヨコ目地@400(掲示ガイド)
木見切材	面取り処理

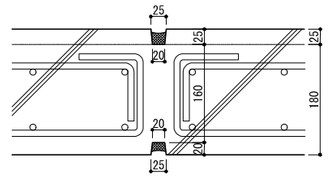
W-13 合板、ボード目透かし張り（軽鉄下地 二重張りの場合） 1／5



目地底	仕上塗装と同材塗
見切材	檜無垢材

目地巾は、記入がなければ 5mmとする

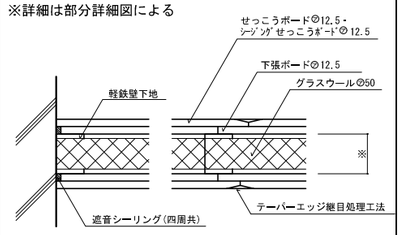
W-14 縦誘発目地 1／5



図は参考とし、詳細は構造図による

W-15 遮音壁 1/5

※詳細は部分詳細図による

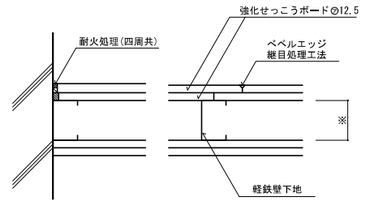


軽鉄壁下地H＝4m以下は65、4mを超え4.5m以下は90、4.5mを超え5m以下は100とする

図中凡例	遮音壁
下張ボード	一般部：せっこうボード◎12.5
	下地共不燃の場合：不燃積層せっこうボード◎12.5
グラスウール密度	32kg/m³

W-16 耐火壁 1/5

※詳細は部分詳細図による

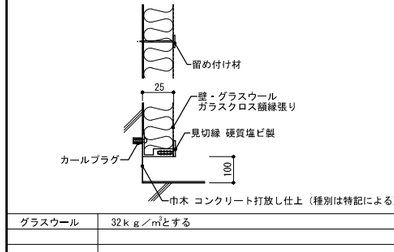


軽鉄壁下地H＝4m以下は65、4mを超え4.5m以下は90、4.5mを超え5m以下は100とする

耐火仕様	1時間耐火認定工法
図中凡例	耐火壁

W-17 耐火遮音壁 1/5

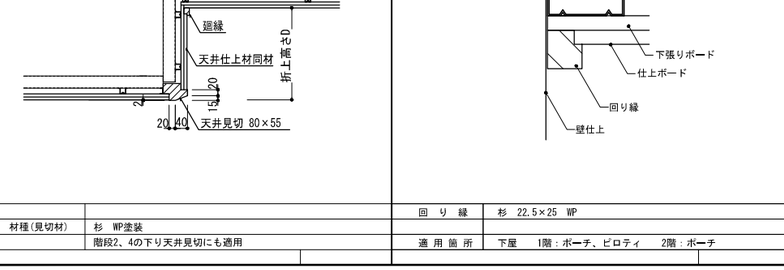
※詳細は部分詳細図による



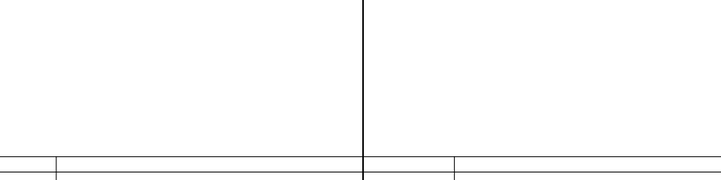
軽鉄壁下地H＝4m以下は75、4mを超え4.5m以下は100とする

耐火仕様	遮音構造・1時間耐火認定工法
図中凡例	

W-18 コンクリート打放し仕上の出隅 1／5



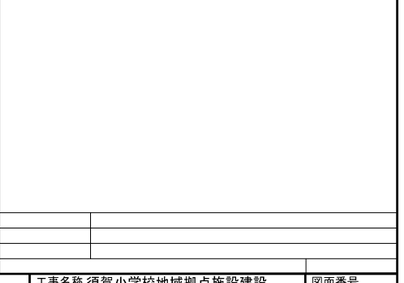
W-19 コンクリート打放し仕上の目地及び誘発目地 1／2



外壁の内部側の縦目地は、原則として外部縦目地と同位置に設ける

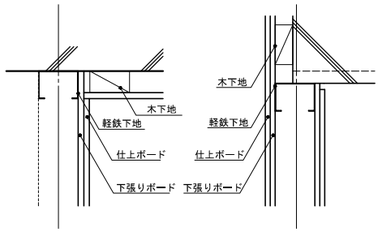
外壁の内部側の縦目地は、原則としてシーリングを施すこと

W-＊ 木ルーバー（壁） 1／5



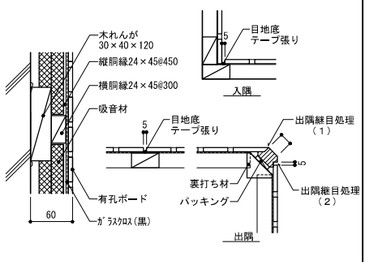
仕上	桧　40.35.25×50　@60内外　WP　　各材の比率は1:1:1とする
	GW　グラスウールt50　32kg/m³

W-20 入隅取り合い 1／5



適用	ＬＧＳ下地二重張又は仕上部+ＲＣ柱又は木下地壁取合

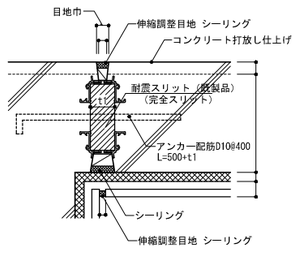
W-21 吸音壁（木製下地） 1／5



※縦、横胴縁において有孔部に掛かる材は、暗色塗装又は暗色テープ張りのこと

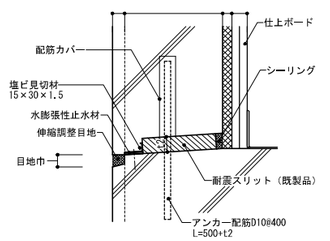
吸音材	記入がなければグラスウール32ｋｇ／ｍ（厚50）とする
有孔ボード	有孔シナ合板ｔ5.5(Bはt9)　WP　　孔形状　φ6
出隅縦目処理	出隅縦目処理（1）　出隅縦目処理（2）
有孔ボード、竪木の仕上げは特記による	

W-22 垂直耐震スリット（外壁コンクリート打放し仕上げ） 1／5



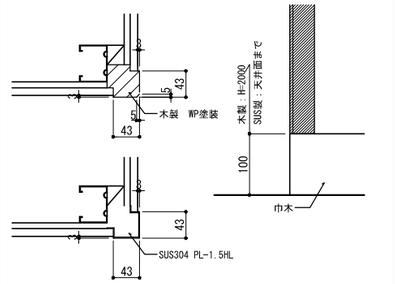
スリット厚	t1=25
材　質	

W-23 水平耐震スリット（外壁コンクリート打放し仕上げ） 1／5



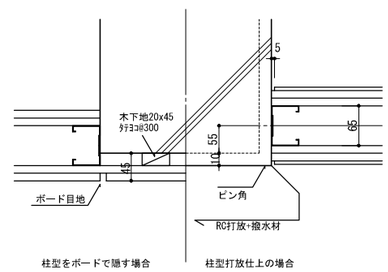
スリット厚	t2=25
材　種	

W-24 コーナーガード（ボード部） 1／5



見切材種	米栂　WP塗装
見切材種	配膳室：SUS304　PL-1.5HL

W-25 柱・壁 取合い（RC+ボード部） 1／5

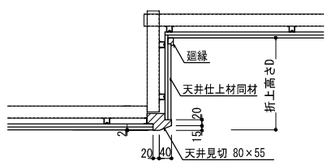


柱型をボードで隠す場合　　柱型打放仕上の場合

W-26 グラスウールマット 1／5

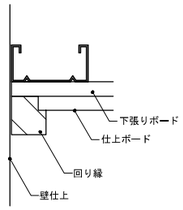
グラスウール	32ｋｇ／ｍ³とする

W-27 折上げ天井 1／10



材種(見切材)	杉　WP塗装
	階段2、4の下り天井見切にも適用

W-28 木製材回り縁（二重張り） 1／2



回　り　縁	杉　22.5×25　WP
適用箇所	下屋　1階：ポーチ、ピロティ　2階：ポーチ

株式会社 東畑建築事務所
TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考	
一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義

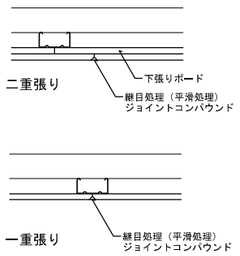
工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事

図面名称 標準詳細図　その3

縮尺 A1:
A3:

図面番号 A072

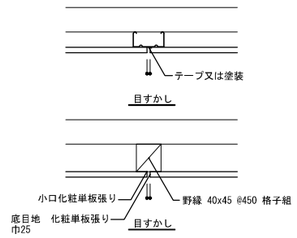
C-01 せっこうボード張り　1／5



仕上	せっこうボード t12.5 （EP塗装・ｸﾛｽ貼り）
下張	せっこうボード t9.5 （有無は仕上表による）

C－１１－２

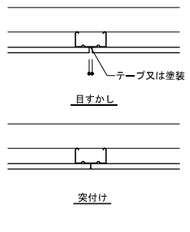
C-02 ケイカル、化粧ボード合板張り　1／5



仕上	ケイカル板　底目地　910口割付基準
	化粧せっこうボード　突き付け張り
	練付合板　厚5.5　（単板　厚0.3）

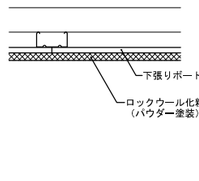
目地巾は、記入がなければ5mmとする　C－１１－４

C-03 ボード、合板張り（下地張り無し）　1／5



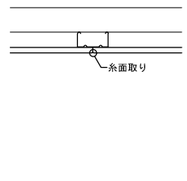
目地巾は、記入がなければ5mmとする。

C-04 ロックウール化粧吸音板張り（下地張り有り）　1／5



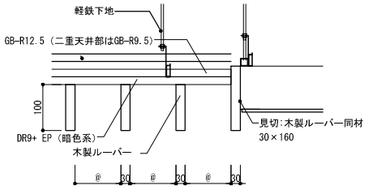
下張りボードは、記入がなければせっこうボード 厚9.5とする。

C-05 化粧プラスターボード張り（下地張り無し）　1／5



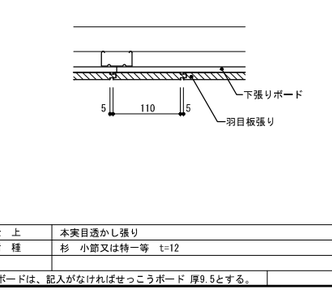
目地巾は、記入がなければ5mmとする。

C-06 木ルーバー（天井）　1／１０



仕上	桧　30×100@200　WP

C-07 成形材廻縁　1/2



廻り縁	塩ビ製既製品　F見切（目透し）

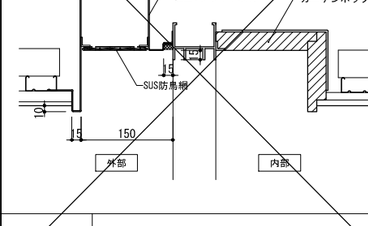
C-08 底目地回り縁　1／２



C-* GWガラスクロス張り（天井）　1/5

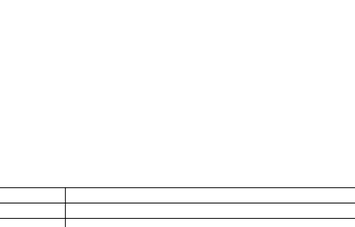


C-09 アルミ製下り天井見切縁　1/2



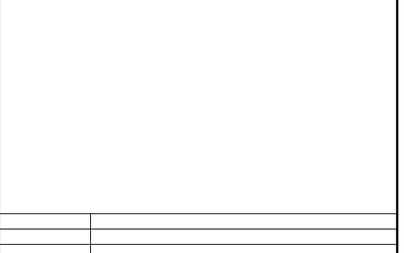
下り天井見切縁	アルミ製既製品　A-BE(指定色)

C-10 木製天井見切（折り上げ天井廻り）　1／2



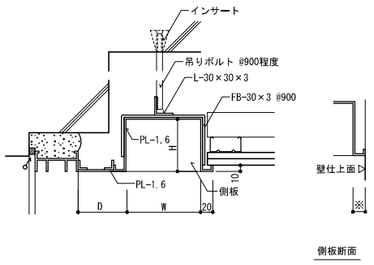
見 切 縁	木製　SOP又はWP

C-11 ピクチャーレール　1／3



レール	アルミ製 既製品（アルマイト仕上）
ランナー	特記仕様書による
ピクチャーハンガー	特記仕様書による

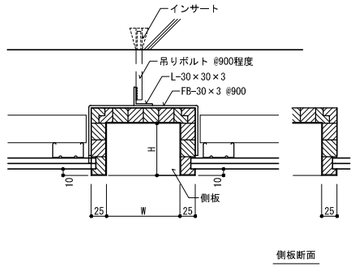
C-12 鋼製ブラインドボックス　1/5



塗装仕上	見え掛り鉄部は、SOPとする
	見え隠れ鉄部はすべて防錆塗装とする（軽鉄下地を除く）
	W=200　H=90　D=240

記入がなければ両端部とも同材側板付きとする

C-13 スクリーンボックス　1/5

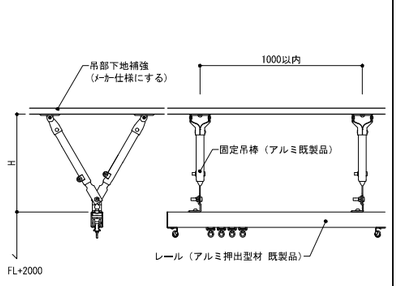


図中凡例	W	H	L	備考
	200	200	3000	

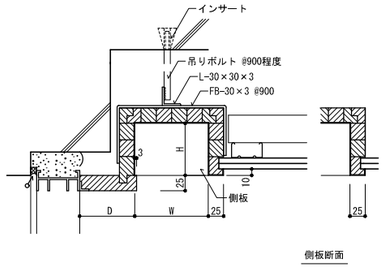
仕　上	杉　積層材　CL

見え隠れ鉄部はすべて防錆塗装とする（軽鉄下地を除く）

C-14 吊カーテンレール　1／１０



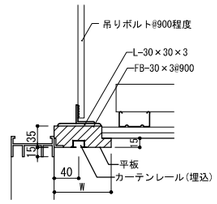
C-15 カーテンボックスA（CB-A）



仕　上	杉　積層材　CL
	見え隠れ鉄部はすべて防錆塗装とする（軽鉄下地を除く）
	W=150　H=150

記入がなければ両端部とも壁材巻込みとする

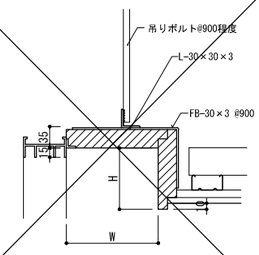
C-16 カーテンボックスB（CB-B）　1/5



仕　上	杉　積層材　CL
	見え隠れ鉄部はすべて防錆塗装とする。（軽鉄下地を除く）
	W=図示

記入がなければ両端部とも壁材巻込みとする

C-* カーテンボックスC（CB-C）　1／5



仕　上	杉　積層材　CL
	見え隠れ鉄部はすべて防錆塗装とする。（軽鉄下地を除く）
	W=他図による　H=100

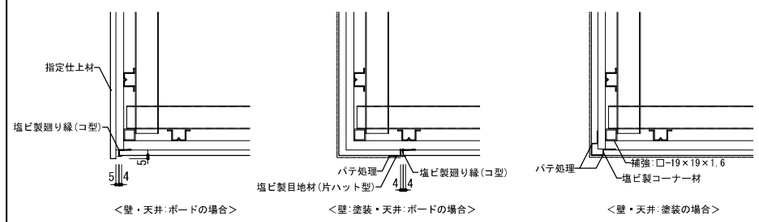
記入がなければ両端部とも壁材巻込みとする

C-17 羽目板張り（下地張り有り）　1／5

仕　上	本実目透かし張り
樹　種	杉　小節又は特一等　t=12

下張りボードは、記入がなければせっこうボード 厚9.5とする。

C-18 天井見切（仕上巻込）（TM）　1／5



C-* 軒天制気口　1／5

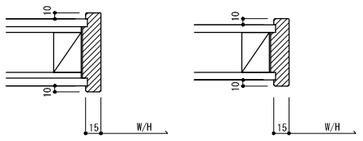
	見え隠れ鉄部はすべて防錆塗装とする。（軽鉄下地を除く）
	チャンバー非接続部は本体同材にて塞ぐこと

DA・EAの境となる箇所には中間仕切を設けること（本体同材）

株式会社東畑建築事務所
TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

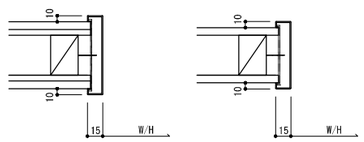
設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考	工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶 / 建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 標準詳細図　その４ 縮尺　A1: A3:
			図面番号 A073

D-01 木製 一方枠・二方枠・三方枠 1／5



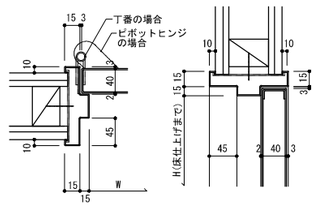
枠材質	桧 WP塗装

D-02 鋼製 三方枠 1／5



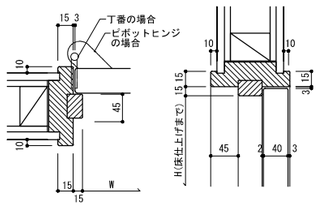
枠材質	（特記なければSUS304 PL-1.5とする）
枠仕上	（特記なければHL仕上とする）

D-03 鋼製建具枠 1／5



D－１２－４

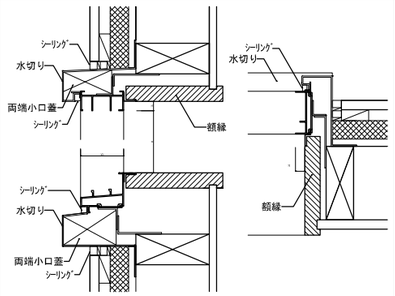
D-04 木製建具枠 1／5



建具枠	桧集成材 WP塗装
仕切	建具表による

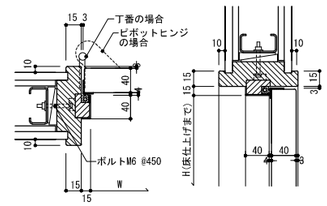
D－１１－４

D-05 アルミサッシュ 1／5



水切り	ガルバリウム鋼板 t=0.35 折曲加工
枠材質	桧 WP塗装

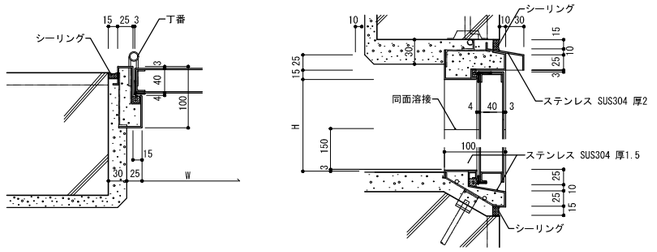
D-06 木製建具枠 SAT （軽鉄壁 両額縁 ボード仕上２） 1／5



※枠小口については機能上支障がない部分は厚10とする

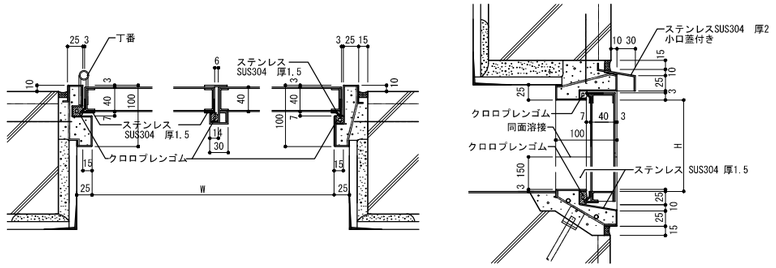
D－１１－４

D-07 外部用鋼製建具枠 （外付き 片額縁） 1／5



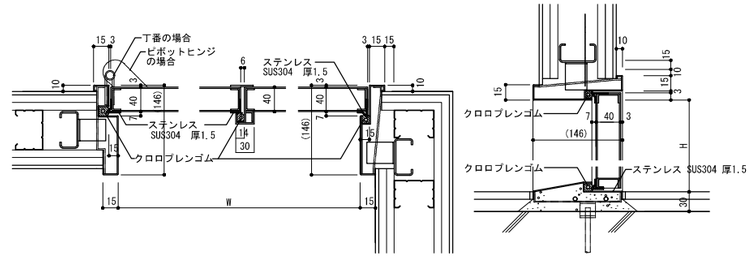
下枠はモルタル先詰め施工とする

D-08 外部用気密型鋼製建具枠 1／5



下枠はモルタル先詰め施工とする

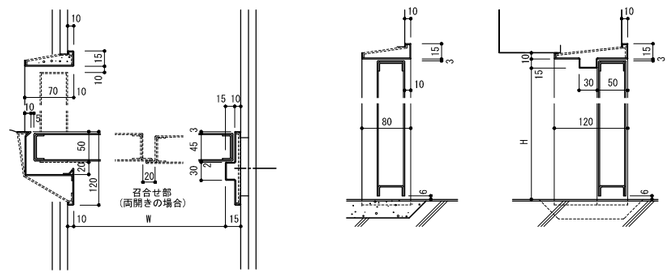
D-09 内部用気密型鋼製建具枠（SAT,AT部） 1／5



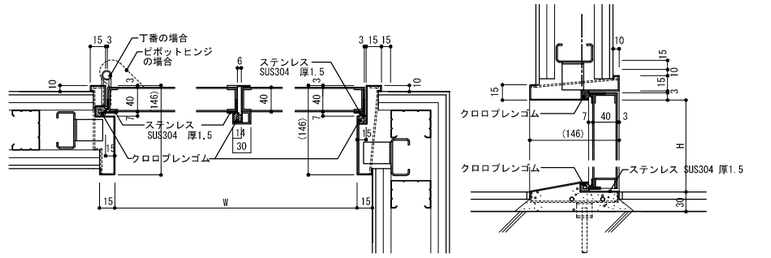
下枠はモルタル先詰め施工とする

D－１４－２

D-10 防火戸 戸袋付（90° 開き） 1／5



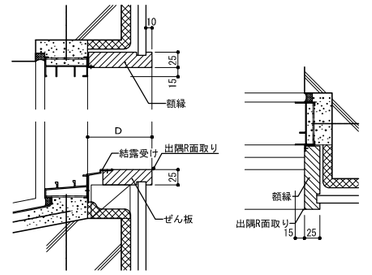
D-11 内部用気密型鋼製建具枠（SAT,AT部） 1／5



下枠はモルタル先詰め施工とする

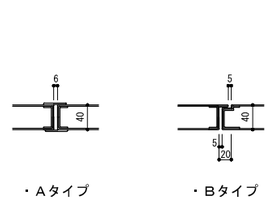
D－１４－２

D-12 額縁・ぜん板（木製／樹脂製の場合） 1／5



額縁・ぜん板	桧WP 一般部 70×25 中庭に面する部分 140×25
結露受け	ガルバリウム鋼板 t=0.35 折曲加工
D 寸法	D寸法は別図による

D-13 鋼製一般建具召合せ 1／5

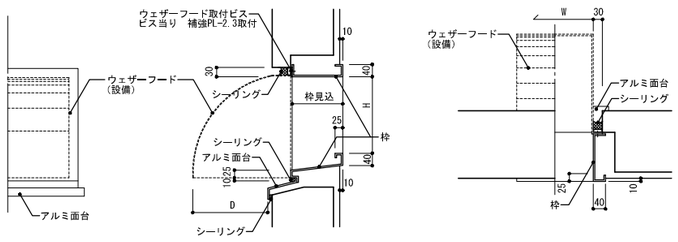


適用タイプ	Aタイプ、Bタイプ
適用箇所	防火扉、気密性扉及び片開き扉を除く全ての開き扉

両タイプ適用時の使用区分は建具表による。

D－１８－１

D-14 換気扇枠（鋼製枠） 1／10

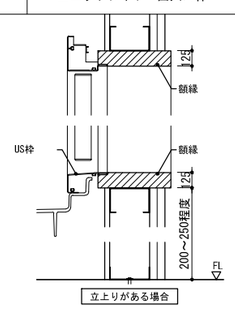


寸 法	W= H= D= H以上
	枠見込=
枠仕様	特記がなければ、PL-1.6 SOP塗装

ウェザーフード、換気扇は設備工事とする。

W－４４－１

D-15 ユニットシャワー出入口枠 1／5



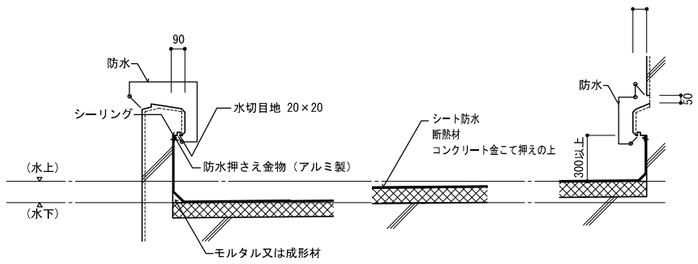
額縁

株式会社 東畑建築事務所
TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考	
一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義

工事名称	須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
図面名称	標準詳細図 その５ 縮尺 A1: A3:
図面番号	A074

R-01 パラペット及び屋上仕上 1／20

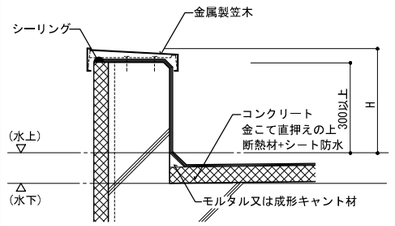


※屋根勾配は1/50以上とする

屋上仕上	仕上げ塗材仕上	笠　木	パラペット笠木に目地（巾20#2000程度）を設け、
			シーリング材充てんとする
		防　水	塗膜防水　補強布張り

パラペット形状は、矩計図による　　R－１１－３

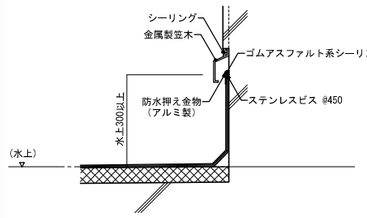
R-02 パラペット（金属製笠木） 1／10



笠木材質・仕上	ｱﾙﾐ製　BB-2種	笠木巾	250型/300型/350型
シーリング	アスファルト防水の場合はゴムアスファルト系		
	合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水の場合はポリサルファイド系		

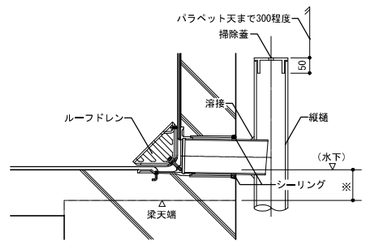
形状・寸法は参考とする　　R－１２－２

R-03 塔屋取合い（金属製笠木） 1／10



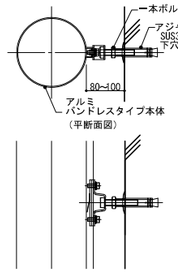
R－１２－４

R-04 横引き型ルーフドレン 1／10



（水下）より梁天端までの寸法は、特記が無ければ100とする。

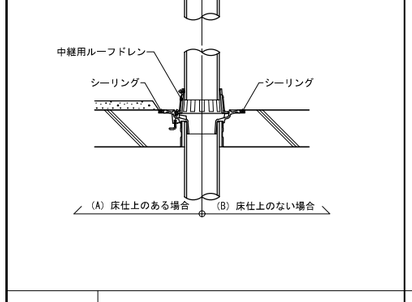
R-05 縦樋（AL管）



※他樋仕様はﾒｰｶｰ仕様に準ずる

特記外	114φ
一本ボルト支持金具	RC用　納まり
下部	配管メンテ用スライド管付
ガルバリウム鋼板製竪樋A：特記仕様書4	(13) による

R-06 縦　樋　足　元（AL管） 1／5，1／50

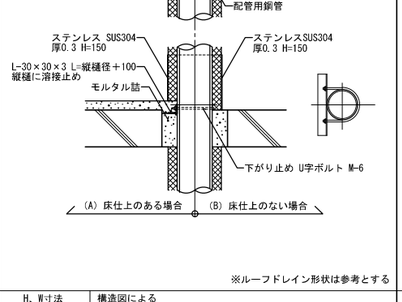


※他樋仕様も準ずる

適　用	内樋以外
排水管カバー	竪樋同材既製品

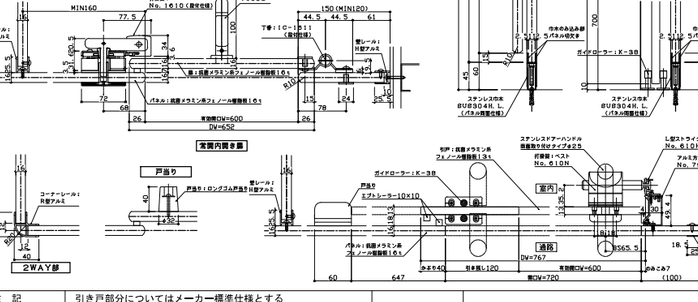
形状・寸法については、メーカー仕様による　　R－３２－３

R-07 排水溝（屋外）（段差のない場合） 1／5



排水溝	特記外　W=150
排水溝蓋	特記外　鋳製細目ノンスリップ歩行用　消音ゴム張り
サッシ下枠	下枠はフラットタイプとする
排水管	最寄り排水溝もしくは排水桝まで接続すること

R-08 丸　　環 1／10

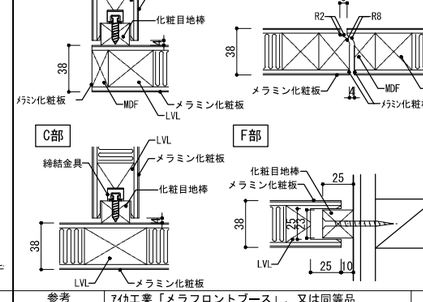


注）パラペットあごの厚さ（高さ）は一般より厚くなる。

丸　環	ステンレス製（SUS304）　19φ　研磨仕上げ
丸環受け金物	ステンレス製（SUS304）　FB-9×65　研磨仕上げ
取付位置	誘発目地を避ける

丸環受け金物は、水勾配のため先端を5mm以上下げる

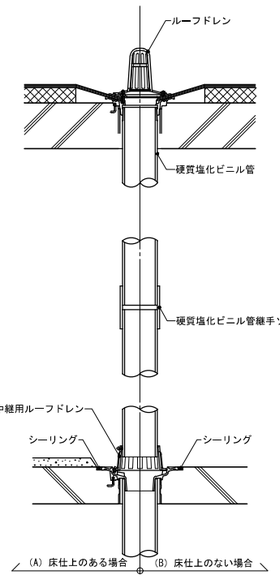
R-11 配管取出し部 1／30



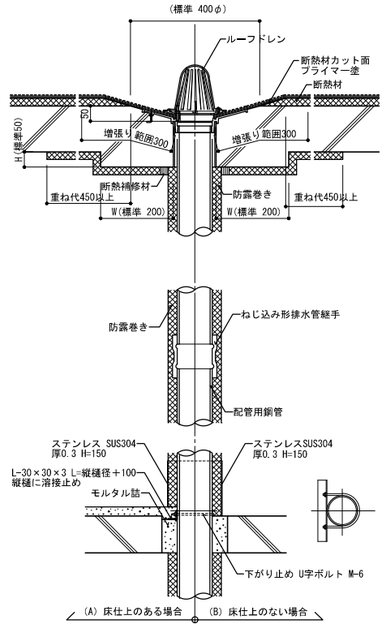
断熱材	t=
内部塗膜防水	適用は図示による
開口部パネル	ステンレス SUS304 HL 厚1.0（パネルサイズに応じて補強）
	裏面結露防止処理

W×L、H、h、D寸法は図示による　　R－４１－１

R-09 縦樋（外部） 1／10



R-10 縦樋（内部） 1／10



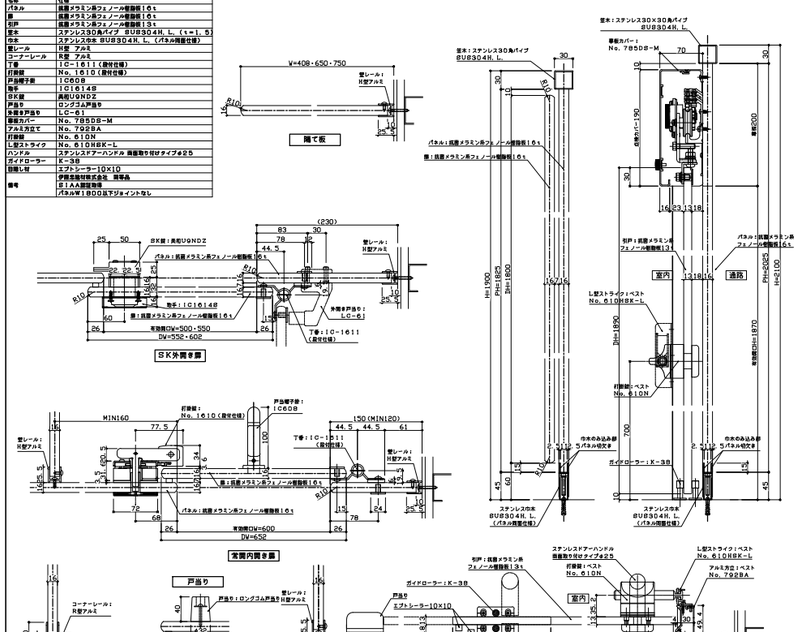
※ルーフドレイン形状は参考とする

H、W寸法	構造図による
ルーフドレン	鋳鉄製　防水層張り代100ミリ型

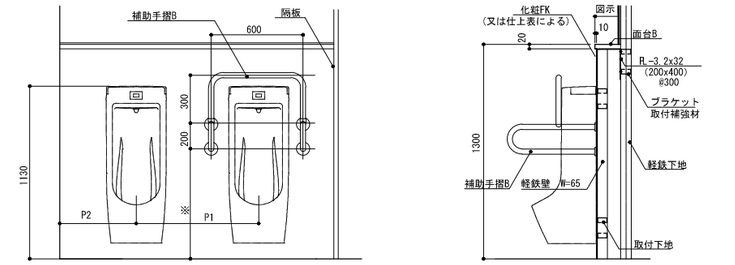
R－３２－２

E-01 トイレブース（既製品）（校舎棟） 1／5

名称	仕様
パネル	抗菌メラミン系フェノール樹脂板1.6t
扉	抗菌メラミン系フェノール樹脂板1.6t
化粧	抗菌メラミン系フェノール樹脂板1.3t
笠木	ステンレス30角パイプ　SUS304相当　L、(t＝1.5)
巾木	ステンレス0.8t SUS304相当　L、(パネル間隔仕様)
壁レール	H型 アルミ
コーナーレール	R型 アルミ
下地	IC-1611（既付仕様）
打掛錠	No. 1610（既付仕様）
戸当り受	IC60B
吊元	IC1614B
SK錠	表板U9NDZ
戸当り	ロングゴムP戸当り
多機能戸当り	LC-6J
棚板カバー	No. 7955B-M
アルミ方立て	No. 7928A
打掛錠	No. 610N
L型ストライク	No. 610NBK-L
ハンドル	ステンレスドアーハンドル 表裏取り付けタイプ#25
ガイドローラー	K-3B
自閉ヒオ	エフトシーラー10X10
備考	伊藤喜商材株式会社　同等品
	F1AA表記取扱
	パネルW1800までジョイントなし

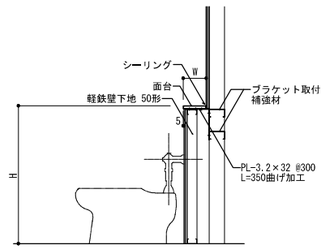

W=408・650・750
壁レール：H型アルミ
R10
10
隅て板
笠木：ステンレス30×30角パイプ SUS304相当 L
笠木：ステンレス30角パイプ SUS304相当 L
棚板カバー No. 7955B-M
70
30
10
R10
30
パネル：抗菌メラミン系フェノール樹脂板1.6t
扉：抗菌メラミン系フェノール樹脂板1.6t
壁レール：H型アルミ
壁レール：H型アルミ
壁レール：H型アルミ

E-03 ストール小便器取り付部 1/20



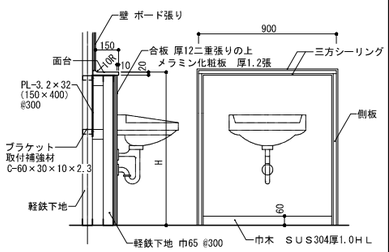
寸法	特記無き限り P1=800 P2=500
面台B	メラミン化粧板 ポストフォーム加工 H20程度
隔板	トイレブース同材 ステンレス巾木 小口アルミ既製品押え
補助手摺B	SUS製 樹脂被覆タイプ 34φ 下地補強 耐水合板12以上

E-04 大便器バック (軽鉄下地の場合) 1/20



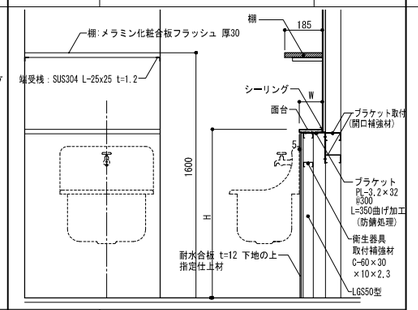
寸 法	W= H= (記入がなければ、 W=150 H=900)
面 台	面台A:ｽﾃﾝﾚｽ (SUS304) PL-1.5 加工 HL仕上とする/面台B:ﾒﾗﾐﾝ化粧板 ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ加工(既製品)
シーリング	シリコン系とする。
大便器バック正面の表面仕上げは特記がなければ便所壁仕上げに同じとする。	E－１３－２

E-05 洗面バック (化粧板張り) 1/20



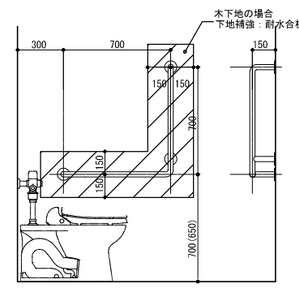
面台仕様 (面台A)	SUS304 t=1.5加工 HL仕上
(面台B)	ﾒﾗﾐﾝ化粧板 ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ加工(既製品)
	E－１６－２

E-06 SK廻り 1/20

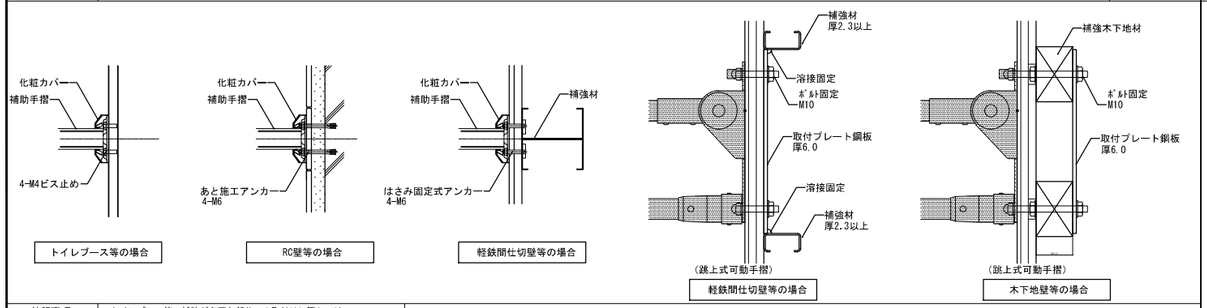


寸 法	W=150 H=1200
面 台 A	ステンレス (SUS304) PL-1.5加工 HL
掃除掛けフック	3ヶ所
配管パック仕上材は記入がなければ便所壁仕上げに同じとする。	

E-07 補助手摺A 1/20



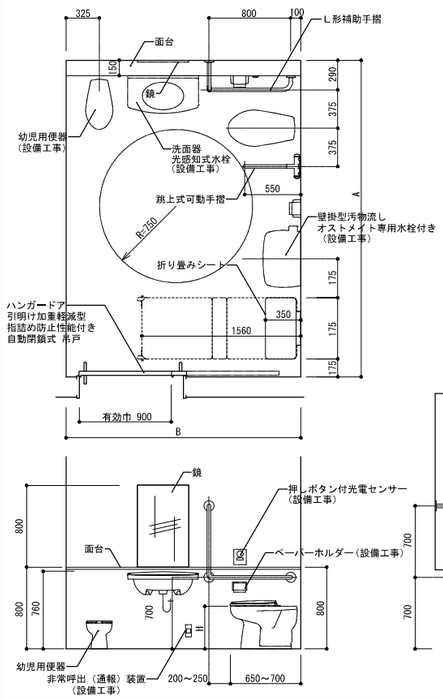
E-08 補助手摺取付詳細 1/5



特記事項	トイレブース等、補強が必要な部分への取付けに際しては、
	トイレブース等メーカー及び手摺メーカーと充分協議を行い施工のこと

E－５２－１

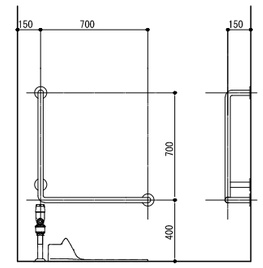
E-09 多目的便所 1/30



※多目的トイレパックを採用
トイレパック以外を参照

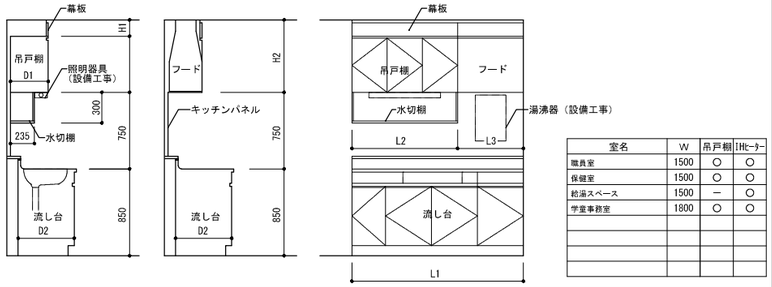
寸 法	H= (記入がなければ440程度とする)
補助手摺	L型、跳上式共ステンレス製SUS304 既製品
鏡	800×500 程度 ステンレス枠付き
面 台	ステンレス (SUS304) PL-1.5 加工 HL仕上とする
	A3:1/20

E－１８－２



寸法	( ) 内寸法は低リップタイプの場合とする
仕様	SUS製 樹脂被覆タイプ 34φ
	下地補強 耐水合板12以上

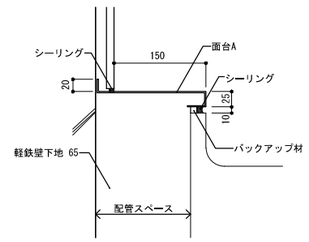
E-10 湯沸室 器具配置 (コンロ台無し) 1/30



室名	W	吊戸棚	IHヒーター
職員室	1500	○	○
保健室	1500	○	○
給湯スペース	1500	ー	○
学童事務室	1800	○	○

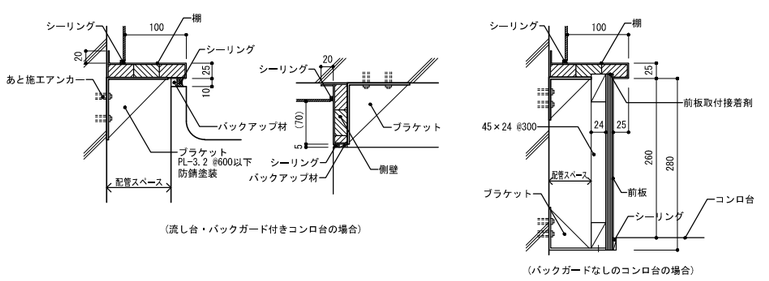
寸 法	L1= L2= L3= 幕 板
	H1= H2= D1= D2=
流し台は既製品とし、床に固定の事	E－２１－１

E-11 流し台バック 1/5



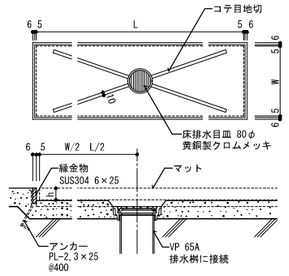
	SUS304 t1.5
	流し台、調理台取合部シリコーン系シーリング材充てんとする

E-12 流し台・コンロ台 取合い (面台タイプ) 1/5



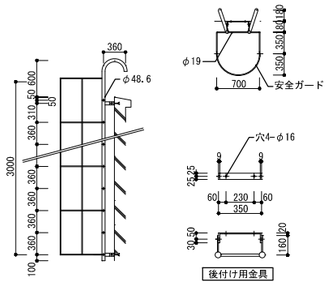
棚・側壁	木下地ステンレス SUS304 PL-0.8 加工 HL
前 板	普通合板１類 厚12 下地ステンレス SUS304 厚0.8張り
流し台、調理台取合部シリコーン系シーリング材充てんとする	E－２２－２

E-13 マットスペース 1/5, 1/10



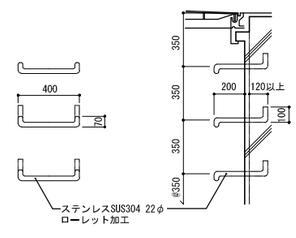
寸 法	図示
	V－２１－１

E-14 ステンレス製タラップ (高所点検用) 1/10



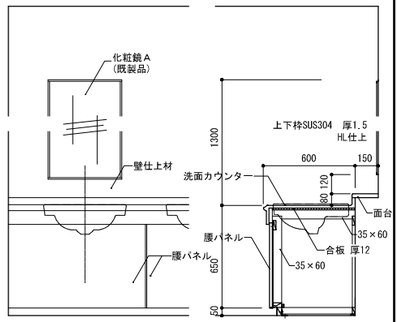
材 質	ステンレス部は全てSUS304とする
	下端はRFL+700 (パラペット天端とする。)
適 用	屋内体育館棟

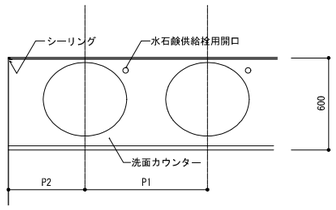
E-15 ステンレス製タラップ (打込み型) 1/20



SUS仕様	ステンレス部は全てSUS304とする

E-16 洗面カウンター (腰パネル付き) 1/20

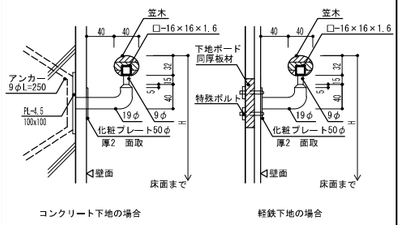


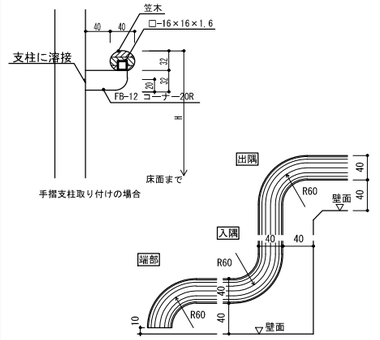


寸 法	図示による
洗面カウンター	メラミン化粧板 ポストフォーム加工 既製品
面台	洗面カウンター同材
腰パネル	メラミン化粧合板フラッシュ 厚25 ケンドン式 E－１５－１

株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
	一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 標準詳細図 その7 縮尺 A1: A3:
					図面番号 A076

E-17 手摺 1／5

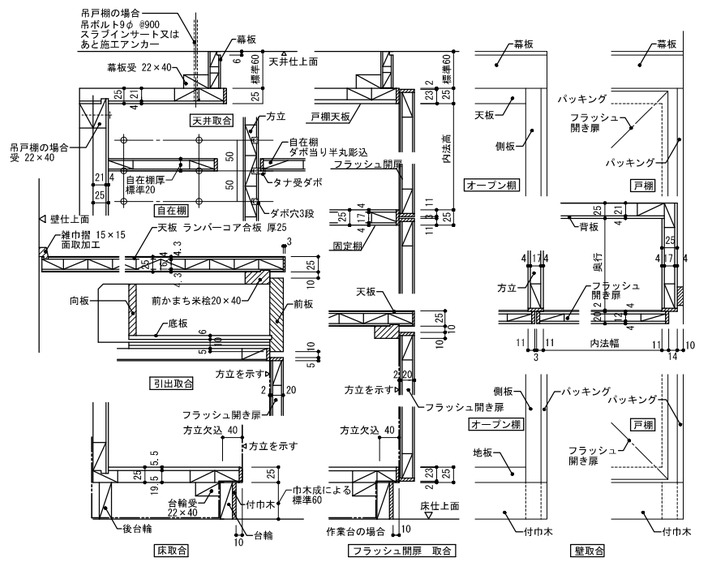




※特記なき限り仕上金物はスチール SOP仕上とする

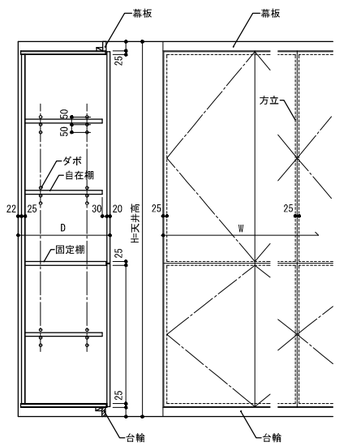
笠木	笠木A ：タモ集成材 クリアラッカー塗装仕上	
	笠木B ：SUS42.7φ HL	
笠木サイズ	・35φ ○40φ	
取付レール	アルミ合金押出型材	
本図のブラケット及びブラケットカバー形状は参考とする。（設置ピッチ 900内外）		
H寸法は詳細図による。		

K-01 造作家具標準 合板フラッシュ構造 （練付仕上） 1／5



1.フラッシュパネル	厚さW≦900の場合厚20、W>900の場合厚25	方立ピッチ>1200の場合 後台輪を使用する。
フレームコア：米栓等の竪木を用い、その両面に同厚合板を	書棚の場合は積層合板芯仕上 厚25 W≦750	（台輪同材）
圧締張とする。	棚受ダボ 真ちゅうニッケルメッキ10φ	7.付巾木 ラワン合板 厚5.5×H（巾木成による）縁付後張り
さん間隔は金物等の取付位置を考慮の上、	オニメナット埋込式	8.仕 上
@180以内とする。	3.ﾌﾗｯｼｭ開扉 フラッシュパネル 厚20 練付仕上 裏面同材張り	見掛部：練付（天然木突板 厚0.3）仕上
ランバーコア：米栓等の竪木を用い、接着集成しその両面に	スライドヒンジ180° 開き、マグネットキャッチ	縁材 天然木挽板 厚3 面取り加工
同厚合板を圧締張とする。	取手金物付	天板 UC塗装 その他 CL塗装
合板： 素地仕上の部分 シナ合板Ⅱ類 厚4	4.引 出 前板 米栓 厚22 引手金物付	内部：シナ合板素地仕上、縁張 米栓挽板 厚3とする。
練付仕上の部分 ラワン合板Ⅱ類	側板・向板 米栓 厚12 底板 シナ合板 厚6	ただし、オープン棚及びガラス扉付戸棚の場合
いずれも地板は厚5.5 その他は厚4とする。	スライドレール金物付	は、棚内部共練付仕上とする。
合板は全てF☆☆☆☆とする。	5.幕 板 フラッシュパネル 厚20 両面 シナ合板 厚4	9.施 錠
2.自在棚 フラッシュパネル両面 シナ合板 厚4	6.台 輪 米栓 20×H(内装仕上の巾木成による)	K－１１－２

K-02 収 納 棚 1／２０

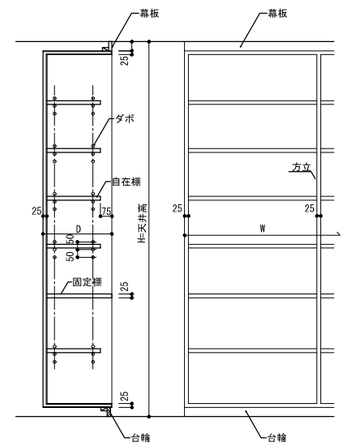


方立ピッチは900以内とする。
書棚として使用する場合は、方立ピッチ750以内とする。

仕 様	合板フラッシュ構造
	外部見え掛り仕上 メラミン化粧板張り
	内部仕上 ポリエステル化粧合板 厚4
	自在棚 下段 1段 上段 2段 ダボ付き

K－１２－２

K-03 オーブン棚 1／２０

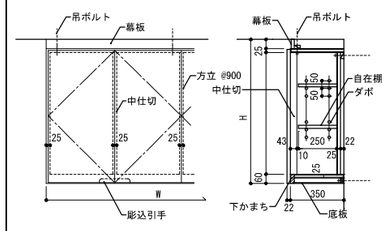


方立ピッチは900以内とする。
書棚として使用する場合は、方立ピッチ750以内とする。

仕 様	合板フラッシュ構造 ポリエステル化粧合板
	自在棚 下段 1段 上段 4段 ダボ付き

K－１２－３

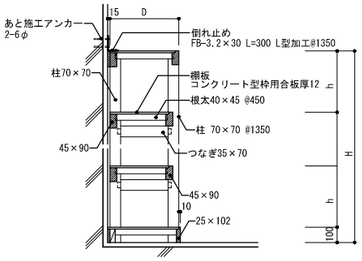
K-04 吊 戸 棚 1／２０



仕 様	合板フラッシュ構造
	外部見え掛り仕上 メラミン化粧板張り
	内部仕上 ポリエステル化粧合板 厚4
	自在棚 2段 ダボ付き

K－１２－１

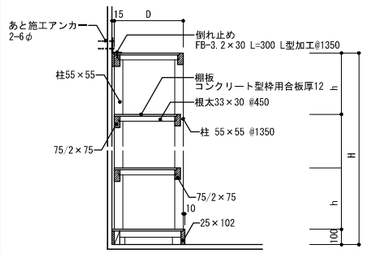
K-05 棚 （重量物用） 1／２０



寸 法	H=	h= D=
仕 上		

K－３１－１

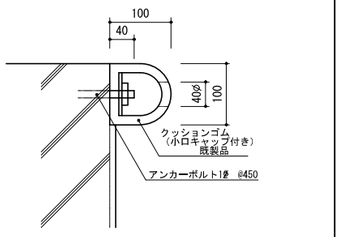
K-06 棚 （軽量用） 1／２０



寸 法	H=	h= D=
仕 上		

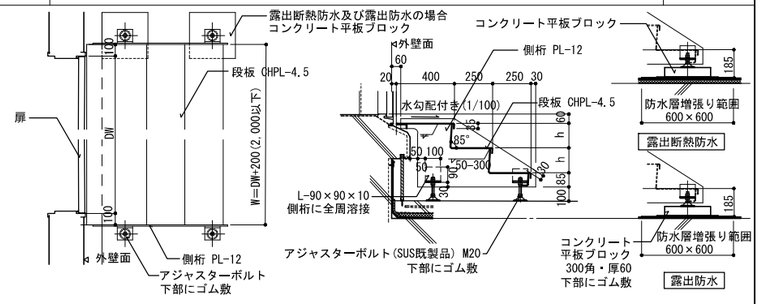
K－３１－２

V-01 緩衝ゴム（配膳室） 1／２０



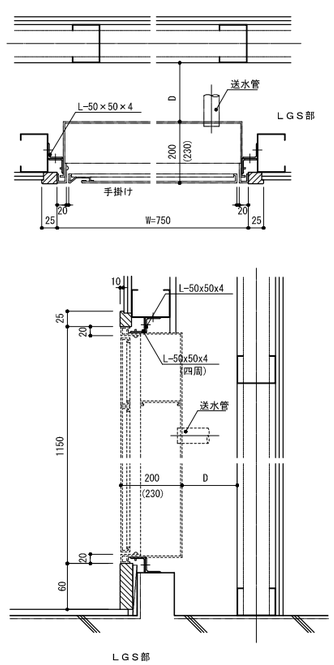
材 質	硬質ゴム製

V-02 屋上鉄骨小階段 1／２０



階段幅	W=	防水層増張り	アスファルト防水：アスファルトルーフィングシート2.0mm
h寸法	160～250程度	同 上	シート防水：防水層と同じルーフィングシート
鉄部仕上	溶融亜鉛メッキ仕上げ	同 上	塗膜防水：防水層と同じ防水材塗り（補強布張り）
扉幅(DW)が1,800以上の場合は、階段位置を現地調整する			V－３１－１

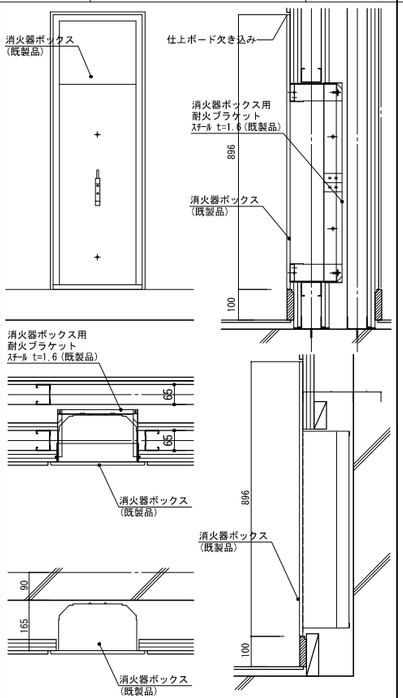
V-03 屋内消火栓ボックス廻り 1／１０



※防火区画が生じる場合、背面鋼板St1.6とすること

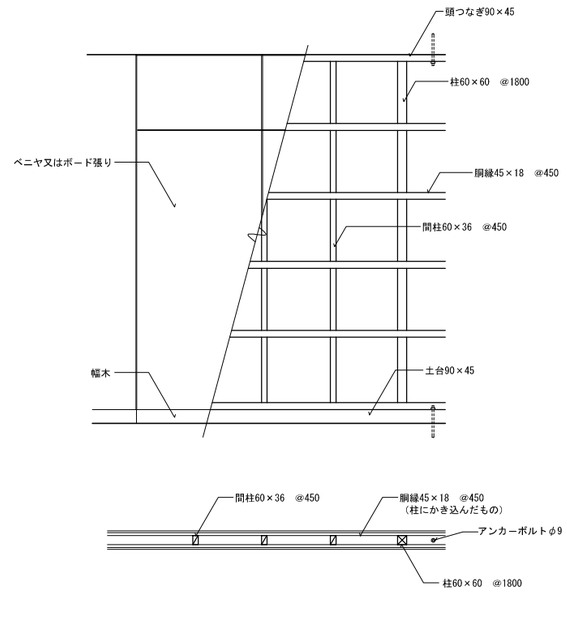
仕 上	ボックス仕上は特記がなければ壁同材とする	
注 記	裏面ＬＧＳ下地は現場調整とする	
	（ ） 内寸法は消火器付を示す	

V-04 消火器収納ボックス廻り 1／１０，1／２０



仕様	鋼製焼付仕上 埋込型 蓋付
	文字ステッカー付
注記	取合部下地が見えないよう配慮すること

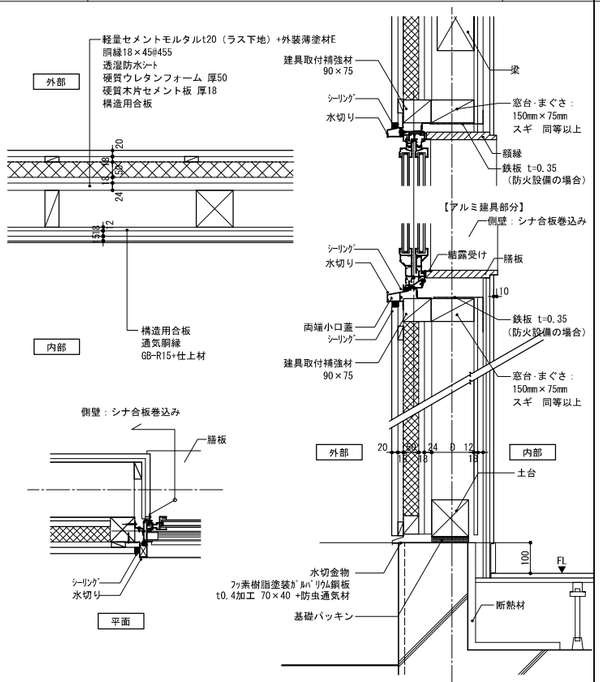
V-05 木間仕切り（雑壁の場合） 1／２０



株式会社 東畑建築事務所
TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

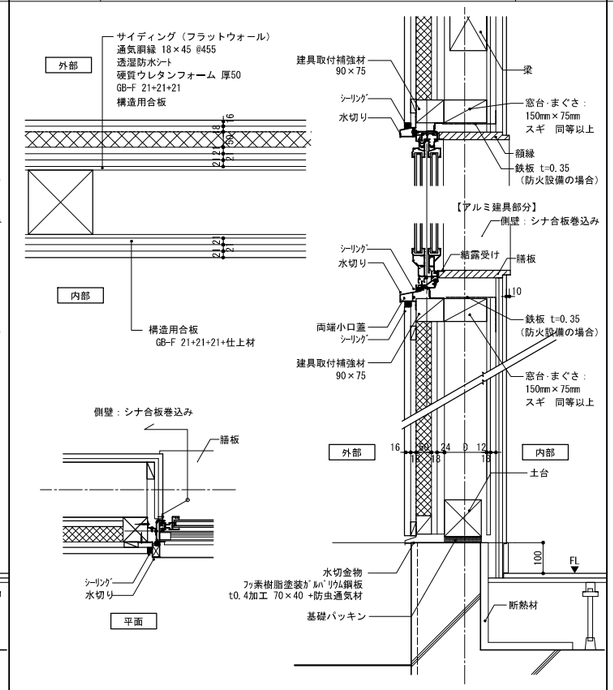
設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 標準詳細図 その８ 縮尺 A1: A3:
				図面番号 A077

外W-01　外壁-A-1、A-2
木造45分準耐火構造（告示1358号）　1／10

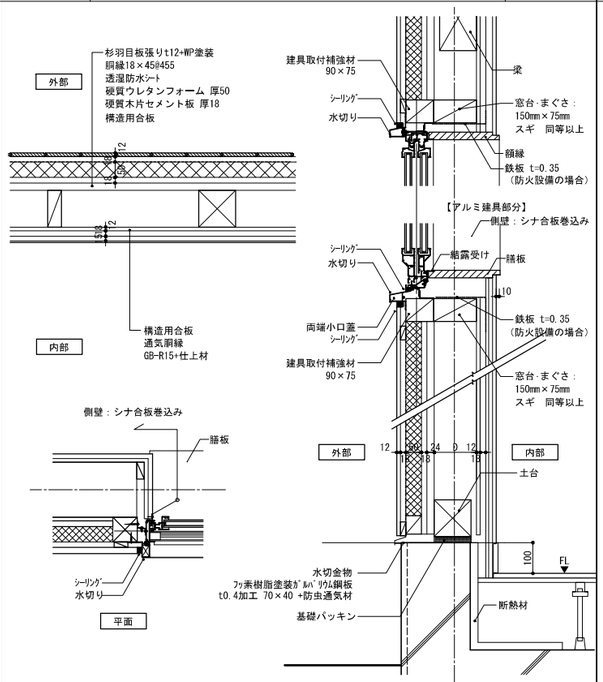


水切り	アルミ製押出し竪枠	※屋内側ボードは45分準耐火：GB-Rt=15
結露受け	ガルバリウム鋼板　t=0.35 折曲加工	1時間準耐火：GB-Rt=12.5+12.5
額縁・ぜん板	杉（小節）CL 出隅R面取り　一般部	

外W-02　外壁-B
木造90分準耐火構造（告示227号）　1／10

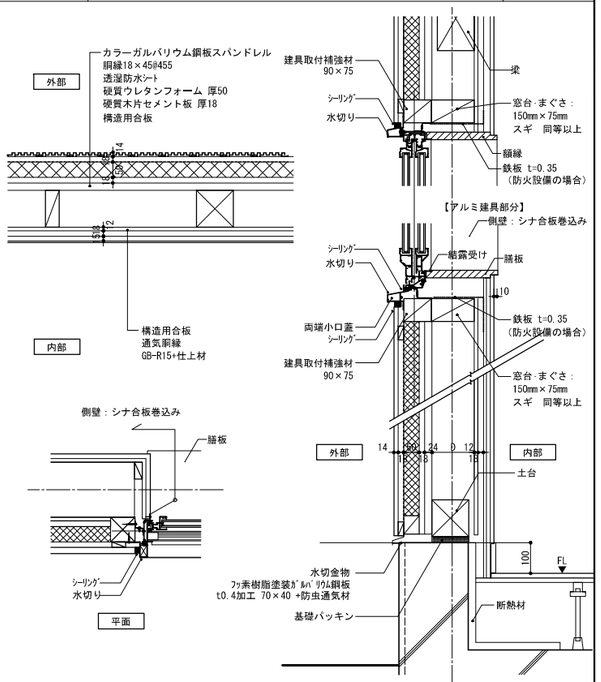


外W-03　外壁-D
木造45分準耐火構造（告示1358号）　1／10



水切り	アルミ製押出し竪枠	※屋内側ボードは45分準耐火：GB-Rt=15
結露受け	ガルバリウム鋼板　t=0.35 折曲加工	1時間準耐火：GB-Rt=12.5+12.5
額縁・ぜん板	杉（小節）CL 出隅R面取り　一般部	

外W-04　外壁-C
木造45分準耐火構造（告示1358号）　1／10

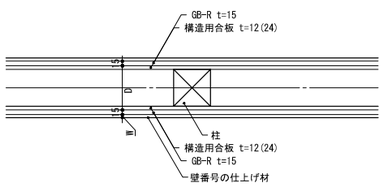


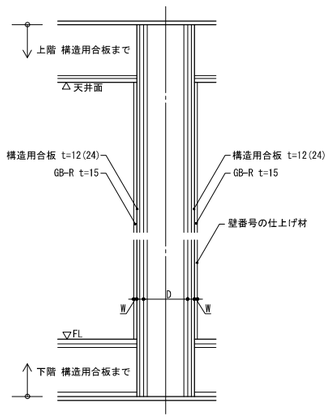
水切り	アルミ製押出し竪枠	※屋内側ボードは45分準耐火：GB-Rt=15
結露受け	ガルバリウム鋼板　t=0.35 折曲加工	1時間準耐火：GB-Rt=12.5+12.5
額縁・ぜん板	杉（小節）CL 出隅R面取り　一般部	

	株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
		一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 部分詳細図　その1 縮尺　A1: 1/10 A3: 1/20
						図面番号 A078

W-□A　間仕切壁A(耐力壁)　木造45分準耐火構造（告示1358号）　1／10

W-□A：壁番号の末尾にAで示す。
壁番号



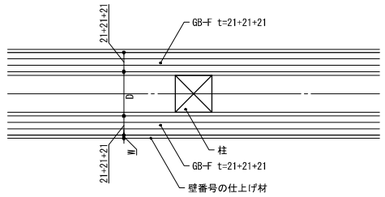


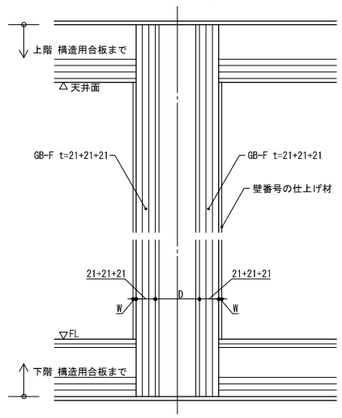
D寸法は柱サイズ・耐力壁種別による
W寸法は仕上げ厚による
便所に面する壁については、GB-R9.5をGB-S9.5に読み替えること
末尾に「/Gj とあるものは、遮音材としてグラスウール32kg/㎥ 厚100を壁内に詰め込むこと
末尾に「/LGS」とあるものは、下地をLGSとすること

W-□B　間仕切壁B　木造90分耐火構造（告示227号）　1／10

火熱遮断壁等

W-□B：壁番号の末尾にBで示す。
壁番号

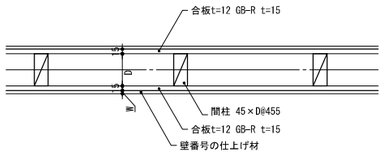


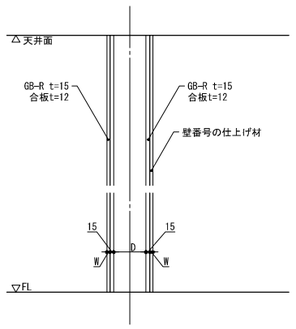


D寸法は柱サイズ・耐力壁種別による
W寸法は仕上げ厚による
末尾に「/Gj とあるものは、遮音材としてグラスウール32kg/㎥ 厚100を壁内に詰め込むこと

W-□C　間仕切壁C　(非耐力)　1／10

W-□C：壁番号の末尾にCで示す。
壁番号

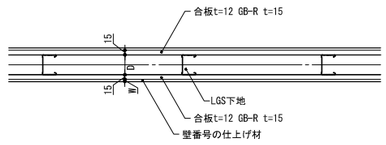


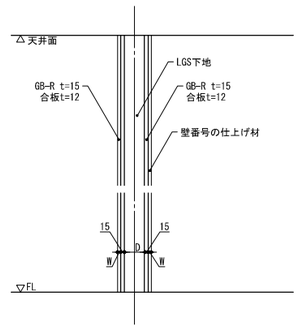


PS、EPS廻りはボード片面張りとする
W寸法は仕上げ厚による
水廻りの壁については、GB-R12.5をGB-S12.5に読み替えること

W-□D　間仕切壁D　1／10

W-□D：壁番号の末尾にDで示す。
壁番号

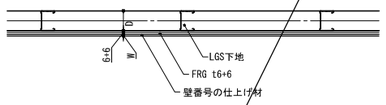


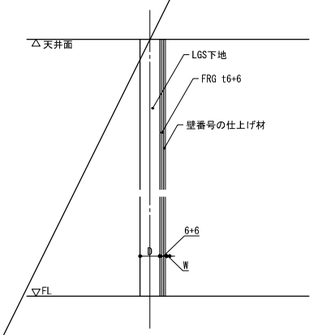


W寸法は仕上げ厚による
水廻りの壁については、GB-R12.5をGB-S12.5に読み替えること

W-□E　間仕切壁E　1／10

W-□E：壁番号の末尾にEで示す。
壁番号





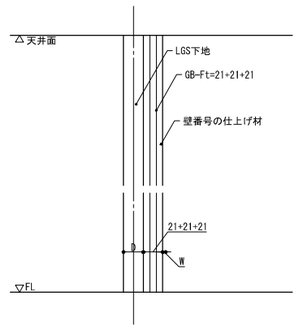
W寸法は仕上げ厚による

W-□F　間仕切壁F　木造90分耐火構造（告示227号）　1／10

火熱遮断壁等

W-□F：壁番号の末尾にFで示す。
壁番号

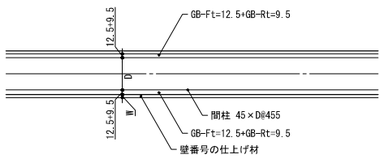


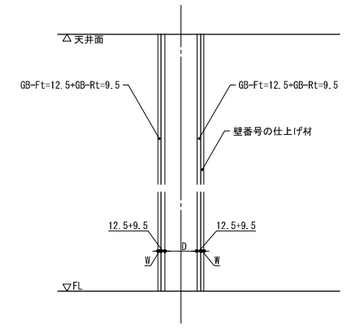


W寸法は仕上げ厚による

W-□G　間仕切壁G　1時間準耐火構造（告示195号）　1／10

W-□G：壁番号の末尾にGで示す。
壁番号



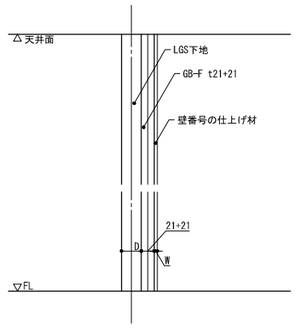


（面積区画、防火上主要な間仕切壁、天井裏隔壁）
耐力壁部分についてはボードの下に耐力壁(構造用合板 t=12(t=24))を見込むこと
W寸法は仕上げ厚による

W-□H　間仕切壁H　1時間耐火構造（FP060NP-0049）　1／10

W-□H：壁番号の末尾にHで示す。
壁番号

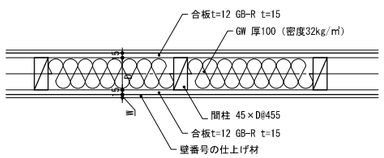


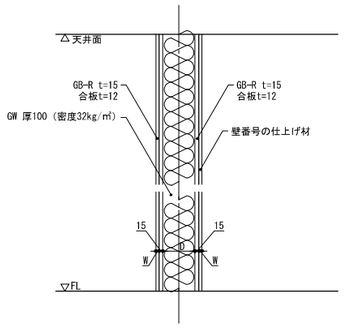


W寸法は仕上げ厚による

W-□I　間仕切壁I　(遮音壁)　1／10

W-□I　：壁番号の末尾にIで示す。
壁番号
W-□IL　：LGS下地は壁番号の末尾にILで示す。
壁番号

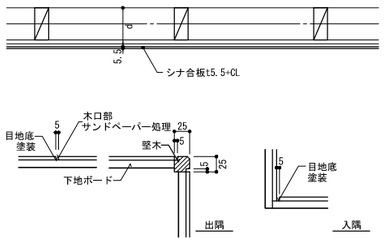




W寸法は仕上げ厚による
合板t=12は耐力壁の部分のみ

株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3
	一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志
	種別/備考	
	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義
	工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	図面番号 A079
	図面名称 部分詳細図　その2 縮尺　A1: 1/10 A3: 1/20	

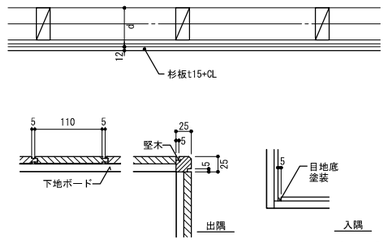
W-01 シナ合板張り



火気使用室（保健室、理科室）においては、杉板を準不燃材とすること

d寸法は間仕切壁種別による	
目地底	仕上塗装と同材塗
竪木	桧 特一等 CL
見切	杉 特一等 CL

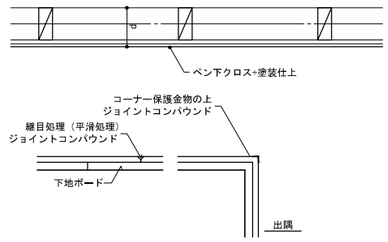
W-02 杉板張り



火気使用室（保健室、理科室）においては、杉板を準不燃材とすること

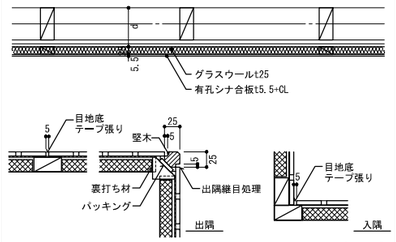
d寸法は間仕切壁種別による	
仕上	本実目透かし張り 隠し釘打ち CL
竪木	桧 小節 CL

W-03 ペン下クロス+塗装仕上



d寸法は間仕切壁種別による	
目地処理	突付け V目地工法
竪木	桧 特一等 CL
仕上は仕上表による	

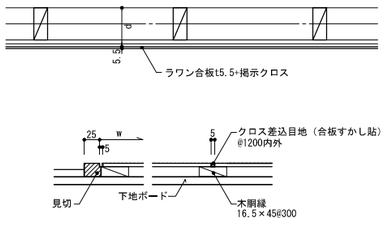
W-04 吸音壁（有孔シナ合板）



縦、横胴縁において有孔部に掛かる材は、暗色塗装又は暗色テープ張りのこと

d寸法は間仕切壁種別による	
吸音材	グラスウール32kg/㎥ （特記外 厚25）
有孔シナ合板	孔形状 6φ CL
竪木	桧 特一等 CL
見切	杉 特一等 CL

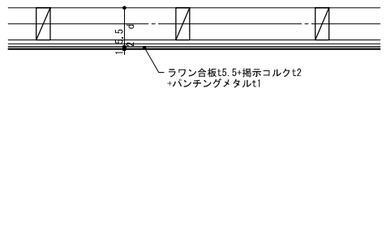
W-05 掲示壁A



火気使用室（保健室、理科室）においては、掲示クロス・ラワン合板を準不燃材とすること

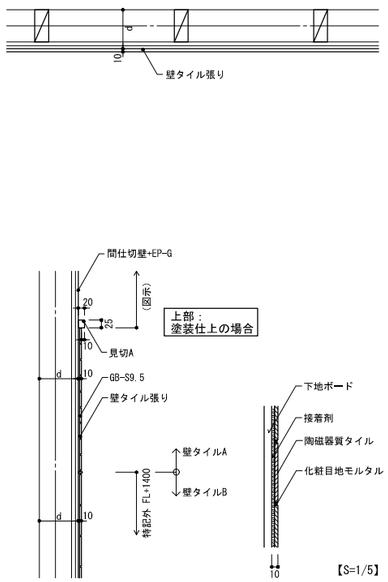
d寸法は間仕切壁種別による	
間仕切壁C・Dの場合は、下地ボードGB-R9.5を追加すること	
クロス差込目地	合板すかし貼り タテ目地@1200内外 ヨコ目地@400（掲示ガイド）
見切	杉 特一等 CL

W-06 掲示壁B



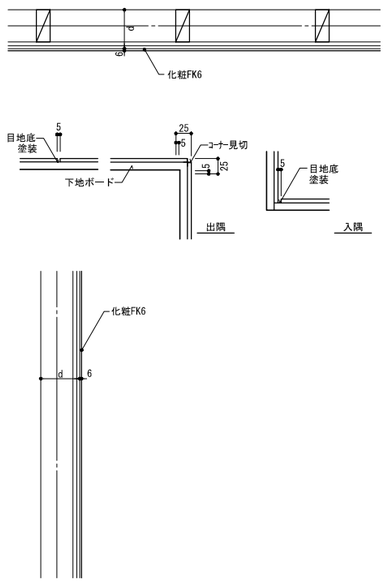
d寸法は間仕切壁種別による	
間仕切壁C・Dの場合は、下地ボードGB-R9.5を追加すること	
見切	杉 特一等 CL
パンチングメタル	丸穴10φ@12.5 60°ﾁﾄﾞﾘ
掲示コルク	東亜コルク「小粒コルクシート M-1062 厚2」又は、同等品

W-07 タイル張り



d寸法は間仕切壁種別による	
見切A	杉 特一等 SOP塗装（白）

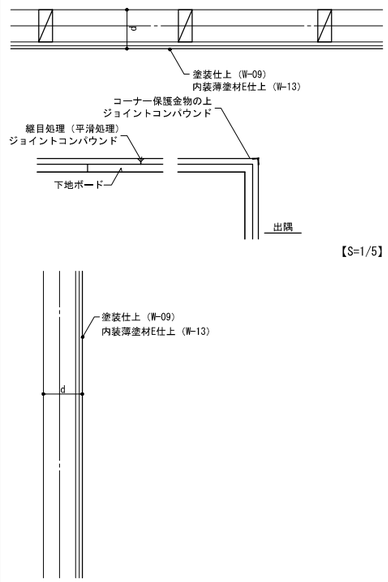
W-08 化粧FK張り



d寸法は間仕切壁種別による	
間仕切壁最外のGB-RをGB-Sと読み替えること	
見切	塩ビ製 既製品

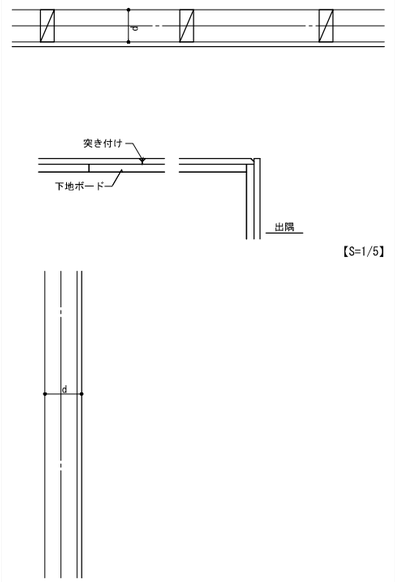
W-09 GB塗装仕上

W-13 内装薄塗材E仕上



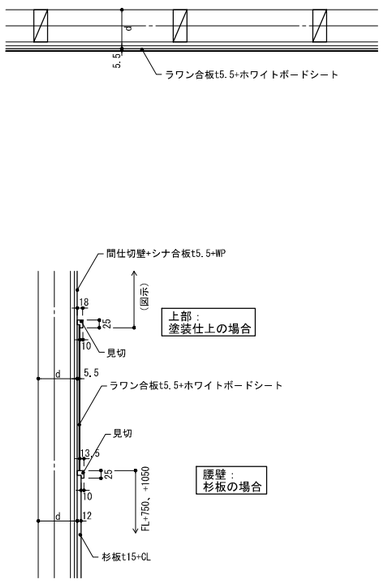
d寸法は間仕切壁種別による	
目地処理	突付け V目地工法
竪木	桧 特一等 CL
仕上は仕上表による	

W-10 石膏ボード素地



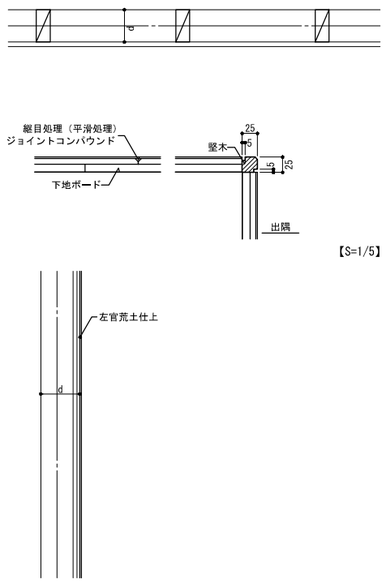
d寸法は間仕切壁種別による	

W-11 掲示壁C



d寸法は間仕切壁種別による	
間仕切壁C・Dの場合は、下地ボードGB-R9.5を追加すること	
見切	杉 特一等 CL
換要	通級指導室1、2、学童玄関、学童玄関ホール2

W-12 左官荒土壁



d寸法は間仕切壁種別による	
目地処理	突付け V目地工法
竪木	桧 特一等 CL

株式会社 東畑建築事務所
TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

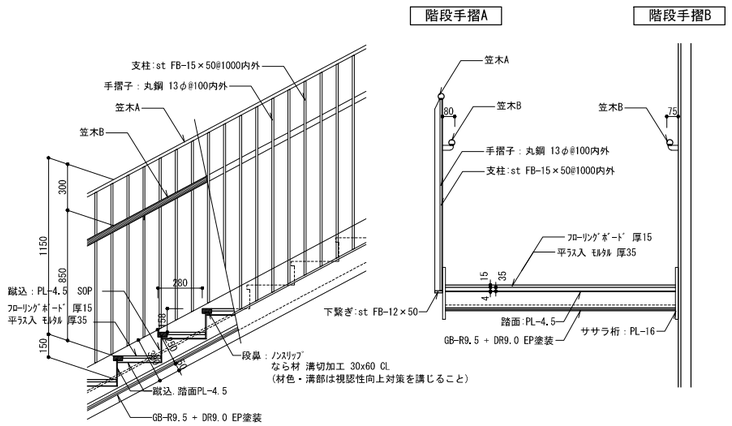
設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考	
一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義

工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設
第3・第4校舎等解体及び建築工事

図面名称 部分詳細図 その3
縮尺 A1: 1/10
A3: 1/20

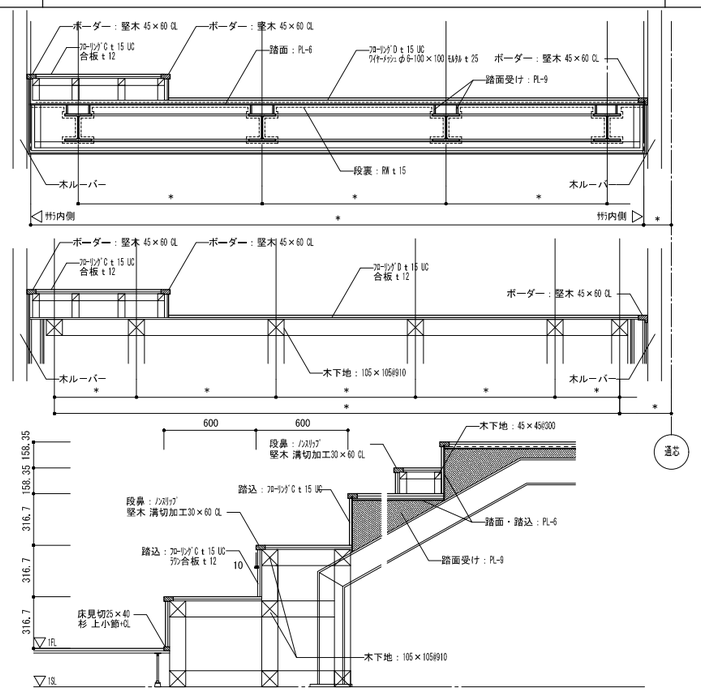
図面番号 A080

D-01 階段 S=1/20



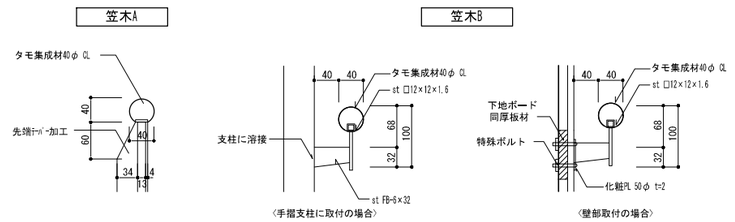
※特記なき限りスチール製とする
※鉄部見掛りは水性常温亜鉛めっき塗装とする

D-02 メディアセンター階段 S=1/20



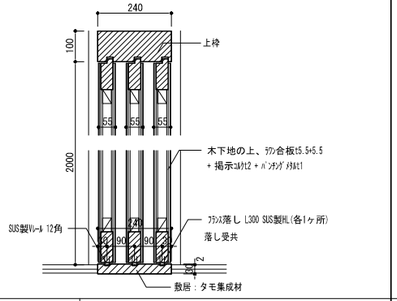
竪木・ﾎﾞｰﾀﾞｰ	杉積層材 CL
木下地	杉 1等級
	適用箇所：メディアセンター

D-03 笠木A、B S=1/5

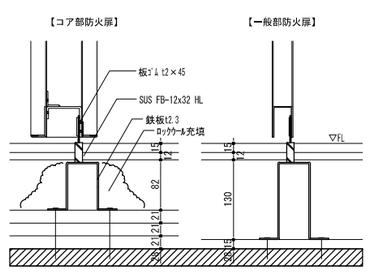


特記外、鉄部見え掛り部 SOP塗

D-04 掲示扉（ワークスペース） S=1/10

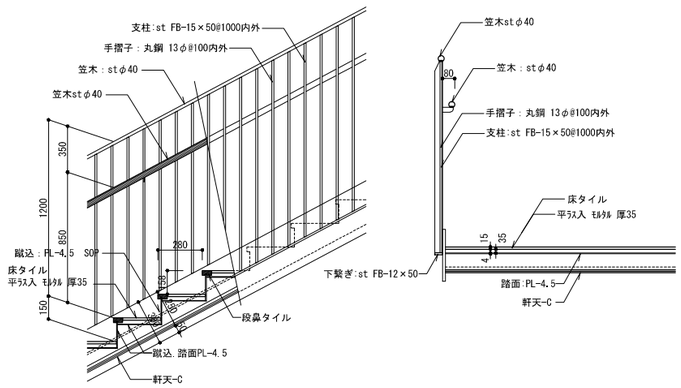


D-05 防火戸足元廻り S=1/5



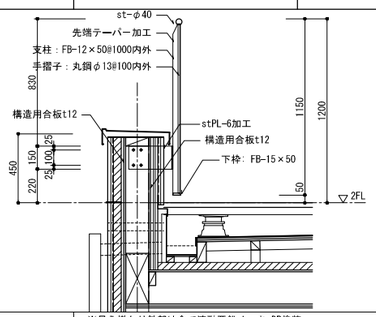
材料	木下地の上、ｳﾚﾝ合板t5.5+5.5+掲示ｺﾙｸt2+ﾊﾟﾝﾁﾝｸﾞﾒﾀﾙt1
	敷居：タモ集成材
	ﾌﾗｽﾊﾞ落し L300 SUS製HL(各1ヶ所) 落し受共
	SUS製Wｰﾙ 12角

D-06 ポーチ屋外階段 S=1/20



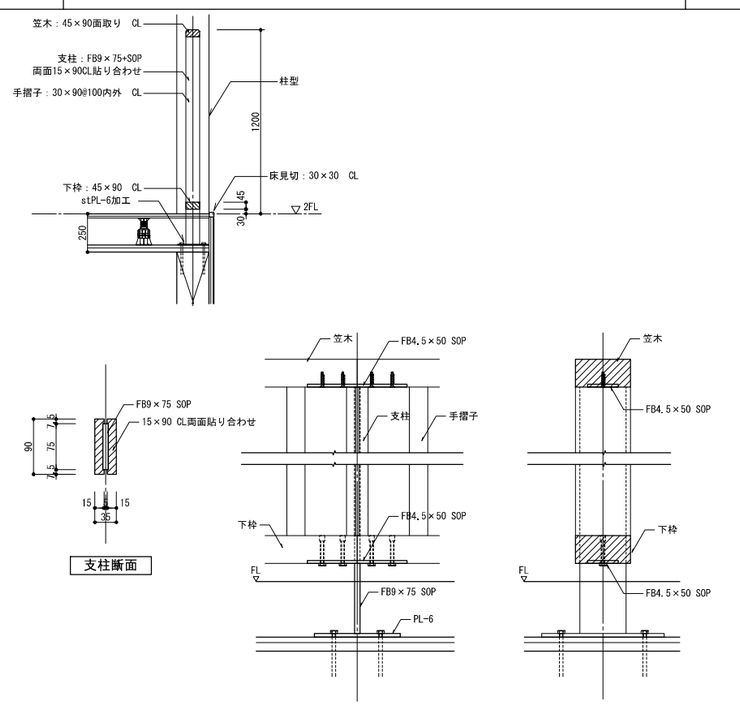
※特記なき限りスチール製とする
※鉄部見掛りは溶融亜鉛メッキ+DP塗装とする

D-07 外部手摺-A S=1/20



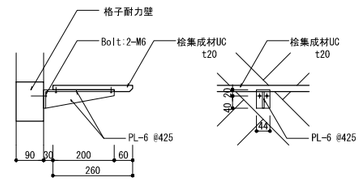
※見え掛かり鉄部は全て溶融亜鉛メッキ+DP塗装

D-08 ルーバー手摺 S=1/20



材種	杉 1等級

D-09 展示棚（格子耐力壁） S=1/10



W:図示による H:図示による
荷重条件20kgf程度

株式会社東畑建築事務所
TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

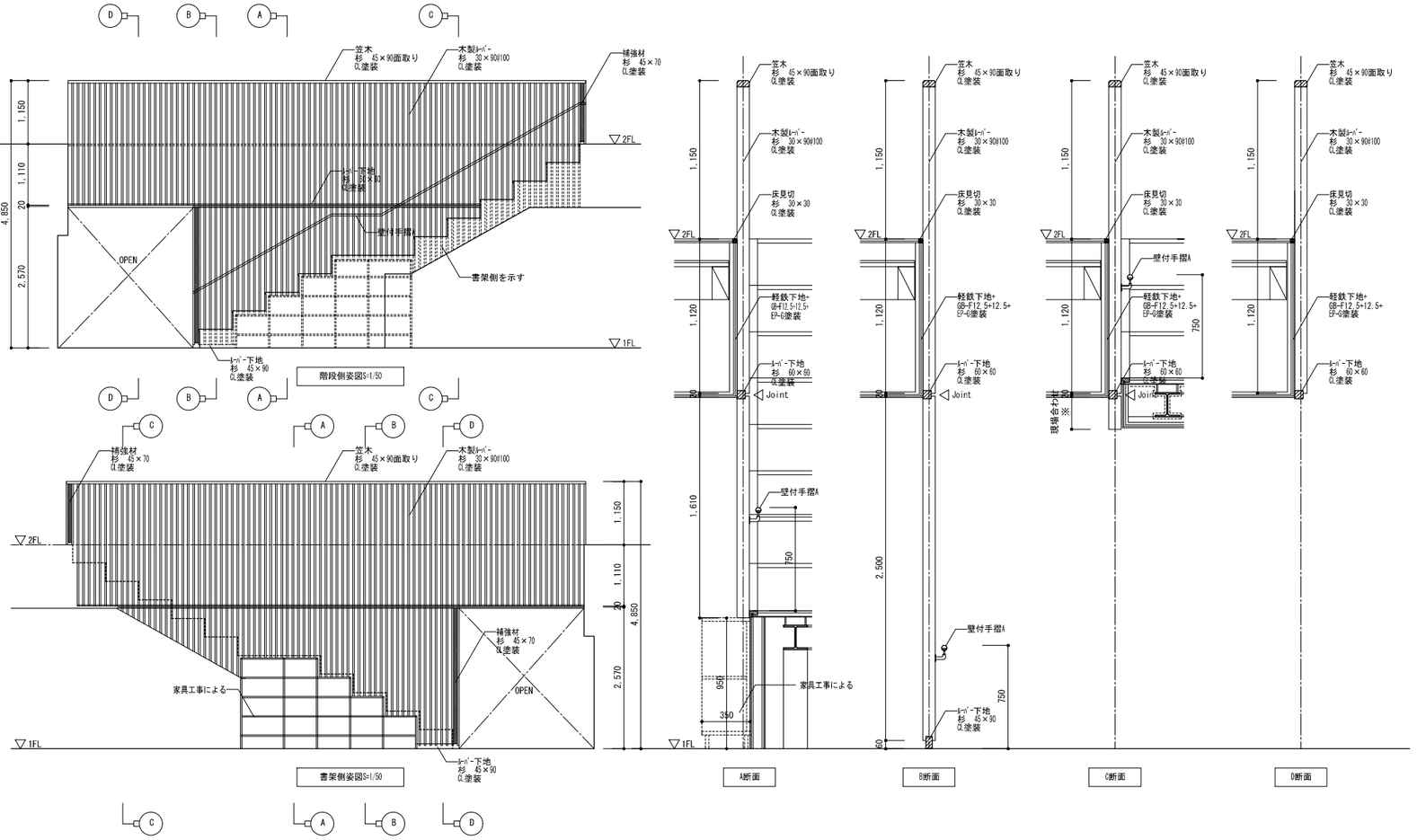
設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考	
一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義

工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設
第3・第4校舎等解体及び建築工事

図面名称 部分詳細図 その4
縮尺 A1: 1/10 A3: 1/20

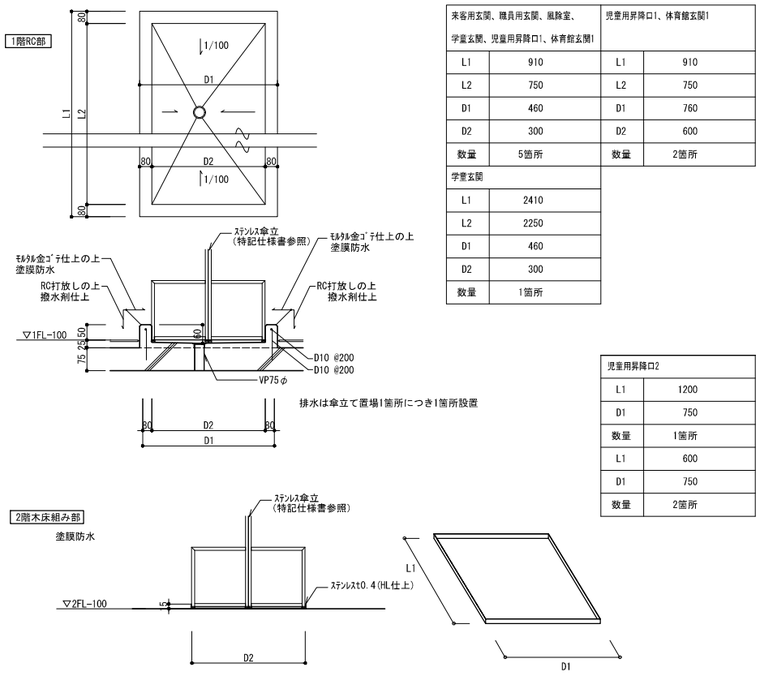
図面番号 A081

D-10 メディアセンター木製ルーバー S=1/20



本体	杉 上小節 OL

D-11 傘立 S=1/20

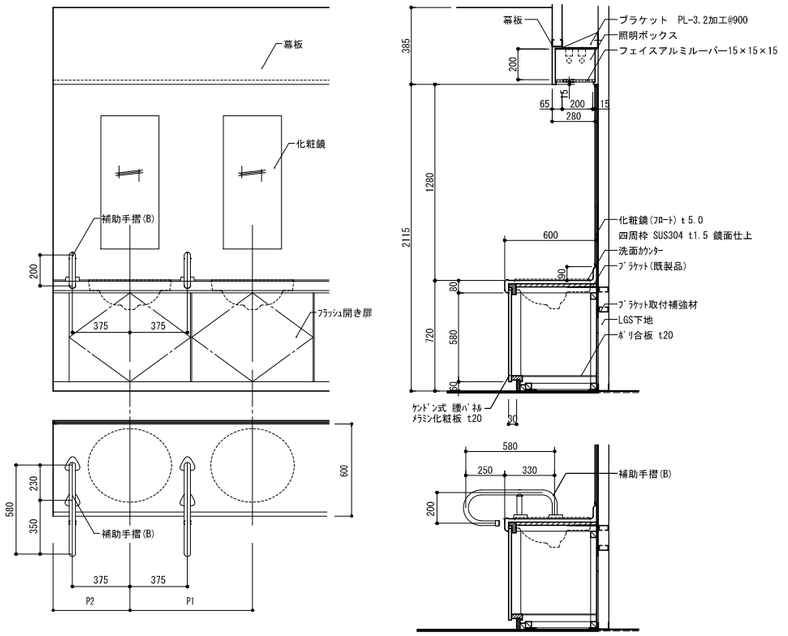


来客用玄関、職員用玄関、風除室、学童玄関、児童用昇降口1、体育館玄関1		児童用昇降口1、体育館玄関1	
L1	910	L1	910
L2	750	L2	750
D1	460	D1	760
D2	300	D2	600
数量	5箇所	数量	2箇所

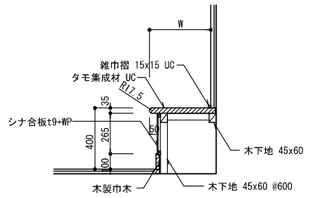
学童玄関	
L1	2410
L2	2250
D1	460
D2	300
数量	1箇所

児童用昇降口2	
L1	1200
D1	750
数量	1箇所
L1	600
D1	750
数量	2箇所

D-12 洗面カウンター S=1/20



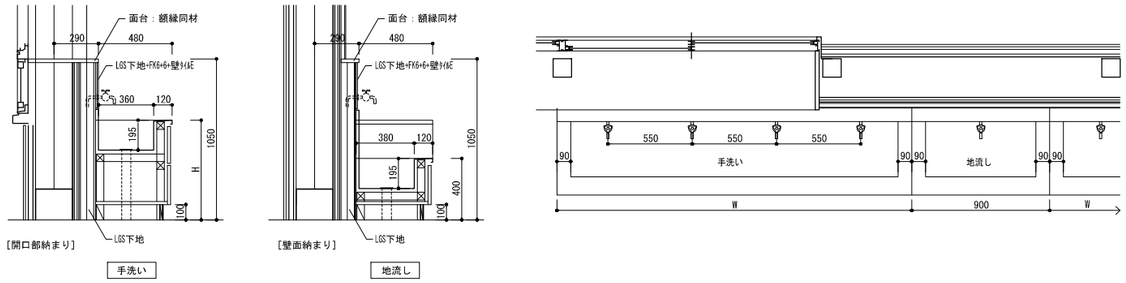
D-13 ベンチ・荷物棚 S=1/20

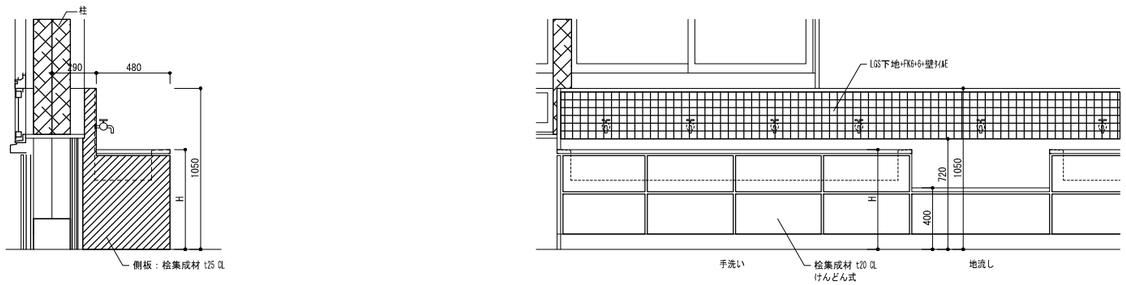


ﾏﾁ法 (P1,P2)	平面詳細図による	照明ﾎﾞｯｸｽ	PL-1.6曲げ加工 メラミン樹脂焼付塗装 空気孔付
洗面ｶｳﾝﾀｰ	メラミン化粧板 ポストフォーム加工 既製品	ﾌｪｲｽ	ｱﾙﾐﾙｰﾊﾞｰ 15×15×15
腰ﾊﾟﾈﾙ	メラミン化粧合板ﾌﾗｯｼｭ t25 ｹﾝﾄﾞﾝ式	幕板	PL-1.6加工 メラミン樹脂焼付塗装
補助手摺(B)	ｽﾃﾝﾚｽ製 樹脂被服ﾀｲﾌﾟ 握り径34φ	適用	照明ボックスは、校舎棟東1階トイレE1前のみ

株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
	一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 部分詳細図 その5 縮尺 A1: 1/10 A3: 1/20
					図面番号 A082

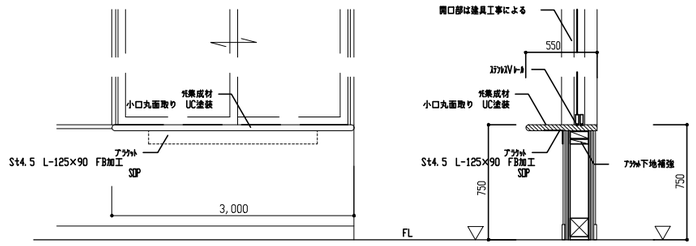
D-14 流し台 S=1/20



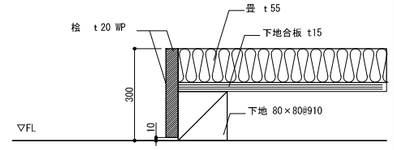


W寸法	図示	排水目皿	(設備工事)
H寸法	1階(低学年用)：H650、2・3階（中・高学年用）：H700	排水トラップ	(設備工事)
シンク	SUS304 t0.7 加工　裏面防露塗装		
	※ 水栓取付け高さは監督職員と協議の上、決定すること		

D-15 受付カウンター S=1/20



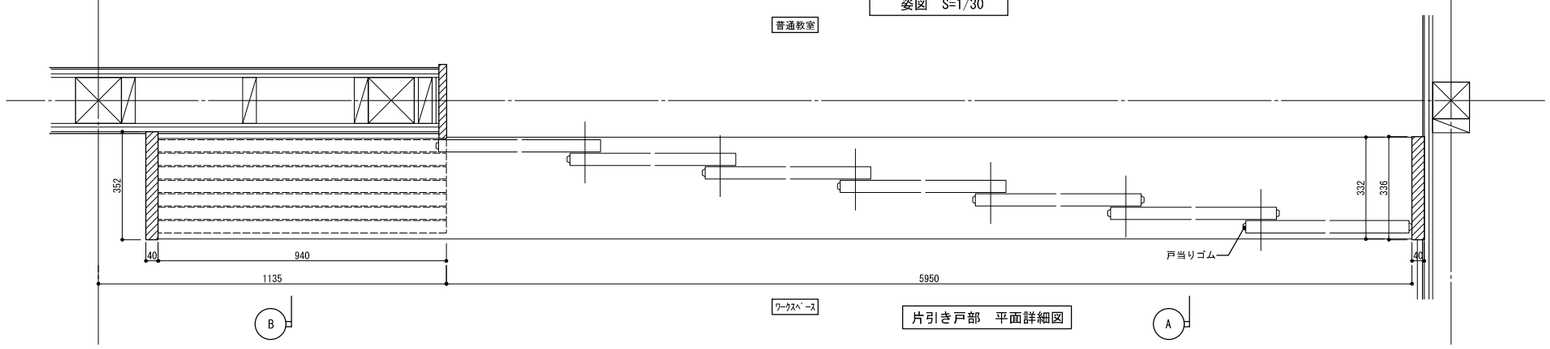
D-16 上框A S=1/5



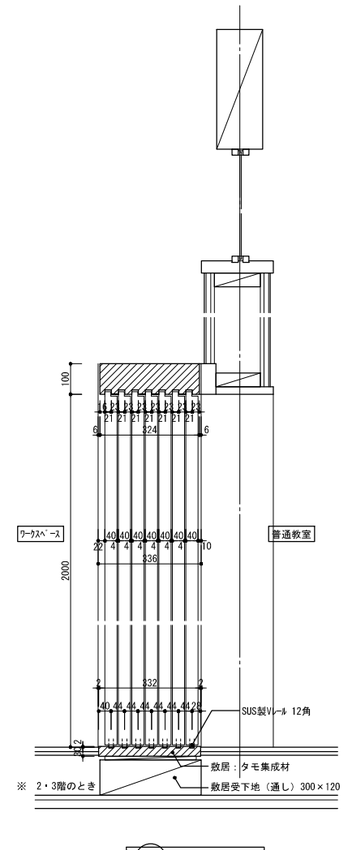
寸法	図示		
本体	t 30光集成材　小口丸面取り　UC塗装		
付属	ﾌﾞﾗｹｯﾄSt4.5　L-125×90FB加工　SUP塗装		
	適用箇所：学童事務室	適用箇所：活動室1	

D-17 木製建具詳細図 1／10

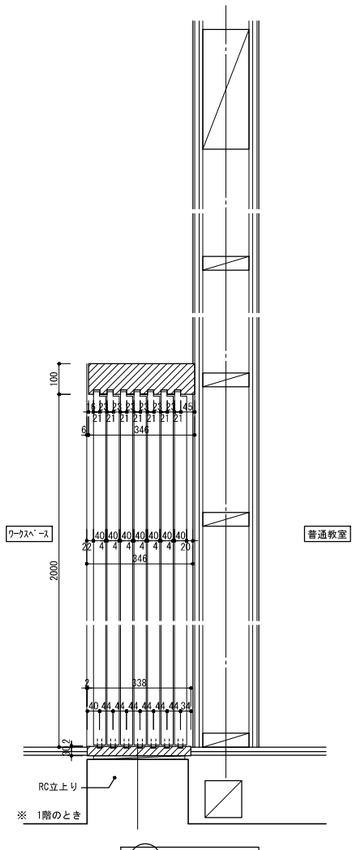
姿図　S=1/30



片引き戸部　平面詳細図



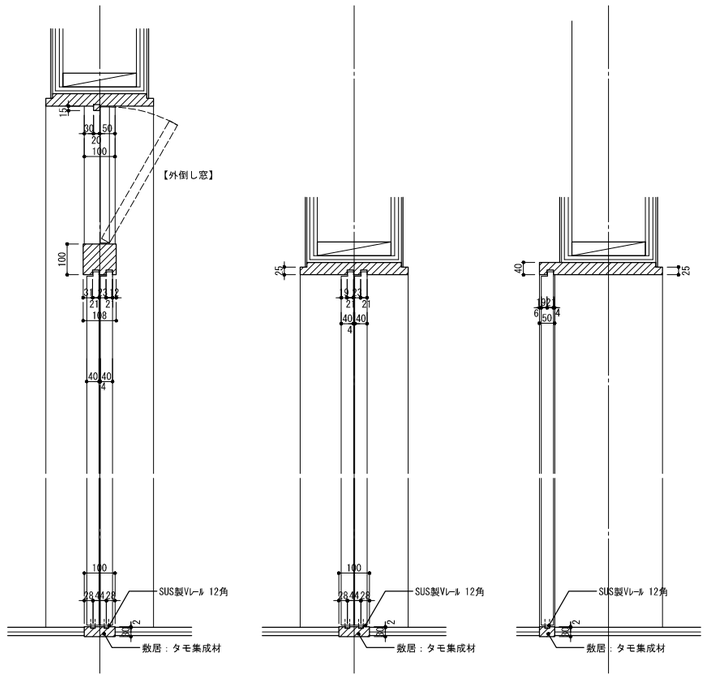
A 断面詳細図

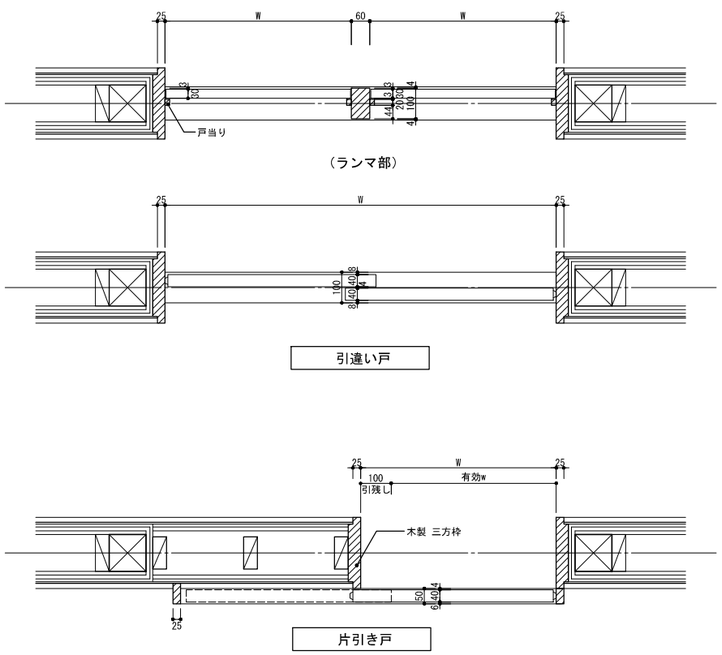


B 断面詳細図

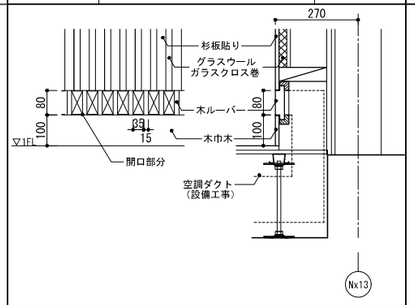
	株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
		一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 部分詳細図　その6 縮尺 A1: 1/10 A3: 1/20
						図面番号 A083

D-18 木製建具詳細図 1／10



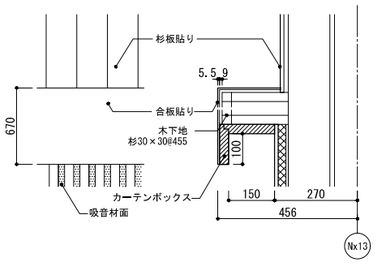


D-19 多目的ホール 空調吹出口 1／10



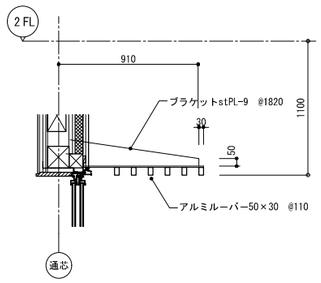
仕　様	木ルーバー：CL塗装

D-20 多目的ホール 壁詳細 1／10

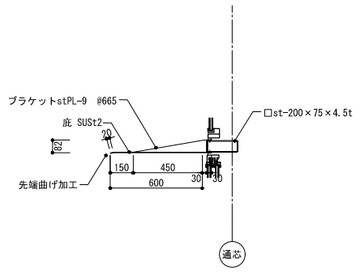


仕　様	カーテンボックス：杉

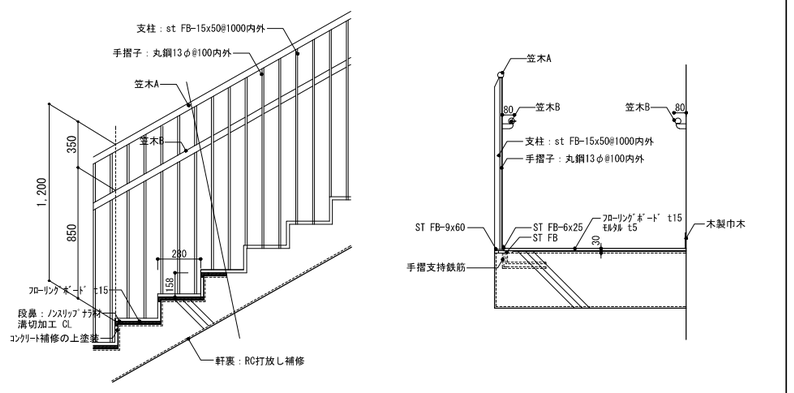
D-21 小庇-A S=1/20



D-22 小庇-C S=1/40

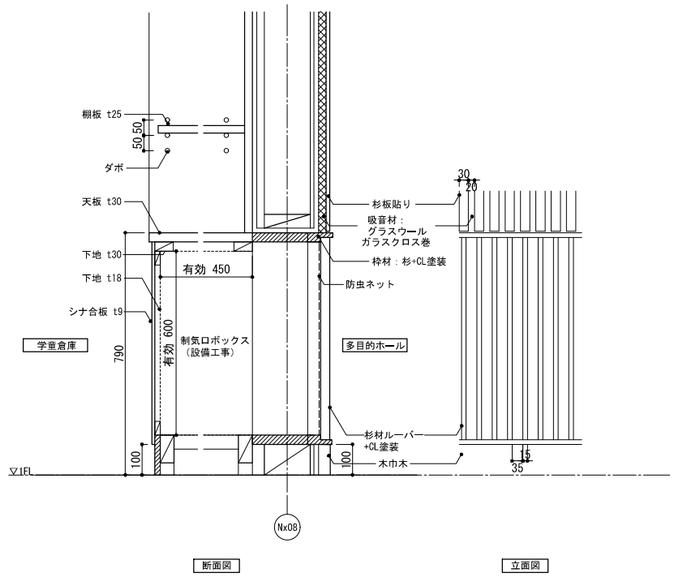


D-23 階段3 S=1/20



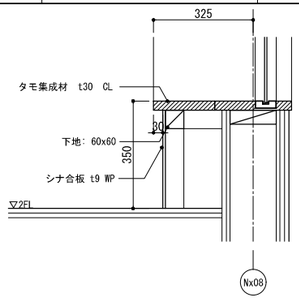
	※特記なき限りスチール製とする
	※鉄部見掛りは水性常温亜鉛めっき塗装とする

D-24 多目的ホール 制気口 ＋ 学童倉庫 チャンバーボックス・収納棚 S=1/10

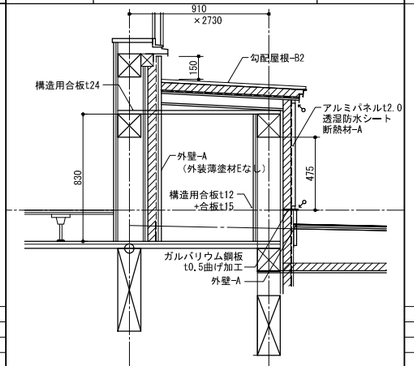


仕　様	天板・棚板：合板フラッシュ構造　ポリエステル化粧合板
	自在棚　3段　ダボ付き

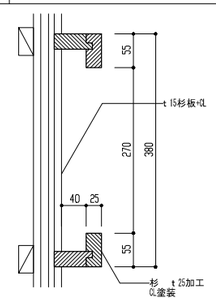
D-25 廊下N5 ベンチ S=1/10



D-26 設備配管用取り出し口 S=1/5

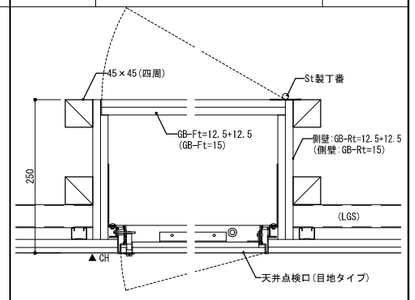


D-27 額入れ S=1/5



本体	杉　上小節

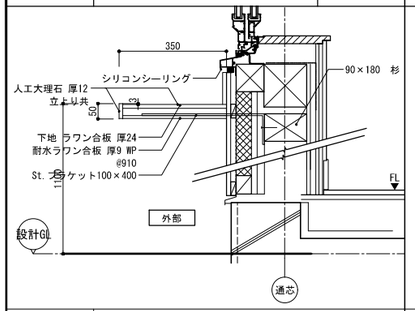
D-28 天井点検口（防火仕様） S=1/5



	※天井（点検口以外の部分）は各所において防耐火上の性能を
	満たすよう施工すること

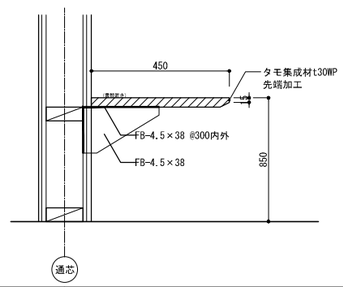
株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考	工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事
	一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶 / 建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 部分詳細図　その7 縮尺　A1：1/10 A3：1/20
				図面番号 A084

D-29 窓口カウンター（家庭科室） S=1/10



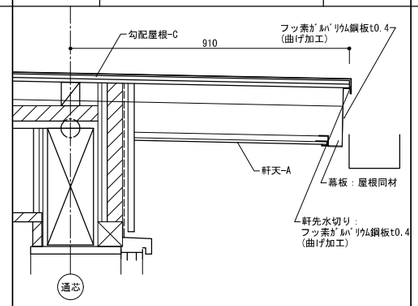
W:図示による H:図示による

D-30 給湯ｶｳﾝﾀｰ（職員室） S=1/10

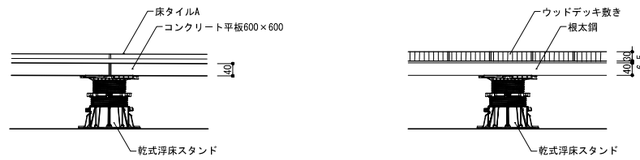


W:図示による H:図示による

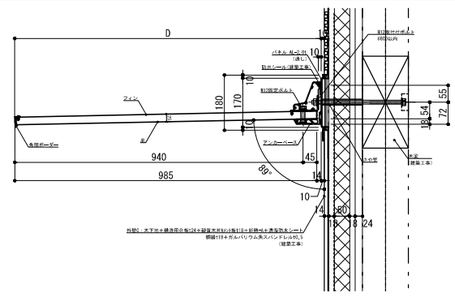
D-31 勾配屋根C S=1/10



D-32 乾式浮床工法 S=1/10

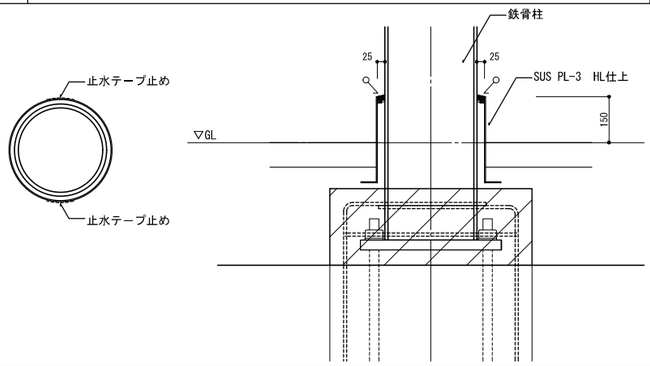


D-33 アルミ庇 S=1/10

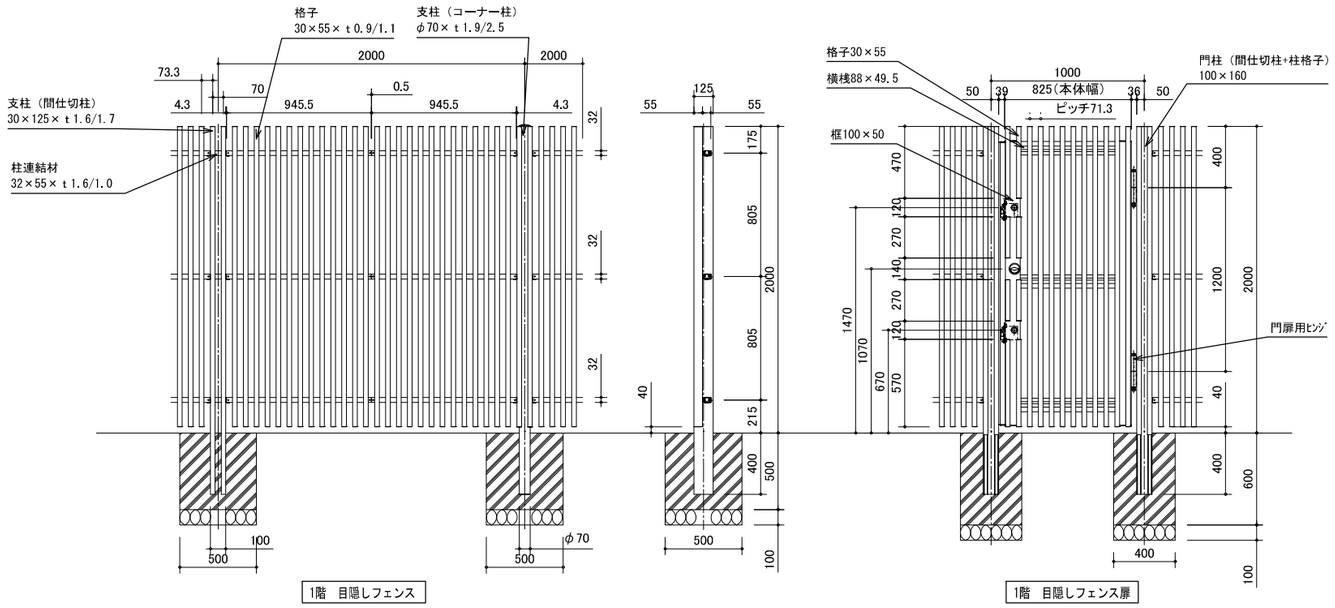


D寸法	1000mm	：風除室、学童玄関
	800mm	：メディアセンター4

D-34 屋外鉄骨丸柱巾木 S=1/10

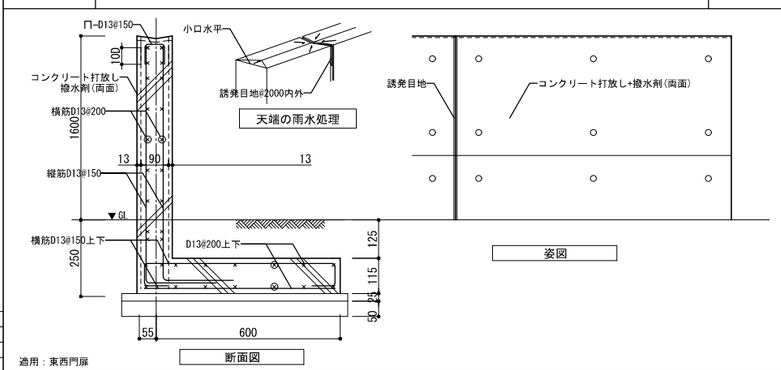


D-35 目隠しフェンス S=1/20



	1階		
	L3300×D4200 L型	H=1800	扉1箇所付き 1箇所
	L5600×D1500/1500 コ型	H=1800	扉1箇所付き 1箇所

D-36 コンクリート門塀詳細図 1/20



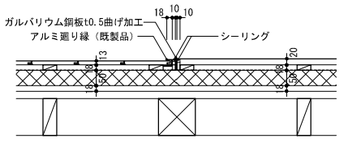
適用：東西門扉

株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	図面番号 A085
	一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 部分詳細図 その8 縮尺 A1: 1/10 A3: 1/20	

D-100 外壁B-A見切 S=1/10

外壁-B
ガルバリウム鋼板スパンドレルt0.5（目地なし）

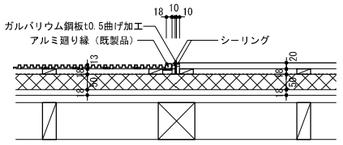
外壁-A
軽量セメントモルタルt20+外装薄塗材E



D-101 外壁C-A見切 S=1/10

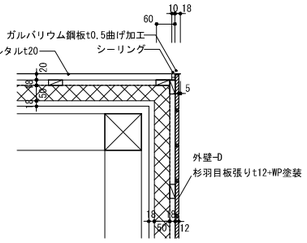
外壁-C
カラーガルバリウム鋼板スパンドレル

外壁-A
軽量セメントモルタルt20+外装薄塗材E



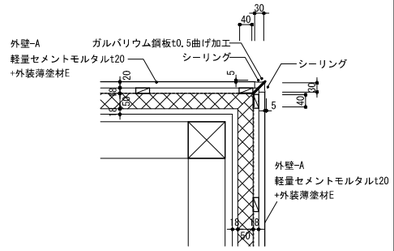
D-102 外壁A-D出隅見切 S=1/10

外壁-A
軽量セメントモルタルt20
+外装薄塗材E

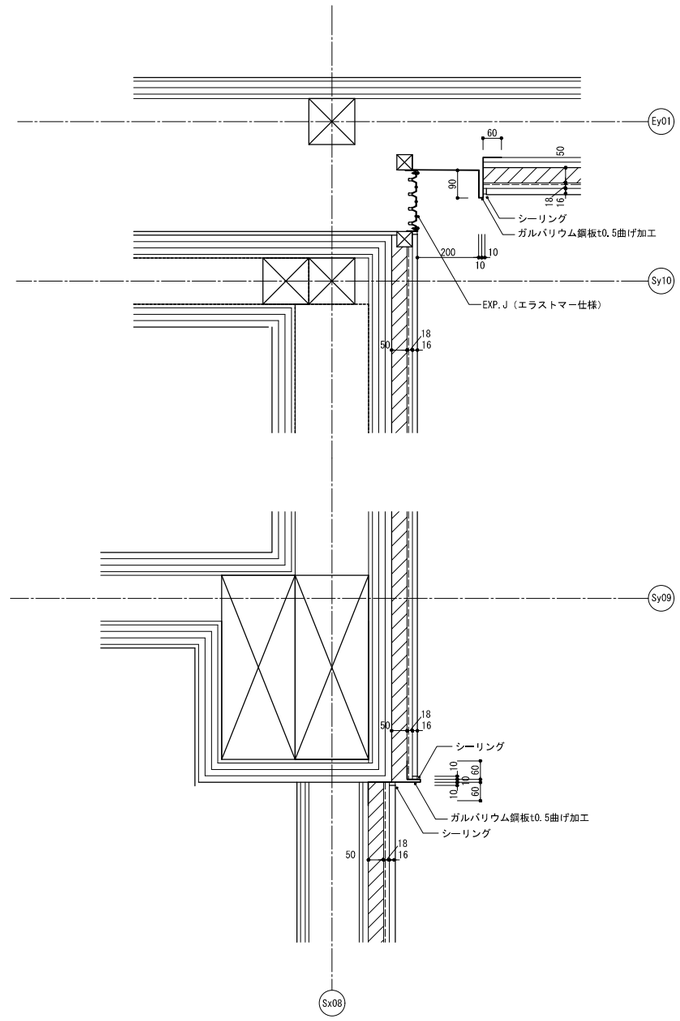


D-103 外壁A-A出隅見切 S=1/10

外壁-A
軽量セメントモルタルt20
+外装薄塗材E

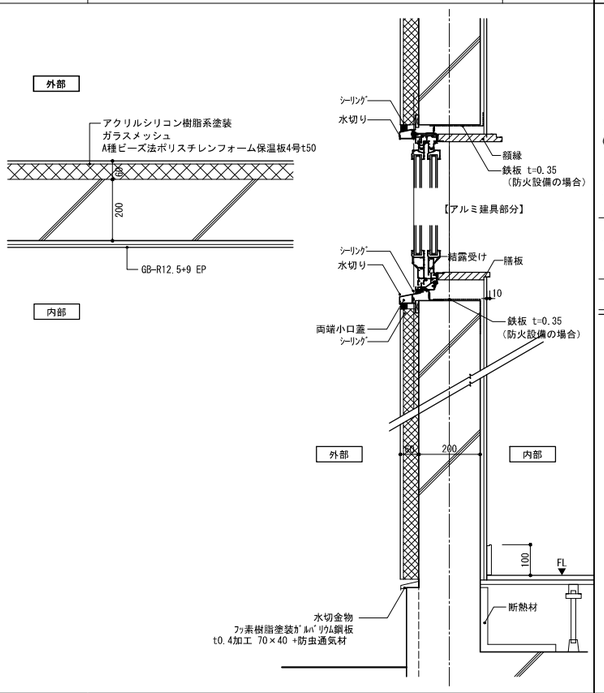


D-104 外壁見切（コア部と一般部の区切り部） 1／10



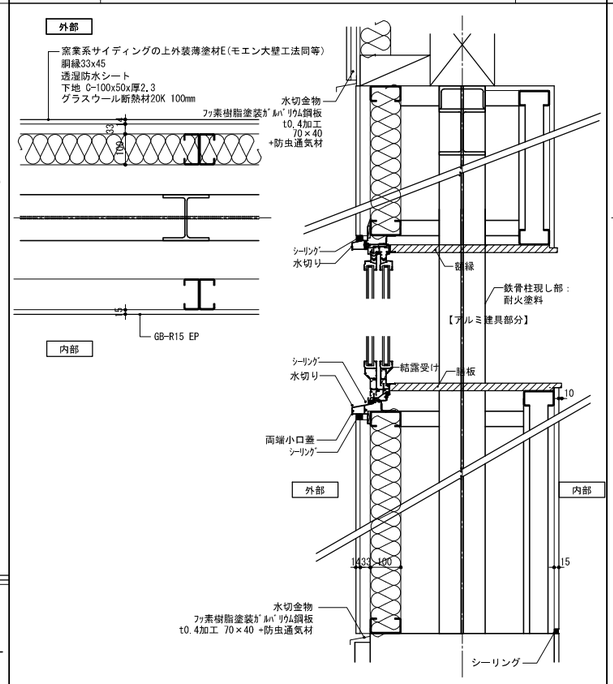
株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	
設計番号 20250043	作成日 2026.3
一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志
種別/備考	
一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義
工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	
図面名称 部分詳細図 その9 縮尺 A1: 1/10 A3: 1/20	
図面番号 A086	

外W-01'	外壁-A'-1	1／10



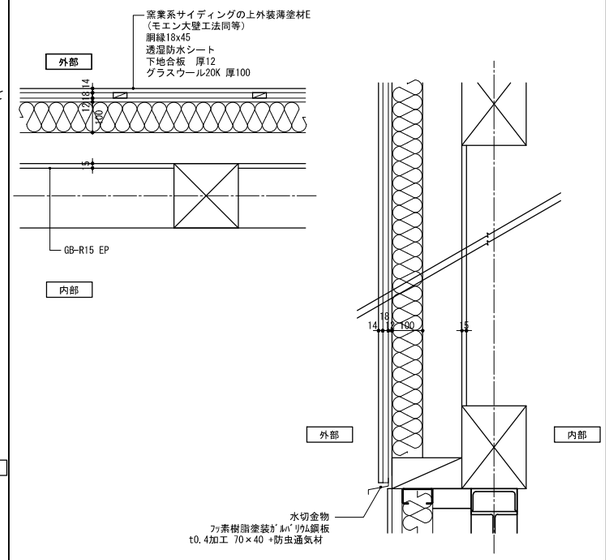
	※参考：エコサーム（東邦レオ）
水切り	アルミ製押出し竪枠
結露受け	ガルバリウム鋼板　t=0.35 折曲加工
額縁・ぜん板	杉（小節）CL 出隅R面取り　一般部

外W-02'	外壁-A'-2 鉄骨下地45分準耐火構造（QF045BE-9226）	1／10



水切り	アルミ製押出し竪枠
結露受け	ガルバリウム鋼板　t=0.35 折曲加工
額縁・ぜん板	杉（小節）CL 出隅R面取り　一般部
	※RC壁のない箇所についてはLGS下地とする。

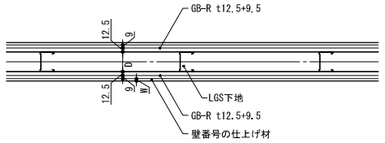
外W-03'	外壁-A'-3 木造45分準耐火構造（QF045BE-9226）	1／10

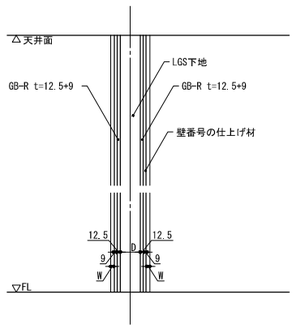


水切り	アルミ製押出し竪枠
結露受け	ガルバリウム鋼板　t=0.35 折曲加工
額縁・ぜん板	杉（小節）CL 出隅R面取り　一般部
	※RC壁のない箇所についてはLGS下地とする。

W-□A'	間仕切壁-A'	1／10

W-□A'：壁番号の末尾にA'で示す。
壁番号

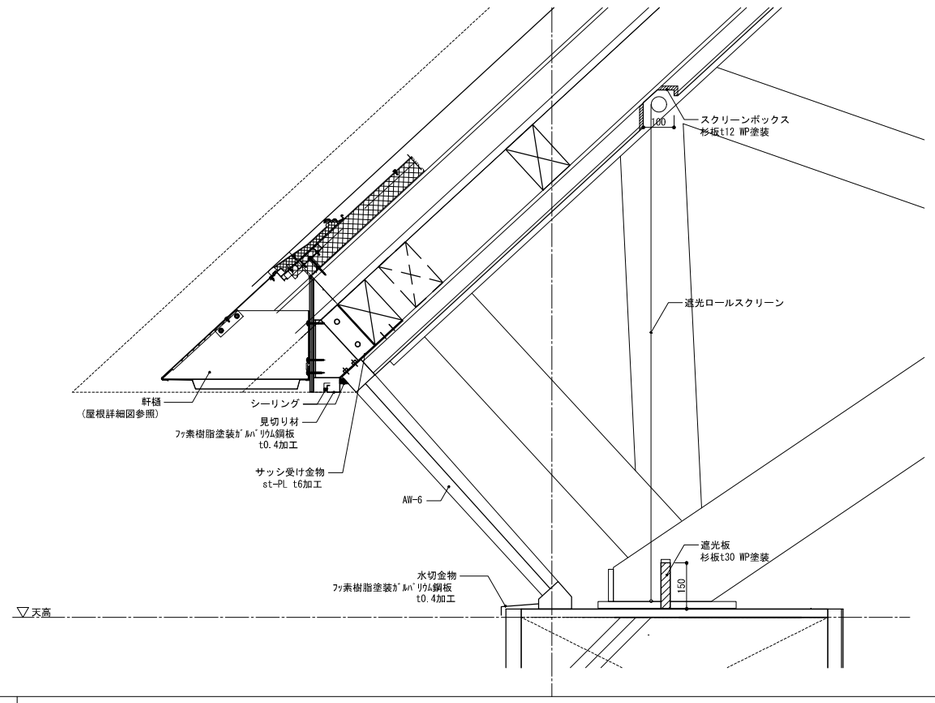




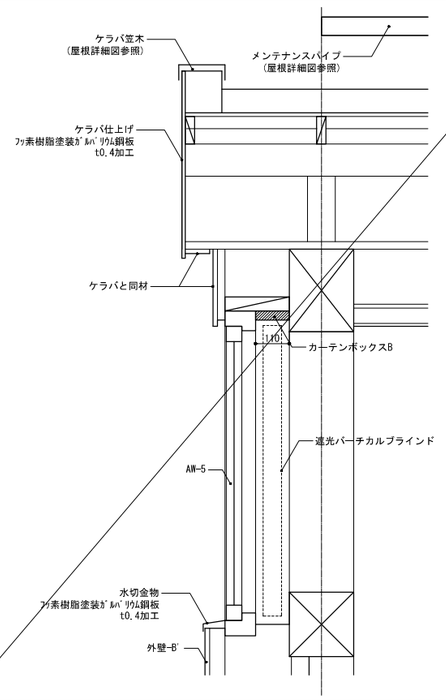
	W寸法は仕上げ厚による
	水廻りの壁については、GB-R12.5をGB-S12.5に読み替えること

株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	図面番号
	一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 部分詳細図　その10 縮尺　A1: 1/10 A3: 1/20	A087

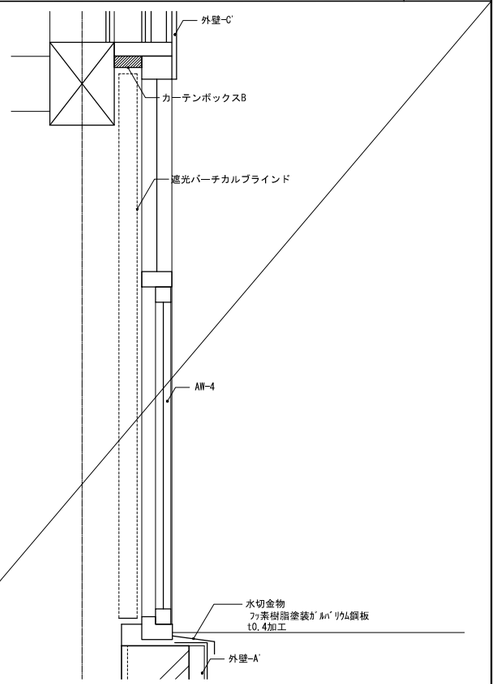
D-31 体育館　軒裏開口部周り　S=1/10



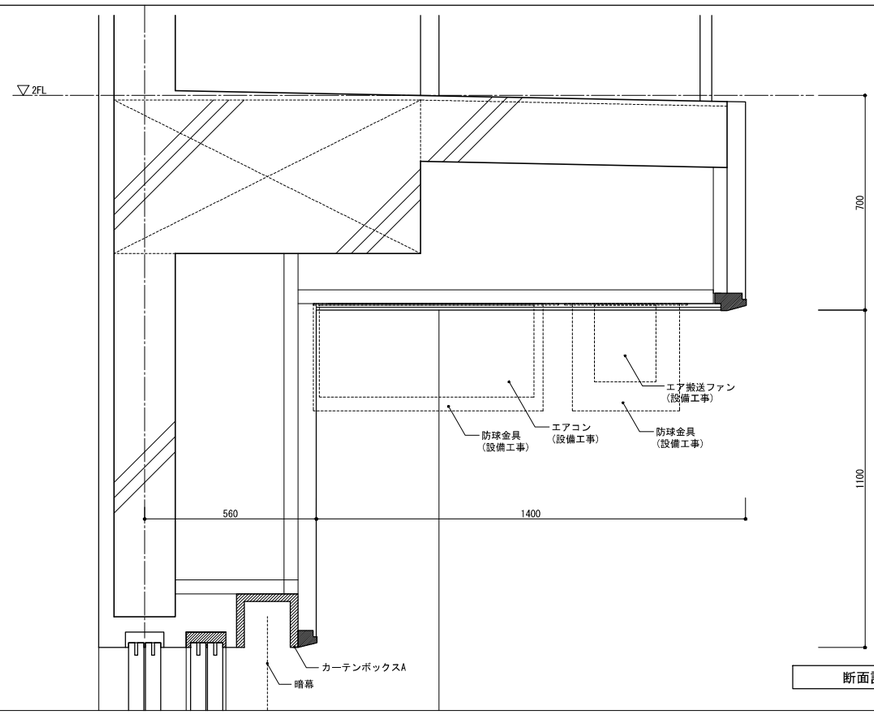
D-32 体育館　南側妻面開口部(Ay02通り)　S=1/10



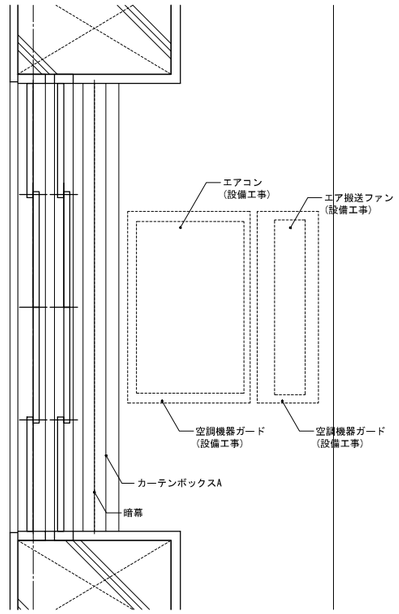
D-33 体育館　北側妻面開口部(Ay12通り)　S=1/10



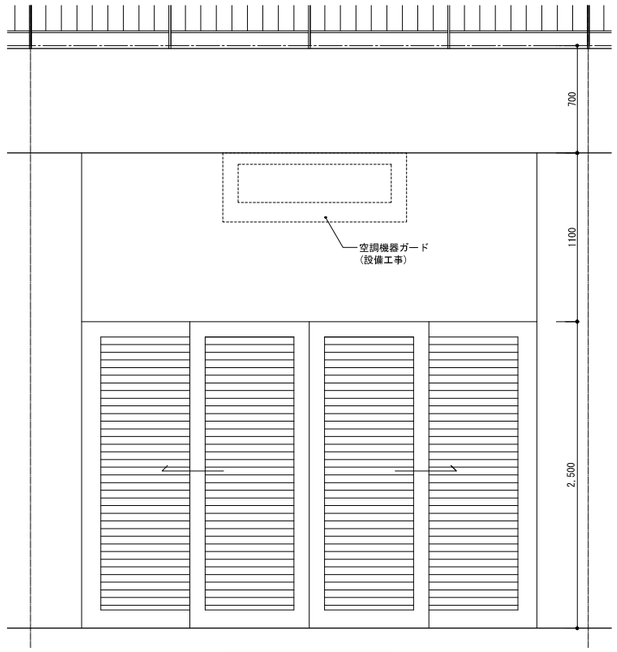
D-34 体育館キャットウォーク下　S=1/10



断面詳細図



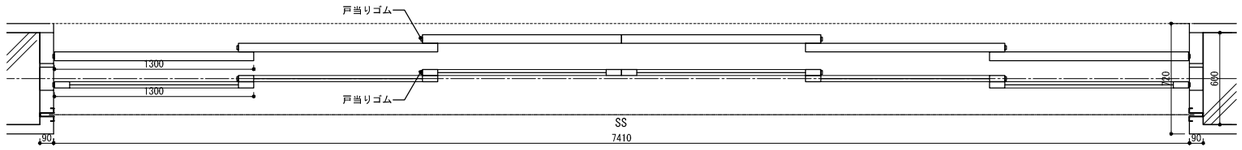
天井詳細図 S:1/20



立面詳細図 S:1/20

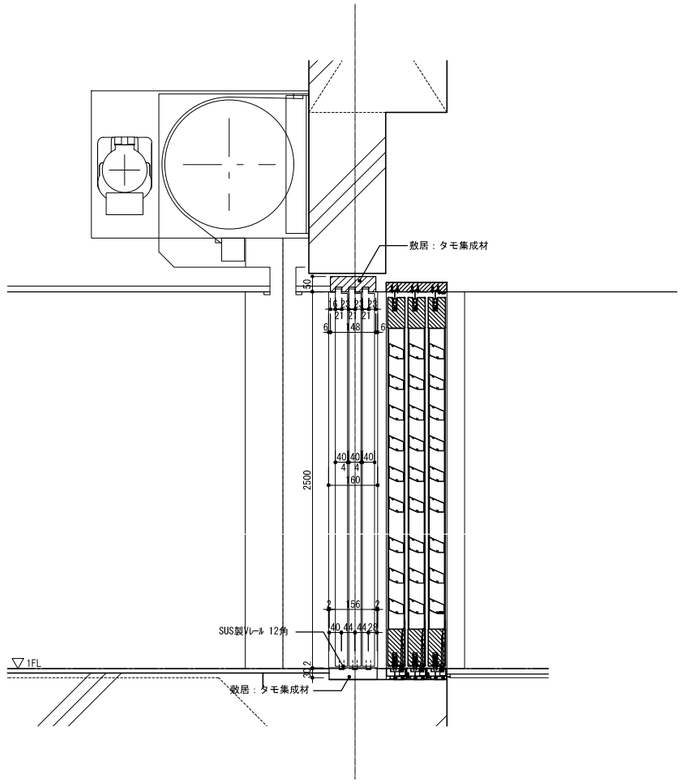
株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	図面番号 A088
	一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義	図面名称 部分詳細図　その11 縮尺 A1: 1/10 A3: 1/20	

体育室



体育館玄関

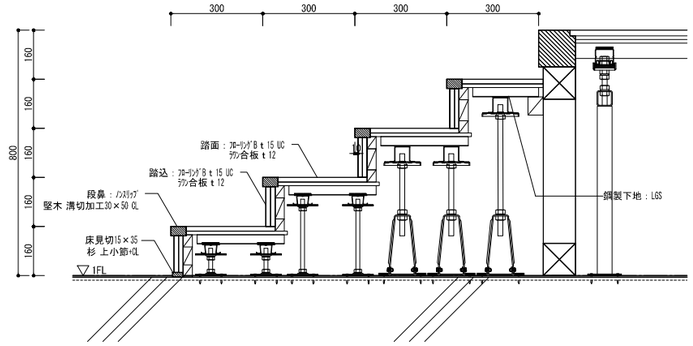
平面詳細図 S:1/20



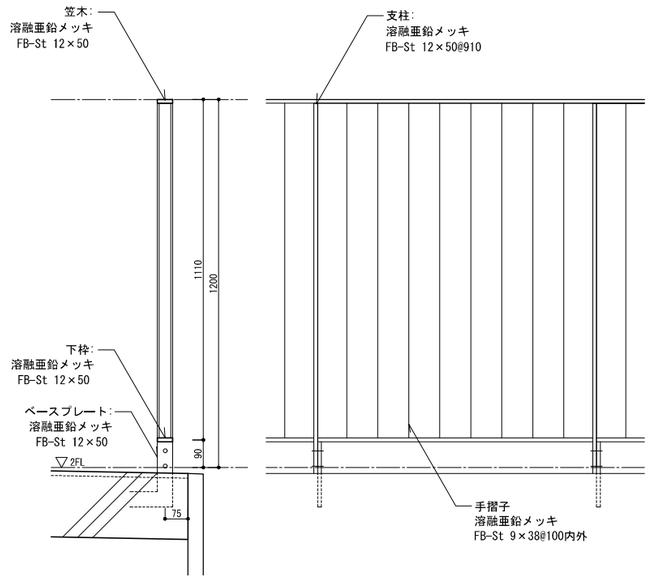
断面詳細図

株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考		工事名称 須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	図面番号 A089
	一級建築士 NO.273069 高木 耕一	一級建築士 NO.343695 久保 久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田 昌慶	建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅 光義	図面名称 部分詳細図 その12 縮尺 A1: 1/10 A3: 1/20	

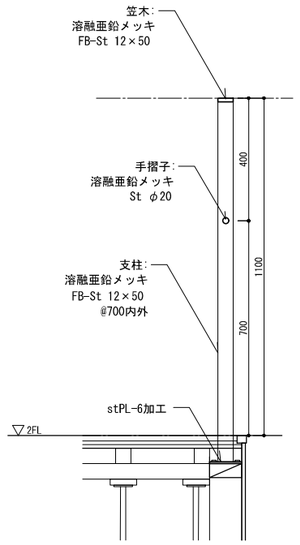
D-36 ステージ用階段 S=1/10



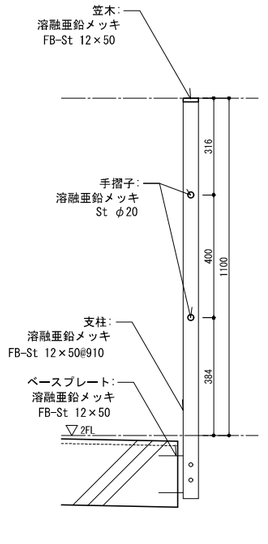
D-37 体育館手すり S=1/10



D-38 メンテナンス手すり S=1/10

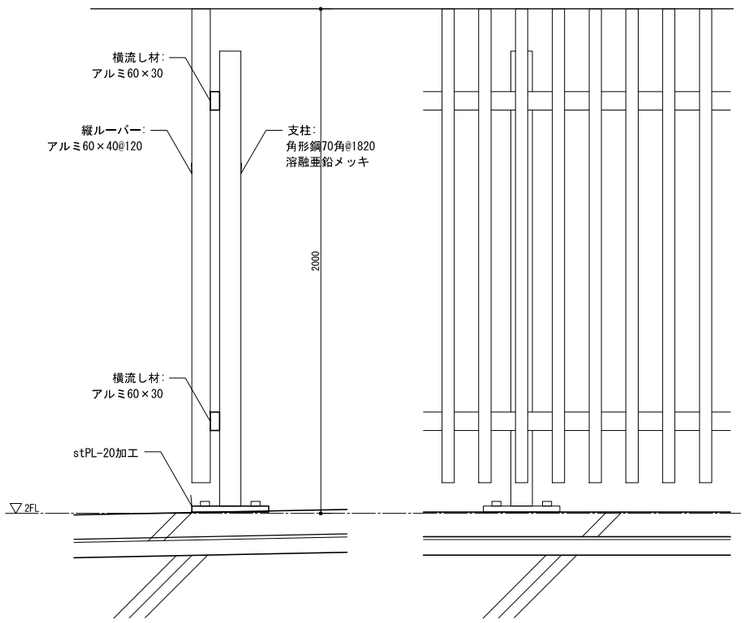


器具室1,2

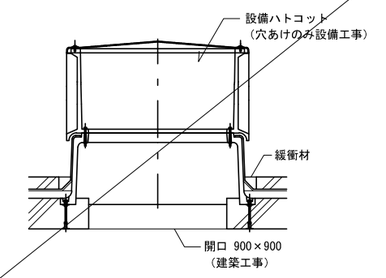


キャットウォーク

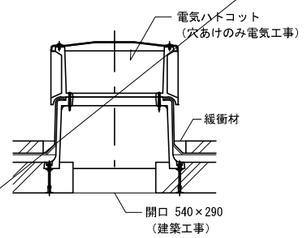
D-39 屋上設備目隠し S=1/10



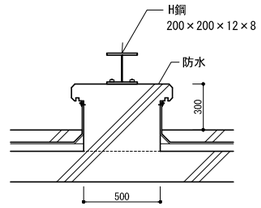
D-40 設備ハトコット S=1/20



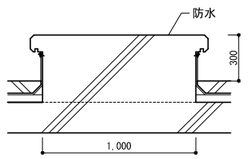
D-41 電気ハトコット S=1/20



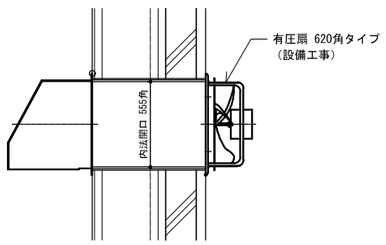
D-42 設備基礎1,2 S=1/20



D-43 設備基礎3 S=1/20



D-44 有圧扇 S=1/20



株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20250043	作成日 2026.3	種別/備考
	一級建築士 NO.273069 高木　耕一	一級建築士 NO.343695 久保　久志	一級建築士 NO.345792 構造設計一級建築士 NO.9786 中牟田　昌慶
			建築設備士 NO.09E1-0256YY 三宅　光義

工事名称	須賀小学校地域拠点施設建設 第3・第4校舎等解体及び建築工事	図面番号
図面名称	部分詳細図　その13 縮尺　A1：1/10 A3：1/20	A090